SHARP®

取扱説明書

液晶カラーテレビ

形 名

エル シー　エスエックス
LC-20SX5

2. 操作編

操作に入る前に別冊の取扱説明書 1. 準備編 をご覧ください。

AQUOS

操作ガイド
はじめにお読みください

このマークは、放送信号に含まれるGCR信号を利用して、ゴーストを軽減する機能を内蔵した機器であることを示すものです。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」（12ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

ふだんの使いかた

電源の入／切・選局・音量調整

フタを閉じたところ

1 テレビをつける

電源「入」……………電源ランプ
（動作状態）　　　　緑色点灯

2 ネットワーク（放送）を選ぶ

放送切換ボタン
- 地上A・地上D・BS・CSを選びます。
  （※地上Dは地上デジタル放送が開始され、受信可能になってから使います。）

3 チャンネルを選ぶ

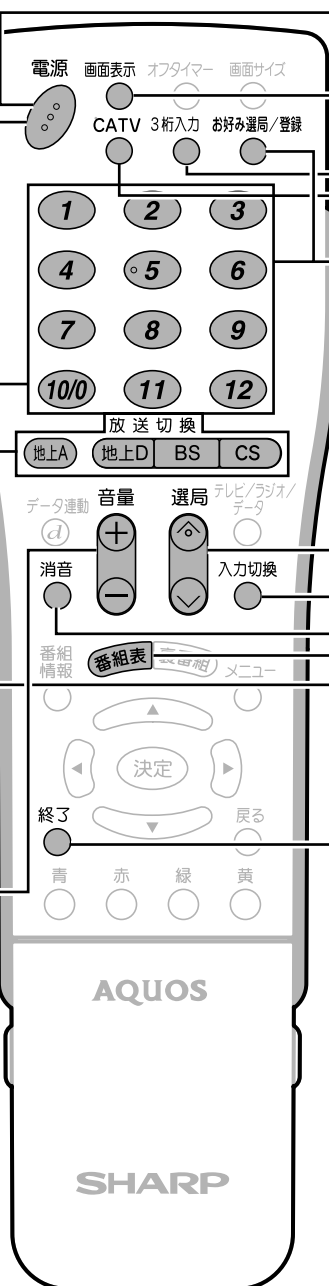
チャンネル
- ネットワーク（地上A・地上D・BS・CS）のメディア（テレビ／ラジオ／データ）ごとのチャンネルを選びます。

選局（∧順／∨逆）
- 最後に選んでいたネットワーク・メディアの放送チャンネルを順／逆で選局します。

デジタル放送の視聴のしかたについては、36～39ページをご覧ください。

4 音量を調整する

数字とバーで音量を表示

2 6

5 テレビを消す

電源「切」……………電源ランプ
（電源待機状態）　　赤色点灯
※オンタイマー／予約中は橙色点灯

お好みのチャンネルを選ぶ

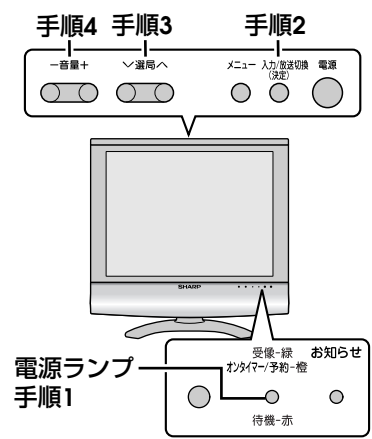
お好み選局／登録
- お好み登録されているチャンネルを選局します。
  （お好み選局／登録ボタンを押し、登録されているチャンネルボタンを押します。）

操作を終了する

- 番組表やメニュー操作などを終了します。

本体天面操作部でも、選局、音量調整、ネットワーク（放送）切り換えができます。

手順4　手順3　手順2

電源ランプ
手順1

電源プラグの接続について
- 本機は電源待機状態のときでも、デジタル放送局と通信を行います。
- 通常は電源プラグをコンセントに差し込んだままご使用ください。
- 電源プラグは、コンセントに差し込んだ直後に抜かないでください。まれに、初期設定の状態に戻り、「番組予約」や「PPV番組の購入履歴」などが消去されます。このような場合、必要に応じて再度、設定を行ってください。（「PPV番組の購入履歴」など、再設定できないものもあります。）
- 使用中にいきなり電源プラグを抜いたり、電源をしゃ断したりしないでください。内蔵メモリーに格納されたデータがこわれることがあります。

受信チャンネルについて
- 工場出荷時は、VHF1～12チャンネルとデジタルチャンネルが受信できるように設定されています。
  UHF放送を受信するときや、受信チャンネルをあわせ直す場合は、1. 準備編 **24～34**ページをご覧ください。

入力切換え・画面表示・消音など

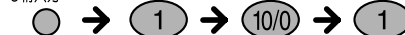
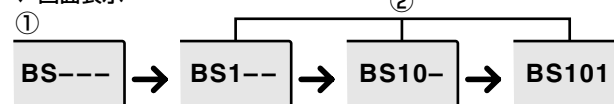
画面表示を切り換える

- ボタンを押すと、チャンネル、時刻、オンタイマー時刻、オフタイマー残り時間、画面サイズなどが表示されます。
  もう一度押すと、表示が小さくなり、さらに押すと表示が消えます。

▼画面表示例

※時刻表示は出ないようにすることもできます。
詳しくは**34**ページをご覧ください。

デジタル放送の3桁チャンネル番号を選ぶ

［例］BSデジタル放送の101チャンネルを選ぶとき
① BSデジタル放送受信中、3桁入力ボタンを押します。
② 数字(チャンネル)ボタンで3桁チャンネル番号を入力します。

ビデオ1〜2・コンポーネント・PCの表示について
- 各ビデオ入力端子に接続した外部機器にあわせ、入力表示を変更することができます。詳しくは**140**・**141**ページ「外部機器に表示をあわせる」をご覧ください。

入力を切り換えるとき

- ボタンを押すたびに、つぎのように切り換わります。(工場出荷時)

■リモコンの入力切換を押したとき

テレビ → コンポーネント → ビデオ 1 → ビデオ 2 → PC → i.LINK → テレビ

※テレビ放送は選択されている放送（地上A、地上D、BS、CS）のいずれかになります。

■本体天面の入力／放送切換ボタンを押したとき

コンポーネント → ビデオ 1 → ビデオ 2 → PC → i.LINK → 地上A → 地上D → BS → CS → コンポーネント

メニュー　入力/放送切換(決定)　電源

※視聴しない入力のスキップ設定ができます。（**142**ページ）

音を一時的に消す

- もう一度押すと、もとの音量に戻ります。

デジタル放送の電子番組表を見る

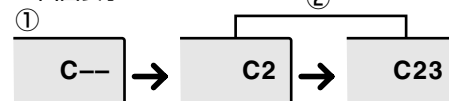
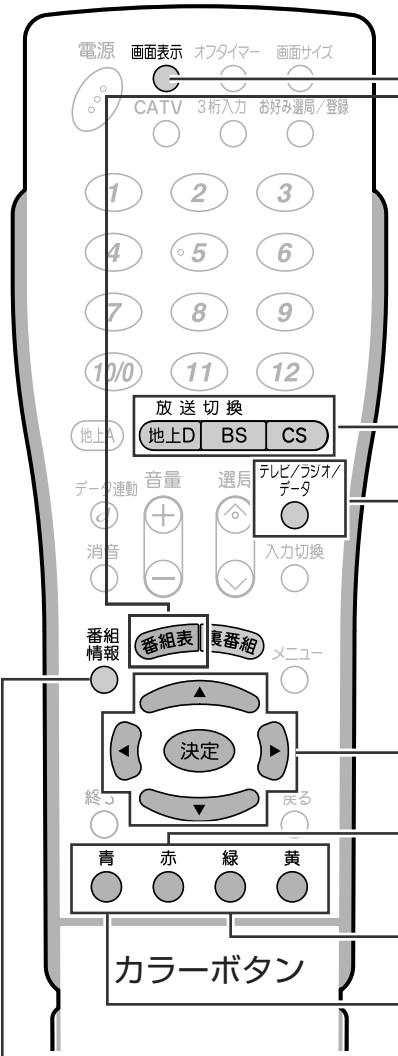
- もう一度押すと、表示が消えます。
- 電子番組表から予約できます。
  詳しくは**43**ページをご覧ください。

▼電子番組表

CATVチャンネルを選ぶ

- CATV放送を選局するとき、チャンネル番号を入力して使います。

［例］C23を選ぶとき
① CATVボタンを押します。
② ダイレクト選局ボタンで「2」「3」を押します。

おしらせ

放送が終了すると
- 無信号電源オフ機能を「する」に設定しているときは、約5分後にテレビの電源が切れます。
  電源ランプが赤色に点灯します。…**無信号電源オフ機能**(**138**ページ)
- 放送が終わっても、他局の放送やその他の電波が混入するときは、正しく動作しない場合があります。

CATV(ケーブルテレビ)について
- CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。
- CATVを受信するときは、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画にはホームターミナル(アダプター)が必要になります。詳しくはCATV会社にご相談ください。
- 本機のCATVチャンネルは、C13〜C63チャンネルの範囲で選局できます。
  CATVチャンネル(C13〜C63)は、工場出荷時にチャンネルスキップを「する」の状態になっています。チャンネルスキップを「しない」(解除)にすると、本体とリモコンの選局(∧順／∨逆)ボタンで選局ができるようになります。
  チャンネルスキップの設定については、1. 準備編 **37**ページをご覧ください。

電子番組表(EPG)について

■デジタル放送では、電子番組表(EPG)の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表を使います。以下の操作は、番組表が表示されているときに行うことができます。
■それぞれの詳しい操作方法については、各参照ページをご覧ください。

フタを閉じたところ

視聴中の番組のチャンネル番号を知りたいときは 画面表示 を押す

電子番組表(EPG)を表示する

デジタル放送を視聴中に 番組表 を押します。

以下の操作は、番組表が表示されているときに行います。

デジタル放送の番組を探して 決定 を押す

▲ ▼ ◀ ▶ で番組表から番組を選べます。

他のネットワークやメディアの番組を探す

地上D BS CS でネットワーク(放送)を選びます。
(本体天面の入力/放送切換ボタンでも選ぶことができます。)

テレビ/ラジオ/データ でメディアを選びます。

赤 を押して「映画」「音楽」「ドラマ」などのジャンル別に探す

緑 を押して日時を指定して探す

青 を押して番組情報を見る (詳しくは47ページ)

放送予定番組の詳しい内容が表示されます。

カラーボタン

見ている番組の情報を知りたいときは、番組情報 を押します。(詳しくは**42**ページ)

カラーボタンの機能(番組表を表示したとき)

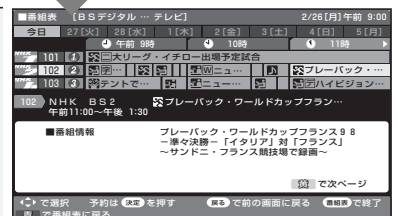
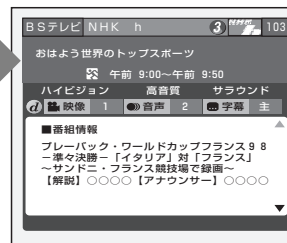
青 番組情報	緑 日時検索
赤 ジャンル検索	黄 予約リスト

※カラーボタンの機能は表示される画面によって変わります。
※画面に機能表示がない場合は、押しても働きません。

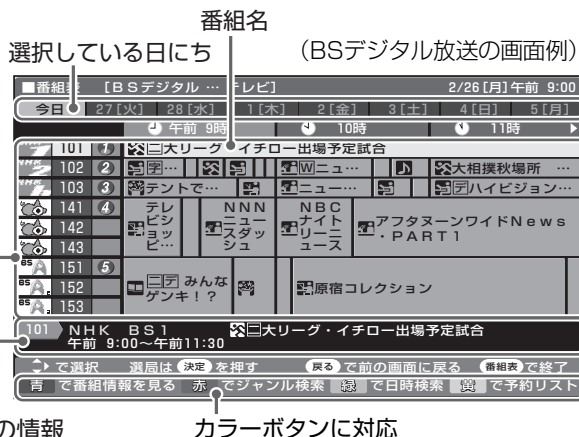
- **地上デジタル放送の電子番組表について**
  地上デジタル放送の電子番組表(EPG)の情報は、送信している各放送チャンネルから取得する必要があります。(1. 準備編 **67** ページ)
- 電子番組表を表示できるのはデジタル放送のみです。
- 本書ではおもにBSデジタル放送の電子番組表の画面を表示例にしています。

裏番組の情報を知りたいときは、裏番組 を押してから 青 (番組情報を見る)を押します。(詳しくは **48** ページ)

▼画面表示例

BS101
テレビ

- 放送中の番組を選んだとき
⇨ 選んだ番組が選局されます。
- 放送予定の番組を選んだとき
⇨ 予約選択画面になります。
(**52**ページ)

電子番組表（EPG）の例

選んでいる番組の情報　　カラーボタンに対応

ジャンル別番組表

(詳しくは**46**ページ)

ジャンル別に一覧表示された番組から、▲▼で選び、決定 を押す

ジャンル名

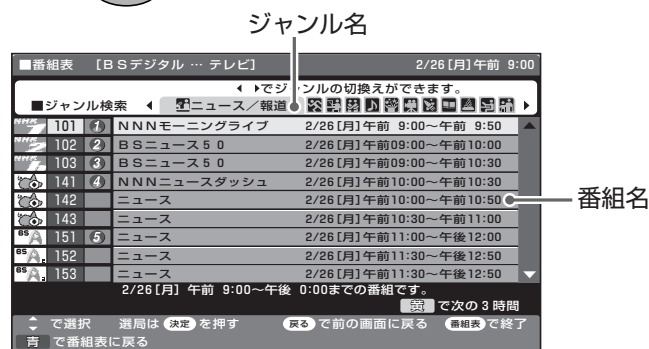
(例) 緑 ◯ で前の３時間　黄 ◯ で次の３時間

日時指定した番組表

(詳しくは**45**ページ)

◀▶ で日付と時間帯を指定して番組を選び、決定 を押す

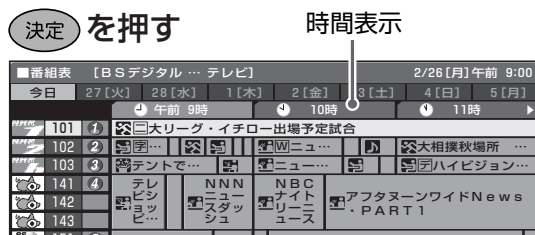
時間表示

(例) 緑 ◯ で日付を選ぶ　黄 ◯ で時間を選ぶ

電子番組表(EPG)に表示されるアイコン

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	ニュース／報道		映画
	スポーツ		アニメ／特撮
	情報／ワイドショー		ドキュメンタリー／教養
	ドラマ		劇場／公演
	音楽		趣味／教育
	バラエティ		福祉

番組情報を示すアイコン

アイコン	内　容
	視聴予約している番組
	録画予約(ビデオ連動予約)している番組
	録画予約(i.LINK予約)している番組
	有料放送、または、PPV(ペイパービュー)番組
	i.LINKによるデジタルコピーが、禁止の番組
	i.LINKによるデジタルコピーが、1回のみ可能な番組

番組を予約（視聴予約・録画予約）する

放送予定の番組を予約します。
放送予定の番組を選んで 決定 を押します。

▼予約選択画面

番組の予約方法を選んでください。
視聴予約　録画予約　予約しない

(詳しくは **52** ページ)

予約を確認する

黄 ◯ （予約リスト）を押します。
予約済み番組の確認、取り消し、変更ができます。

▼予約リスト画面

■番組表 [ＢＳデジタル … テレビ] 2/26[月]午前 9:00
■予約リスト 予約内容の確認・変更・取消ができます。

	放送時間	ＣＨ	番組名
視聴	2/26[月]午前 9:30〜午前 9:50	[BS102]	
録画	2/26[月]午前10:00〜午前10:30	[BS103]	新春、芸能人大集合
視聴	2/26[月]午前11:00〜午前11:30	[BS141]	この町、あの町、ぶらり…
視聴	2/26[月]午前11:30〜午前11:50	[BS142]	Ｋ－５格闘技選手権

(詳しくは **58** ページ)

次ページへつづく

電子番組表(EPG)について(つづき)

電子番組表(EPG)から番組を予約する

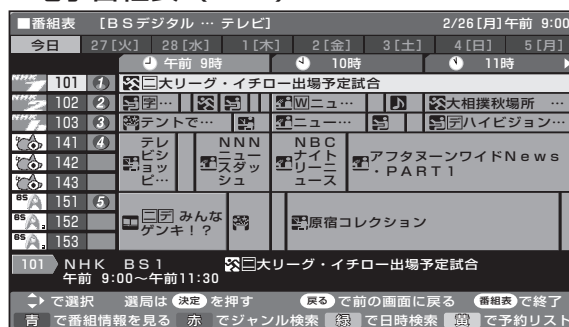
■ デジタル放送の番組を電子番組表(EPG)から予約して視聴したり、外部録画機器に録画できます。
■ 予約の種類は「視聴予約」と「録画予約」の2種類があります。

番組予約(「視聴予約」と「録画予約」)の手順

くわしくは.
49〜57ページ

1 デジタル放送を視聴中に 番組表 を押して電子番組表(EPG)を表示させる

▼電子番組表（EPG）

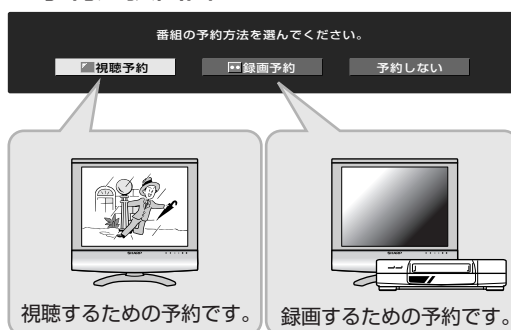
■番組表　［ＢＳデジタル … テレビ］　2/26［月］午前 9:00
今日　27［火］　28［水］　1［木］　2［金］　3［土］　4［日］　5［月］
午前 9時　10時　11時
101　大リーグ・イチロー出場予定試合
102　大相撲秋場所
103　テントで…　ニュー…　ハイビジョン…
141　テレビショッピ…　NNNニュースダッシュ　NBCナイトリーニュース　アフタヌーンワイドNews・PART1
151　みんなゲンキ！？　原宿コレクション
101　NHK　BS1　午前 9:00〜午前11:30　大リーグ・イチロー出場予定試合
で選択　選局は 決定 を押す　戻る で前の画面に戻る　番組表 で終了
青 で番組情報を見る　赤 でジャンル検索　緑 で日時検索　黄 で予約リスト

2 番組を選ぶ（日時指定やジャンル検索もできます）（43〜48ページ）

3 予約の方法を選ぶ（49ページ）

視聴予約：
予約した時刻になると、予約した番組に切り換わります。

◎ 視聴予約の手順はここまでです。以下の手順は必要ありません。

録画予約：
予約した時刻になると、予約した番組が録画出力端子または i.LINK端子から出力されます。

▼予約選択画面

4 録画機器を選ぶ（54〜58ページ）

ビデオ連動予約：
予約した時間にあわせ、ビデオ機器をビデオコントロール信号で録画開始、終了します。

i.LINK予約：
予約した時間にあわせ、i.LINK接続に対応した機器を録画開始、終了します。

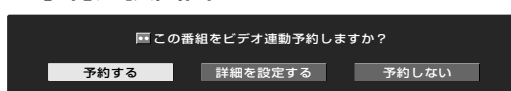
予約しない：
予約をしないで、番組表に戻ります。

▼予約選択画面

5 予約の方法を選ぶ（54・55ページ）

予約する（→次ページの 7 へ）：
無料放送や契約済みの番組を簡単予約します。

詳細を設定する（→次ページの 6 へ）：
録画する音声や録画機器の選択、PPVの事前購入などを行います。

▼予約選択画面

6 「詳細を設定する」を選んだ場合は(55～57ページ)

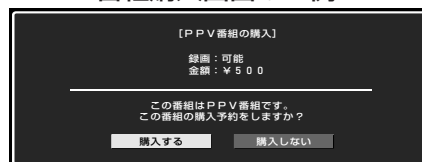
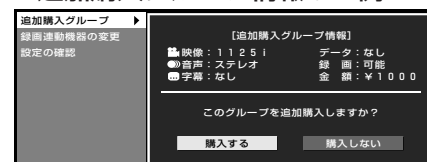
受信契約の確認、PPVの事前購入

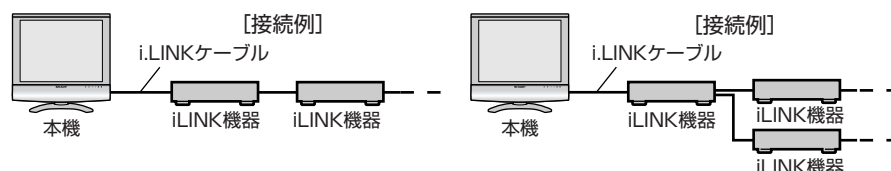
●BSデジタル放送の視聴契約
BSデジタル放送は、有料放送と無料放送があり、有料放送には、あらかじめ契約して視聴する番組と、番組単位で購入して視聴するPPVがあります。

●110度CSデジタル放送の視聴契約
110度CSデジタル放送は有料放送で、各放送局との個別受信契約が必要です。その他に、番組単位で購入して視聴するPPVがあります。

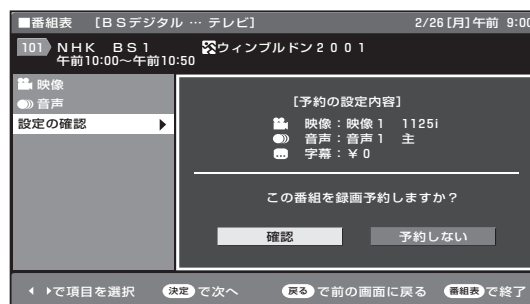
映像・音声の選択と、購入設定

●映像や音声について
デジタル放送の一部の番組では、マルチビューや副映像、副音声などの情報が同時に送られてきます

▼PPV番組購入画面の一例

▼追加購入グループ情報の一例

録画機器の選択

●複数のi.LINKを接続しているときは、録画するi.LINK機器を選びます。

7 予約した内容を確認する (58ページ)

予約した番組の詳細を確認します。

8 予約完了

デジタル放送の録画に関するご注意

デジタル放送のほとんどの番組には「1回だけ録画」のコピー制御信号が加えられています。この信号とともに録画された番組は、他のデジタル機器へのダビングができません。

- ビデオ2入力/モニター出力/デジタル放送録画端子から、デジタルメニュー画面、電子番組表、データ放送画面、字幕などの画面表示も出力されます。
- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。
- 契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。
- 番組が開始する2分前までに予約を完了してください。開始2分前になると、予約ができません。
- 録画予約を選択した場合、録画開始2分前になると、選局、メニュー操作などのデジタルに関するリモコン操作を受けつけなくなります。また、予約録画の実行中もリモコン操作を受けつけません。
  操作を行う場合は、デジタルに関するリモコン操作をし、そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押して予約を解除してください。

もくじ

操作ガイド　2～7ページ

はじめに　11～34ページ

デジタル放送の視聴と予約　35～58ページ

デジタル放送の設定をする 59～88 ページ

他の機器をつないで使う 89～126 ページ

次ページへつづく

もくじ(つづき)

調整と設定　127～158ページ

調整と設定 (つづき)

情報ページ　159～183ページ

● 本機を廃棄または譲渡する場合には、個人情報の消去(初期化)をお願いします。(**74**ページ)

※ 本取扱説明書に記載している画面表示は説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。

本機の特長

20V型液晶パネルを搭載

- ASV※方式低反射ブラックTFT液晶により広視野角、高コントラストを実現。
- 高効率バックライトシステムにより、高輝度を実現。

※ ASV…Advanced Super View の略

80Wの低消費電力を実現

地上/BS/CS110度デジタル放送対応

PC入力対応アナログRGB端子を装備

チャイルドロック

- お子様が本体のボタンをさわっても操作を無効にできます。☞156ページ

映像ポジション

- 番組やソフトの内容にあわせ、最適な映像設定を選べます。

標準
ダイナミック
ダイナミック(固定)
映画
ゲーム

☞143ページ

音声出力可変

- お手持ちのステレオで音を聞くとき、テレビのリモコンで音声が変わります。☞115ページ

明るさセンサー

- お部屋の明るさに応じて画面の明るさを調整します。☞136ページ

時刻表示

- リモコンの画面表示ボタンで、時間を表示させることができます。☞34ページ

入力スキップ

- ふだん使わない入力や放送を飛び越して選択できます。

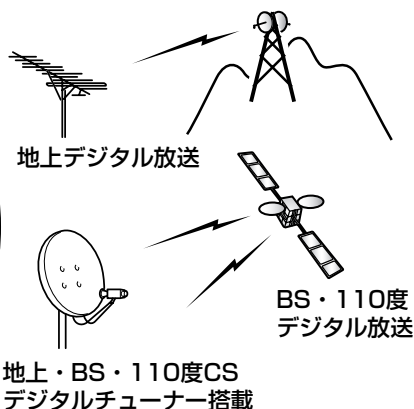
☞142ページ

横幅をとらない
アンダースピーカーを採用

地上・BS・110度CS
デジタルチューナー搭載

オンタイマー

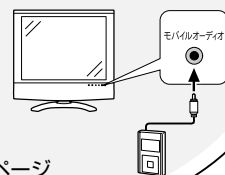
- 指定時間後に自動的に電源を入れる機能です。テレビをめざまし時計のかわりに使うときなどに便利。

☞133ページ

モバイルオーディオ入力端子を装備

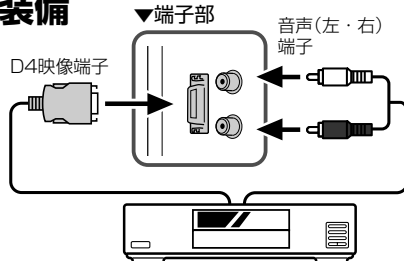
- ケータイやポータブルオーディオをつないで本機のスピーカーで楽しめます。

☞124ページ

オフタイマー

- 指定時間後に自動的に電源を切る機能です。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利。

☞135ページ

D4映像端子を装備

- D端子対応のDVDプレーヤーなどを接続し、D4映像端子からの映像を再生できます。

安全上のご注意

ご使用前に**「安全上のご注意」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、つぎのように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
（図記号の一例です）

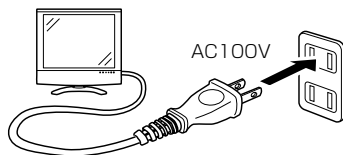
 記号は、気をつける必要があることを表しています。

 記号は、してはいけないことを表しています。

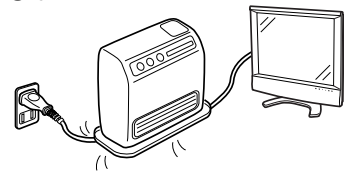
 記号は、しなければならないことを表しています。

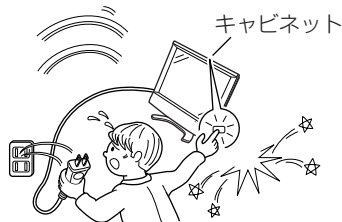
警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

100ボルト以外禁止

火災・感電の原因となります。

電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

禁止

火災・感電の原因となります。

落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

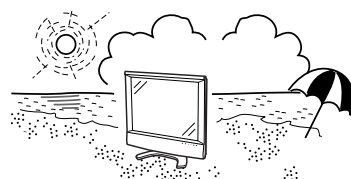
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

テレビに水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

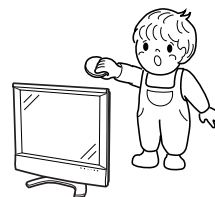
⚠警告

内部に水や異物が入ったときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

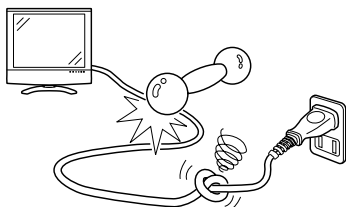
電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

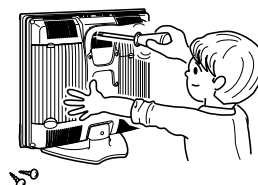
異物を入れない

禁止

通風孔(裏ぶたのすき間)などからものを入れると、火災・感電の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

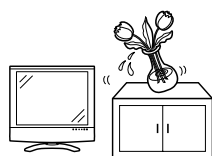
電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

禁止

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

本機の裏ぶたを外したり、改造したりしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店にご依頼ください。

本機のそばに花びん等、水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

風呂やシャワー室では使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

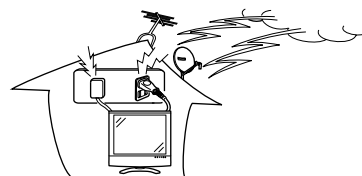
火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

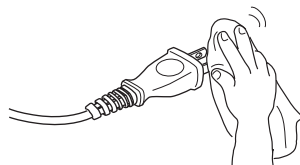
禁止

落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線やプラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

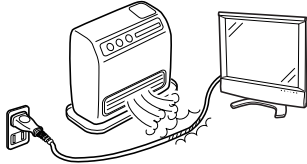
電源プラグの刃や刃の付近に、ホコリや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて乾いた布で取り除く

ほこりを取る

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

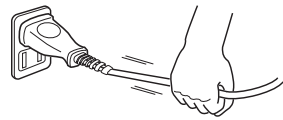
安全上のご注意(つづき)

⚠注意

電源コードを熱器具に近づけない

禁止

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

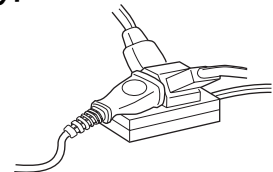
禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

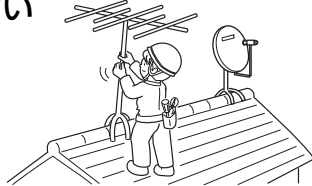
ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

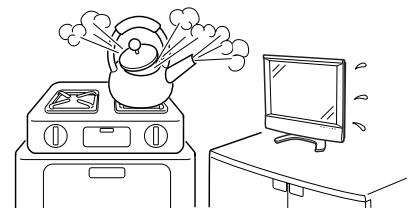
タコ足配線をしない

禁止

火災・感電の原因となることがあります。

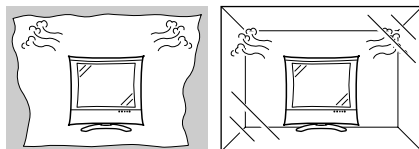
アンテナ工事は、技術経験が必要ですので販売店にご相談ください

離して配置

- 送配電線の近くに設置してしまうと、アンテナが倒れた際に感電の原因となることがあります。
- BS・110度CSデジタル放送受信アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取り付けてください。

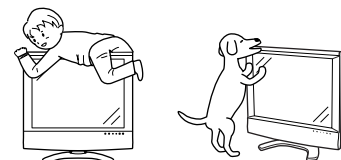
湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない

禁止

調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

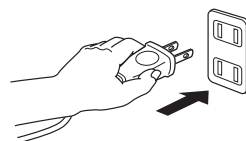
風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

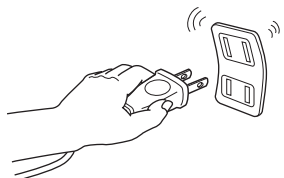
禁止

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

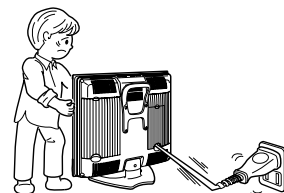
電源プラグは確実に差し込む

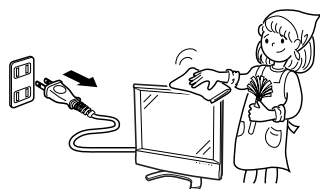
確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

⚠ 注意

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

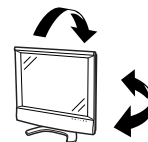
禁止

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店に交換の依頼をしてください。

移動させるときは、接続されている線などをすべて外す

接続線を外さないで移動させると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

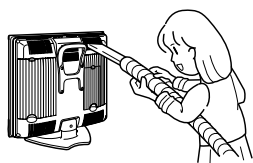
お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

感電や火災の原因となることがあります。

スタンドの角度を調整するときは注意する

手を挟まれないよう注意

指のケガに注意

手や指がはさまれてけがの原因となることがあります。また無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。

通風孔に付着したホコリやゴミをこまめに取り除く
内部の掃除は販売店に依頼する

注意

内部や通風孔にホコリをためたまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除費用については、販売店にご相談ください。

液晶画面に衝撃を与えない（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない。）

禁止

液晶画面のパネルが割れることがあります。

お客さままたは第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意(つづき)

電池についての安全上のご注意

液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

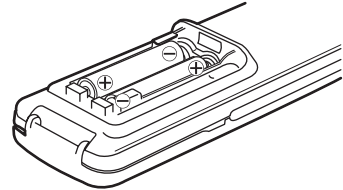
⚠注意

電池は幼児の手の届く所に置かない。

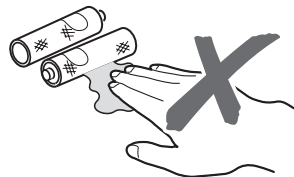
禁止

電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

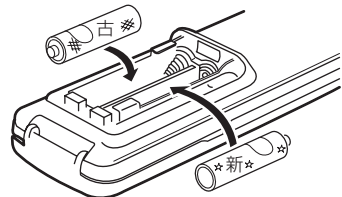
電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる。

表示どおり
に入れる

間違えると電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

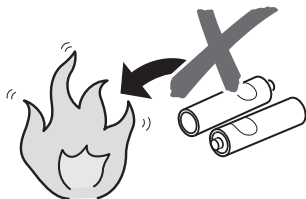
電池の液がもれたときは素手でさわらない。

禁止

- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

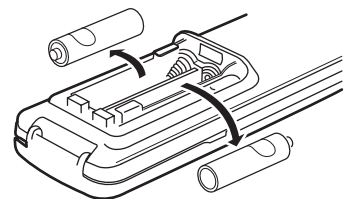
指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない。

禁止

電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない。

禁止

電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

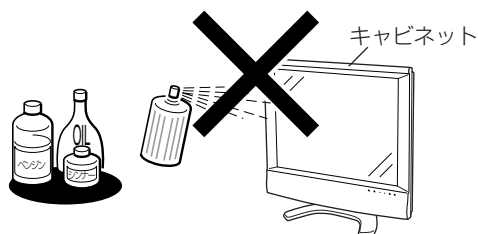
電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す。

指示

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

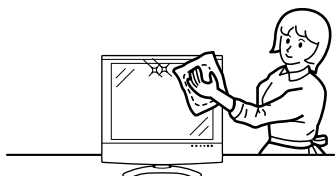
使用上のご注意

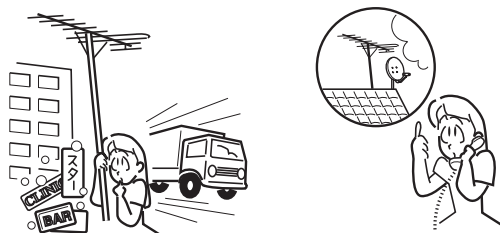
守っていただきたいこと

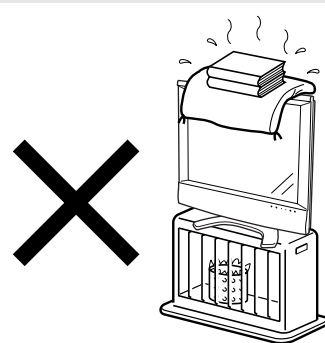
キャビネットのお手入れのしかた

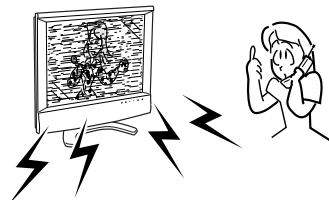
- キャビネットにはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどで拭いたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

- 汚れはネルなど柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた布で仕上げてください。

液晶ディスプレイパネルのお手入れのしかた

- お手入れの際は、必ず本体天面の電源(押・入-切)スイッチを「切」にし、コンセントから電源プラグを抜いてから行ってください。
- 本機のディスプレイパネルの表面は、柔らかい布(綿、ネル等)で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭いたり、強くこすったりすると、パネルの表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 汚れがひどい場合は、柔らかい布を軽く水で湿らせて、そっと拭いてください。(強くこすったりすると、ディスプレイパネルの表面に傷が付いたりしますので、ご注意ください。)
- ディスプレイパネルの表面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。
- ディスプレイパネルの保護のため、ホコリのついた布や洗剤、化学雑巾などを使わないでください。パネルの表面がはく離することがあります。

アンテナについて

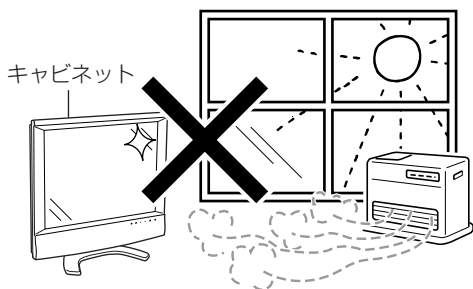
- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ線には、必ず専用のケーブルを使用してください。(1. 準備編 15ページ参照)
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、販売店にご相談ください。

設置について

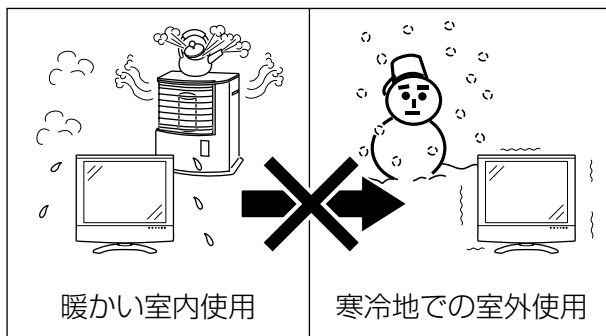
- 発熱する機器の上には本機を置かないでください。
- 本機の上には物を置かないでください。

電磁波妨害に注意してください

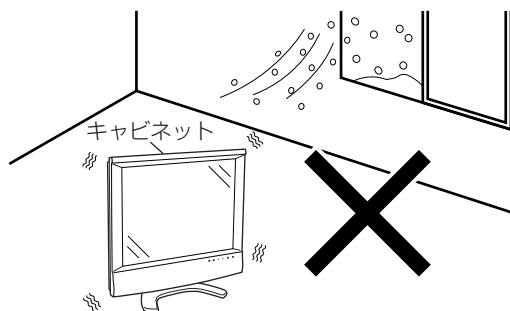
- 本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

使用上のご注意(つづき)

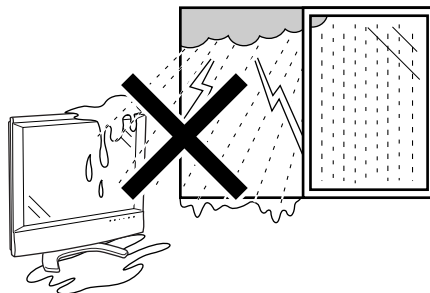
守っていただきたいこと

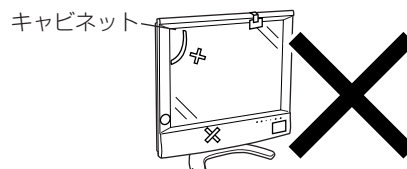
直射日光・熱気は避けてください

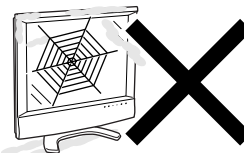
- 窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は避けてください

- 急激な温度差がある部屋(場所)でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

低温になる部屋(場所)でのご使用の場合

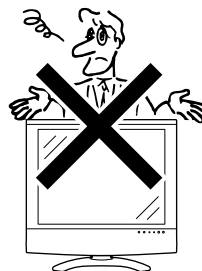
- ご使用になる部屋(場所)の温度が低い場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 低温になる場所には放置しないでください。キャビネットの変形や液晶画面の故障の原因となります。(使用温度:0℃～40℃)

雨天・降雪中でのご使用の場合

- 雨天・降雪中でのご使用の場合は、本機をぬらさないようにご注意ください。

ステッカーやテープなどを貼らないでください

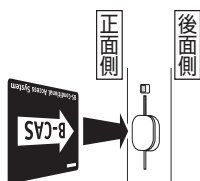
- キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

- この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

守っていただきたいこと

B-CASカードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CASカードの中にはICが内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないよう、方向に注意して行ってください。

正面側
後面側
図のように入れる

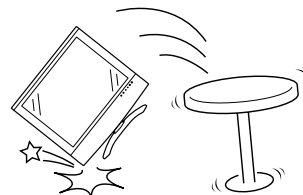
結露(つゆつき)について

- 本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

使用が制限されている場所

- 航空機の中など使用が制限または禁止されている場所で使用しないでください。事故の原因となる恐れがあります。

取扱い上のご注意

- 液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れることがあります。
- 振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。
また、絶対に落としたりしないでください。
故障の原因となります。

使用環境について

- 本機を冷え切った状態のまま室内に持ち運んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

注意

- 周囲温度は0～40℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

注意

- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く

■ 静止画を長時間表示しないでください。残像の原因となることがあります。

蛍光管について

■ 本機に使用している蛍光管には、寿命があります。

- 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管ユニットに取り換えてください。
寿命の目安…約60,000時間（室温25℃で、明るさを「標準」に設定して連続使用した場合、明るさが半減する時期の目安）
- 詳しくは、販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

■ ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面にチラツキが出ることがあります。
この場合、本体天面の電源ボタンをいったん「切」にし、再度電源を入れ直して動作を確認してください。

この取扱説明書の見かた

おしらせ 本取扱説明書では、各種機能の操作説明を、おもにリモコンを使った場合の記述にしています。(本体の操作ボタンを使う場合の説明は、「本体天面の○○ボタンを押す」などの表現にしてあります。)

ダウンロードを行う

ダウンロードの方法

■ ダウンロード機能とは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善等を行うためのもので、その方法には2種類あります。
1つは自動的にダウンロードを行う方法で、もう1つはお客様が必要に応じ、マニュアル選択によりダウンロードすることができる方法です。
なお、お買い上げ時は利便性を考えてダウンロードの選択は「する」に設定されています。

操作開始

1 ①❶メニュー画面から❷「デジタル設定」…選び、❹決定を押す
②…「システム設定」を選ぶ
③…で「ダウンロード設定」を選び、決定を押す

2 で「する」または「しない」を選び、決定を押す

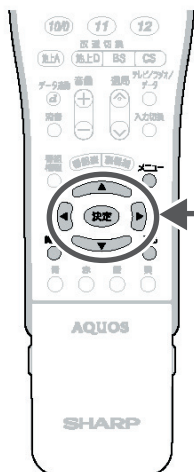
「する」………自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。(工場出荷時の設定)
「しない」……ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

●1つ前に戻る場合は ○ を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

おしらせ
● ソフトウェアの受信(ダウンロード)には、数分程度の時間がかかります。その間は、デジタルリセットボタンの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
● ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定し直してください。
● ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
● ダウンロードは、本機の電源が待機状態(電源ランプが赤または橙色に点灯)のときに実行されます。

次ページへつづく 71

● 番号順に操作してください。
● 機能の概要説明などです。
● 操作するボタンです。
左のイラストのボタンに対応しています。
● 操作するときに使うリモコンのボタンです。※
● テレビ画面に現われる表示です。※
● 操作の結果や補足的な説明です。
● 選択･入力する項目や欄です。
● 下の「本書で使われているマークについて」をご覧ください。

※本書に掲載している画面表示やイラストは、説明のためのものであり、実際とは多少異なります。

本書で使われているマークについて

正しくお使いいただくためのご注意です。

もう少し詳しい説明や、機能の制限事項です。

知っていると便利な情報です。

こんなときは ▶▶▶

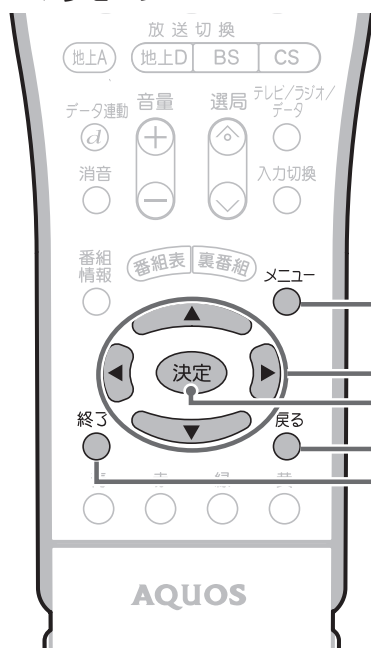
お手入れをするときは
 17ページ

故障かな?と思ったら
 160ページ

分からない用語があるときは
 171ページ

テレビメニューについて

■テレビ画面にメニューを表示させて、リモコン操作で映像や音声などの調整や各種機能の設定ができます。ここではテレビメニューの使いかたについて説明します。詳しくは、それぞれのページをご覧ください。
※デジタル放送を視聴するための調整や設定（デジタルメニュー）については、**24**ページをご覧ください。

テレビメニューの基本操作

テレビメニュー操作に使うリモコンボタン

メニューボタン
- メニュー画面の表示を入／切します。

カーソルボタン（上・下・左・右）
- 上下左右方向にカーソルを移動し、項目を選択します。
- 左右カーソルボタンで、項目の調整を行います。

▶ を押すと、数値が増えます。

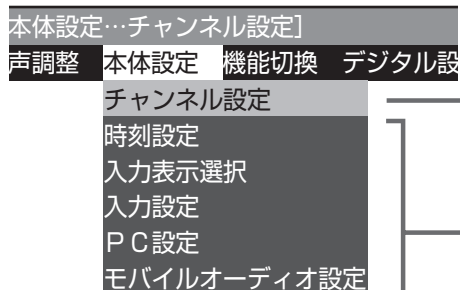
◀ を押すと、数値が減ります。

決定ボタン
- 先に進みます。
- 選んでいる項目を確定します。

戻るボタン
- 1つ前の画面に戻ります。

終了ボタン
- メニューの操作が分からなくなったときなどに使うと便利です。
- メニュー表示を終了するとき、メニューボタンと同じように使えます。

テレビメニュー画面の見かた

▼テレビメニュー画面表示例（部分）

橙色で表示されているところ
- いま選ばれている項目です。
- 決定ボタンを押すと、選ばれている項目の設定画面になります。

白い文字で表示されている項目
- 選択可能な項目です。

メニュー画面の表示時間について
- メニュー画面を表示、設定中に約1分間何も操作をしないと、メニュー画面が解除され通常画面に戻ります。

- 本書に掲載している画面表示のイラストは説明用のものであり、一部拡大や省略をしていますので、実際の画面表示とは多少異なります。
- メニュー画面の表示内容は変更される場合があります。

リセットについて
- リセットのある調整項目では、リセットを選んで決定すると、調整した値を初期値（工場出荷状態）に戻すことができます。

次ページへつづく

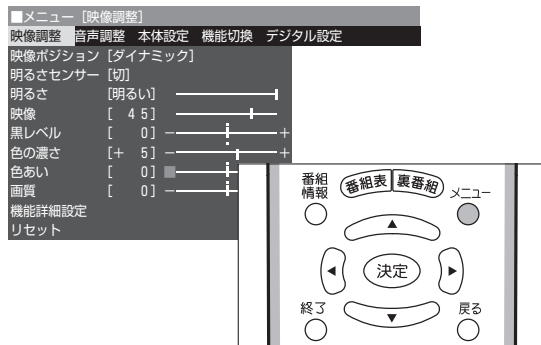
テレビメニューについて(つづき)

テレビメニュー画面と設定画面の基本操作

[例]「ワイド」の設定

操作開始

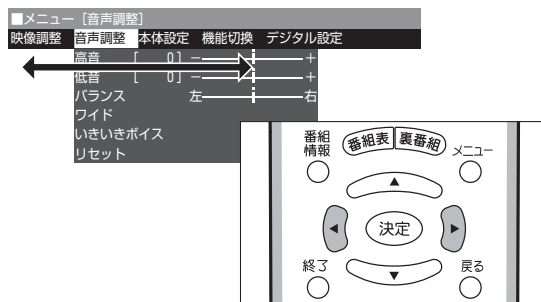
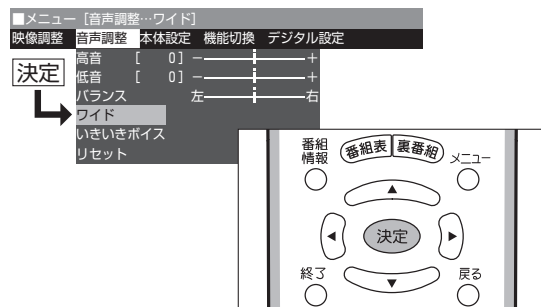
1

① メニュー ○ を押し、メニュー画面を表示する

② メニュー画面からメニュー項目を選ぶ

③

④ 決定

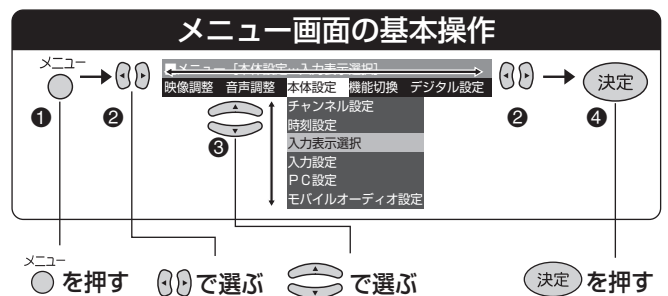
2 設定画面で設定する

①

メニューによっては、カーソルボタンの左右で選ぶ場合もあります。

②

3 メニュー ○ または 終了 ○ を押し、通常画面に戻す

操作終了

■本文中の説明では操作手順を図式化しています。

■天面ボタンでもメニュー操作できます。

※ リモコンが使えなかったりしたときなど、天面ボタンでもメニュー操作できます。

天面ボタン	− 音量 +	∨ 選局 ∧	メニュー	入力/放送切換(決定)	電源
リモコンボタン			メニュー	決定	電源
機能	カーソル左・右	カーソル上・下	メニュー入・切	決定	電源入・切

テレビメニュー項目の一覧

■メニュー

映像調整　音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定

映像調整

映像をお好みの状態に調整する項目です。

映像ポジション……**144**ページ
明るさセンサー……**136**ページ
明るさ……**137**ページ
映像……**145**ページ
黒レベル……**145**ページ
色の濃さ……**145**ページ
色あい……**145**ページ
画質……**145**ページ
機能詳細設定……**147**ページ
リセット……**21**ページ

※PCモードでは、「明るさセンサー」、「明るさ」、「機能詳細設定」の「色温度」のみ調整できます。

■リセットが有効な項目
・映像調整
明るさ※1、映像、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、赤※2、緑※2、青※2
・音声調整
高音、低音、バランス
・本体設定
水平位置※3、垂直位置※3、クロック周波数※3、クロック位相※3

※1 「明るさセンサー」を「切」に設定している場合のみ有効
※2 「機能詳細設定」の「色温度」を「ユーザー設定」にしている場合のみ有効
※3 「PC設定」の中の「画面調整」の項目

本体設定

おもに設置調整に関する機能の項目です。

チャンネル設定……1. 準備編 **25**ページ
時刻設定……**33**ページ
入力表示選択……**140**ページ
入力設定……**95・142**ページ
PC設定……**122**ページ
モバイルオーディオ設定……**125・126**ページ

音声調整

音声をお好みの音質に調整する項目です。

高音……**153**ページ
低音……**153**ページ
バランス……**153**ページ
ワイド……**153**ページ
いきいきボイス……**154・155**ページ
リセット……**21**ページ

デジタル設定

デジタル放送に関する項目です。

デジタルメニューへ……**24**ページ
i.LINK自動切換……**114**ページ
デジタル固定……**100**ページ

機能切換

本機のいろいろな機能の設定項目です。

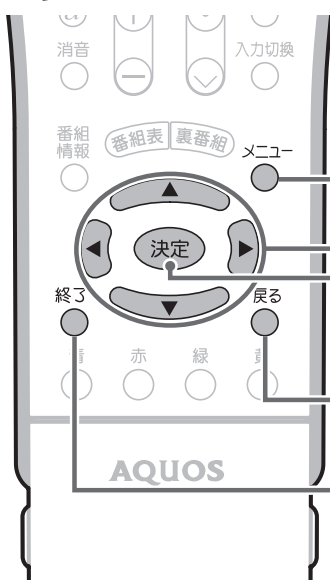
画面サイズ……**130**ページ
画面サイズ検出……**131**ページ
映像入／切……**150**ページ
ブルーバック……**151**ページ
オフタイマー設定……**135**ページ
オンタイマー設定……**133**ページ
省エネ設定……**121・138**ページ
映像反転……**152**ページ
チャイルドロック……**156**ページ

デジタルメニューについて

■アンテナ設定や暗証番号の設定など、デジタル放送などの視聴に関連した各種設定および設定内容の変更・確認、また受信した各種データの表示などをデジタルメニューを使って行います。操作手順の詳細については、それぞれのページをご覧ください。

デジタルメニューの基本操作

■デジタルメニューは、デジタル放送画面でしか表示できません。画面に「放送が受信できません」と表示されていても、デジタルメニューは操作できます。
■デジタルメニューは、テレビメニュー内、デジタル設定の「デジタルメニューへ」の項目を選んで、決定ボタンを押すと表示されます。

▼リモコン

デジタルメニュー操作に使うリモコンボタン

メニューボタン
● メニュー画面の表示を入／切します。

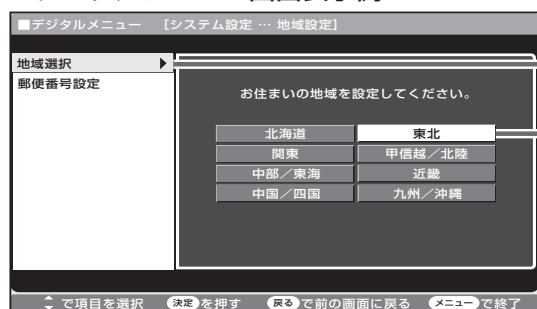
カーソルボタン（上・下・左・右）
● 上下左右方向にカーソルを移動し、項目を選択します。

決定ボタン
● 先に進みます。
● 選んでいる項目を確定します。

戻るボタン
● 1つ前の画面に戻ります。

終了ボタン
● メニューの操作が分からなくなったときなどに使うと便利です。
● メニュー表示を終了するとき、メニューボタンと同じように使えます。

デジタルメニュー画面の見かた

▼デジタルメニュー画面表示例

黄色で表示されているところ
● いまカーソルのある項目です。
● 決定ボタンを押すと、選ばれている項目を確定したり、設定画面を表示したりできます。

白で表示されている項目
● 現在の設定です。

メニュー画面の表示時間について
● メニュー画面を表示、設定中に約1分間何も操作をしないと、メニュー画面が解除され通常画面に戻ります。

● 本書に掲載している画面表示のイラストは説明用のものであり、一部拡大や省略をしていますので、実際の画面表示とは多少異なります。

デジタルメニュー項目の一覧

■デジタルメニュー

番組視聴設定　システム設定　外部機器設定　お知らせ

番組視聴設定
- 字幕表示設定
- チャンネル表示設定
- 画面表示設定
- 暗証番号設定
- 視聴年齢制限設定
- ＰＰＶ設定
- 双方向サービス設定

システム設定
- デジタル音声設定
- ダウンロード設定
- 地上デジタル設定
- アンテナ設定
- 通信設定
- 地域設定
- 個人情報初期化設定
- システム動作テスト

外部機器設定
- ｉ．ＬＩＮＫ設定
- ビデオ連動録画設定

お知らせ
- 受信メッセージ一覧
- ボード
- 受信機レポート
- ＩＣカード番号表示
- ＰＰＶ購入履歴

番組視聴設定

外部機器設定

システム設定

お知らせ

地上デジタル放送について

新しい放送サービス

従来のテレビ放送(衛星放送は除く)は「地上波放送」と呼ばれていて、すべてアナログ放送です。
「地上デジタル放送」では、従来のアナログ方式の放送が新しくデジタル方式に変わります。
地上デジタル放送は、2003年12月から東京・大阪・名古屋の3大都市圏の一部地域で開始されています。その他の地域では2006年末までに放送が始まる予定になっています。(2005年9月現在)
高品質な映像と音声、テレビ番組に連動したデータ放送など、いままでの地上アナログ放送にはなかった新しい放送サービスです。

地上デジタル放送の特長

ハイビジョン放送 ……… HDTV(High-Definition Television)とも呼ばれる、高品位テレビのことです。走査線は現行の放送(通常のテレビ放送)の525本に対し、2倍以上の1125本になっています。これにより、大画面で臨場感あふれる、鮮明な映像をお楽しみいただけます。(本機はハイビジョン放送などの高精細映像では表示できません。)

高品質映像 ……… 画像の劣化が少なく、ゴーストなどの影響を受けにくいため、高品質な映像が見られます。また、デジタルハイビジョン放送の高精細な映像も視聴できるようになります。
画面サイズは、従来の4:3から16:9が標準となり、これは画面を見る視界の最適な比率といわれています。大画面で高品質な映像をお楽しみいただけます。(本機の表示能力は1024×768画素の範囲です。)

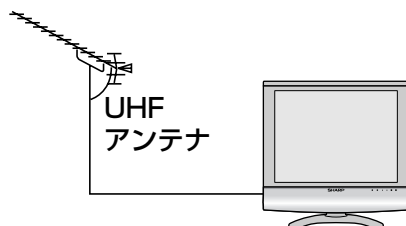
データ放送 ……… 通常のテレビ番組に加えて、地上デジタル放送では連動データ放送が行われています。
画面上でお住まいの地域の天気予報やニュース、生活情報などをいつでもアクセスして見ることができたり、視聴中の番組に関連した情報を同時に表示したりすることができ、スポーツ中継などで応用されています。

双方向サービス ……… 双方向通信を利用したテレビ上でのショッピング、視聴者が参加できるクイズ番組なども放送されています。

- 双方向通信を利用するためには、本機に電話回線を接続して(1. 準備編 **18**ページ参照)、電話回線の設定をしてください。(1. 準備編 **60**～**61**ページ参照)
  また、インターネットサービスプロバイダ(ISP)との契約および設定が必要な場合もあります。(**79**～**83**ページ参照)(※双方向通信には電話料金がかかります。[例]クイズ番組に参加して、答えを送信するときなど。)

多様な放送 ……… 地上デジタル放送では、一度に多くの情報を送ることができるため、1つの放送局が複数の番組を放送する時間帯もあります。
これまでの地上放送にはなかったアイデア豊かな、多様な放送が予定されています。1チャンネルの放送帯域でさまざまな放送の組み合わせが可能となります。(ただし同時に視聴することはできません。)

アンテナについて

● 地上デジタル放送の受信には、UHF対応のアンテナを使用します。
現在お使いのアンテナがUHF対応であれば、そのままご使用になれます。（※一部取り換えや調整が必要な場合もあります。）
VHFアンテナでは受信できません。ご使用のアンテナがVHFアンテナのみの場合は、UHFアンテナの追加が必要になります。
（**ご注意**：アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。）

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始されていますが、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

地上デジタル放送のCATV放送対応について

本機で受信できるケーブルテレビ(CATV)の方式は「パススルー方式」(UHF帯、ミッドバンド[MID]帯、スーパーハイバンド[SHB]帯、VHF帯)です。
※トランスモジュレーション方式には対応していません。

● ARIB放送規格の変更により、メニュー等の仕様が変わる場合があります。

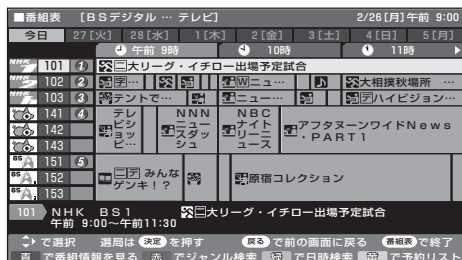
● データ放送(BSデジタル／110度CSデジタル／地上デジタル)の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

BS・110度CSデジタル放送について

BS・110度CSデジタル放送の特長

情報を圧縮して多くのデータを送ることができるため、限られた電波の範囲でつぎのようなたくさんの放送やサービスが提供されます。

テレビ放送 ………… 従来のアナログBS･CS放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。BSデジタル放送ではデジタルハイビジョン放送が7チャンネルあります。（2004年12月現在）

データ放送 ………… 静止画像や文字によって必要な情報をいつでも取り出せる新しい放送です。テレビ放送等と連動したデータ放送と、独立したデータ放送の2種類のデータ放送があります。

ラジオ放送 ………… CD並みの高音質の音楽を含むラジオ放送です。

電子番組表（EPG） ………… デジタル放送では、送られてくるデータの中に番組の情報が含まれています。その番組情報をもとにテレビ画面に番組表を表示したものが電子番組表（EPG）です。
この電子番組表を使って、番組を探したり、番組の内容を確認したり、番組を予約したりすることができます。

（表示例）

臨時編成サービス ………… 野球中継などが延長になった場合、野球中継は継続しながら、別のチャンネルで予定の番組を放送する場合があります。このようなサービスを「臨時編成サービス」といいます。

マルチビューサービス ………… 1つの番組の中で、カメラアングルを変えて3つの場面に分けて放送されるサービスなどを「マルチビューサービス」といいます。
例えば、野球中継で、レフト側観客席から見た映像、ライト側観客席から見た映像、バックネット裏から見た映像の3つの映像が1つのチャンネルで放送されるといった場合です。

● 臨時編成サービス、マルチビューサービスは、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

BSデジタル放送について

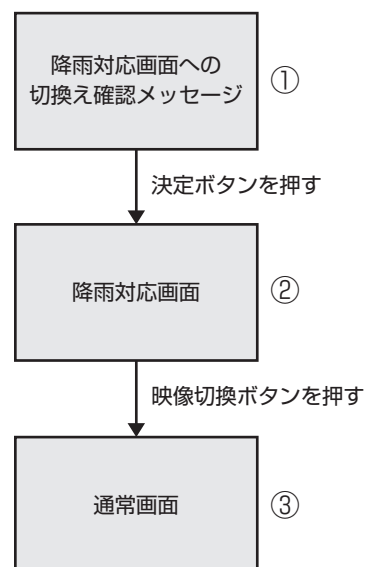
BSデジタル放送のチャンネル番号表

	放送事業者	チャンネル番号		
		テレビ放送	ラジオ放送	独立データ放送
統合(テレビ/ラジオ/データ)	NHK BS1	101	なし	700〜709
	NHK BS2	102		
	NHK ハイビジョン	103 (臨時編成サービス時：104、105)※		
	BS日テレ	140〜143、145〜149 (臨時編成サービス時：144)※	440〜449	740〜749
	BS朝日	150〜157 (臨時編成サービス時：158、159)※	450〜459	750〜759
	BS-i	160〜168 (臨時編成サービス時：169)※	460〜469	760〜769
	BSジャパン	170〜179 (臨時編成サービス時：未定)※	470〜479	770〜779
	BSフジ	180〜187 (臨時編成サービス時：188、189)※	488、489	780〜789
	WOWOW	191、192、193 (臨時編成サービス時：198、199)※	491、492	790〜799
	スターチャンネル	200〜209	なし	800〜809
ラジオ/データ	BSC	なし	300、301	なし
	JFNサテライト	なし	320〜329	620〜629
	WINJ	なし	330〜339	630〜639
データのみ	メガポート放送	なし	なし	900〜909
	ウェザーニュース	なし	なし	910〜919
	デジキャス	なし	なし	930〜939
	日本データ放送	なし	なし	940〜949
	日本メディアーク	なし	なし	960〜969
	日本ビーエス放送	なし	なし	990〜999

※臨時編成サービス：**28**ページをご覧ください。
(2004年12月現在)

BS デジタル放送の降雨対応放送について

BSデジタル放送衛星から送られてくる電波が、激しい降雨によって弱められ、放送を受信できなくなることがあります。これに対応するため、送るデータを少なくすることで映像・音声の内容を途切れなく提供するサービスが「降雨対応放送」です。

- 受信状態が悪くなったときに、降雨対応の番組が放送されている場合、その旨を画面に表示してお知らせします。(右図①)
- リモコンの決定ボタンを押すと、降雨対応の画面に切り換わりますので、途切れることなく番組を視聴できます。(右図②)
- 通常画面に戻すには、リモコンの映像切換ボタンを押してください。(右図③)

- 降雨対応放送は、放送局側でサービスを行っているときのみ視聴可能です。

次ページへつづく

BS・110度CSデジタル放送について(つづき)

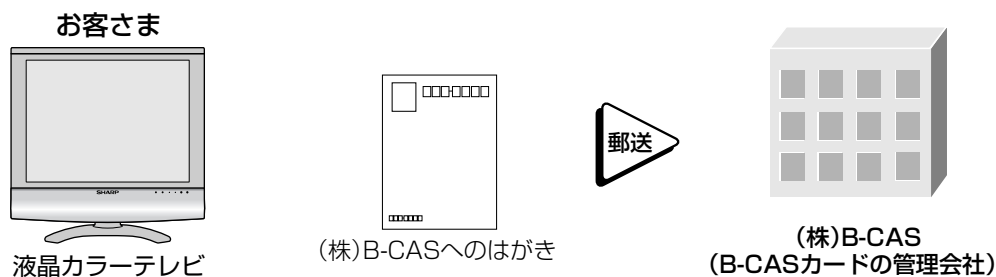
BSデジタル放送の有料放送を視聴するための手続き

■BSデジタル放送の有料放送(WOWOW、スターチャンネル)を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。

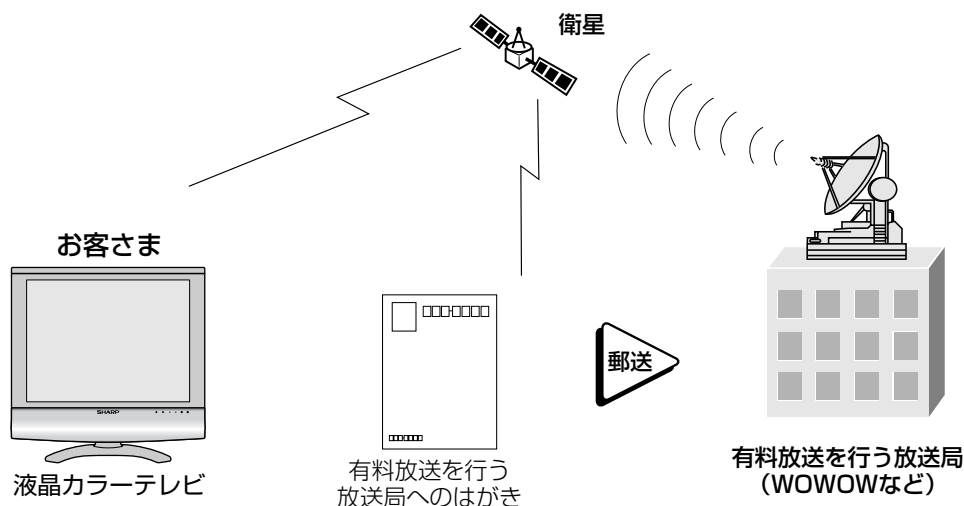
①(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をする

((株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して(株)B-CASと呼びます。)

B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入の上、投函してください。

詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

②視聴したい放送局に申し込む

お客さまが視聴したい番組を放送している放送局の契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。

詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

●本機は、契約データの受信のために、電源「入」以外のときでも一時的に動作することがあります。(この場合、画像が表示されたり音声が出たりはしません。)

BSデジタル放送には無料放送と有料放送（WOWOW、スターチャンネル）があります。有料放送を視聴したいときは、必ず視聴手続きをしてください。未契約で視聴予約、録画予約しても視聴できません。

110 度 CS デジタル放送について

■従来のCS放送とは別の、BSデジタル放送と同じ東経110度の軌道上にある通信衛星(CS)を利用した新しいデジタル放送です。

■110度CSデジタル放送を受信するには、BS・110度CSデジタル放送共用のアンテナ(市販品)が必要です。**従来のCSアンテナやBSアナログ用アンテナでは受信できません。また、ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域(2150MHz)まで対応した機器に交換する必要があります。**

■110度CSデジタル放送は有料です。視聴するためには、各プラットフォーム(スカパー！110、WOWOWデジタルプラス)※との個別受信契約が必要となります。(一部、無料の放送もあります。)

※ 各プラットフォームの社名は、変更される場合があります。

110度CSデジタル放送の専用サービス

110度CSデジタル放送では、つぎのような専用サービスがあります。

■ ご案内チャンネルの表示

お客さまが、未契約の有料放送事業者の放送番組を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内表示に加え、代替番組の視聴案内が表示されます。

(画面例)

■ ブックマーク

コンテンツ画面にブックマークアイコン※が表示されているときは、その情報(ブックマーク記録コンテンツ)を登録しておき、後でブックマークを一覧表示・選択して、関連チャンネルを呼び出したりすることができます。

※「ブックマーク」とは、しおりのことです。画面によっては、特定のページを表示するためのシンボルイラストが表示されます。それが「ブックマークアイコン」です。

■ ボード(掲示板)

いろいろなサービス情報の案内がボード(掲示板)に表示されます。メニューの「お知らせ」からボード画面を呼び出し、サービス情報を見ることができます。

詳しくは**69**ページをご覧ください。

(画面例)

■メニュー [お知らせ … ボード]
情報タイトル
ワールドカップ独占放送
新規契約特典のお知らせ
新規契約特典のお知らせ
新規契約特典のお知らせ
新規契約特典のお知らせ
新規契約特典のお知らせ
新規契約特典のお知らせ
新規契約特典のお知らせ

次ページへつづく

BS・110度CSデジタル放送について(つづき)

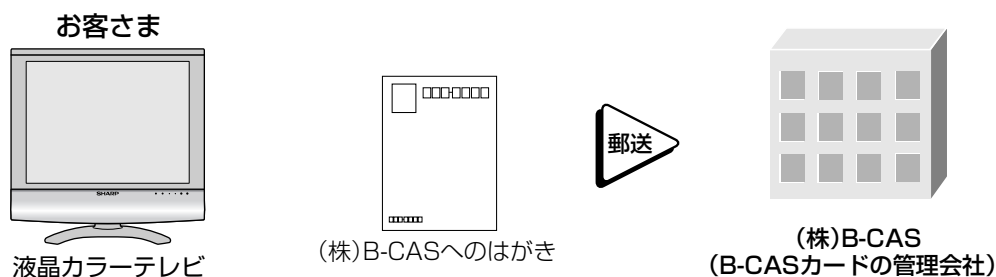
110度CSデジタル放送を視聴するための手続き

■ 110度CSデジタル放送を視聴するには、つぎの2つの手続きが必要です。

①(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにB-CASカードの登録をする

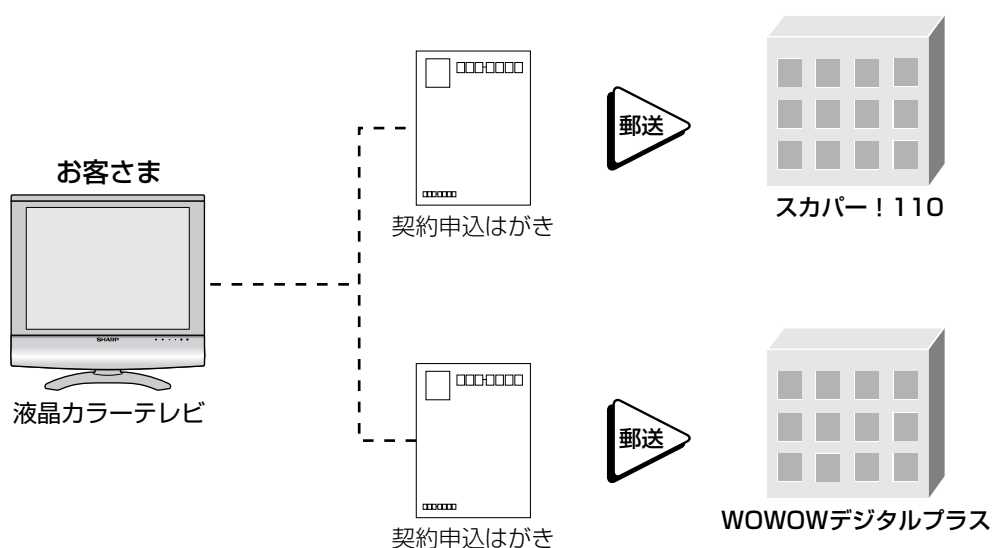
((株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズを略して(株)B-CASと呼びます。)

B-CASカードの台紙の一部が登録用はがきになっています。必要事項をご記入のうえ、投函してください。

詳しくは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターにお問い合わせください。

②視聴したいプラットフォーム(運営会社)に申し込む

110度CSデジタル放送は有料放送です(一部、無料放送もあります)。視聴するためには、各プラットフォーム(スカパー！110、WOWOWデジタルプラス)※と個別に契約することが必要です。

契約したいプラットフォームの契約申込書に必要事項をご記入のうえ、投函してください。

詳しくは、スカパー！110、WOWOWデジタルプラスのカスタマーセンターにお問い合わせください。

※ 各プラットフォームの社名は変更される場合があります。

時刻設定について

■本機は、メニュー画面に現在時刻を表示する時計機能や、指定した時刻に電源を自動的に入れるオンタイマー機能を備えています。これらの機能を使うには、本機の内蔵時計が正しくあっていることが必要です。

■自動時刻設定機能について

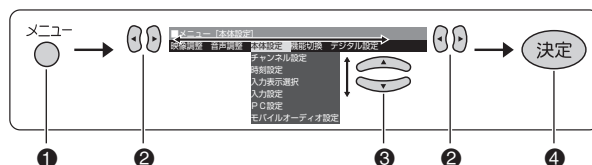
本機はBSデジタル放送などから時刻情報を取得し、内蔵時計を自動設定する機能を備えています。

BSデジタル放送などが受信できない状態にあるときなど、自動設定されていない場合は、下記の手順によりテレビメニュー画面で時刻設定することができます。

テレビメニューで時刻を設定するとき

［例］午前10時30分にあわせる

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「本体設定」ー❸「時刻設定」を選び、❹ 決定 を押す

チャンネル設定
➡時刻設定
入力表示選択
入力設定
ＰＣ設定
モバイルオーディオ設定

2 ▲ ▼ で「時計あわせ」を選び、決定 を押す

■メニュー［本体設定…時刻設定］

●時刻が自動設定されている場合、「時計あわせ」は設定できません。

次ページへ

次ページへつづく

時刻設定について(つづき)

設定できる時刻の範囲

■12時間表示

午前11時59分→午後0時00分(昼の12時)
••• 午後11時00分 •••

午後11時59分→午前0時00分(夜の12時)
••• 午前11時00分 •••

■時刻設定

を押すごとに1分ずつ切り換わり、押し続けると10分単位で切り換わります。

を押すごとに(メニュー内の時刻表示)

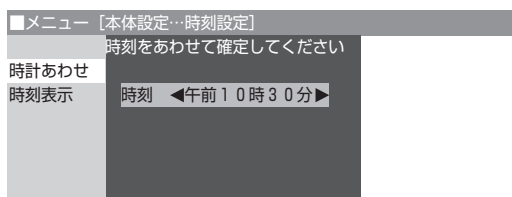
午前0時50分→午前0時51分 •••→午前1時00分 •••

と切り換わります。

を押すごとに

午前1時00分→午前0時59分 •••→午前0時40分 •••

と切り換わります。

3 で「10時30分」にあわせ、決定 を押す

●電話などの時報にあわせて、決定 を押してください。

● 設定後、現在時刻を確認したいときは、画面表示 を押してください。画面右下に現在時刻が表示されます。

操作終了する場合は ▶

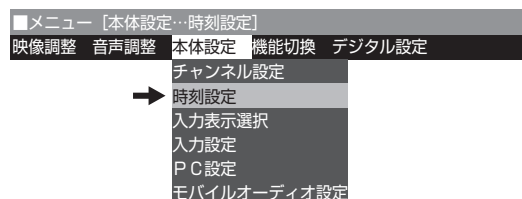
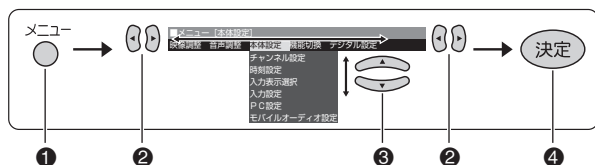
メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

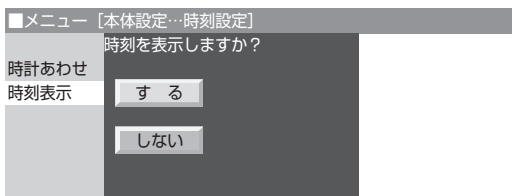
時刻を表示するかしないかを設定する場合

■リモコンの画面表示ボタンを押したときに画面右下に時刻表示が出ますが、この表示を出すか出さないかを設定することができます。

[例] 時刻表示しないとき

操作開始

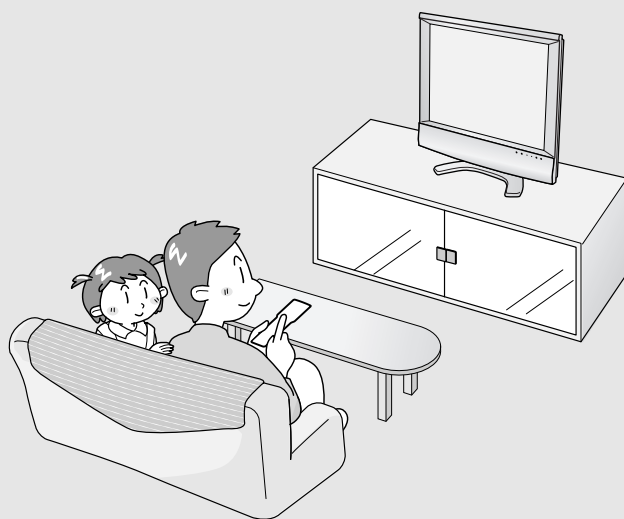
1 ❶メニュー画面から❷「本体設定」ー❸「時刻設定」を選び、❹ 決定 を押す

2 ① ▲ ▼ で「時刻表示」を選び、決定 を押す

② ▲ ▼ で「しない」を選び、決定 を押す

●1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

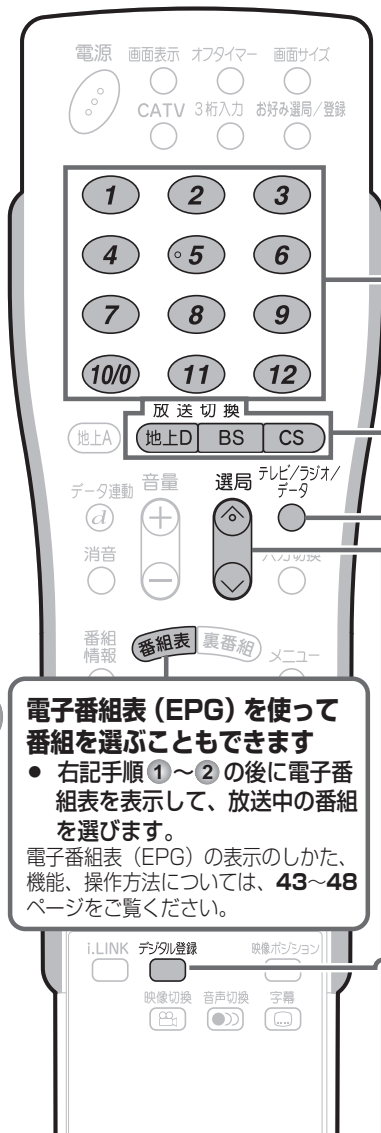
操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

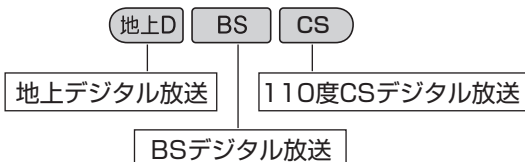
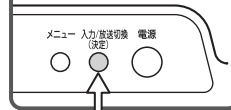
デジタル放送の視聴と予約

● この章では、地上デジタル放送やBS・110度CSデジタル放送の番組の選びかたや番組予約のしかたなどを説明しています。

デジタル放送の番組を選ぶ

番組の選択手順と操作のしかた

フタを開けたところ

操作のしかた

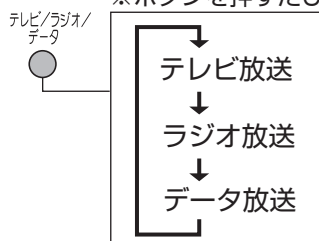
1 ネットワークを選ぶ

放送切換ボタンで、3種類のネットワークから放送の配信ネットワークを選びます。

2 メディアを選ぶ

テレビ／ラジオ／データボタンで、3種類の放送メディアから選びます。

※ボタンを押すたびに切り換わります。

3 視聴したいチャンネルを選ぶ

次のいずれかの方法でチャンネルを選びます。

3 電子番組表（EPG）を使って番組を選ぶこともできます

- 右記手順①～②の後に電子番組表を表示して、放送中の番組を選びます。

電子番組表（EPG）の表示のしかた、機能、操作方法については、**43**～**48**ページをご覧ください。

チャンネルボタン（数字ボタン）で選ぶ

- チャンネルボタンを押してください。
- チャンネルボタンには、各放送局のチャンネルが登録（設定）されており、ワンタッチ選局できます。
- 登録されているチャンネルは画面で確認できます。デジタル登録ボタンを押すと、チャンネルボタンに登録されている放送局の一覧が画面に表示されます。（**38**ページ参照）

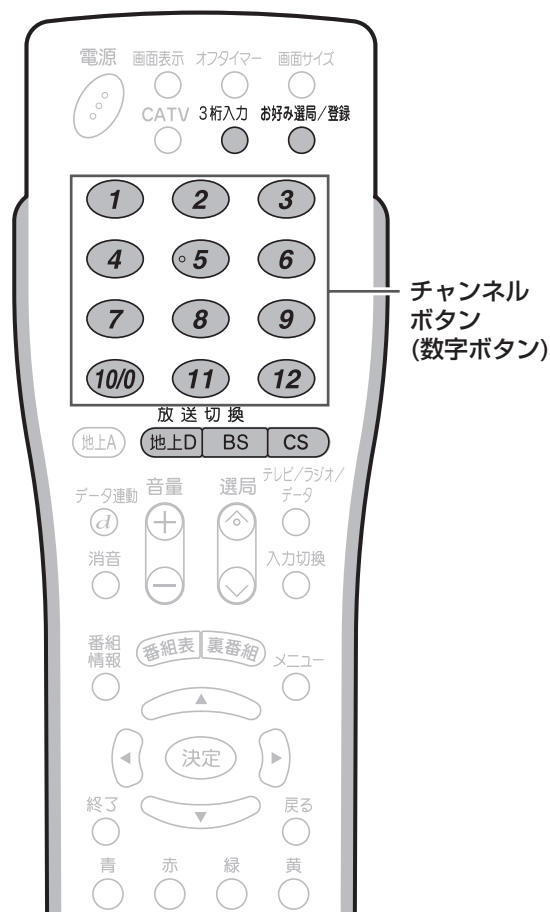
選局（∧順／∨逆）ボタンで選ぶ

- 視聴したい番組が表示されるまで選局（∧順／∨逆）ボタンを押してください。
- 選局（∧順／∨逆）ボタンを押すたびに、視聴中のネットワーク・メディアのチャンネルが、順方向・逆方向に選局できます。

- デジタル放送はB-CASカード（1. 準備編 **41**～**42**ページ）を挿入してご覧ください。挿入しないと視聴できません。
  地上デジタル放送は、地域設定とチャンネル設定（1. 準備編 **43**～**54**ページ）を行うとご覧になれます。なお、放送開始前は設定しても受信できません。
- データ放送の使いかたは、各放送局の番組の作りかたによって異なります。基本的にはカーソルボタン、決定ボタン、カラーボタンなどで操作します。

選局したチャンネルの画面表示例

- BSデジタル放送のテレビ放送「NHK BS1」を選んだとき　BSテレビ　NHK　BS1　1　101
- BSデジタル放送のラジオ放送「BS-i ラジオ」を選んだとき　BSラジオ　BS－i ラジオ　7　461
- BSデジタル放送のデータ放送「日本データ放送」を選んだとき　BSデータ　日本データ放送９４０　4　940

その他の選局方法

お好み選局／登録画面を表示して選ぶ

■デジタルチャンネルが登録されている場合は、お好み選局／登録ボタンを押して、登録されているチャンネルを選局します。（**157**ページ「お好みのチャンネルを登録する」を参照してください。）

操作開始

① お好み選局／登録 **を押して、お好み選局／登録画面を表示する**

② **視聴したいデジタルチャンネルが登録されているチャンネルボタン（1 ～ 12）を押す**

●視聴したいチャンネルがダイレクトに選局できます。

3桁入力で選ぶ

■視聴したい番組の3桁チャンネル番号を入力して選局できます。
チャンネル番号表（**29**・**39**ページ）を参照してください。

操作開始

1 地上D BS CS **のいずれかを押し、ネットワークを選ぶ**

2 ［例］BSデジタル放送の161チャンネル（BS-i）を選ぶとき

① 3桁入力 **を押す**

●画面右上に3桁入力欄が表示されます。

② **数字ボタン 1 6 1 を押す**

●間違った番号を入力した場合は、再度3桁入力ボタンを押すと、入力した番号がクリアされます。

操作終了

つぎの操作手順でも選局できます
① 3桁入力ボタンを押す。
② 放送切換「地上D」「BS」「CS」ボタンでネットワークを選ぶ。
③ 数字ボタンで番号を入力する。

地上デジタルチャンネルの枝番を選んで選局する

■地上デジタル放送を3桁入力で選局したとき、チャンネル番号の重複する放送局がある場合は、4桁め（枝番）を選んで番組を選局します。

●3桁チャンネル番号が重複している場合は、4桁め（枝番）の選択画面が表示されます。

数字ボタン（1 ～ 10/0）で4桁めの数字（枝番）を入力し、選局する

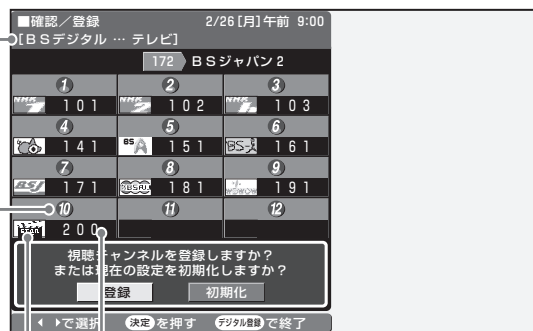
デジタルチャンネルの確認と登録

■ ワンタッチ選局に使うチャンネルボタンに現在登録されているチャンネルを確認することができます。

フタを開けたところ

放送を視聴中に **を押す**

●登録されているチャンネル内容の一覧が表示されます。

〈例〉BSデジタル放送の、テレビ放送の一覧

●確認後、画面表示を消すには、デジタル登録ボタンを押します。

おしらせ

● 各放送のチャンネル確認／登録画面は、デジタル放送を視聴しているときにデジタル登録ボタンを押すと表示されます。
● 確認／登録画面を表示中に、各放送切換ボタンまたはテレビ／ラジオ／データボタン(メディア切換えボタン)を押すと、ネットワーク・メディアが切り換わり、そのチャンネル確認／登録画面が表示されます。

工場出荷時に設定されているデジタルチャンネル一覧

BS(BSデジタル放送)チャンネル

チャンネルボタン	テレビ		ラジオ		データ	
	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK BS1	101	BSC	300	メガポート放送	900
2	NHK BS2	102	—	—	ウェザーニュース	910
3	NHK ハイビジョン	103	JFN衛星放送	320	デジキャス933	933
4	BS 日テレ	141	WINJ	333	日本データ放送	940
5	BS 朝日	151	BS 日テレラジオ	444	—	—
6	BS-i	161	BSAラジオ	455	TiVi!963	963
7	BS ジャパン	171	BS-iラジオ	461	知求チャンネル	999
8	BS フジ	181	BS ジャパンラジオ	471	—	—
9	WOWOW	191	LFX488	488	—	—
10/0	スター・チャンネル	200	BS QR489	489	—	—
11	—	—	WOWOW WAVE1	491	—	—
12	—	—	—	—	—	—

CS (110度CSデジタル放送)チャンネル

チャンネルボタン	テレビ	ラジオ	データ
	チャンネル番号	チャンネル番号	チャンネル番号
1	100	–	–
2	001	–	–
3	–	–	–
4	–	–	–
5	–	–	–
6	–	–	–
7	–	–	–
8	–	–	–
9	–	–	–
10/0	–	–	–
11	–	–	–
12	–	–	–

地上デジタルチャンネル

チャンネルボタン	チャンネル名	チャンネル番号
1	NHK総合・東京	011
2	NHK教育・東京	021
3	—	—
4	日本テレビ	041
5	テレビ朝日	051
6	TBS	061
7	テレビ東京	071
8	フジテレビジョン	081
9	東京MXテレビ	091
10/0	—	—
11	—	—
12	放送大学	121

関東の東京で受信できるチャンネルです。

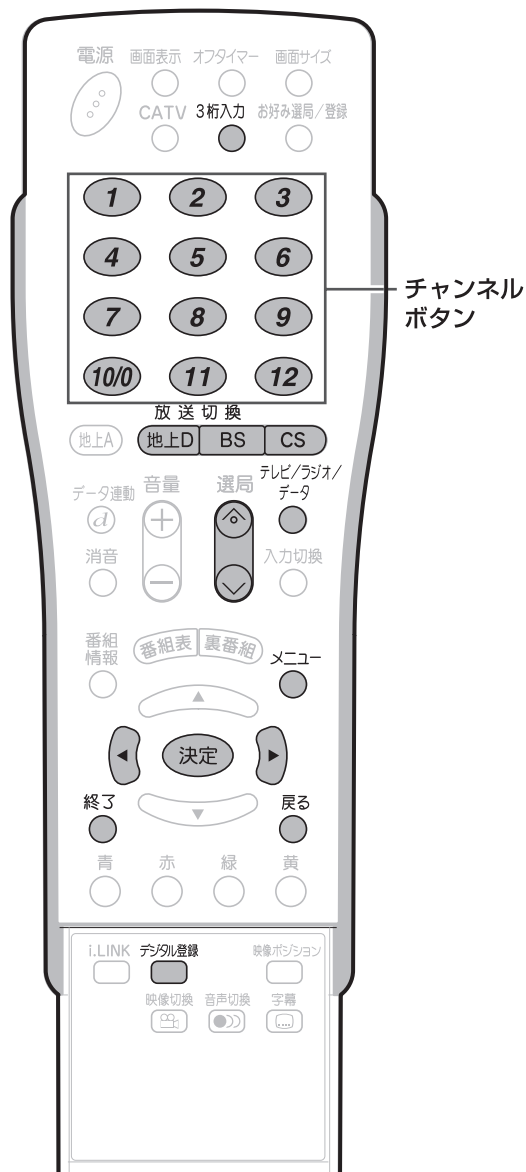
● 上記チャンネルプランは2005年3月現在のもので、変更されることもあります。

次ページへつづく

デジタルチャンネルの確認と登録(つづき)

デジタルチャンネルをチャンネルボタンに登録する

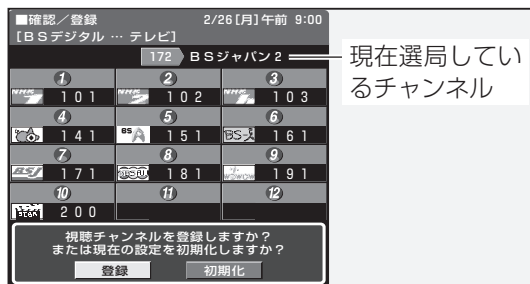
■各デジタル放送ネットワーク(地上D、BS、CS)の各メディア(テレビ/ラジオ/データ)につき、登録したいチャンネルを12局まで、チャンネルボタン(1～12)に登録することができます。

フタを開けたところ

操作開始

1

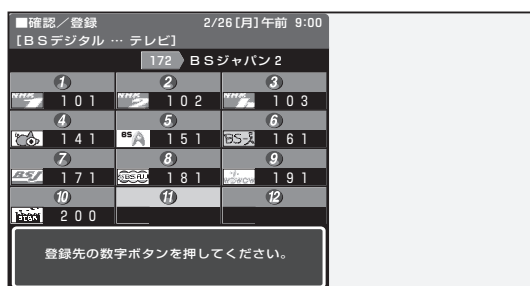
① 登録したいチャンネルを選局する

② デジタル登録 を押す

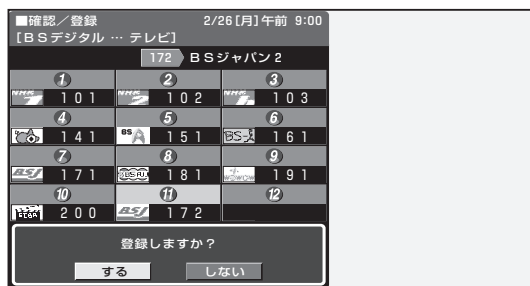
③ ◀ ▶ で「登録」を選び、決定 を押す

●設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「初期化」を選んで決定ボタンを押します。

2

登録したいチャンネルボタン(1～12)を押す

[例]「BSジャパン2」(172チャンネル)を 11 に登録する場合は、チャンネルボタン 11 を押します。

●登録確認画面が表示されます。

3

◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す

映像・音声の切り換えかた

複数の映像(最大4つ)、または副音声(最大8つ)がある番組をご覧のとき、主・副の映像および音声を切り換えて楽しむことができます。

複数の映像を楽しむ

■ 複数の映像のある番組をご覧のとき、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「映像」が表示されます。

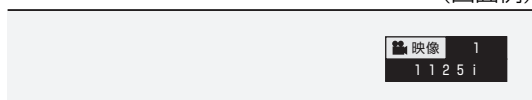
フタを開けたところ

「映像」表示

を押し、映像を切り換える

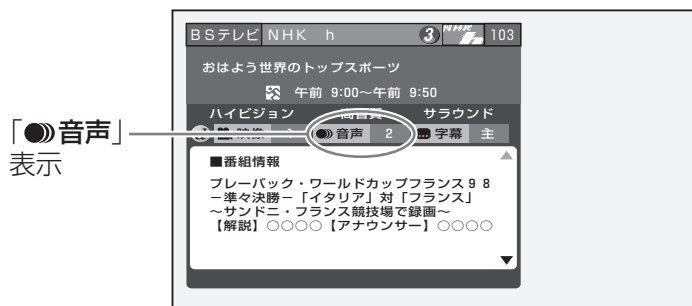
- ボタンを押すたびに映像が切り換わり、画面右上に映像表示がでます。

(画面例)

映像 1
1125i

※番組によって映像の数は異なります。

複数の音声を楽しむ

■ 複数の音声のある番組をご覧のとき、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「音声」が表示されます。

フタを開けたところ

「音声」表示

を押し、音声を切り換える

- ボタンを押すたびに音声が切り換わり、画面右上に音声表示がでます。

(画面例)

マルチ音声番組のとき　→音声1 → 音声2〜8※

※番組によって音声の数は異なります。

二重音声番組のとき　→主 → 副 → 主/副

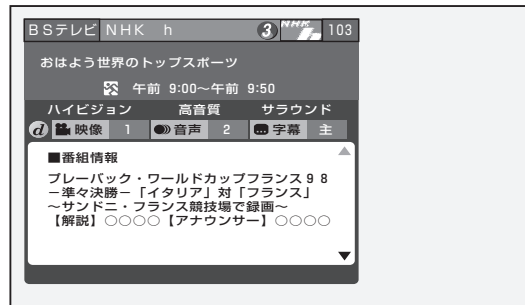
- マルチ音声番組を受信したときは、前回の選択にかかわらず、音声1が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 二重音声やマルチ音声のときの言語表記は、放送に入っているコードによる表示であり、必ずしも表記どおりではないことがあります。
- 録画予約時に「詳細を設定する」を選択していない場合、二重音声の場合は直前に視聴した音声を録画します。その他の場合は、映像1、音声1を録画します。

視聴中の番組の情報を見る

番組情報を表示する

■ 番組視聴中に番組情報ボタンを押すと、画面に番組情報が表示されます。

番組情報 を押し、番組情報を表示する

（番組情報の画面例）

●表示内右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで情報内容の送り・戻しができます。
●番組情報表示を消すときは、もう一度番組情報ボタンを押します。

テレビ放送に連動したデータ放送を視聴する

連動データ放送を見る

■ テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、番組情報ボタンを押すと、チャンネル表示の中に「*d*」マークが表示されます。（放送局によっては表示されない場合があります。）

● 電源を入れた直後やチャンネル切り換えをした直後は、データ連動(*d*)ボタンを押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、テレビ放送受信後しばらく(約20秒)待ってから操作してください。(表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。)

データ連動 *d* を押す

●連動データ放送の画面になります。

（連動データ放送の画面例）

●テレビ放送に戻すときは、もう一度データ連動(*d*)ボタンを押します。

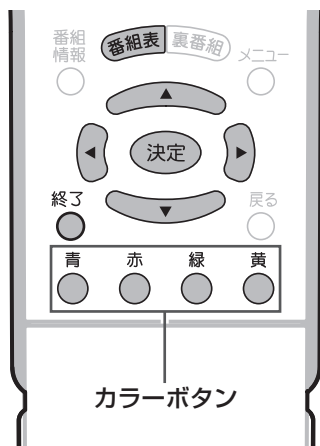
データ放送の基本操作

① で項目を選び、決定 を押す

② カラーボタンに対応した項目のボタンを押す

※データ放送は放送局側で制作したメニュー画面により操作が異なりますので、画面の表示に従って操作してください。

電子番組表(EPG)の使いかた

■デジタル放送では、電子番組表(EPG)の情報が送信されており、見たい番組を探したり、番組情報を見たり、番組を予約したりするのに、この電子番組表を使います。

- 現在カーソルのあるところが黄色で表示されます。
- 縦方向にカーソルを動かすときは、上下カーソルボタンを使います。
- 横方向にカーソルを動かすときは、左右カーソルボタンを使います。

電子番組表の切り換えかた

- 電子番組表(EPG)を表示しているときに放送切換ボタン(地上D ・B S ・CS)、テレビ／ラジオ／データボタンを押すと、他のネットワークやメディアの番組表に切り換えることができます。

カラーボタンについて

- カラーボタンの機能は、表示されている画面によって変わります。
  画面の表示内容を見てボタンを使い分けてください。
- 画面上に機能表示がないカラーボタンは、押しても働きません。

地上デジタル放送の電子番組表について

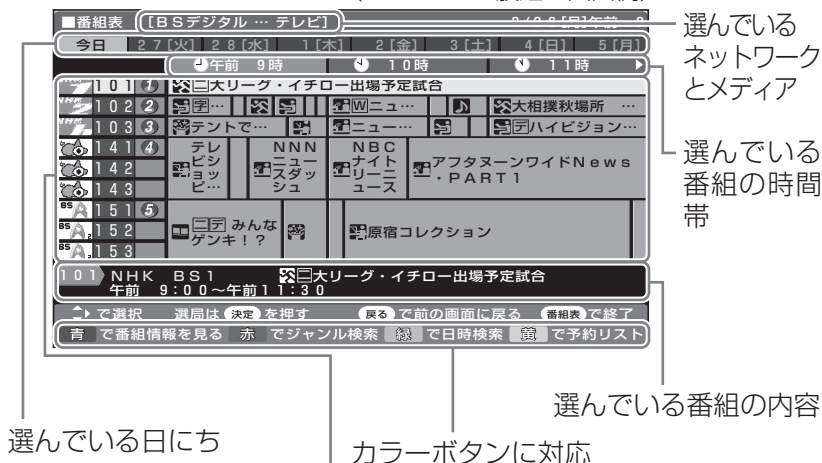
- 地上デジタル放送の電子番組表(EPG)の情報は、送信している各放送チャンネルから取得する必要があります。
  (1. 準備編 **67**ページ参照)

- 受信状態によっては、番組情報を取得できないことがあります。
- 電子番組表(EPG)を表示できるのは、デジタル放送だけです。
- 本書ではおもに、BSデジタル放送の電子番組表の画面例を掲載しています。

1 デジタル放送を視聴中に を押す

電子番組表(EPG)画面が表示されます。

(BSデジタル放送の画面例)

2 で番組を選び、決定 を押す

放送中の番組を選んだとき ⇨ 選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき ⇨ 予約選択画面になります。
(**52**ページ参照)

> **電子番組表(EPG)画面を消すときは**
>
> 番組表 を押します。

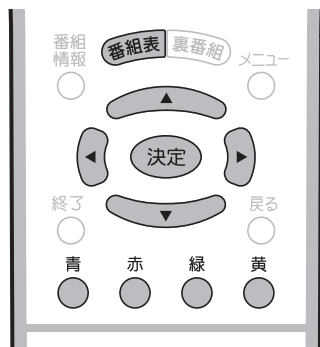
カラーボタンの機能について

青 **(番組情報を見る)**
番組情報が表示されます。

赤 **(ジャンル検索)**
ニュース・報道、映画、音楽、バラエティーなど、番組をジャンル別に探すことができます。

緑 **(日時検索)**
日時を指定して番組表が表示できるので、番組を早く探すことができます。

黄 **(予約リスト)**
予約した番組を一覧表示することができます。
予約リストは予約の取消しや変更に使います。

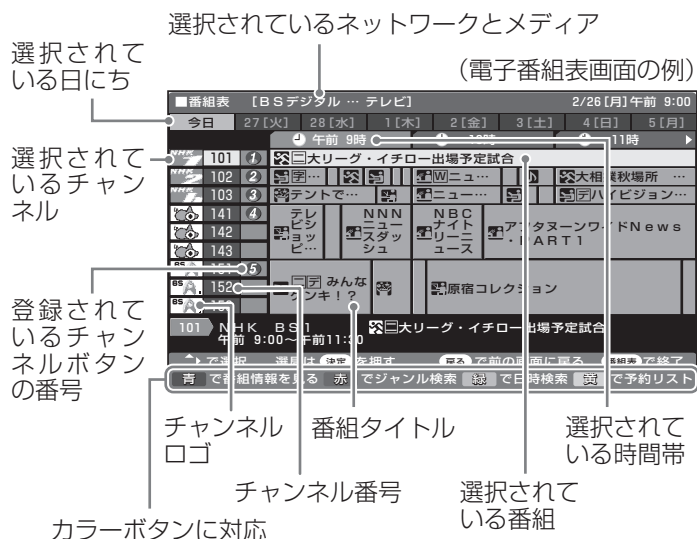
電子番組表(EPG)で選ぶ

見たい番組を探す

電子番組表の表示内容

- テレビ放送……8日分
- ラジオ放送……3日分
- データ放送……最低1日分

※ 電源を入れてからすぐに番組を選んだときは、表示されるまでに時間のかかる場合があります。

操作開始

1 番組表 を押し、電子番組表(EPG)を表示する

2 見たい番組を で選び、決定 を押す

放送中の番組を選んだとき

⇨選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき

⇨予約選択画面になります。(**52**ページ参照)

操作終了

アイコン一覧

■デジタル放送の電子番組表(EPG)や予約リストなどには、いろいろなアイコン(絵記号)が使われています。各アイコンの意味はつぎのとおりです。

番組情報を示すアイコン

アイコン	内　容
	視聴予約している番組
	録画予約（ビデオ連動予約）している番組
	録画予約（i.LINK予約）している番組
	有料放送、またはPPV(ペイパービュー)番組
	i.LINKによるデジタルコピーが禁止の番組
	i.LINKによるデジタルコピーが1回のみ可能な番組

ジャンルを示すアイコン

アイコン	ジャンル	アイコン	ジャンル
	ニュース／報道		映画
	スポーツ		アニメ／特撮
	情報／ワイドショー		ドキュメンタリー／教養
	ドラマ		劇場／公演
	音楽		趣味／教育
	バラエティ		福祉

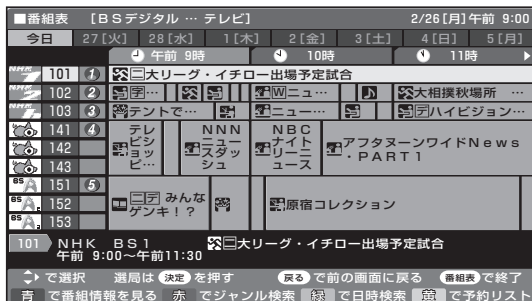
日時を指定して番組を探す

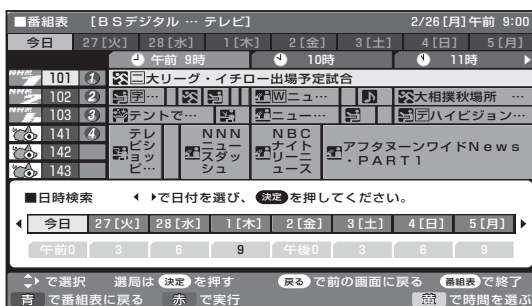
■ 日時を指定して、電子番組表を表示させることができます。

操作開始

1

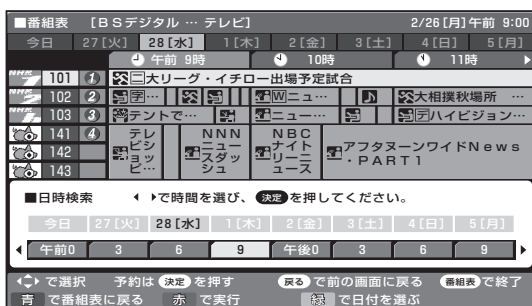
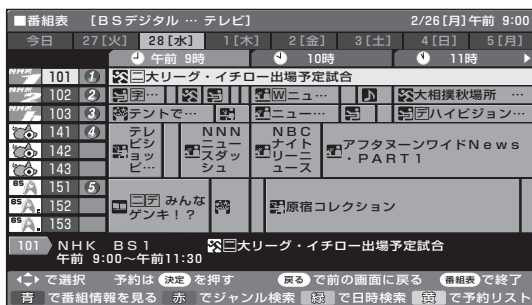
① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 緑(日時検索)を押す

2

◀ ▶ で日にちを選ぶ

●日にちを選んだあとに決定ボタンか赤ボタン(実行)を押すと、選んだ日にちの電子番組表が表示されます。

3

① 黄(時間を選ぶ)を押す

② ◀ ▶ で時間を選び、決定 を押す

●指定された日時の電子番組表が表示されます。

操作終了

次ページへつづく

電子番組表(EPG)で選ぶ(つづき)

ジャンルで番組を探す

■ 番組をジャンル別に表示させて、見たい番組を選ぶ方法です。

操作開始

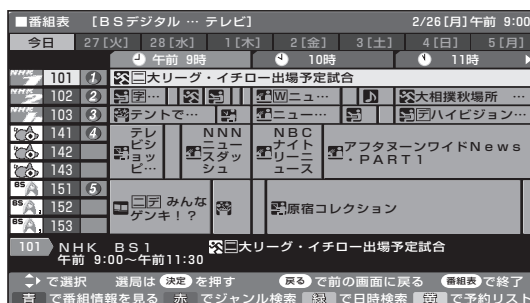
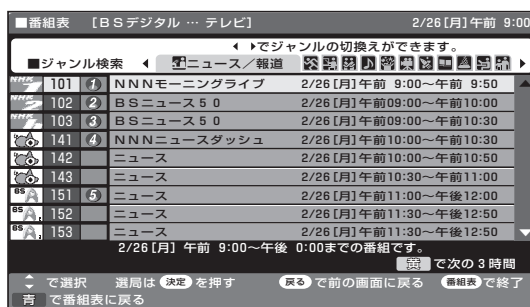
1

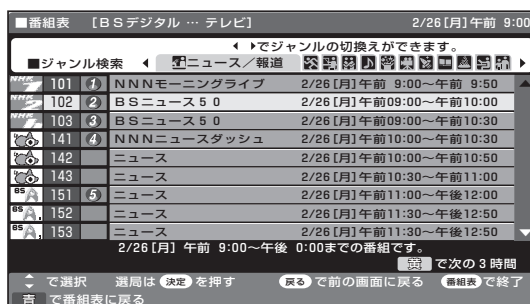
① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 赤 (ジャンル検索)を押す

2

見たいジャンルを ◀ ▶ で選ぶ

3

見たい番組を ▲ ▼ で選び、決定 を押す

●黄ボタン(次の3時間)を押すと、時間帯を3時間先に送ることができます。前の時間帯に戻るときは、緑ボタン(前の3時間)を押します。

放送中の番組を選んだとき

➪選んだ番組が選局されます。

未放送の番組を選んだとき

➪予約選択画面になります。

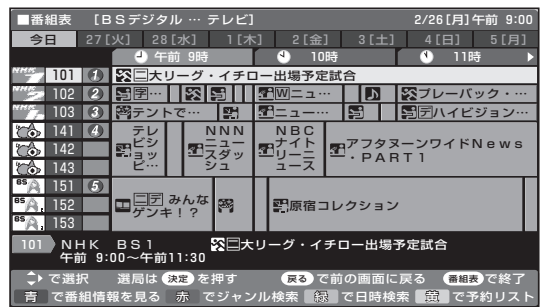
(**52**ページ参照)

操作終了

番組の内容を確認する

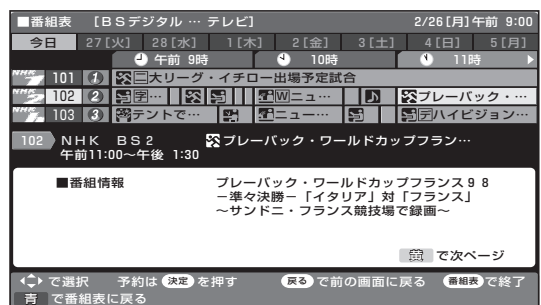
■ 電子番組表で、番組の詳しい情報を見ることができます。

操作開始

1 番組表 を押し、電子番組表を表示する

2 内容を確認したい番組を   ◀ ▶ で選ぶ

3 青（番組情報を見る）を押す

● 番組情報が表示されます。

■番組表 [BSデジタル … テレビ] 2/26[月]午前 9:00
今日 27[火] 28[水] 1[木] 2[金] 3[土] 4[日] 5[月]
NHK BS2 ブレーバック・ワールドカップフラン…
午前11:00～午後 1:30
■番組情報 ブレーバック・ワールドカップフランス９８
－準々決勝－「イタリア」対「フランス」
～サンドニ・フランス競技場で録画～
黄 で次ページ
で選択 予約は 決定 を押す 戻る で前の画面に戻る 番組表 で終了
青 で番組表に戻る

● 番組情報案内に従って、カラーボタン、テレビ／ラジオ／データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。

操作終了

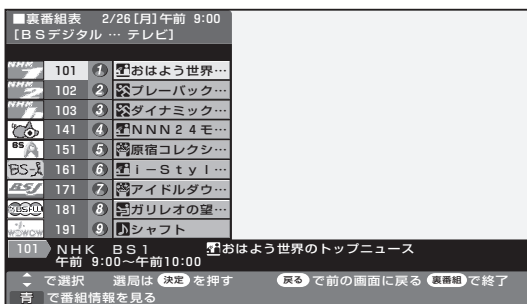
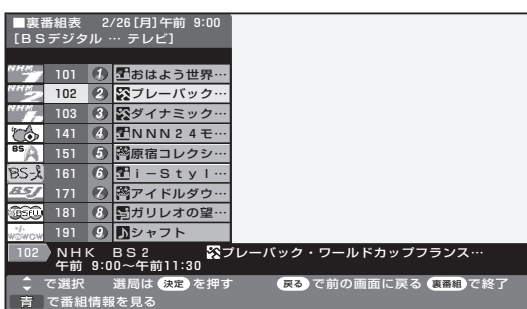
視聴中の番組の内容を見るには

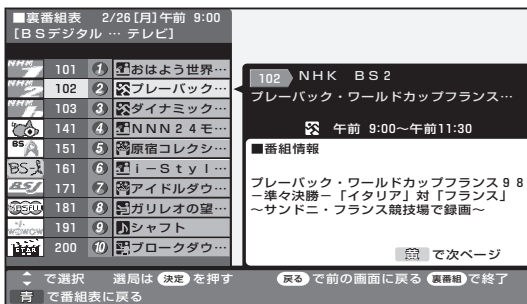
● 番組情報ボタンを押してください。（**42**ページ参照）
（電子番組表を表示する必要はありません。）

電子番組表(EPG)で選ぶ(つづき)

放送中の他の番組(裏番組)を知りたいとき

操作開始

1 裏番組 を押し、裏番組表を表示する

2 ▲ ▼ で番組を選ぶ

3 青（番組情報を見る）を押す

●選んだ番組の情報が表示されます。

●番組情報案内に従って、カラーボタン、テレビ／ラジオ／データボタン、カーソルボタンを使い、希望する情報を選択します。
●選んだ番組を視聴したいときは、決定ボタンを押すと選局できます。

操作終了

●地上D・BS・CSのいずれのネットワークについても、また、テレビ・ラジオ・データのいずれのメディアについても、同じように裏番組表を表示することができます。
●裏番組表を表示しているときに放送切換ボタン（地上D・BS・CS）、テレビ／ラジオ／データボタンを押すと、他のネットワークやメディアの裏番組表に切り換えることができます。

電子番組表(EPG)から番組を予約する

■デジタル放送の番組を電子番組表(EPG)から予約して視聴したり、外部録画機器に録画予約することができます。

■予約には「視聴予約」と「録画予約」の2種類があります。

番組予約(「視聴予約」と「録画予約」)の手順

手順1

デジタル放送視聴中に 番組表 を押して電子番組表を表示する

▼電子番組表

番組の始まる2分前までに予約終了しないと予約できません。

手順2

予約したい未放送の番組を電子番組表から選ぶ

番組表から、直接予約ができます

手順3

予約の方法を選ぶ

視聴予約:

予約した時刻になると、予約した番組に切り換わります。(視聴予約の場合、以下の手順はありません。)

録画予約: →手順4にすすみます

予約した時刻になると、予約した番組が録画出力端子から出力されます。

予約しない:

番組表に戻ります。

▼予約選択画面

視聴予約の設定は完了です。

予約した時刻になると、予約した番組に切り換わります。

手順4

録画機器を選ぶ

手順3で、「録画予約」を選択すると右の画面が表示されます。

ビデオ連動予約:

予約した時間にあわせ、ビデオ機器をビデオコントロール信号で録画開始、終了します。

i.LINK予約:

予約した時間にあわせ、i.LINK接続に対応した機器を録画開始、終了します。

予約しない:

番組表に戻ります。

▼録画予約選択画面

次ページへつづく

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

番組予約（「視聴予約」と「録画予約」）の手順(つづき)

手順５

予約の方法を選ぶ

▼予約選択画面

予約する:　→手順7にすすむ
無料放送や契約済み放送の番組を簡単録画予約します。

詳細を予約する:　→手順6にすすむ
録画する音声や録画機器の選択、PPVの事前購入などを行います。

予約しない:
番組表に戻ります。

手順６

「詳細を予約する」を選んだ場合

契約の確認

● 有料放送または PPV 番組の購入契約の判定

- BSデジタル放送は無料放送と有料放送があり、有料放送にはあらかじめ契約して視聴する番組と、番組単位で購入して視聴する番組(PPV)があります。
- 110度CSデジタル放送は有料放送で、各プラットフォームとの個別受信契約が必要です。その他に、番組単位で購入して視聴する番組(PPV)があります。

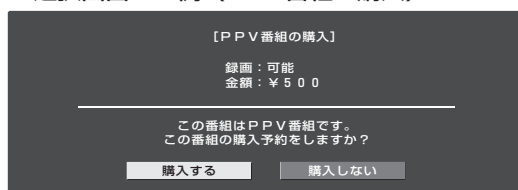
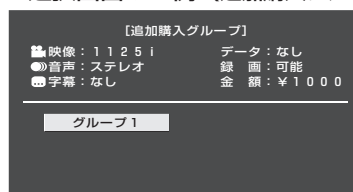
購入内容の設定

● 購入金額制限の判定

映像･音声の選択と購入設定

● マルチビュー、副映像、副音声

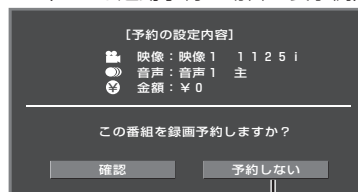
デジタル放送の一部の番組では、マルチビューや副映像・副音声などの情報が同時に送られてきます。

▼選択画面の一例（PPV 番組の購入）

▼選択画面の一例（追加購入グループ情報）

手順７

予約内容確認

予約した番組の詳細を確認します。

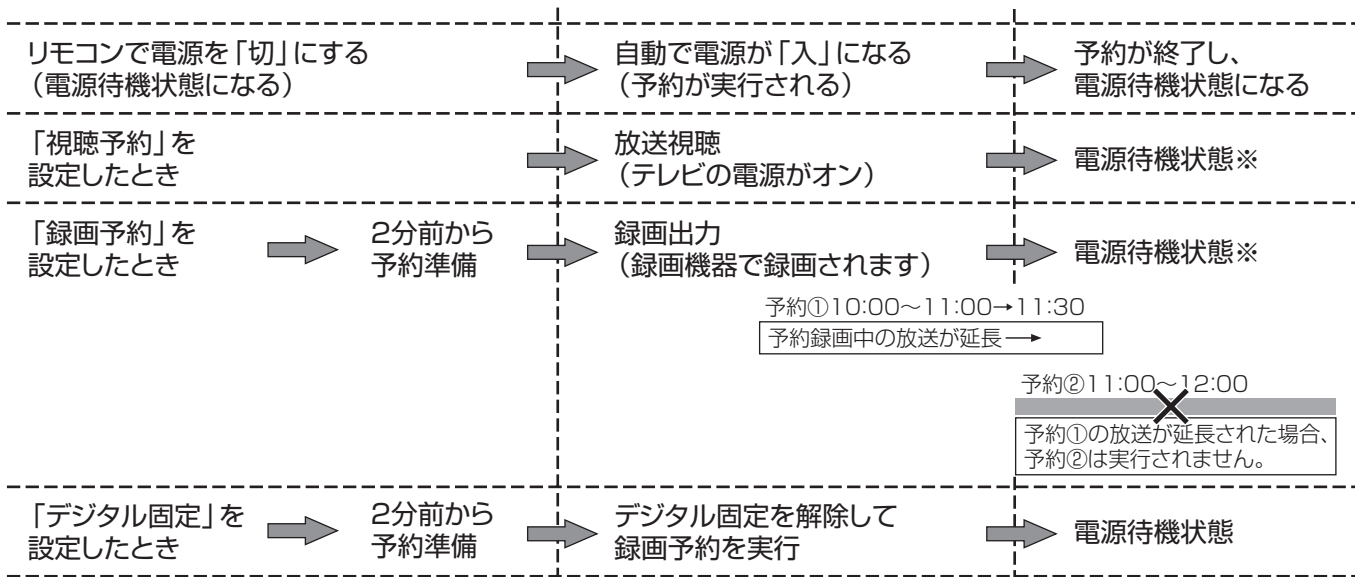
予約手続き完了

（ビデオ連動予約の場合の表示例）

デジタル放送の録画に関するご注意

- デジタル放送のほとんどの番組には、「1回だけ録画」のコピー制御信号が加えられています。この信号とともに録画された番組は、他のデジタル機器へのダビングができません。

番組表からの予約では、操作のたびに表示される予約設定画面で項目を選択するだけで予約ができます。

電源待機状態からの予約動作について

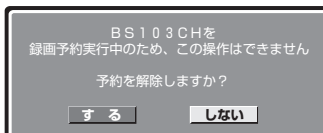
■デジタル放送を予約したときは、設定や条件によって動作が異なります。

※　視聴予約実行中に何らかのボタン操作をすると、視聴予約は終了します。この場合、予約した番組が終了しても電源待機状態にはなりません。

録画出力／モニター出力から出力される信号について

■「録画出力」に設定したときと「モニター出力」に設定したときとでは、出力される信号が異なります。

視聴画面	モニター出力	録画出力	
			デジタル固定／録画予約時
地上アナログ放送	地上アナログ放送	デジタル放送 （最後に視聴したCH）	デジタル放送 （設定したCH）
デジタル放送 （地上D、BS、CS）	デジタル放送 （視聴画面と同CH）	デジタル放送 （視聴画面と同CH）	デジタル放送（設定したCH） （視聴画面も同CHに切り換わります）
ビデオ1入力	ビデオ1入力	デジタル放送 （最後に視聴したCH）	デジタル放送 （設定したCH）
S2入力（ビデオ1）	映像は出力されません	デジタル放送 （最後に視聴したCH）	デジタル放送 （設定したCH）
コンポーネント入力	映像は出力されません	デジタル放送 （最後に視聴したCH）	デジタル放送 （設定したCH）
PC入力	映像は出力されません	デジタル放送 （最後に視聴したCH）	デジタル放送 （設定したCH）
i.LINK入力	i.LINK入力	i.LINK入力	デジタル固定:設定できません 録画予約時:デジタル放送 （視聴画面も同CHに切り換わります）
電源スタンバイ時	出力されません	出力されません	デジタル放送 （設定したCH）

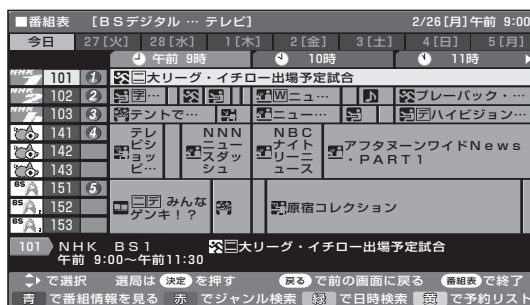
CH：チャンネル

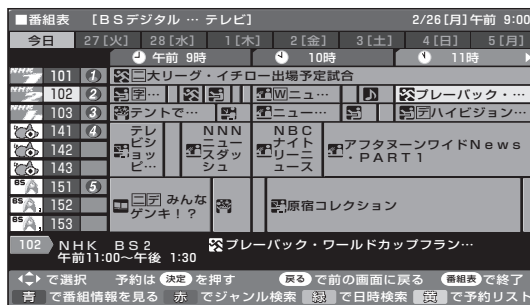
- ビデオ2入力/モニター出力/デジタル放送録画端子から、デジタルメニュー画面、電子番組表、データ放送画面、字幕などの画面表示も出力されます。
- 有料放送を視聴・予約する場合は、有料放送を行うプラットフォームや放送局とあらかじめ受信契約を済ませてください。
- 契約していない有料放送は、番組表から予約しても予約どおりに視聴や録画ができません。
- 番組が開始する2分前までに予約を完了してください。開始2分前になると、予約ができません。
- 録画予約を選択した場合、録画開始2分前になると、選局、メニュー操作などのデジタルに関するリモコン操作を受けつけなくなります。また、予約録画の実行中もリモコン操作を受けつけません。
  操作を行う場合は、デジタルに関するリモコン操作をし、そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押して予約を解除してください。

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

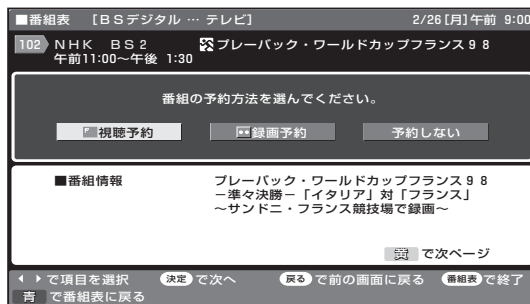
視聴予約か録画予約かを選ぶ

■ 電子番組表から、放送予定の番組の視聴予約、録画予約、およびＰＰＶ(ペイパービュー)番組の録画予約ができます。

操作開始

1 番組表 を押し、電子番組表を表示する

●翌日以降の番組を予約したいときは、日時指定(**45**ページ)で番組表を表示させると便利です。

2 予約したい番組を ▲ ▼ ◀ ▶ で選ぶ

3 決定 を押す

●予約選択画面になります。

「視聴予約」……視聴のみの予約となります。
視聴予約の手順に進みます。
(☞ **53**ページ)

「録画予約」……録画する機器の選択ができます。
録画予約の手順に進みます。
(☞ **54**ページ)

「予約しない」…予約をしないで番組表に戻ります。

次のページへ

操作終了

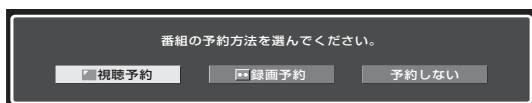
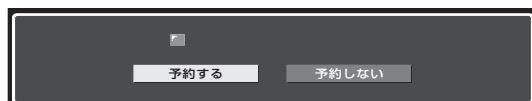
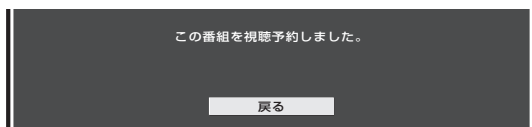
番組表からの予約では、操作のたびに表示される予約設定画面で項目を選択するだけで予約ができます。

- 有料放送を予約する場合は、有料放送のプラットフォームや放送局と、あらかじめ契約をしておく必要があります。契約をしていないと、予約どおりの視聴や録画はできません。
- 前に入れた予約と日時が重なっている場合は、前の予約を破棄して新たな予約をするか、しないかを選択します。
- 最大16番組まで予約できます。すでに16番組を予約していて、新たな予約をしたい場合は、予約の取り消し（**58**ページ）が必要です。

視聴予約

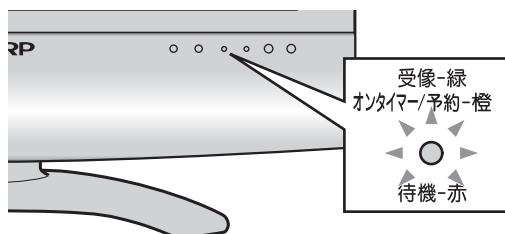
操作開始

1 52ページ手順3で、◀ で「視聴予約」を選び、（決定）を押す

2 ◀ で「予約する」を選び、（決定）を押す

「予約する」……… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。
「予約しない」…… 予約をしないで番組表に戻ります。

3 「戻る」で（決定）を押す

- 視聴予約が設定されました。

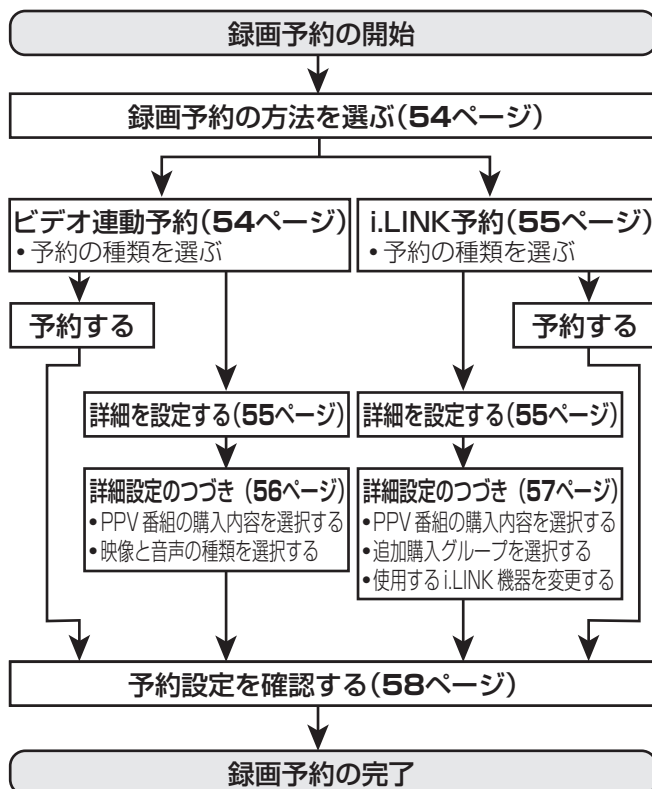
操作終了

ランプについて

- 番組を予約してリモコンで電源を切ると、本体前面右下の電源ランプが橙色に点灯します。

ご注意 視聴予約・録画予約を設定した後に電源を切るときのご注意

- 視聴予約・録画予約を設定した後、電源を切る場合は、リモコンの電源ボタンで「切」にしてください。本体の電源ボタンでは切らないでください。本体の電源ボタンで「切」にした場合は、予約が実行されません。
- リモコンの電源ボタンで「切」にした状態（スタンバイ状態）で、視聴予約した番組が始まると自動的に電源「入」になります。また、その後、リモコン操作をしなかった場合、予約した番組が終了すると自動的にスタンバイ状態になります。

録画予約

- デジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「デジタル固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。
- ビデオ連動録画する場合は、入力設定（ビデオ2）を「録画出力」に設定してください。（**99**ページ参照）
- ラジオ放送をMDで録音するときは、デジタル放送音声出力（光）端子の設定を「PCM」にしてください。（**118**ページ）
- データ放送をD-VHSビデオデッキなどのi.LINK機器で録画するときは、i.LINKの設定を行ってください。（**107**・**108**ページ）
- あなたが録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録画予約の操作手順

※ 上記の操作手順は一例です。選んだ番組によっては、必要のない手順もあります。

次ページへつづく

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

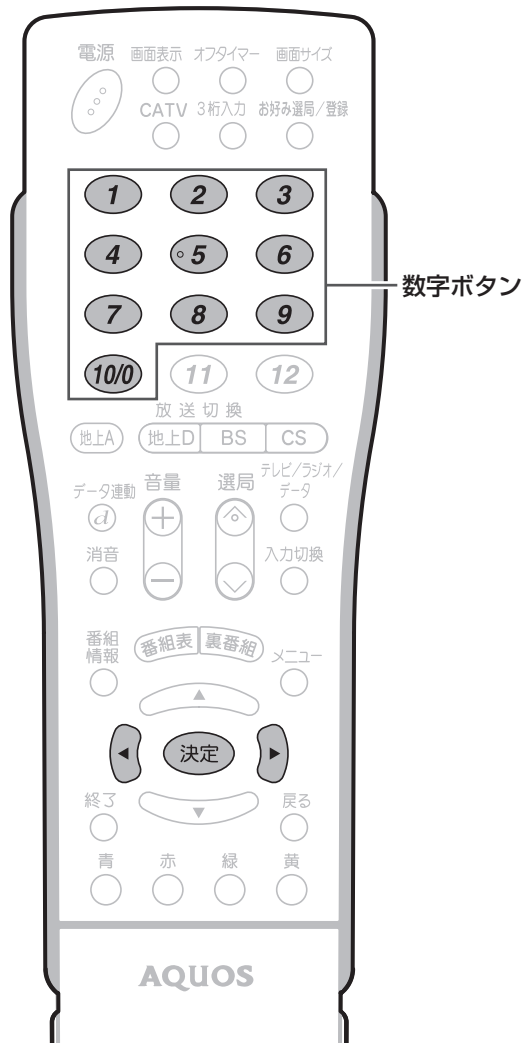
録画予約の方法を選ぶ

① 52ページ手順3で、◀ ▶ で「録画予約」を選び、決定 を押す

② ◀ ▶ で録画予約の方法を選び、決定 を押す

「ビデオ連動予約」… ビデオコントローラーを使ってのビデオ連動予約に進みます。
(☞ **54**ページ)

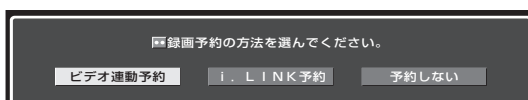
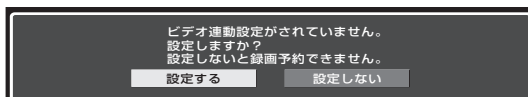
「i.LINK予約」……… i.LINK予約に進みます。
(☞ **55**ページ)

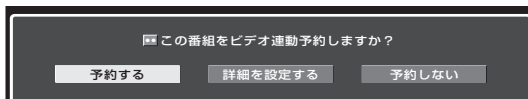
「予約しない」……… 予約をしないで、番組表に戻ります。

ビデオ連動予約をするとき

■ ビデオ連動予約とは、付属のビデオコントローラーを使い、予約時間にあわせてビデオデッキの録画を開始・終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する方法です。

- ビデオ連動予約を初めて行う場合は、あらかじめ、ビデオデッキ・ビデオコントローラーの接続(**101**ページ)、およびビデオ連動録画設定(**102**ページ)を済ませておいてください。
- ビデオ連動録画設定は、一度行えば、設定内容が記憶されますので、次回からは必要ありません。

操作開始

1 ◀ で「ビデオ連動予約」を選び、決定 を押す

- ビデオ連動録画設定が済んでいるときは、手順2の画面になります。
- ビデオ連動録画設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

- 「設定する」を選んで決定ボタンを押すと、ビデオ連動録画設定画面になります。設定を行ってください。(**102**ページ参照)

2 ◀ ▶ で予約の種類を選び、決定 を押す

「予約する」………… 無料放送や契約している有料放送が予約できます。

「詳細を設定する」… 映像・音声の詳細の予約設定ができます。視聴制限や購入金額制限の設定によって視聴や購入が制限されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。

「予約しない」……… 予約をしないで、番組表に戻ります。

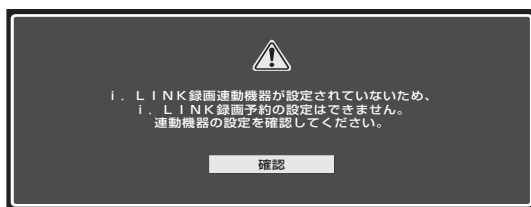
i.LINK予約をするとき

■ i.LINK予約とは、本体後面のi.LINK端子に接続したD-VHSビデオデッキをi.LINK機器を予約時間に合わせて録画開始・終了させ、予約したデジタル放送の番組を録画する方法です。

- i.LINK予約をするときは、あらかじめ、i.LINK機器の接続（**105**ページ）とi.LINK設定（**107**・**108**ページ）を済ませておいてください。
- i.LINK予約をするときは、i.LINK機器を本機と1対1で接続してください。複数のi.LINK機器を接続すると、i.LINK予約の実行に失敗することがあります。

操作開始

1 54ページ「録画予約の方法を選ぶ」の画面で、◀ ▶ で「i.LINK予約」を選び、決定 を押す

- i.LINK設定が済んでいるときは、手順**2**の画面になります。
- i.LINK設定が済んでいないときは、つぎの画面が表示されます。

- 「確認」で決定ボタンを押すと、番組表に戻ります。i.LINK機器の接続を確認してください。（**105**ページ参照）

2 ◀ ▶ で予約の種類を選び、決定 を押す

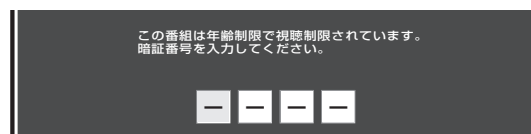
この番組をｉ．ＬＩＮＫ予約しますか？
予約する　詳細を設定する　予約しない

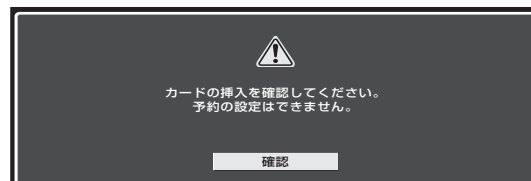
「予約する」…………無料放送や契約している有料放送が予約できます。
「詳細を設定する」…視聴制限や購入金額制限の設定によって視聴や購入が制限されている番組の場合は、暗証番号入力画面が表示されます。
「予約しない」………予約をしないで、番組表に戻ります。

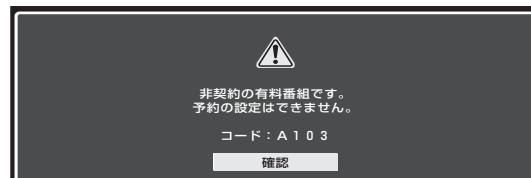
詳細設定

■ 視聴年齢制限、カード未挿入、有料番組の契約状況が自動判定され、メッセージが表示されます。
設定を済ませてから、PPV番組の購入予約ができます。

視聴年齢制限のある番組を予約したとき

- 暗証番号入力画面が表示されます。

- 数字ボタン（1～10/0）で暗証番号を入力してください。（**63**ページ参照）

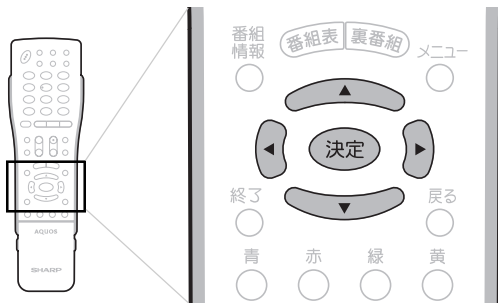
カード未挿入で有料番組を予約したとき

- 「カードの挿入を確認してください。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。カードを挿入してから、予約をし直してください。

非契約の有料番組を予約したとき

- 「非契約の有料番組です。予約の設定はできません。」のメッセージが表示されます。「確認」で決定ボタンを押してください。

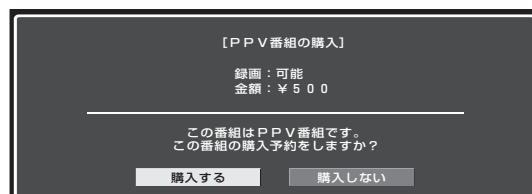
「ビデオ連動予約」から「詳細を設定する」を選んだ場合…☞ **56**ページへ
「i.LINK予約」から「詳細を設定する」を選んだ場合…☞ **57**ページへ

次ページへつづく

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

ビデオ連動予約の場合

PPV番組の購入(する/しない)を選択する

●PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

◀ ▶ で「購入する」または「購入しない」を選び、決定 を押す

●「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

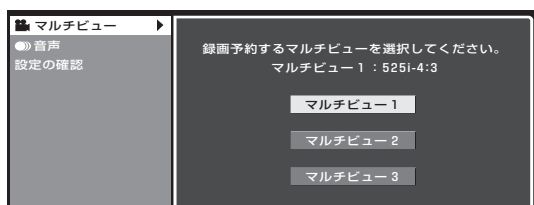
映像・音声の種類を選択する

●映像・音声の種類はつぎのとおりです。それぞれ、表示のあるときのみ選択できます。

「マルチビュー」… いろいろな角度から見た映像
「映像」……… 映像(最大4つ)
「音声」……… 音声(最大8つ)
「二重音声」… 主音声と副音声

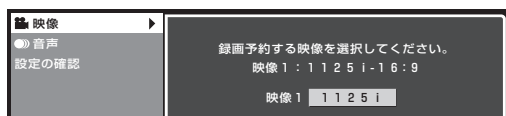
1

マルチビュー番組を選んでいるとき

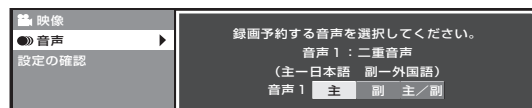
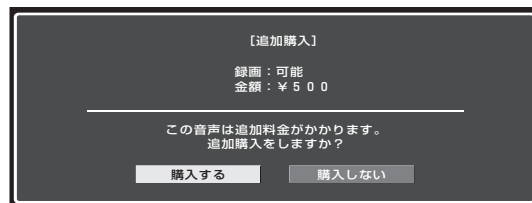
決定 を押してから、▲ ▼ でマルチビューの種類を選び、決定 を押す

副映像のある番組を選んでいるとき

決定 を押してから、▲ ▼ で映像を選び、決定 を押す

●映像の数は、番組によって異なります。

2

① ▲ ▼ で「音声」を選び、決定 を押す

② ▲ ▼ ◀ ▶ で音声を選び、決定 を押す

●音声の数は、番組によって異なります。

●映像・音声の購入に追加料金が必要なときは、追加購入のための画面が表示されます。

●「購入する」または「購入しない」を選び、決定ボタンを押します。

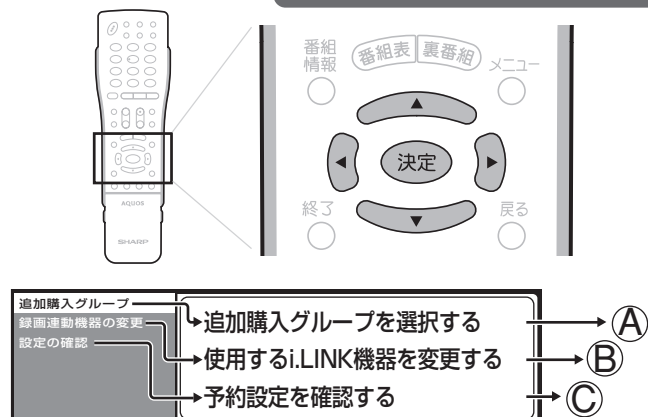
予約設定を確認する

●「映像・音声の種類を選択する」の手順1の画面で、**57**ページの→Ⓒ「予約設定を確認する」の操作をしてください。

● 録画出力信号について

ビデオ連動録画設定で、リモコン信号が異なり動作しない場合でも、録画出力端子からは、映像と音声信号が出力されます。(この場合は録画する機器側で録画予約設定を行ってください。)

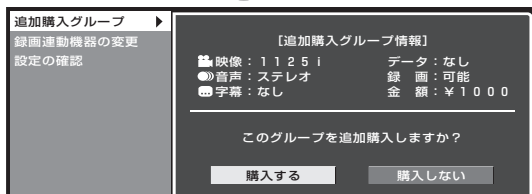
●詳細設定のつづき

i.LINK予約の場合

→Ⓐ 追加購入グループを選択する

●追加購入する映像・音声の組合せ(グループ)が複数あるときのみ必要な手順です。

1 ① **「追加購入グループ」で (決定) を押す**

② **▲ ▼ ◀ ▶ で購入グループを選び、(決定) を押す**

2 **◀ ▶ で「購入する」または「購入しない」を選び、(決定) を押す**

→Ⓑ 使用するi.LINK機器を変更する

●使用するi.LINK機器を変えたいときのみ必要な手順です。

1 **▲ ▼ で「録画連動機器の変更」を選び、(決定) を押す**

2 **▲ ▼ で、使用するi.LINK機器を選び、(決定) を押す**

おしらせ
● i.LINK予約をするときは、D-VHSデッキを本機と1対1で接続してください。複数のD-VHSデッキを接続すると、i.LINK予約の実行に失敗することがあります。

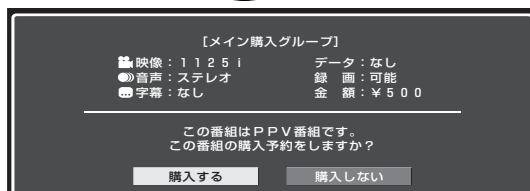
PPV番組の購入(する／しない)を選択する

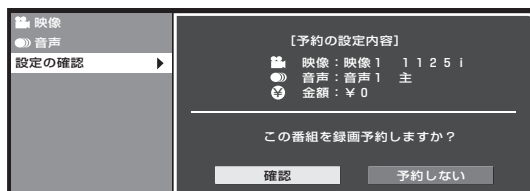
●PPV番組を選んでいるときのみ必要な手順です。

◀ ▶ で「購入する」または「購入しない」を選び、(決定) を押す

●「購入しない」を選んだときは、番組表に戻ります。

→Ⓒ 予約設定を確認する

1 **▲ ▼ で「設定の確認」を選び、(決定) を押す**

2 ① **画面に表示された設定内容を確認する**

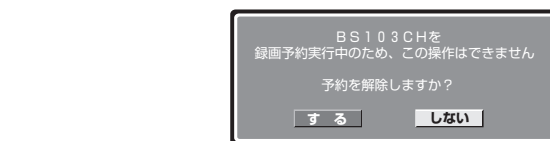
② **「確認」で (決定) を押す**

●録画予約が設定されました。
●「予約しない」を選んで決定ボタンを押すと、予約を中止して番組表に戻ります。

操作終了

おしらせ

実行中の予約録画を解除するには

● 選局、メニュー操作などのデジタルに関するリモコン操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

ご注意

録画予約を設定した後に電源を切るときのご注意

● **53**ページを参照してください。

次ページへつづく

電子番組表(EPG)から番組を予約する(つづき)

予約の確認・取消し・変更

■ 番組表から予約リストを表示させ、予約の確認、取消しや変更をすることができます。

予約を確認したいとき

① 番組表 を押し、電子番組表を表示する

② 黄 ◯ (予約リスト)を押し、予約リストを表示する

▼予約リストの例

- 予約リストで現在の予約内容を確認します。
- 表示内右側に▲▼マークがある場合は、上下カーソルボタンで予約リストの送り・戻しができます。
- 予約した番組の設定内容を確認したいときは、上下カーソルボタンで番組を選び、決定ボタンを押します。つぎのような画面が表示されます。

予約を取り消したいとき

操作開始

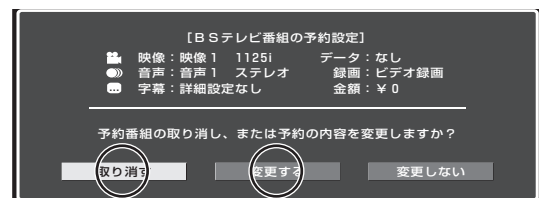
1 ◀ ▶ で「取り消す」を選び、決定 を押す

2 ◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す

操作終了

実行中の予約録画を解除するには

- デジタルに関するリモコン操作をしてください。そのとき画面に表示される「予約を解除しますか？」の選択項目の「する」を左右カーソルボタンで選び、決定ボタンを押すと予約を解除できます。

ＢＳ１０３ＣＨを
録画予約実行中のため、この操作はできません
予約を解除しますか？
す る　　しない

予約を変更したいとき

操作開始

1 ◀ ▶ で「変更する」を選び、決定 を押す

- 予約選択画面になります。

2 予約操作をやり直す

- **49～57**ページの操作手順を参照してください。

操作終了

デジタル放送の設定をする

● この章では、デジタル放送を楽しく、安心してご覧いただくためのいろいろな設定と操作方法について説明しています。

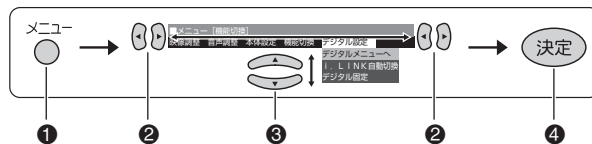
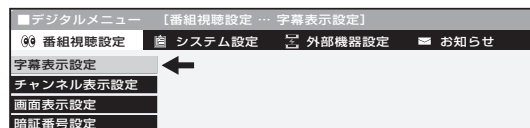
放送視聴のためのいろいろな設定

字幕表示の設定

■ 字幕のある番組で、字幕を表示するかしないかを選択できます。
■ 工場出荷時の状態では、「しない」に設定されています。

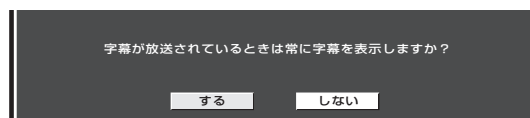
フタを開けたところ

操作開始

1 ①❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ 決定 を押す

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「字幕表示設定」を選び、決定 を押す

2 ◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」……字幕のある番組では、つねに字幕を表示します。（リモコンの字幕ボタンを押しても、字幕表示を消せません。）

「しない」…リモコンの字幕ボタンで、字幕表示を入／切することができます。

●左右カーソルボタンの代わりに字幕ボタンでも「する」「しない」を選ぶことができます。

字幕ボタンについて

● 字幕表示設定を「する」にしたとき
複数の字幕がある番組では、リモコン(フタ内)の字幕ボタンを押すと、字幕を切り換えられます。

● 字幕表示設定を「しない」にしたとき
字幕のある番組では、リモコン(フタ内)の字幕ボタンを押すと、字幕表示の入／切、および複数の字幕の切換えができます。

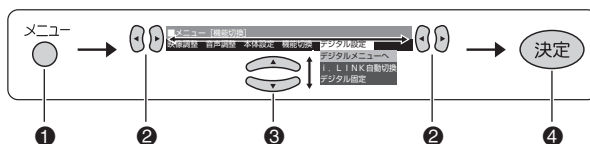
● 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

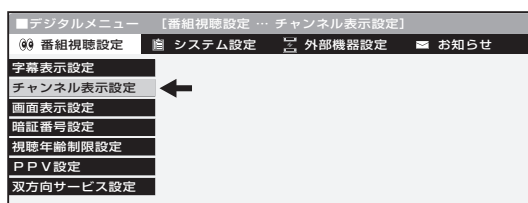
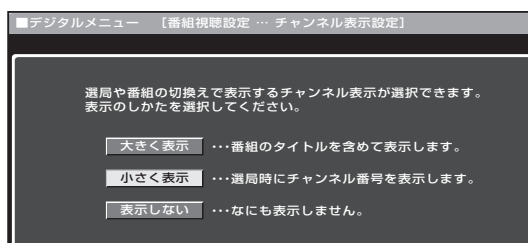
操作終了する場合は ▶ メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

チャンネル表示の設定

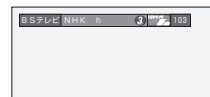
■ 番組を選んで画面を切り換えたときなどに番組タイトルなどの表示をするかどうかを設定します。

操作開始

1 ①❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ (決定) を押す

② で「番組視聴設定」を選ぶ

③ で「チャンネル表示設定」を選び、(決定) を押す

2 で表示のしかたを選び、(決定) を押す

（表示例）

「大きく表示」…番組タイトル、チャンネル番号、放送時間などを表示します。

「小さく表示」…チャンネル番号だけを表示します。

「表示しない」…何も表示しません。（ビデオ連動予約時に、チャンネル表示を録画したくない場合などに選びます。）

● 1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

操作終了する場合は ▶ (メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す

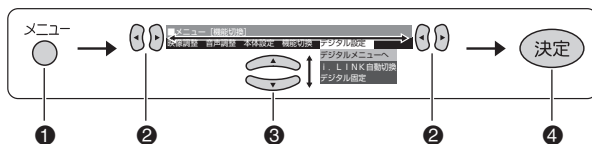
次ページへつづく

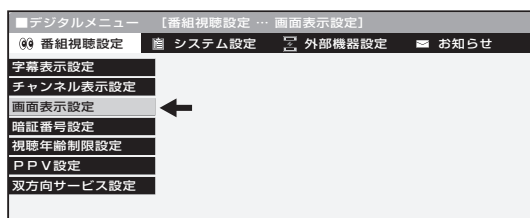
放送視聴のためのいろいろな設定(つづき)

電子番組表やデジタルメニューを半透明で表示する

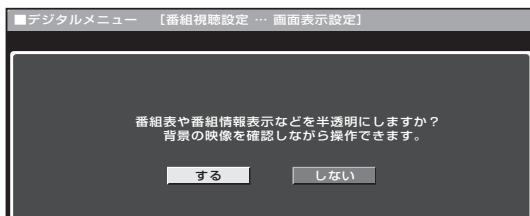
■ 背景の映像を見ながらメニュー操作などをしたいとき、デジタルメニューや電子番組表などを半透明で表示させることができます。

操作開始

1 ①❶メニュー画面から❷「デジタル設定」—❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ 決定 を押す

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「画面表示設定」を選び、決定 を押す

2 ◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」………デジタルメニューや電子番組表を半透明で表示します。背景の映像を確認しながら操作できます。

「しない」……半透明で表示しません。画面表示をはっきりと見ることができます。

● 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

安心して使うための設定

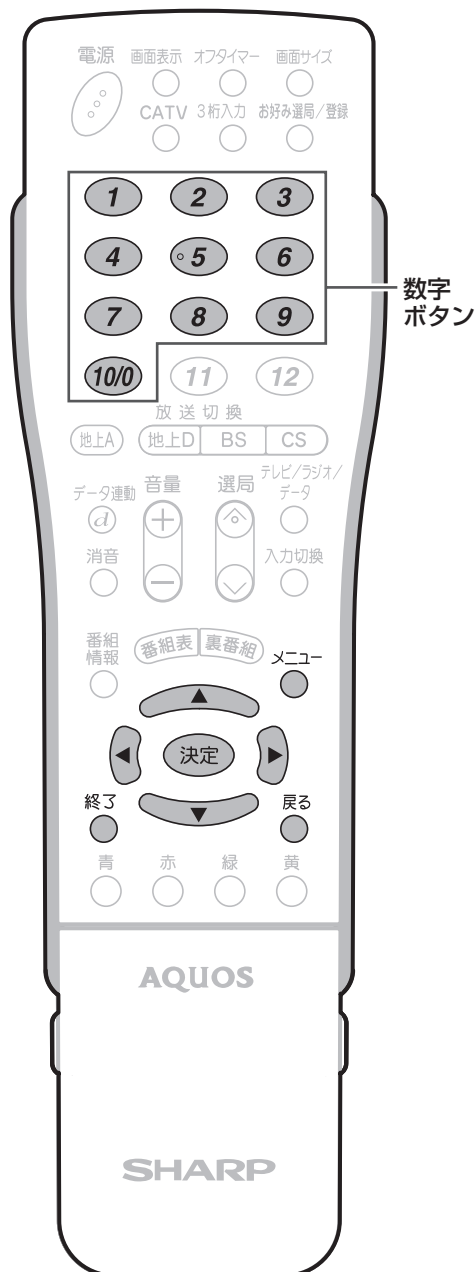
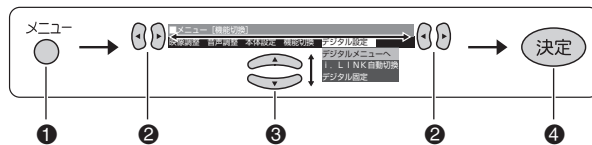
暗証番号について

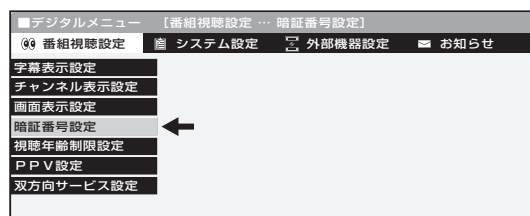
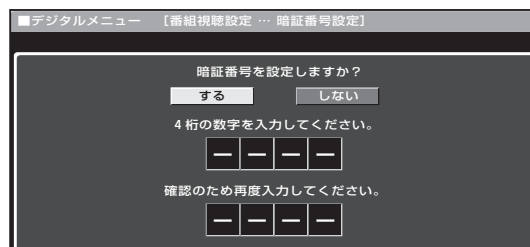
本機は、視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。
これらの制限を通過するときやPPV番組などを購入するときに暗証番号を使います。

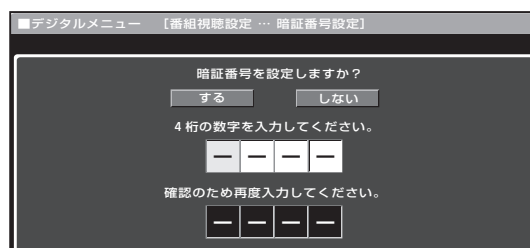
暗証番号を設定する

■ 暗証番号の設定および変更の手順を説明します。
暗証番号は、必ず**4桁の数字**を入力します。

操作開始

1 ①❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ 決定 を押す

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

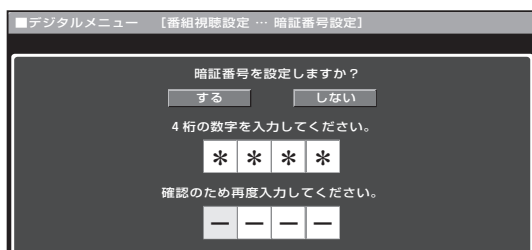
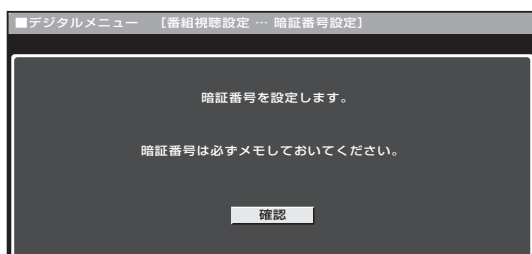
③ ▲ ▼ で「暗証番号設定」を選び、決定 を押す

2 ◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」……暗証番号の設定(手順3)に進みます。
「しない」…暗証番号の設定や変更をせずに終了します。

3 数字ボタン(1〜10/0)で、暗証番号を入力する

●左カーソルボタンを押すと、入力した数字を1桁ずつ削除することができます。

次ページへ
次ページへつづく

安心して使うための設定(つづき)

4 確認のため、再度同じ番号を数字ボタン(1～10/0)で入力する

- 間違った番号を入力した場合は、手順3からやり直しになります。

5 ① 暗証番号をメモする ② 「確認」で 決定 を押す

- これで暗証番号の設定は完了です。

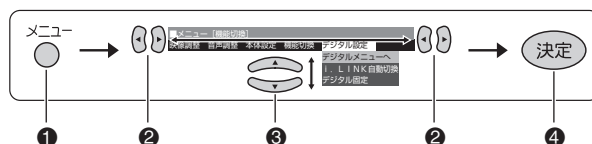
- 暗証番号は必ずメモしてください。

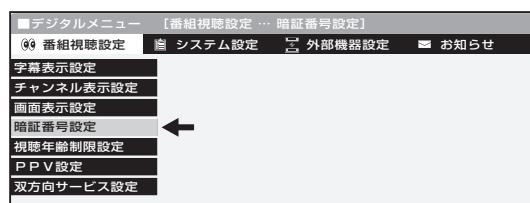
暗証番号を忘れたときは

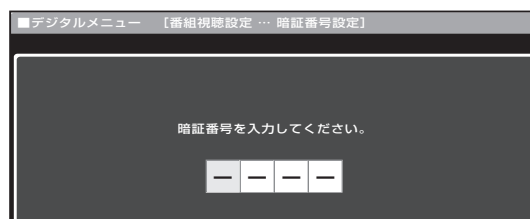
- 受信契約されている、有料放送の放送局(WOWOWやスターチャンネルなど)までご連絡ください。放送局で前の暗証番号を消去します。暗証番号の消去には手数料がかかります。(2004年12月現在)

暗証番号を変更するとき

操作開始

1 ①❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ 決定 を押す

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

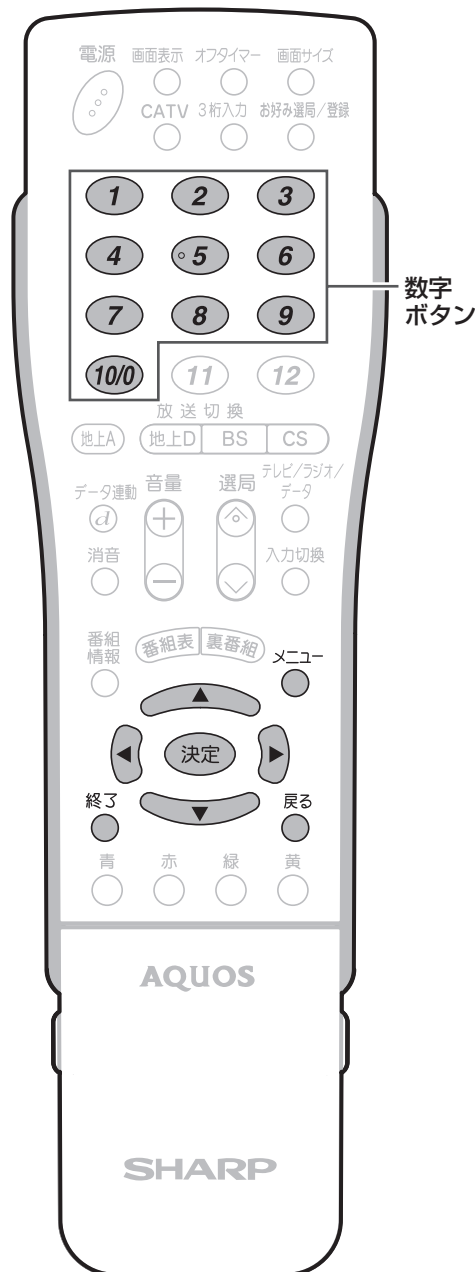
③ ▲ ▼ で「暗証番号設定」を選び、決定 を押す

- 暗証番号入力画面が表示されます。

2 数字ボタン(1～10/0)で、現在の暗証番号を入力する

- 暗証番号を入力すると、63ページ「暗証番号を設定する」の手順2の画面になります。暗証番号を設定するときと同じ要領で設定し直してください。

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

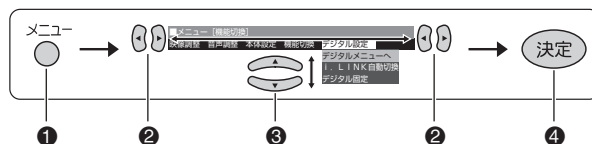
視聴年齢制限を設定する

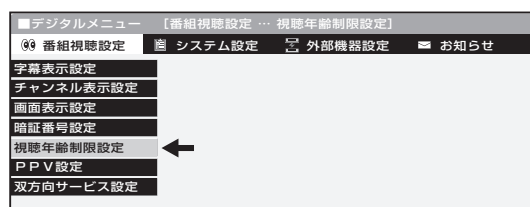
■ 年齢制限のある番組の視聴を制限することができます。なお、年齢制限は4〜20歳の範囲で設定できます。この設定をするためには、あらかじめ、暗証番号の設定(**63**ページ)が必要です。

●1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

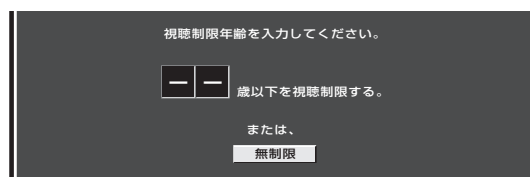
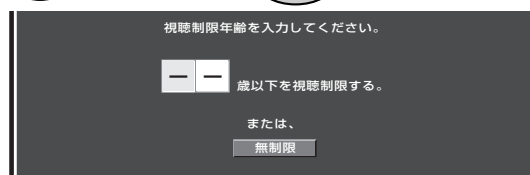
メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

操作開始

1 **①❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ 決定 を押す**

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「視聴年齢制限設定」を選び、決定 を押す

2 **数字ボタン(1〜10/0)で暗証番号を入力する**

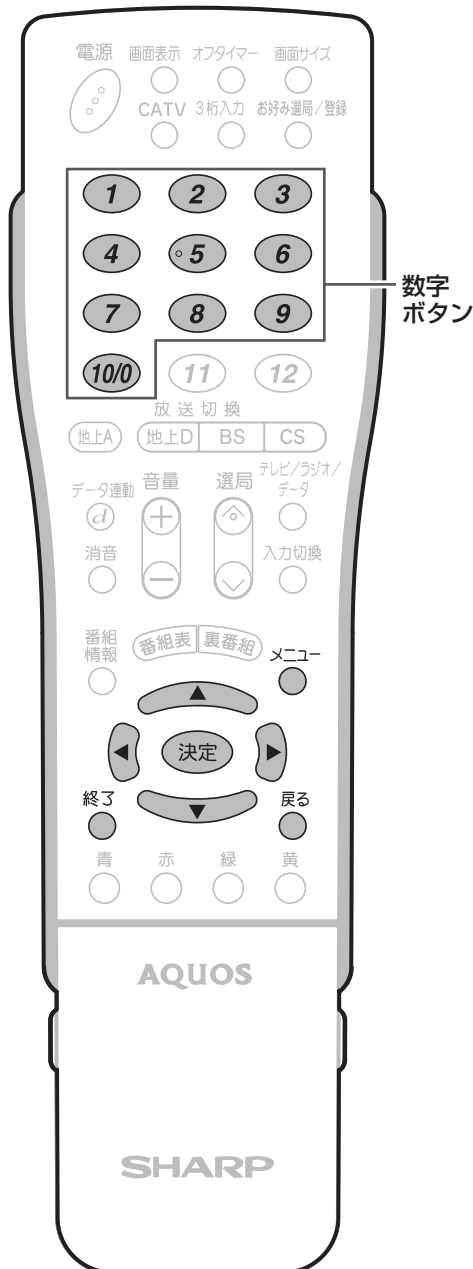
●視聴年齢制限設定画面が表示されます。

3 **▲ ▼ で年齢の入力欄を選ぶ**

4 **制限する年齢を数字ボタン(1〜10/0)で入力し、決定 を押す**

●年齢制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

次ページへつづく

安心して使うための設定(つづき)

PPV制限を設定する

■ 暗証番号を入力しないとPPV番組を購入できないように設定できます。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**63**ページ)をしておくことが必要です。

● 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

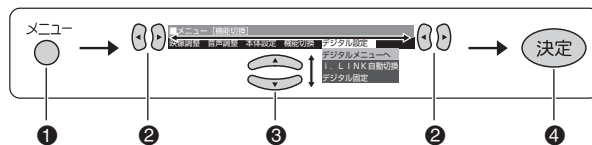
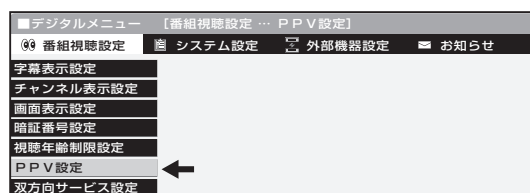
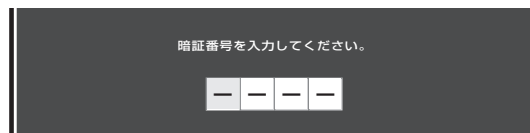
操作終了する場合は ▶

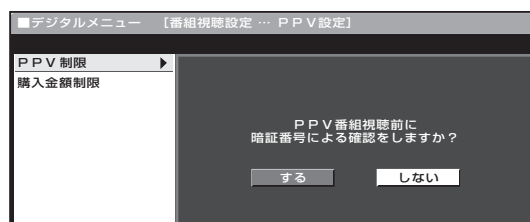
メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

操作開始

1 **①❶メニュー画面から❷「デジタル設定」—❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ 決定 を押す**

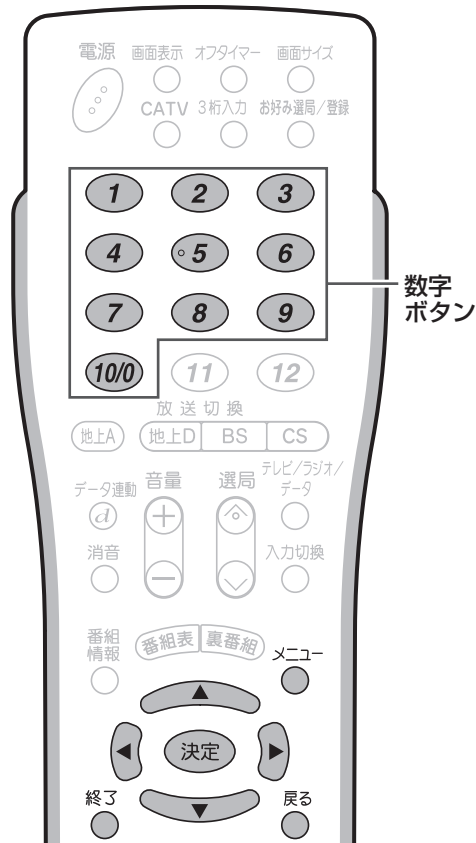
② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「PPV設定」を選び、決定 を押す

2 **数字ボタン(1 ～ 10/0)で暗証番号を入力する**

● PPV設定画面が表示されます。

3 **▲ ▼ で「PPV制限」を選び、決定 を押す**

4 **◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す**

「する」……PPV番組の購入前に、暗証番号の入力が必要になります。
「しない」…PPV番組の購入前に、暗証番号の入力は必要ありません。

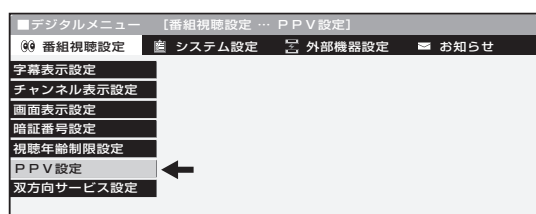
購入金額制限を設定する

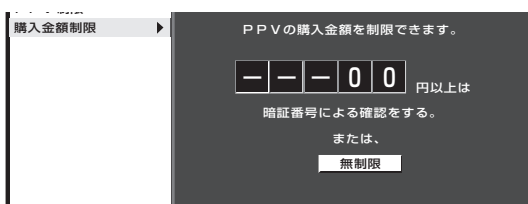
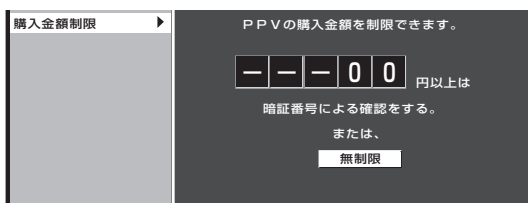
■ PPV番組の購入金額を制限します。設定した以上の金額の番組を購入するときは、暗証番号の入力が必要になります。この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**63**ページ)をしておくことが必要です。

操作開始

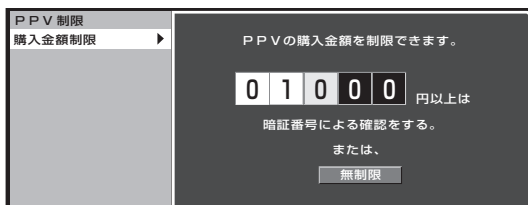
1 ①❶メニュー画面から❷「デジタル設定」—❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ (決定) を押す

●基本操作は前のページをご覧ください。

② (◀)(▶) で「番組視聴設定」を選ぶ

③ (▲) (▼) で「PPV設定」を選び、(決定) を押す

2 数字ボタン((1) ～ (10/0))で暗証番号を入力する

3 (▲) (▼) で「購入金額制限」を選び、(決定) を押す

4 (▲) (▼) で購入金額の入力欄を選ぶ

5 購入金額の上限を数字ボタン((1) ～ (10/0))で入力し、(決定) を押す

[例] 1,000円のとき

●購入金額の制限を設けない場合は、「無制限」を選んで決定ボタンを押します。

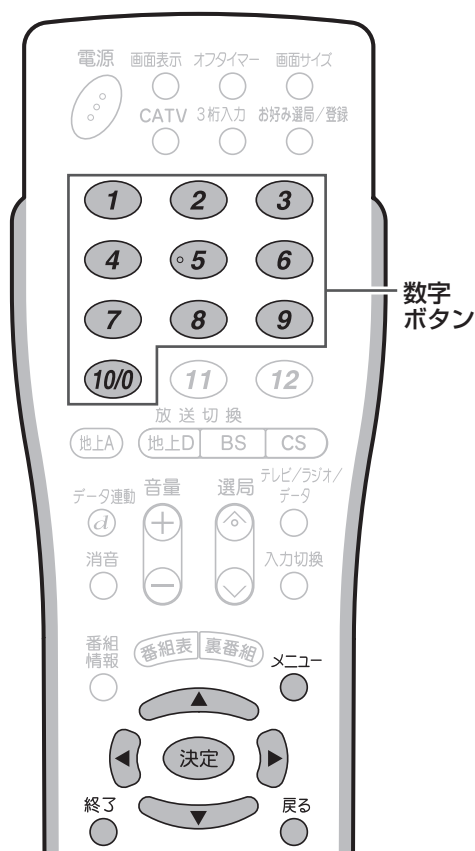
● 1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

操作終了する場合は ▶

(メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す

安心して使うための設定(つづき)

双方向サービスの利用を制限する

■ 双方向サービスのデータ送受信には、電話回線の利用料金がかかります。使用を制限するために、電話回線接続をするかしないかの設定ができます。設定には暗証番号の入力が必要です。
この設定をするためには、あらかじめ暗証番号の設定(**63**ページ)をしておくことが必要です。

回線使用時の画面表示について

● データ送信時につぎのようなアイコンが画面表示されます。

回線使用中のアイコン……
アイコンは緑色

画面表示位置
(画面右下に表示されます。)

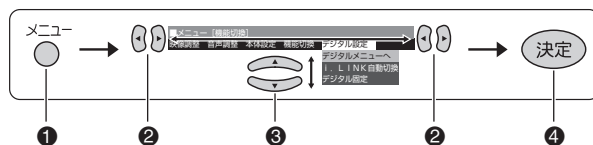
● 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

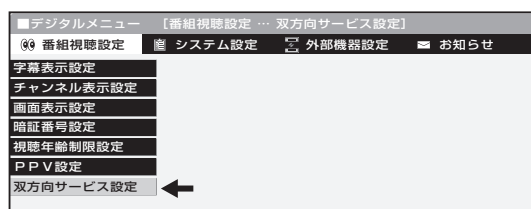
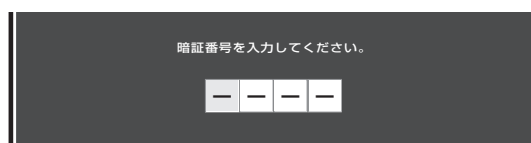
メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

操作開始

1

①❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ 決定 を押す

② ◀ ▶ で「番組視聴設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「双方向サービス設定」を選び、決定 を押す

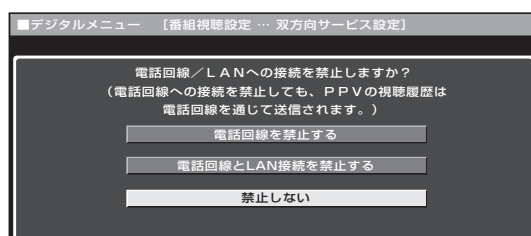
2

数字ボタン(1 〜 10/0)で暗証番号を入力する

● 双方向サービス設定画面が表示されます。

3

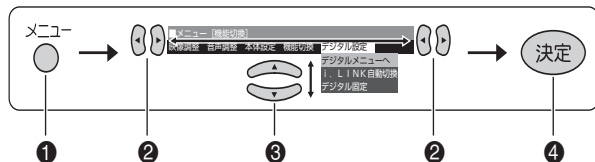
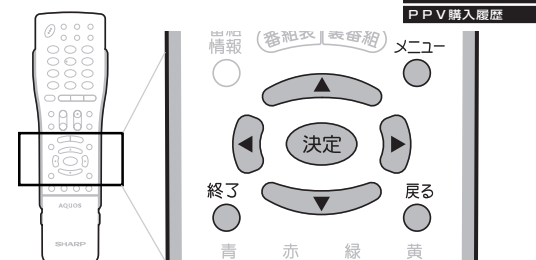
▲ ▼ で「電話回線を禁止する」「電話回線とLAN接続を禁止する」「禁止しない」のいずれかを選び、決定 を押す

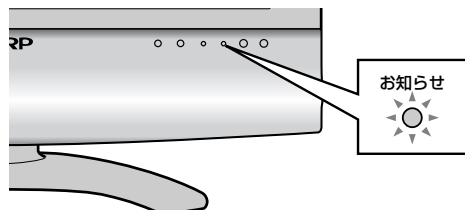
「電話回線を禁止する」
…… 電話回線への接続を禁止します。

「電話回線とLAN接続を禁止する」
…… 電話回線とLANへの接続を禁止します。

「禁止しない」
…… 電話回線への接続を禁止しません。

お知らせを見る

お知らせについて

■ 受信契約した放送局から視聴者に向けて発信されるメッセージを見たり、有料放送に関するレポートやB-CASカード番号などを確認することができます。

お知らせランプについて

● 放送局から送られてきたメッセージを受信すると、本体前面右下のお知らせランプが点灯します。

→Ⓐ 受信メッセージを見る

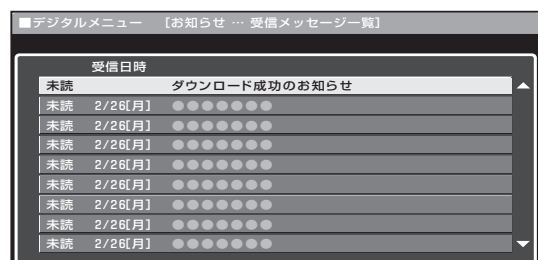
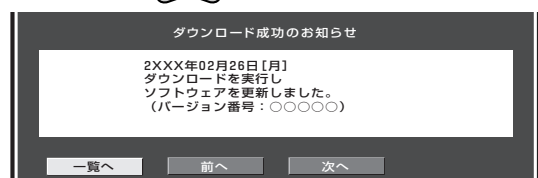
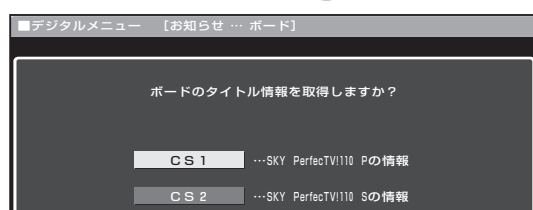
■ 受信契約した放送局から発信されるメッセージを見ることができます。常時更新されていますので、定期的にメッセージをお読みください。

1 見たいメッセージを ▲ ▼ で選び、決定 を押す

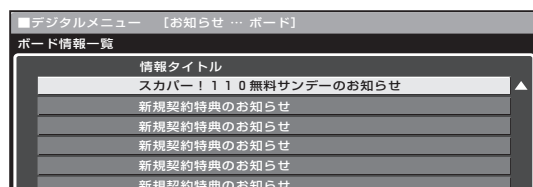
［例］「ダウンロード成功のお知らせ」を見る

2 ① メッセージの内容を確認する
② 「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを ◀ ▶ で選び、決定 を押す

→Ⓑ ボードを表示して情報を見る

■ 送られている、CS各ネットワークの掲示板(ボード情報)のタイトル一覧を表示して、ご覧になりたいタイトルを選び、メッセージを表示することができます。

1 表示したいネットワークを ▲ ▼ で選び、決定 を押す

●選んだネットワークのボードが表示されます。

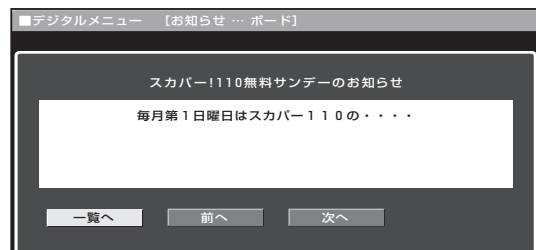
2 見たい情報のタイトルを ▲ ▼ で選び、決定 を押す

（スカパー！110のボード表示例）

次ページへ

● 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

次ページへつづく

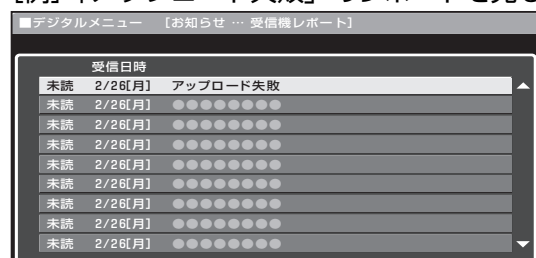
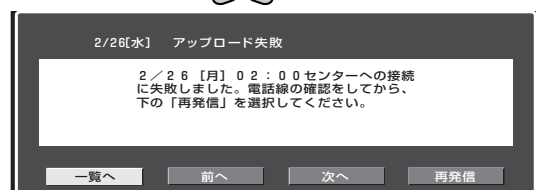
お知らせを見る(つづき)

3 ① **メッセージの内容を確認する**
② **「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを ◀ ▶ で選び、決定 を押す**

- ボード情報は、そのとき放送で送られているものを表示しますので、消去はできません。

→Ⓒ 受信機レポートを見る

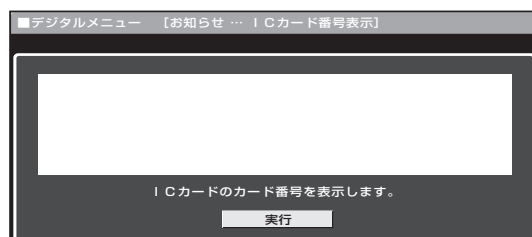
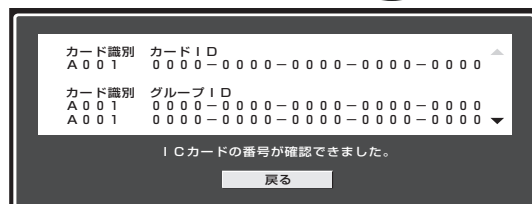
■ 予約の失敗や変更に関するレポートやB-CASカードに関する情報、課金情報のアップロード(視聴履歴の送信)に失敗したときなど、受信機に関係したレポートを表示します。

1 **見たいレポートを ▲ ▼ で選び、決定 を押す**

［例］「アップロード失敗」のレポートを見る

2 ① **レポートの内容を確認する**
② **「一覧へ」「前へ」「次へ」「再発信」のいずれかを ◀ ▶ で選び、決定 を押す**

- アップロードに失敗したときは、「再発信」を選んで決定ボタンを押すと、アップロードし直すことができます。

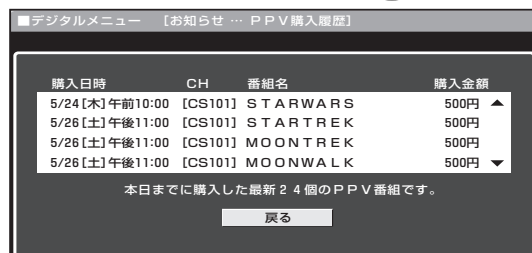
→Ⓓ B-CASカード番号を見る

■ 受信機レポートで報告された不具合に関して、放送事業者のカスタマーセンターに連絡されるときに、お客さまの契約確認のためB-CASカードの番号を表示するものです。

1 **「実行」で 決定 を押し、ICカード番号表示を実行する**

2 ① **カード番号を確認する**
② **確認後、「戻る」で 決定 を押す**

カード識別…メーカー識別用のアルファベット1文字と3桁の数字からなります。
カードID……カード固有の番号です。

→Ⓔ PPV購入履歴を見る

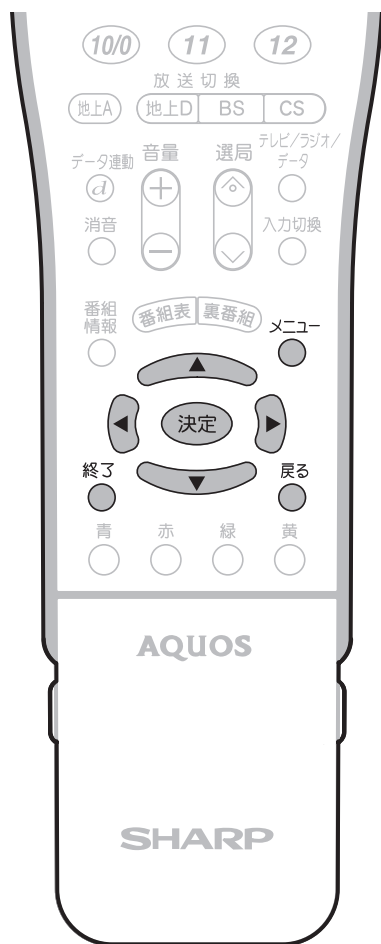
■ 購入した最新24個のPPV番組の購入日時、チャンネル、番組名、購入金額を画面に表示して確認することができます。

1 ① **画面を確認する**
② **確認後、「戻る」で 決定 を押す**

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶ **メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す**

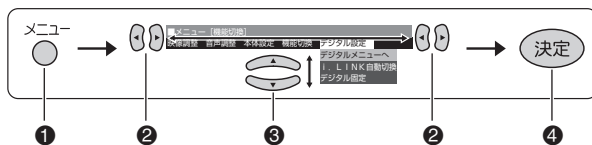
ダウンロードを行う

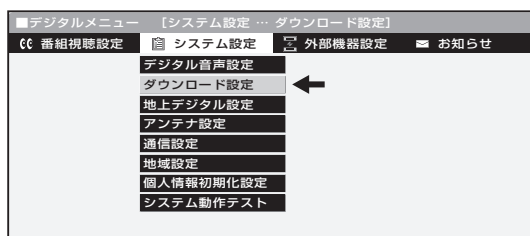
ダウンロードの方法

■ ダウンロード機能とは、本機内のソフトウェアを書き換えて、機能アップや機能改善等を行うためのもので、その方法には2種類あります。
1つは自動的にダウンロードを行う方法で、もう1つはお客様が必要に応じ、マニュアル選択によりダウンロードすることができる方法です。
なお、お買い上げ時は利便性を考えてダウンロードの選択は「する」に設定されています。

- ソフトウェアの受信(ダウンロード)には、数分程度の時間がかかります。その間は、デジタルリセットボタンの操作、電源プラグの抜き差しを行わないでください。ダウンロードが失敗する場合があります。
- ダウンロードによって、設定内容が工場出荷時の状態に戻ることがあります。その場合は、設定し直してください。
- ダウンロードによって、予約の情報がなくなる場合があります。そのときは、再度、予約設定を行ってください。
- ダウンロードは、本機の電源が待機状態(電源ランプが赤または橙色に点灯)のときに実行されます。

操作開始

1

①❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ 決定 を押す

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「ダウンロード設定」を選び、決定 を押す

2

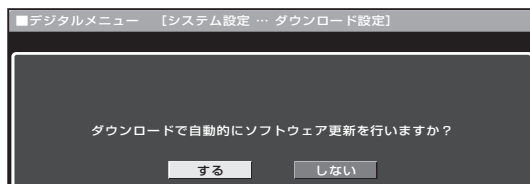
◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」………自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行います。(工場出荷時の設定)
「しない」……ソフトウェアの自動ダウンロードを行いません。

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

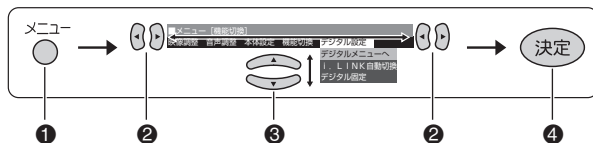
次ページへつづく

ダウンロードを行う(つづき)

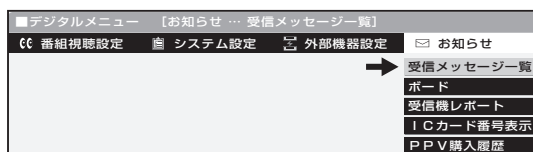
手動でダウンロードを行うとき

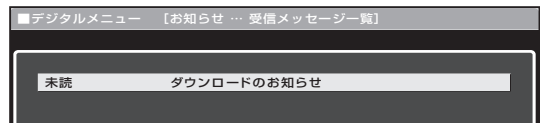
自動ダウンロードを「しない」に設定した場合、手動でダウンロードを行うことができます。

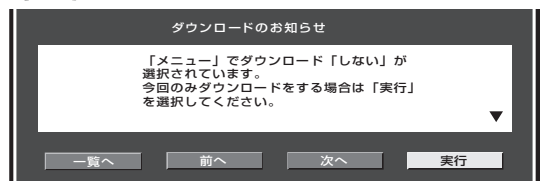
操作開始

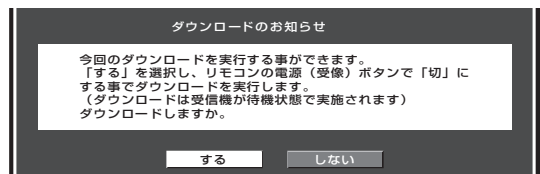
1

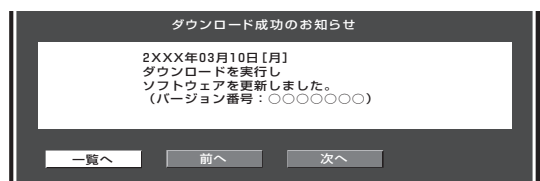
①❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ 決定 を押す

② ◀ ▶ で「お知らせ」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「受信メッセージ一覧」を選び、決定 を押す

2

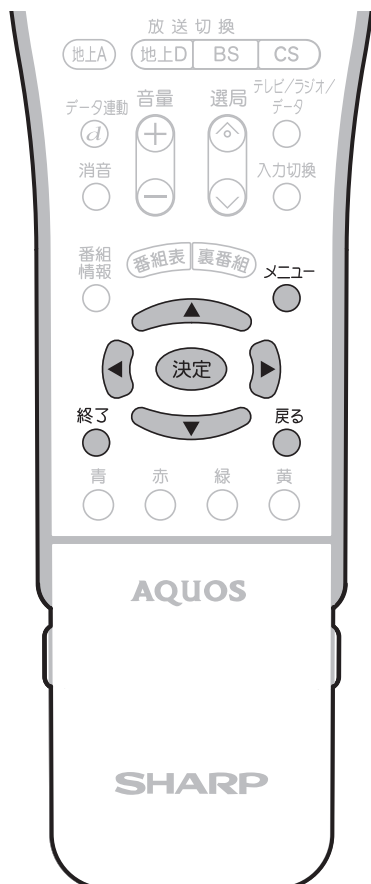
▲ ▼ で「ダウンロードのお知らせ」を選び、決定 を押す

3

画面の表示内容を確認してから、◀ ▶ で「実行」を選び、決定 を押す

4

画面の表示内容を確認してから、◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す

- ダウンロードは、本機の電源が待機状態(電源ランプが赤または橙色に点灯)のときに実行されます。リモコンの電源ボタン等で、電源待機状態にしてください。

- お知らせを見る場合は、69ページ「受信メッセージを見る」の手順1の操作を行ってください。

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

システム動作テストを行う

■本機は、電話回線が正しく接続されているか、また、B-CASカードが正しく装着されているか、などをテストすることができます。

システム動作テストに失敗したときは

電話線接続
電話回線の接続と設定を確認してください。
⇨ 1. 準備編 **18**・**60**ページ

ICカード
B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
⇨ 1. 準備編 **42**ページ

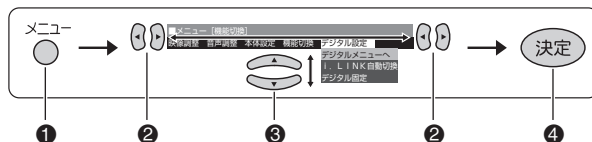
●1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

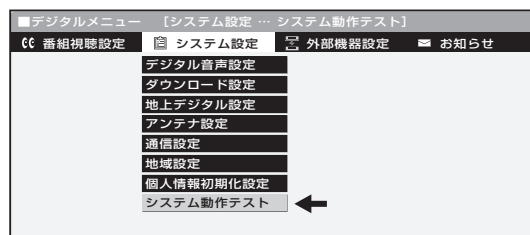
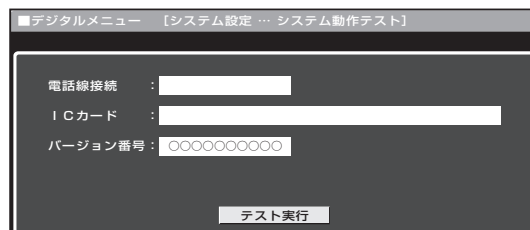
メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

操作開始

1

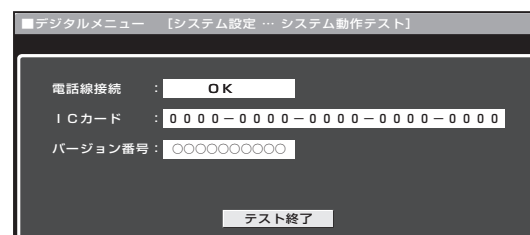
①❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ 決定 を押す

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「システム動作テスト」を選び、決定 ボタンを押す

2

「テスト実行」で 決定 を押し、テストを開始する

●表示が「テスト実行中」に変わります。
テストが終了すると「テスト終了」になります。

3

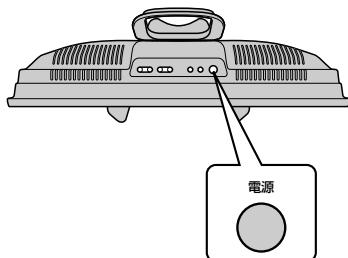
① 結果を確認する

② 「テスト終了」で 決定 を押す

本機を譲渡・廃棄するとき

個人情報を初期化する

■ 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力した、お客さまの個人情報があります。
本機を他人に譲渡したり、廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行い情報を消去してください。

● お客さまが設定した情報内容（暗証番号など）がすべて初期化されます。

▼本体天面

データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客さまの登録情報やポイント情報などの一部、またはすべての情報が変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

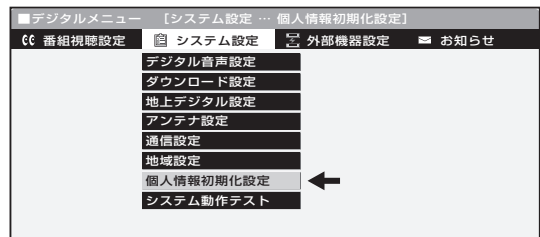
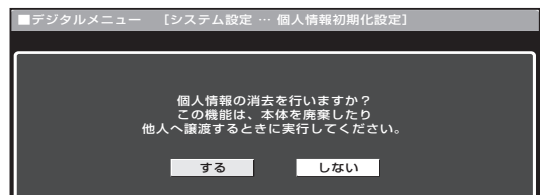
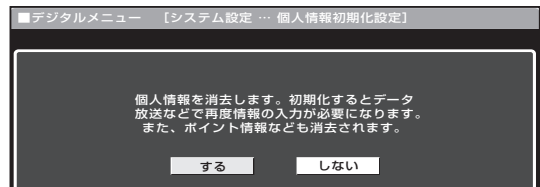
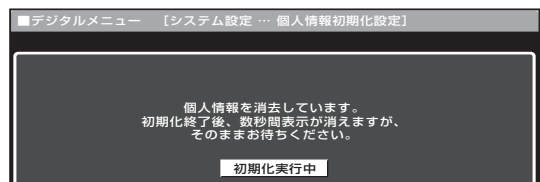
● 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作開始

1 ① ❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ 決定 を押す

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「個人情報初期化設定」を選び、決定 ボタンを押す

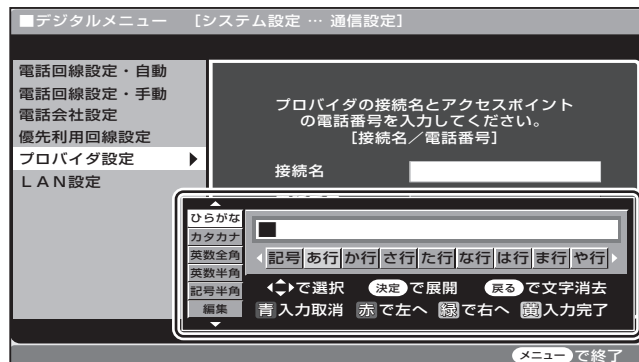
2 ◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す

3 ◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す

● 表示が「初期化実行中」（点滅）に変わります。
初期化には、しばらく時間がかかります。

● 初期化が終了すると、画面が数秒間消え、メニューが解除されます。

4 本体天面操作部の 電源 を押し、電源を切る

操作終了

ソフトウェアキーボードについて

■プロバイダ設定(**79**ページ)を行うときに文字入力の必要な欄で決定ボタンを押すと、画面にソフトウェアキーボード(文字入力画面)が表示されます。このソフトウェアキーボード(文字入力画面)を使って、各入力欄に必要な文字・数字・記号を入力します。

(画面例)

ソフトウェアキーボード
(文字入力画面)

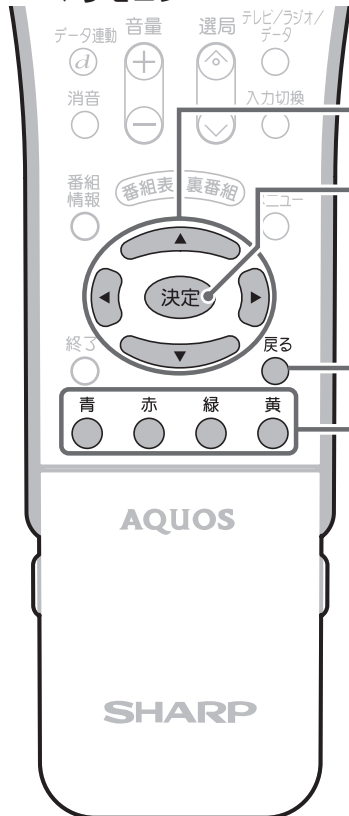
ソフトウェアキーボード(文字入力画面)の使いかた

■ソフトウェアキーボード(文字入力画面)は、カーソルボタン、決定ボタン、戻るボタン、カラーボタンを使用して操作・入力します。

▼ソフトウェアキーボード表示

文字モード
●メニュー画面の入力欄の内容により、入力に必要な文字モードが表示されます。

キーボード内入力欄
文字グループ
カーソル(現在の入力位置)

▼リモコン

ソフトウェアキーボード(文字入力画面)操作に使うリモコンボタン

カーソルボタン：入力文字(文字モード・文字グループ)の選択をします。

決定ボタン：選択した文字グループの展開、または選択した文字の入力を確定します。

戻るボタン：キーボード内入力欄の入力位置(カーソル)の文字を1文字消します。

カラーボタン青：入力を取り消します。現在の入力をすべて取り消し、キーボードが消えます。

カラーボタン赤：キーボード内入力欄のカーソルを左へ移動します。

カラーボタン緑：キーボード内入力欄のカーソルを右へ移動します。

カラーボタン黄：キーボード内入力欄の入力を完了します。キーボードが消えます。

おしらせ
●文字モードの「編集」内の各キーは、カラーボタン、戻るボタンの操作と同じ働きをします。

次ページへつづく

ソフトウェアキーボードについて(つづき)

入力文字の種類

入力文字一覧表

<table>
<tr><th>文字モード</th><th>文字グループ（展開表示）</th></tr>
<tr><td>ひらがな</td><td>記号 あ行 か行 さ行 た行 な行 は行 ま行 や行 ら行 わ行 空白
<table>
<tr><td>記号</td><td>ー、。・「」ー(全角ハイフン)</td><td>あ行</td><td>あいうえおぁぃぅぇぉ</td><td>か行</td><td>かきくけこ゛</td></tr>
<tr><td>さ行</td><td>さしすせそ゛</td><td>た行</td><td>たちつてとっ゛</td><td>な行</td><td>なにぬねの</td></tr>
<tr><td>は行</td><td>はひふへほ゛゜</td><td>ま行</td><td>まみむめも</td><td>や行</td><td>やゆよゃゅょ</td></tr>
<tr><td>ら行</td><td>らりるれろ</td><td>わ行</td><td>わをんゎ</td><td>空白</td><td>（全角スペース）</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>カタカナ</td><td>記号 ア行 カ行 サ行 タ行 ナ行 ハ行 マ行 ヤ行 ラ行 ワ行 空白
<table>
<tr><td>記号</td><td>ー、。・「」ー(全角ハイフン)</td><td>ア行</td><td>アイウエオァィゥェォ</td><td>カ行</td><td>カキクケコ゛</td></tr>
<tr><td>サ行</td><td>サシスセソ゛</td><td>タ行</td><td>タチツテトッ゛</td><td>ナ行</td><td>ナニヌネノ</td></tr>
<tr><td>ハ行</td><td>ハヒフヘホ゛゜</td><td>マ行</td><td>マミムメモ</td><td>ヤ行</td><td>ヤユヨャュョ</td></tr>
<tr><td>ラ行</td><td>ラリルレロ</td><td>ワ行</td><td>ワヲンヮ</td><td>空白</td><td>（全角スペース）</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>英数全角</td><td>数字 ABC DEF GHI JKL MNO PQRS TUV WXYZ 空白
<table>
<tr><td>数字</td><td>１２３４５６７８９０</td><td>ABC</td><td>ＡＢＣａｂｃ</td><td>DEF</td><td>ＤＥＦｄｅｆ</td></tr>
<tr><td>GHI</td><td>ＧＨＩｇｈｉ</td><td>JKL</td><td>ＪＫＬｊｋｌ</td><td>MNO</td><td>ＭＮＯｍｎｏ</td></tr>
<tr><td>PQRS</td><td>ＰＱＲＳｐｑｒｓ</td><td>TUV</td><td>ＴＵＶｔｕｖ</td><td>WXYZ</td><td>ＷＸＹＺｗｘｙｚ</td></tr>
<tr><td>空白</td><td>（全角スペース）</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>英数半角</td><td>数字 ABC DEF GHI JKL MNO PQRS TUV WXYZ 空白
<table>
<tr><td>数字</td><td>1 2 3 4 5 6 7 8 9 0</td><td>ABC</td><td>A B C a b c</td><td>DEF</td><td>D E F d e f</td></tr>
<tr><td>GHI</td><td>G H I g h i</td><td>JKL</td><td>J K L j k l</td><td>MNO</td><td>M N O m n o</td></tr>
<tr><td>PQRS</td><td>P Q R S p q r s</td><td>TUV</td><td>T U V t u v</td><td>WXYZ</td><td>W X Y Z w x y z</td></tr>
<tr><td>空白</td><td>（半角スペース）</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>記号半角</td><td>@.,: ;_-¥ $%!? &#+* =/|‾ "'^` ()<> []{} 空白
<table>
<tr><td>@.,:</td><td>@ . , :</td><td>;_-¥</td><td>; _ - ¥</td><td>$%!?</td><td>$ % ! ?</td></tr>
<tr><td>&#+*</td><td>& # + *</td><td>=/|‾</td><td>= / | ‾</td><td>"'^`</td><td>" ' ^ `</td></tr>
<tr><td>()<></td><td>( ) < ></td><td>[]{}</td><td>[ ] { }</td><td>空白</td><td>（半角スペース）</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>編集</td><td>入力取消 左へ 右へ 入力完了 文字消去
※入力文字ではありません。各キーを選び決定ボタンを押すと、カラーボタン、戻るボタンの操作と同じ働きをします。</td></tr>
</table>

文字入力をする

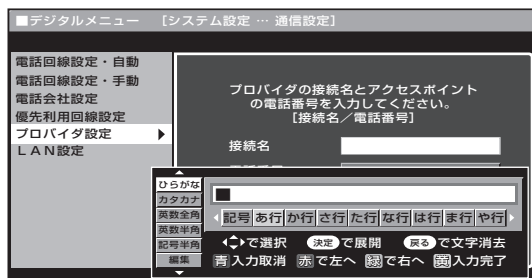
- 入力中に文字を消去する場合は、カラーボタン赤（左へ）または緑（右へ）でカーソルを移動し、戻るボタンを押します。
- 入力をやめる場合は、カラーボタン青を押します。入力をすべて取り消し、ソフトウェアキーボードが消えます。

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

操作開始

1 プロバイダ設定画面の入力欄で 決定 を押し、ソフトウェアキーボードを表示する

2

① で「文字モード」を選ぶ

② ◀ ▶ で「文字グループ」を選び、決定 を押す

- 選んだ文字グループが展開されます。

3 ◀ ▶ で入力する文字を選び、決定 を押す

- キーボード内入力欄に決定した文字が表示されます。

- 続けて手順**2**～**3**を行い、文字を入力します。

4 黄 を押し、入力を完了する

- プロバイダ設定画面の入力欄に完了した文字列が表示され、ソフトウェアキーボードが消えます。

次ページへつづく

ソフトウェアキーボードについて(つづき)

だく点「゛」や半だく点「゜」を付ける

[例]「ぴ」を入力する

1

① ▲ ▼ **で文字モード「ひらがな」を選ぶ**

② ◀ ▶ **で「は行」を選び、決定 を押す**

2

◀ ▶ **で「ひ」を選び、決定 を押す**

3

◀ ▶ **で「゜」を選び、決定 を押す**

●「゛」を選んで決定ボタンを押すと、「び」になります。

スペースを入力する

◀ ▶ **で文字グループから「空白」を選び、決定 を押す**

●文字モードにより、半角スペースと全角スペースがあります。

●1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー **または** 終了 **を押し、通常画面に戻す**

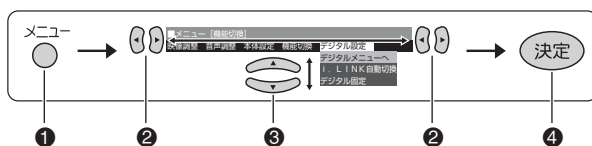
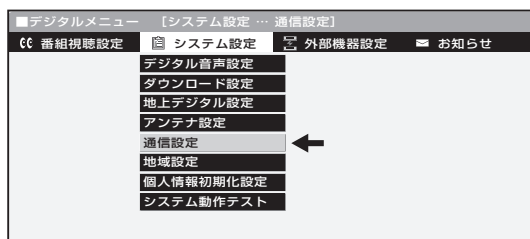
プロバイダ設定を行う

プロバイダ設定

■ すでに契約しているプロバイダを使って、地上デジタル放送の双方向サービスで双方向通信を利用する場合に必要な設定です。

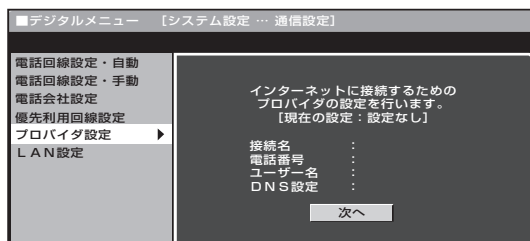
操作開始

1 地上D を押し、地上デジタル放送を選ぶ

2 ①❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ 決定 を押す

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「通信設定」を選び、決定 を押す

3 ① ▲ ▼ で「プロバイダ設定」を選び、決定 を押す

- プロバイダ設定画面が表示されます。

② 「次へ」で 決定 を押す

次ページへ

メニュー画面について

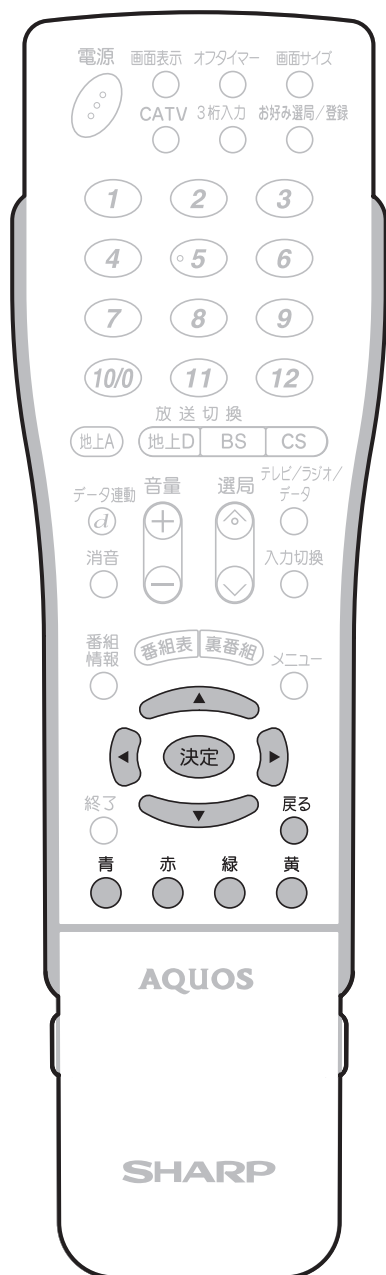
- メニュー画面は表示後、何も操作しないと約1分後に自動的に消えます。表示されている間につぎの操作を行ってください。

次ページへつづく

プロバイダ設定を行う(つづき)

「接続名」について
- 通常は、契約しているプロバイダの業者名を入力します。

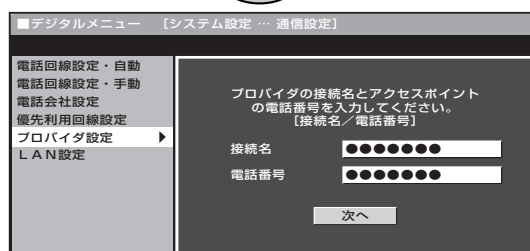
「電話番号」について
- 契約しているプロバイダのアクセスポイントの電話番号を入力します。

「ユーザー名」「パスワード」について
- プロバイダと契約した際に提供されたものを入力します。

4

① 決定 を押してソフトウェアキーボードを表示し､接続名を入力する

●カーソルが「電話番号」の欄に移動します。

② 決定 を押してソフトウェアキーボードを表示し､電話番号を入力する

③ 「次へ」で 決定 を押す

5

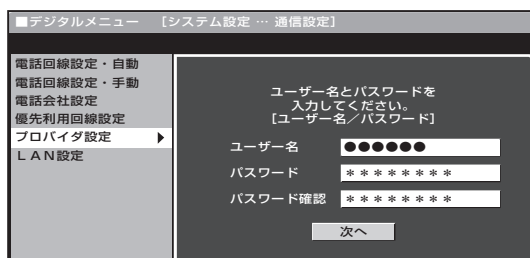
① 決定 を押してソフトウェアキーボードを表示し､ユーザー名を入力する

●カーソルが「パスワード」の欄に移動します。

② 決定 を押してソフトウェアキーボードを表示し､パスワードを入力する

●カーソルが「パスワード確認」の欄に移動します。

③ 決定 を押してソフトウェアキーボードを表示し､同じパスワードを入力する

④ 「次へ」で 決定 を押す

次ページへ

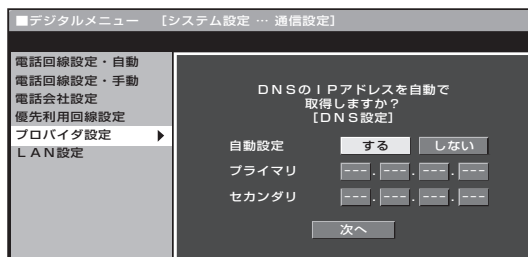
- ソフトウェアキーボードについて詳しくは、**75** ページをご覧ください。

「IPアドレス」について

自動設定「しない」を選んだ場合

- プロバイダと契約した際に提供されたものを入力します。
データのやりとりに使われる、3桁の数字4つで表された番号です。
「プライマリ」：1番目の番号
「セカンダリ」：2番目の番号

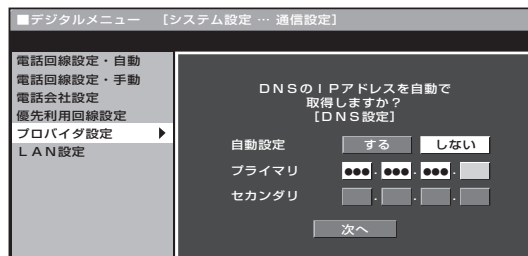
6

で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

- 「する」を選んだ場合は、「次へ」で決定ボタンを押します。手順**8**に進んでください。
- 「しない」を選んだ場合は、DNSのIPアドレスを入力します。手順**7**に進んでください。

7

① 決定 を押し、ソフトウェアキーボードを表示する

② ソフトウェアキーボードで、DNSのIPアドレスの「プライマリ」を入力する

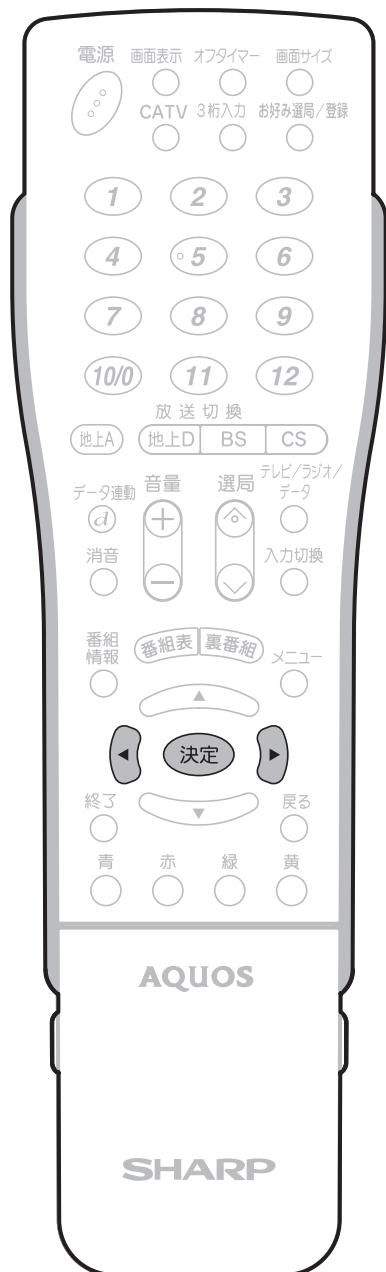
- ①、②をくり返し、各入力欄に数字を入力します。

③ プライマリと同様に、DNSのIPアドレスの「セカンダリ」を入力する

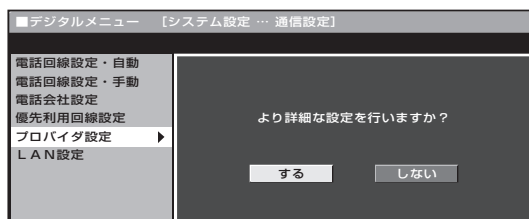
④ 「次へ」で 決定 を押す

次ページへ

- ソフトウェアキーボードについて詳しくは、**75**ページをご覧ください。

次ページへつづく

プロバイダ設定を行う(つづき)

詳細な設定をする

8 **◀▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す**

- 「する」を選んだ場合は、詳細設定画面が表示されます。
  手順**9**に進んでください。
- 「しない」を選んだ場合は、設定を終了してプロバイダ設定画面に戻ります。手順**12**に進んでください。

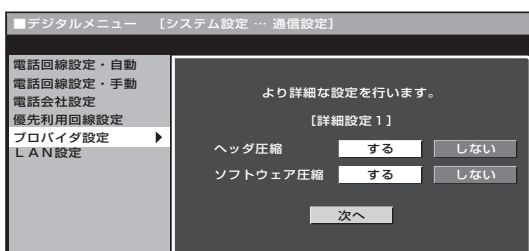
■通信速度を向上させるか、させないかの設定です。
契約しているプロバイダがこれに対応していない場合は、「しない」に設定してください。

9

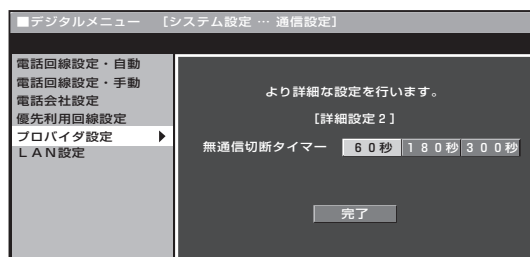
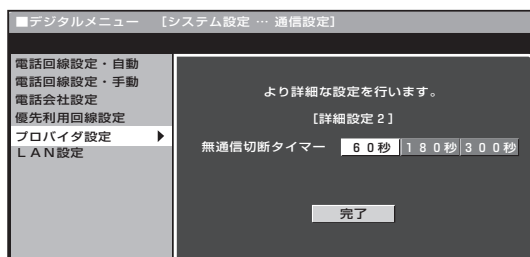
① ◀▶ で、ヘッダ圧縮を「する」または「しない」を選び、決定 を押す

② ◀▶ で、ソフトウェア圧縮を「する」または「しない」を選び、決定 を押す

③ 「次へ」で 決定 を押す

■デジタルメニュー　［システム設定 … 通信設定］
電話回線設定・自動
電話回線設定・手動
電話会社設定
優先利用回線設定
プロバイダ設定
ＬＡＮ設定
より詳細な設定を行います。
［詳細設定１］
ヘッダ圧縮　する　しない
ソフトウェア圧縮　する　しない
次へ

次ページへ

■回線を切断する時間の設定です。その時間に通信がなければ、回線を切断します。

10 で「60秒」「180秒」「300秒」のいずれかを選び、決定を押す

11 「完了」で 決定 を押す

12 メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

LAN接続と設定

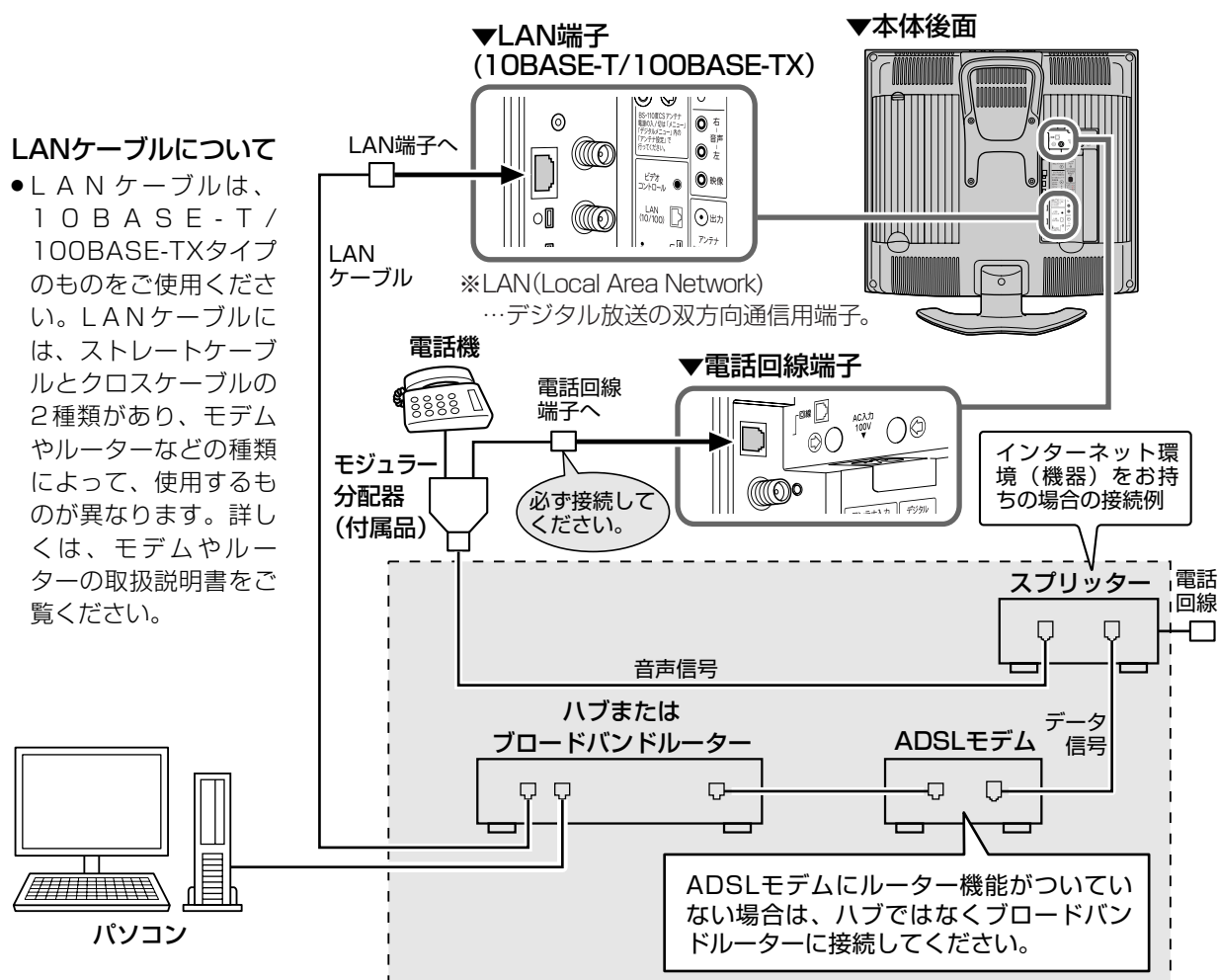
■デジタル放送のデータ放送との双方向通信は、本機を電話回線につなぐとできますが、プロバイダを利用したLANを設定すれば、通信速度が向上し、データ放送をさらに快適に楽しむことができます。この場合、LAN接続と設定が必要となります。
■パソコンなどのインターネット環境をお持ちでない場合は、つぎのような接続機器が必要になります。また、回線業者やプロバイダにより、必要な機器と接続方法が異なります。

LAN 接続のしかた

（接続の一例です）

- ADSLの接続は、専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。
- LAN接続した場合でも、電話回線のみで通信が行われることがありますので、必ず電話回線端子にも接続してください。

LANケーブルについて

- ＬＡＮケーブルは、１０ＢＡＳＥ-Ｔ/100BASE-TXタイプのものをご使用ください。ＬＡＮケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの２種類があり、モデムやルーターなどの種類によって、使用するものが異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

接続後は、必ず、電話回線設定（1. 準備編 60ページ）、プロバイダ設定（79ページ）、およびLAN設定（85ページ）を行ってください。

● ADSLモデム
本機やコンピュータなどをADSL回線に接続する際に必要となる、信号変換のための機器です。
公衆電話回線網を通じて送られてくるADSL信号をイーサーネットの信号に変換します。
ADSLの規格は事業者ごとに異なるため、キャリアを変更した場合や設置地点を変更した場合には、同じADSLモデムでは利用できないことがあります。

● ハブ
複数の機器をネットワークに接続するための集線機器です。

● ブロードバンドルーター
広帯域のデータ信号を他のインターネットに接続するための中継機器です。

● スプリッター
ADSLでは音声信号とデータが同じ回線の中を流れてくるため、これをそれぞれ電話機とADSLモデムとに分ける必要がありますので、スプリッターを接続し、そこから電話機とADSLモデムに信号を振り分けます。

インターネット環境をお持ちの場合は、LAN接続をすることにより、データ放送通信がより快適に利用できます。

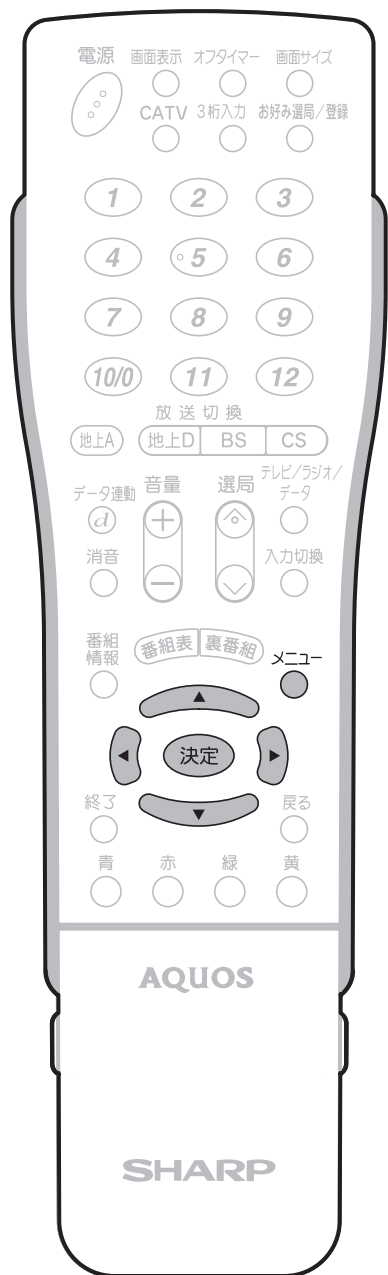
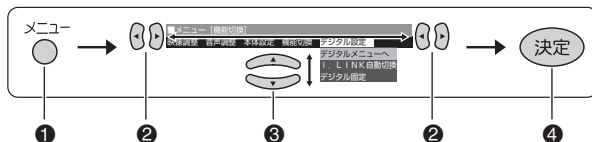
LAN設定

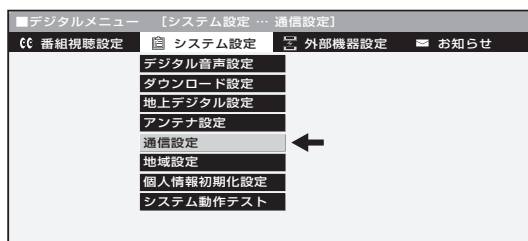
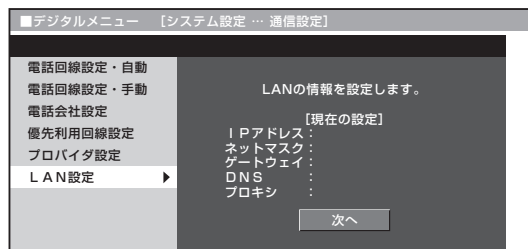
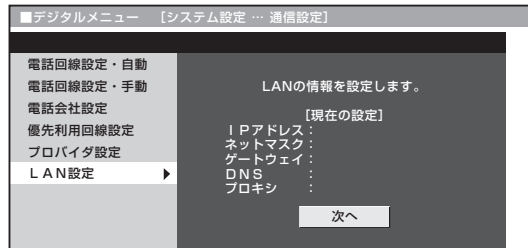
■ LAN接続(**84**ページ)によってデータ放送との双方向通信を行う場合、プロバイダを利用したLANの設定が必要となります。

- LAN設定は専門知識が必要ですので、お買い上げの販売店やADSL事業者などにご相談ください。

設定画面を表示する

操作開始

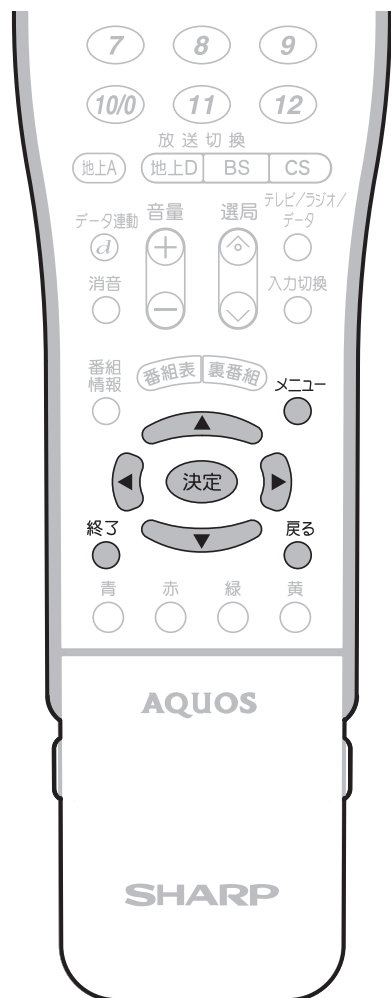
1 **①❶メニュー画面から❷「デジタル設定」—❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ 決定 を押す**

② ◀ ▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「通信設定」を選び、決定 ボタンを押す

2 **▲ ▼ で「LAN設定」を選び、決定 を押す**

3 **「次へ」で 決定 を押す**

次ページへ

- ADSL専用の契約(IP電話回線網の使用に限定した契約)の場合、双方向サービスへの接続ができない場合があります。

次ページへつづく

LAN接続と設定(つづき)

■ IPアドレスの自動取得設定
ブロードバンドルーターやルーター機能付きADSLモデムをお使いの場合は、通常DHCPでのIP自動取得が使えます。ご不明のときは、設置された方に確認するか、それぞれの機器の説明書をご覧ください。

● DHCP：
IPネットワークにおいて、IPアドレスの割当てと各種の設定を自動で行うためのプロトコルです。

● IPアドレス：
TCP/IPネットワークに接続されたネットワーク機器に個別に割り振られた識別番号です。

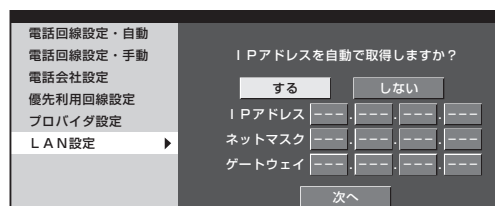
●ネットマスク：
TCP/IPネットワークを複数の小さなネットワークに分割して識別管理する識別番号です。

●ゲートウェイ：
ネットワーク上で、異なる方式のデータを相互に変換して通信を可能にする機器の識別番号です。

IPアドレスを設定する

4 **◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、(決定) を押す**

「する」……IPアドレスを自動で取得します。(DHCPサーバーを利用します。)

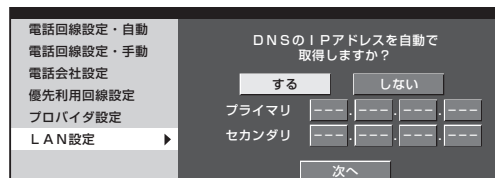
「しない」…指定のIPアドレスを手動で入力します。

●「しない」を選んだときは、ブロードバンドルーターの仕様を確認し、IPアドレスを画面の指示に従って入力してください。

5 **「次へ」で (決定) を押す**

DNSのIPアドレスを設定する

6 **◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、(決定) を押す**

「する」……DNSのIPアドレスを自動で取得します。(DHCPサーバーを利用します。)

「しない」…指定のIPアドレスを手動で入力します。

●「しない」を選んだときは、ブロードバンドルーターのIPアドレス(ブロードバンドルーターがDNSの機能を持つ場合)またはプロバイダから指示されたDNSのIPアドレスを入力してください。

7 **「次へ」で (決定) を押す**

■ プロキシサーバーの設定
プロバイダからの指定があるときのみ、設定が必要です。

プロキシサーバーの設定

8 ① ◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

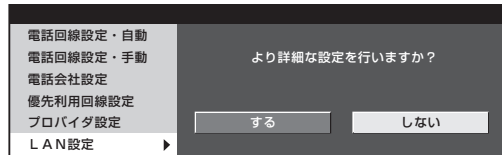
「する」を選んだときは

② プロキシサーバーのアドレス、ポート番号を入力する

9 **「次へ」で 決定 を押す**

より詳細な設定
（通常は「しない」を選びます。）

10 ◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

●通常は「しない」を選んでください。

「する」……… 手順11へ進みます。
「しない」…… 手順13へ進みます。

LAN接続スピードを設定する

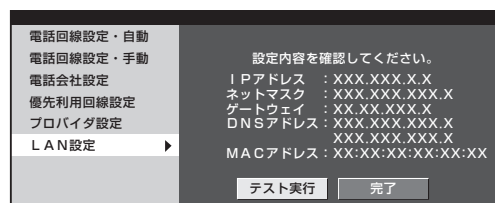
11 ▲ ▼ ◀ ▶ で「自動検出」を選び、決定 を押す

●通常は設定の必要はありません。通信がうまくいかないなどのときに、設定を変更して確認します。

12 **「次へ」で 決定 を押す**

LANに接続するためのテストを実行する

■テスト実行は、IPアドレスを自動で取得する設定のときのみです。IPアドレスを自動で取得しない場合は、「テスト実行」を選べません。

13 設定内容を確認し、◀ ▶ で「テスト実行」を選び、決定 を押す

●1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

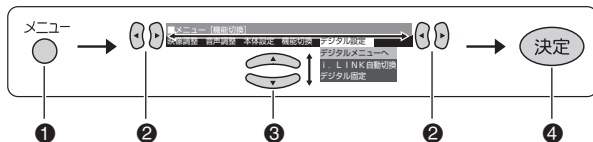
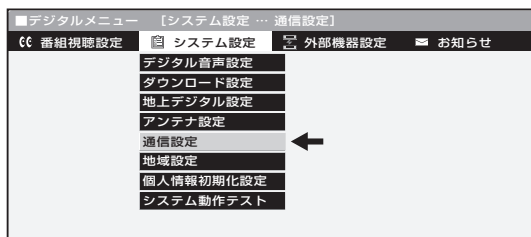
メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

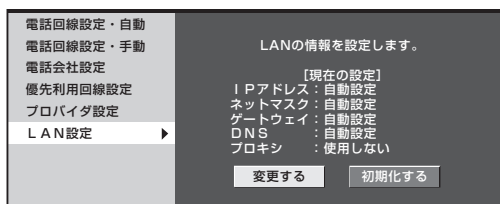
次ページへつづく

LAN接続と設定(つづき)

LAN設定の内容を変更する

操作開始

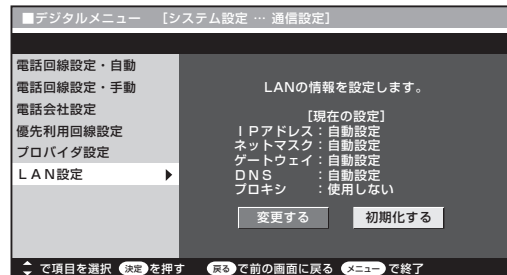
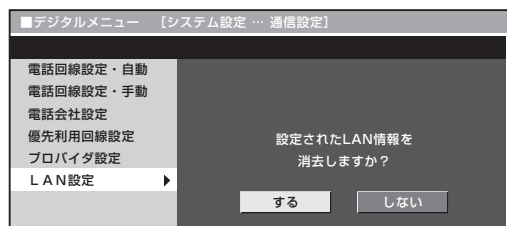
1 ①❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ (決定) を押す

② ◀▶ で「システム設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「通信設定」を選び、(決定) を押す

2 ① ▲ ▼ で「LAN設定」を選び、(決定) を押す

② ◀▶ で「変更する」を選び、(決定) を押す

3 86ページ手順4～87ページ手順13を行い、再設定する

LAN設定の内容を消去する

操作開始

1 「LAN設定の内容を変更する」の手順2で「初期化する」を選び、(決定) を押す

2 ◀▶ で「する」を選び、(決定) を押す

● 1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

操作終了する場合は ▶ (メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す

他の機器をつないで使う

● この章では、お手持ちのAV機器をつないで再生映像を楽しんだり、地上アナログ放送やデジタル放送などを録画したりするときに必要となることがらについて説明しています。

外部機器を接続する

D4映像入力に外部機器を接続する（D4映像入力）

■ **コンポーネントビデオ端子付き機器の場合**

コンポーネントビデオ信号は色差信号ともよばれ、映像を輝度信号（白黒成分）と2種類の色信号（青：B-Y／赤：R-Y）に分離して伝送します。デジタルチューナーやDVDでは輝度信号と色信号を別々に記録して出力するため、輝度信号と色信号を混合して伝送する通常のビデオ信号に比べ、色のにじみが少ないなど、高品位な伝送が可能です。本機で採用しているD端子は、この3本の信号線（Y／B-Y：P_B／R-Y：P_R）を一度に接続できる端子です。

本体（背面）

コンポーネントビデオ出力付き機器の場合

コンポーネント映像変換用
D端子ケーブル（市販品）

D4映像
入力端子へ

音声ケーブル
（市販品）

（白）

（赤）

音声入力端子へ

コンポーネントビデオ入力

信号の
流れ

信号の
流れ

コンポーネント
ビデオ端子へ

音声出力端子へ

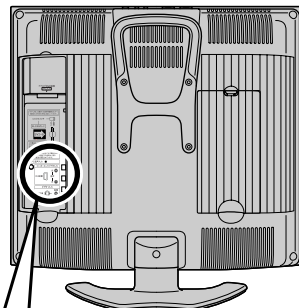
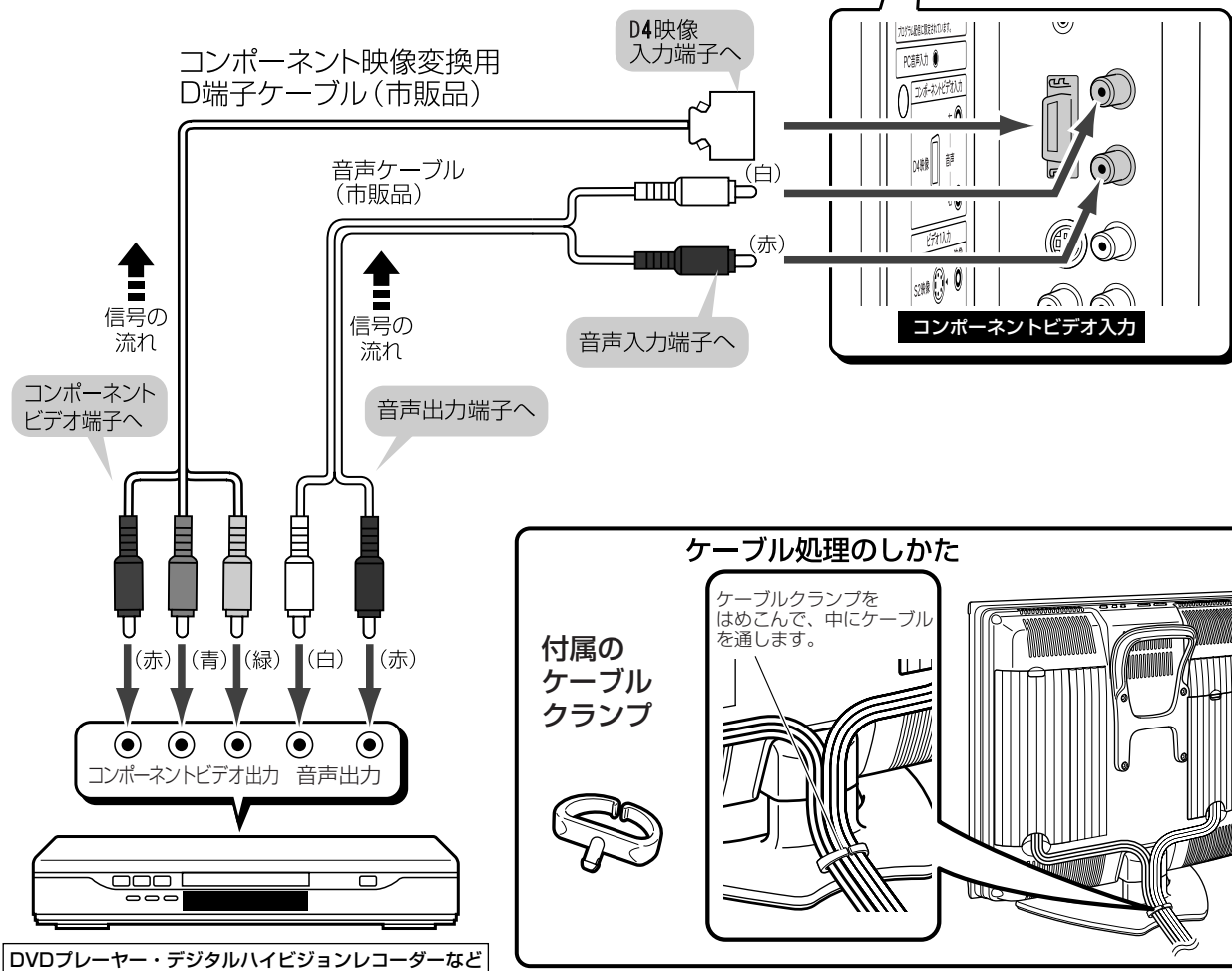
（赤）（青）（緑）（白）（赤）

コンポーネントビデオ出力　音声出力

DVDプレーヤー・デジタルハイビジョンレコーダーなど

ケーブル処理のしかた

**付属の
ケーブル
クランプ**

ケーブルクランプを
はめこんで、中にケーブル
を通します。

- D4映像入力端子は、525i、525p、1125i、750pの映像信号入力に対応していますが、本機の映像の表示能力は1024×768画素の範囲になります。
  ※入力映像が標準画質の場合は、表示される映像は入力と同じ画質になります。
- コンポーネントビデオ入力端子、S2映像端子、アナログRGB映像入力端子（PC入力）からの映像は、モニター出力から出力されません。

ビデオテープやDVD映像を見たいときのつなぎかたです。

■ D端子付き機器の場合
機器の接続には市販のD端子用ケーブルが必要です。

ビデオやゲーム機などを接続する（ビデオ1／2入力）

本体（背面）

・接続するビデオ機器のD端子はD1～4までありますが、接続には支障ありません。

※ビデオ1/2入力について
・接続する機器(ビデオカメラなど)によっては専用コードでつなぐ場合があります。
接続のしかたは接続するそれぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

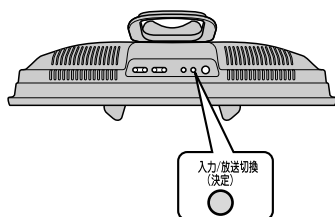
本体（背面）

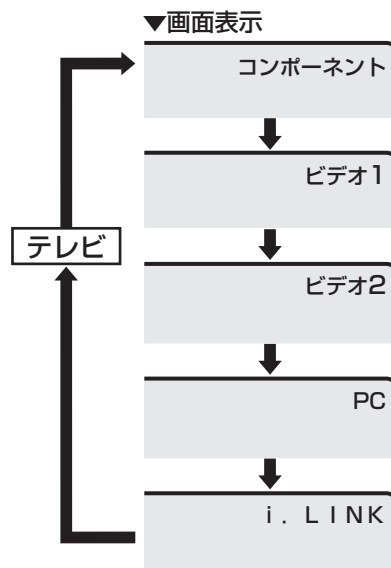
・光線銃などを使い、画面を標的にするゲームは使用できません。

ビデオ機器の再生映像を楽しむ

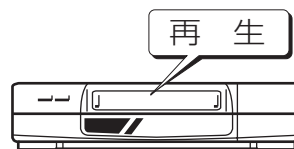
ビデオ機器の再生映像を見る

■ 本機の各ビデオ入力端子に接続した、ビデオ機器の再生映像を視聴するには、機器を接続したビデオ入力の画面に切り換えてください。
（ビデオデッキやDVDプレーヤーなどの接続については、1. 準備編 **20**・**21**ページをご覧ください。）

▼本体天面

- 本体天面操作部の入力/放送切換ボタンでも、入力を切り換えることができます。**3**ページをご覧ください。
- 再生するビデオ機器の取扱説明書を併せてお読みください。

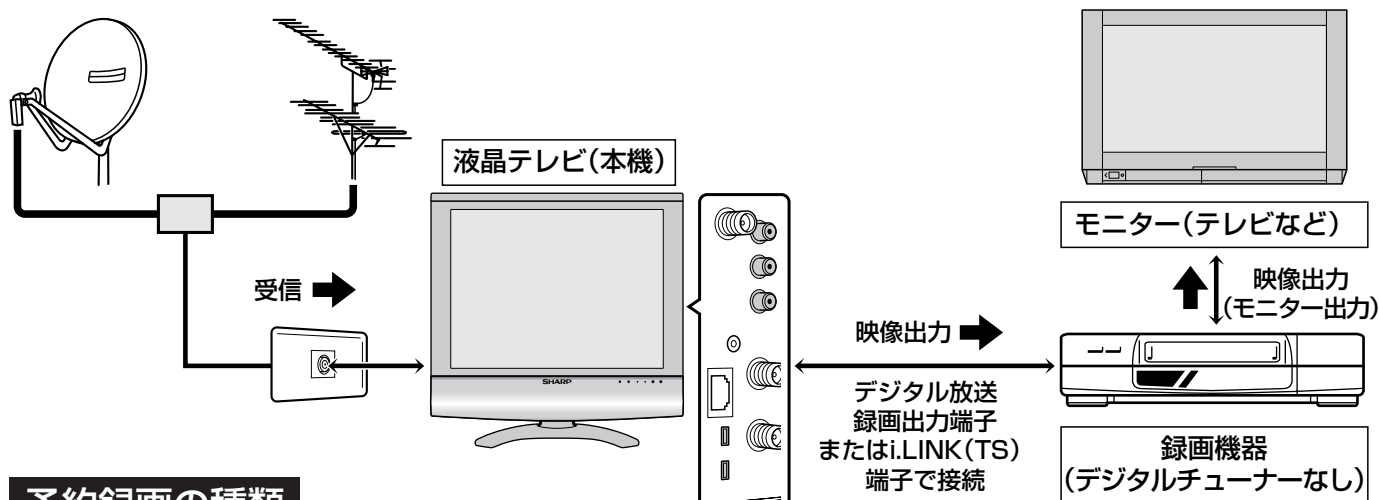
1 入力切換 を押し、切り換えたいビデオ入力を選ぶ

▼画面表示

- 天面の入力/放送切換ボタンを押しているときは、デジタル放送も選局されます。
- ボタンを押すたびに、切り換わります。
- ビデオ２は端子の設定を「録画出力／モニター出力」に切り換えることができます。切換後は、入力切換ボタンでビデオ2は選べません。

2 ビデオ機器を再生状態にする

お手持ちの録画機器でデジタル放送を録画するには

デジタルチューナーのない録画機器の場合

接続イメージ

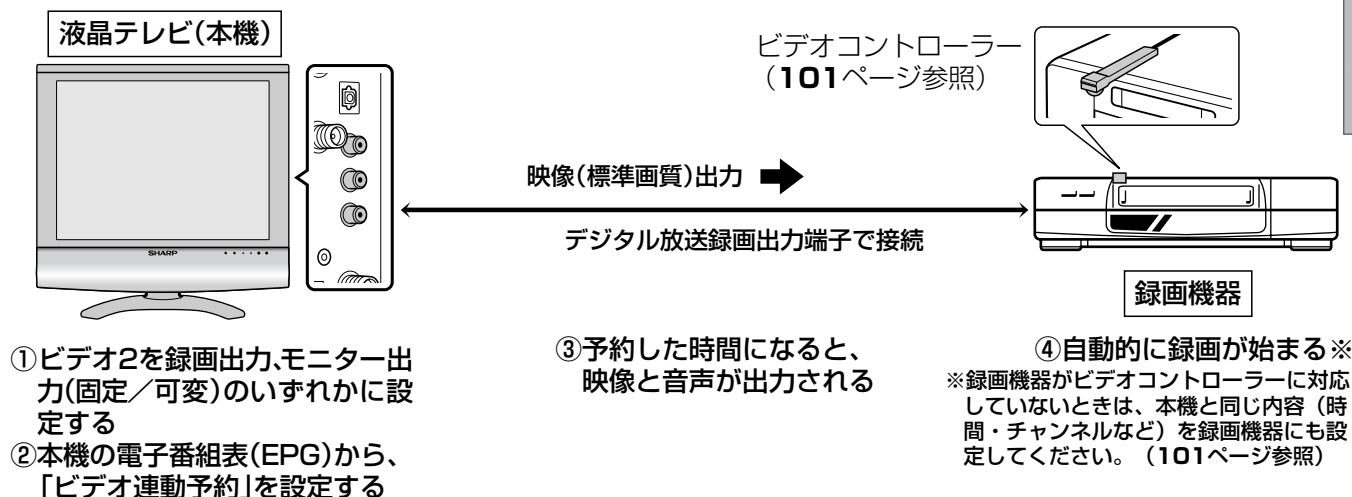
■アンテナから液晶テレビ(本機)で受信した映像を、液晶テレビ(本機)のデジタル放送録画出力端子またはi.LINK(TS)端子から出力し、お手持ちの録画機器で録画します。

予約録画の種類

■**デジタル放送録画出力端子**で接続したとき:「ビデオ連動録画設定」(**102**ページ参照)

①ビデオ2を録画出力、モニター出力(固定／可変)のいずれかに設定する
②本機の電子番組表(EPG)から、「ビデオ連動予約」を設定する

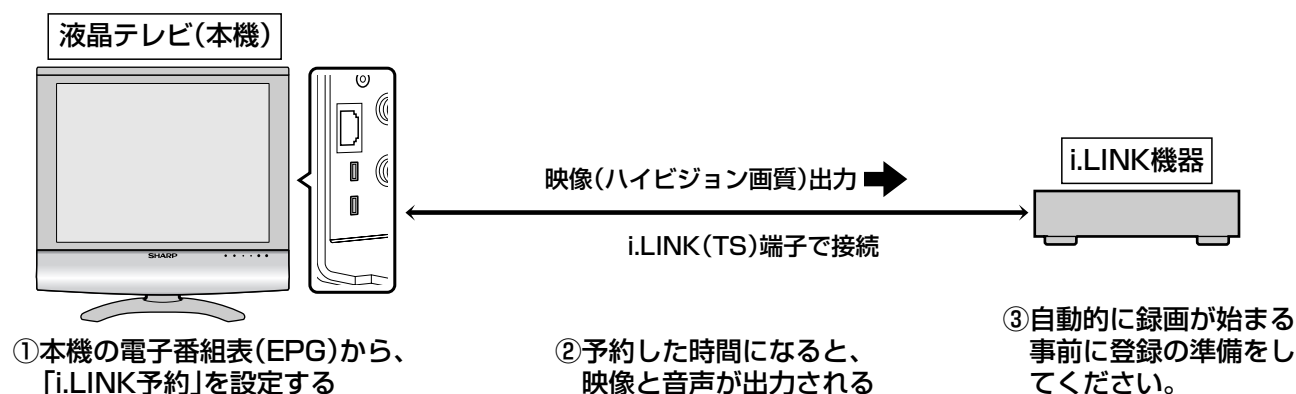
③予約した時間になると、映像と音声が出力される

④自動的に録画が始まる※

※録画機器がビデオコントローラーに対応していないときは、本機と同じ内容(時間・チャンネルなど)を録画機器にも設定してください。(**101**ページ参照)

■**i.LINK(TS)端子**で接続したとき:「i.LINK設定」(**107**ページ参照)

①本機の電子番組表(EPG)から、「i.LINK予約」を設定する

②予約した時間になると、映像と音声が出力される

③自動的に録画が始まる
事前に登録の準備をしてください。

お手持ちの録画機器でデジタル放送を録画するには(つづき)

外部自動録画機能(シンクロ予約機能)が付いている場合

シンクロ予約とは、録画機器側で録画出力信号を受信すると自動的に録画を開始する機能です。
下記の手順で操作してください。(詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。)

①液晶テレビ(本機)の録画出力端子またはi.LINK(TS)端子と、録画機器を接続する。

②本機の電子番組表(EPG)から、「ビデオ連動予約」または「i.LINK予約」を設定する。

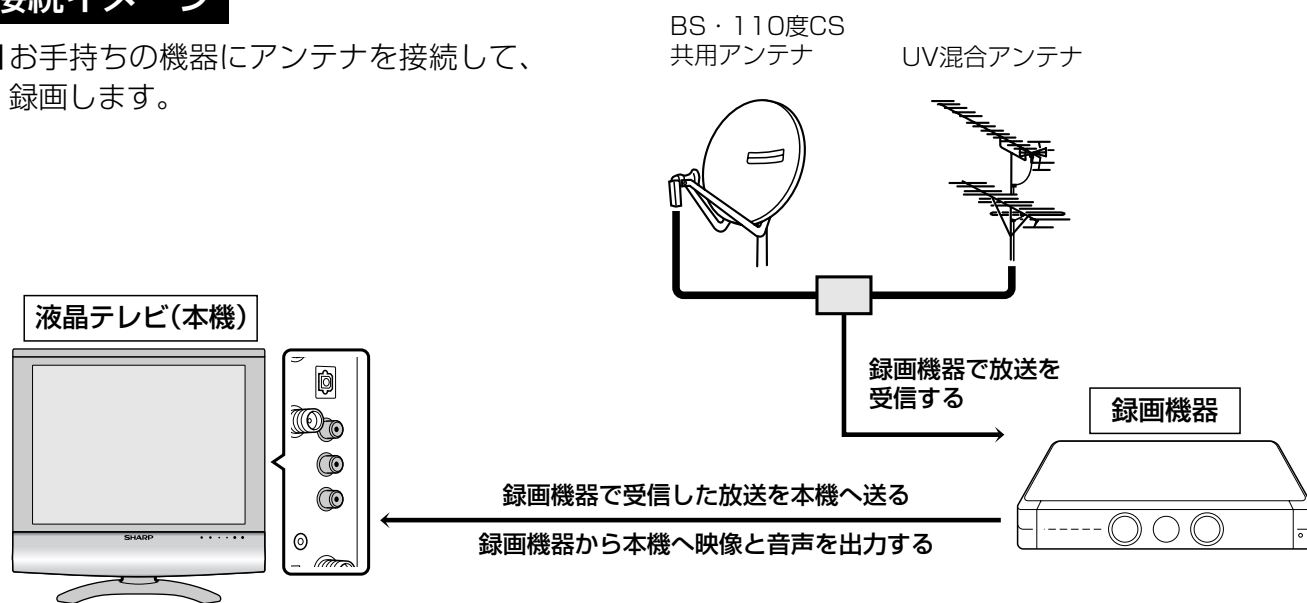
③液晶テレビ(本機)を、リモコンで電源「切」にする。

④録画機器の外部自動録画(シンクロ予約)を設定し、録画の準備をする。

これでシンクロ予約が完了しました。
液晶テレビ(本機)で設定した時刻になると、録画機器側の電源が「入」になり、自動的に録画開始〜終了します。

デジタルチューナー付きの録画機器の場合

接続イメージ

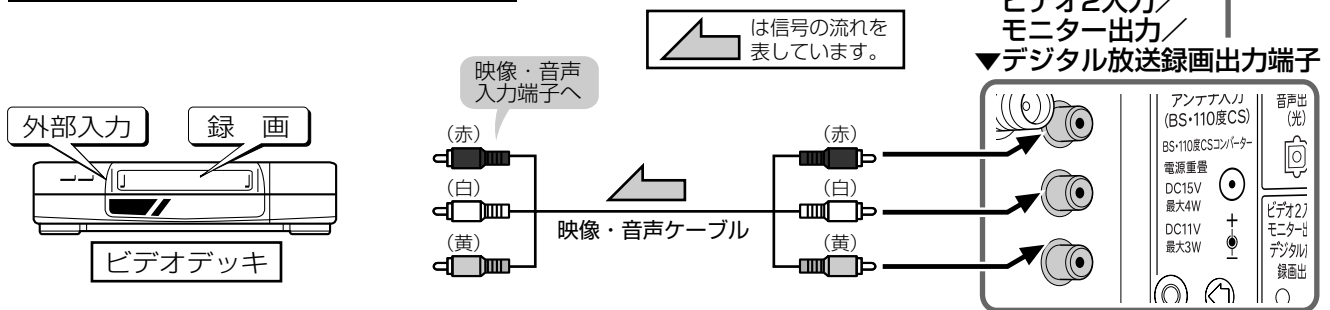
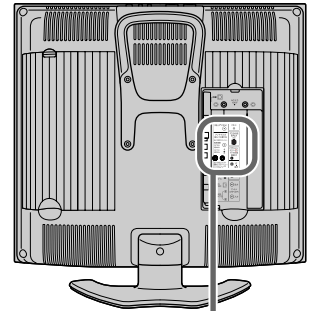
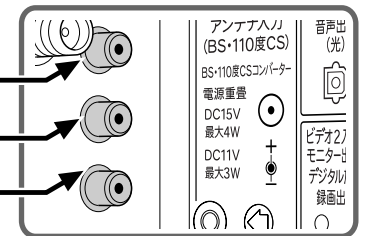
■お手持ちの機器にアンテナを接続して、録画します。

予約録画について

■録画機器で予約設定をします。予約の設定については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。

録画・編集

放送やビデオカメラの映像を録画したいときのつなぎかた

■本機で受信しているテレビの映像と音声を、ビデオ2入力／モニター出力／デジタル放送録画出力端子から出力することができます。
■メニューで設定を「モニター出力」に切り換えて、本機のビデオ2入力／モニター出力／デジタル放送録画出力端子とビデオデッキの入力端子を接続すると、受信した映像と音声がビデオデッキで録画できます。

ビデオ2入力／モニター出力／デジタル放送録画出力端子に接続

地上アナログ放送の番組を録画する

ビデオ2をモニター出力に切り換える

［例］6チャンネルの番組を録画する

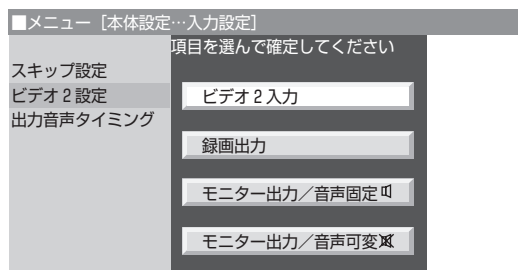
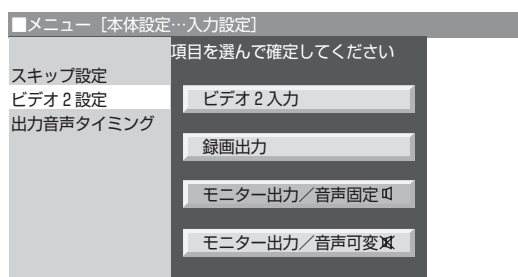
操作開始

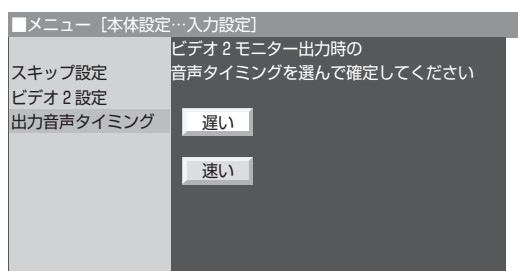
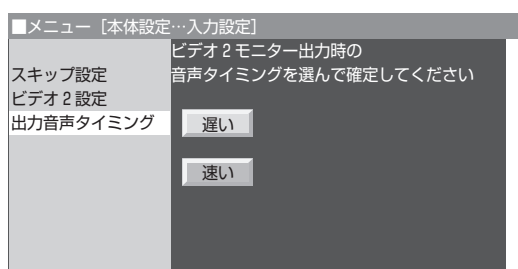
1
① 地上A を押し、地上アナログ放送を選ぶ
② チャンネルボタン 6 を押し、録画する番組を選ぶ

2
① メニュー を押し、テレビメニュー画面を表示する
② ◀ ▶ で「本体設定」を選ぶ
③ ▲ ▼ で「入力設定」を選び、決定 を押す

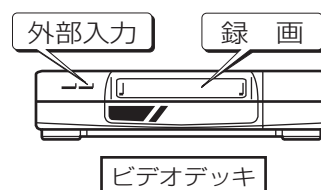
次ページへ

録画・編集(つづき)

3 **で「ビデオ2設定」を選び、決定 を押す**

4 **で「モニター出力／音声固定」を選び、決定 を押す**

●ビデオデッキに録画用のモニター出力信号が入力されます。

5 **で「出力音声タイミング」を選び、決定 を押す**

6 **で「速い」を選び、決定 を押す**

●出力される映像と音声のタイミングがそろいます。

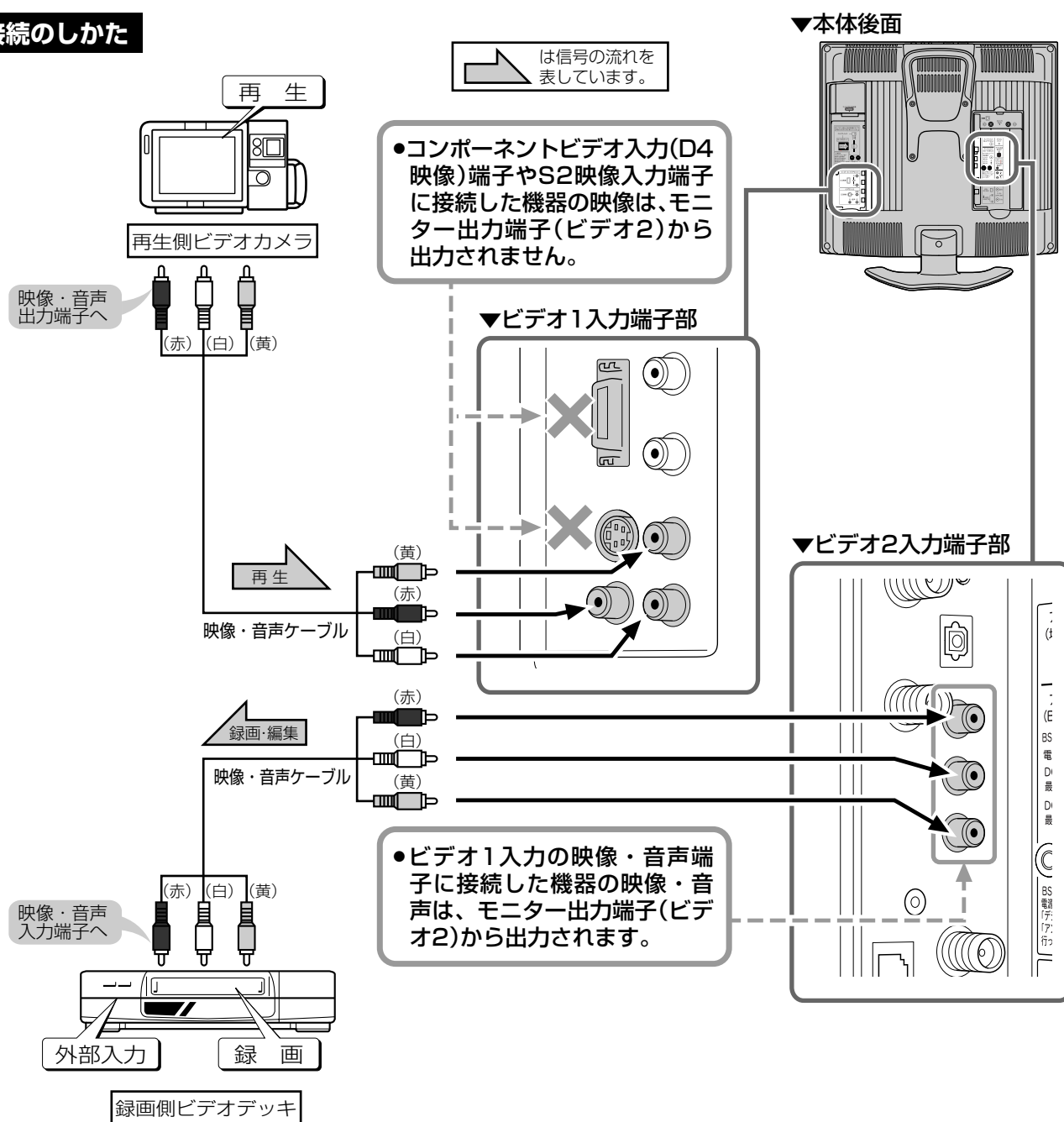
7 **メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す**

8 **ビデオデッキを外部入力(本機のモニター出力端子と接続している外部入力番号)に切り換えて、録画状態にする**

●これで本機が受信しているテレビ番組を、ビデオデッキに録画することができます。

モニター出力／音声固定：
音声出力端子から出力される音量は一定で、スピーカーの音量を調整しても出力レベルは変わりません。

モニター出力／音声可変：
スピーカーからは音が出ません。音声出力端子から出力される音量レベルを音量ボタンで調整できます。

- 録画をするビデオデッキの入力切換えや操作方法など、詳しくはビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。
- デジタル放送を録画するときは「視聴中のデジタル放送を録画する」(**99**ページ)、および「ビデオコントローラーを使って予約する」(**101**ページ)をご覧ください。
- テレビチャンネルを切り換えると、モニター出力端子から出力される映像も変わってしまいます。
- D4映像入力端子／S2映像入力端子／アナログRGB映像入力端子(PC入力)から入力された映像信号はモニター出力(ビデオ2)端子から出力されません。
- オンタイマー(**133**ページ)のチャンネル設定を「ビデオ2」にしたときは、「ビデオ2」の設定はできません。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 出力音声タイミングを「速い」に設定すると、出力される音声のタイミングは、本機に表示される映像よりも速く聞こえます。映像は本機の画面で見て、音声は接続した音響機器で聞く場合は、出力音声タイミングを「遅い」に設定してください。(**106**ページ)

■本機のビデオ1入力端子に接続したビデオカメラなどの映像を、本機の画面で見ながら、モニター出力端子に接続したビデオデッキで録画・編集することができます。

ビデオ2入力端子

■メニュー設定により「入力」「モニター出力(固定または可変)」「録画出力」を切り換えて使います。予約録画中、デジタル固定中は、「モニター出力(固定または可変)」に設定していても「録画出力」になります。

■モニター出力(固定または可変)として使う場合

●D4映像入力端子／S2映像入力端子／アナログRGB映像入力端子(PC入力)から入力された映像信号は、モニター出力から出力されません。(音声のみ出力されます。)

■録画出力として使う場合

●デジタル放送を録画するときに使います。

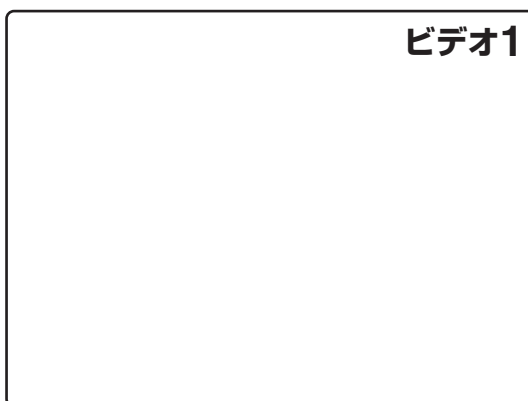
●デジタル放送のハイビジョン画質(1125i)の映像は、標準画質(525i)に変換して出力します。したがって、接続されたビデオデッキでは標準画質で録画されます。

録画・編集(つづき)

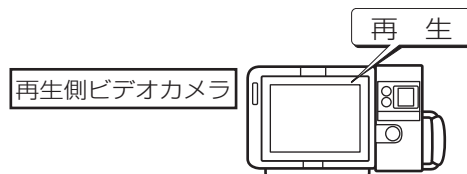
ビデオカメラなどの映像を録画・編集する

[例] ビデオ1入力に接続したビデオカメラの映像を録画・編集する

操作開始

1 入力切換 **を押し、画面を「ビデオ1」に切り換える(92ページ参照)**

2 録画側ビデオデッキを接続した、ビデオ2入力端子の設定を「モニター出力(音声固定または音声可変)」に切り換える(95ページ参照)

3 録画側ビデオデッキを外部入力に切り換えて、録画状態にする

4 ビデオ1入力に接続した、ビデオカメラを再生状態にする

- これでテレビ画面で内容を確認しながら、再生側ビデオカメラから録画側ビデオデッキへ録画・編集することができます。

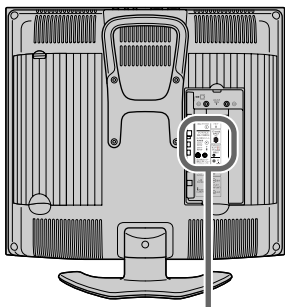
- 接続する機器の操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

視聴中のデジタル放送を録画する

■ビデオ2入力／モニター出力／デジタル放送録画出力端子にビデオデッキを接続して、デジタル放送を録画することができます。また、D-VHSビデオデッキを接続して録画するときは、i.LINKを使って録画ができます。(**105**ページをご覧ください。)

ビデオ2入力／モニター出力／デジタル放送録画出力端子に接続

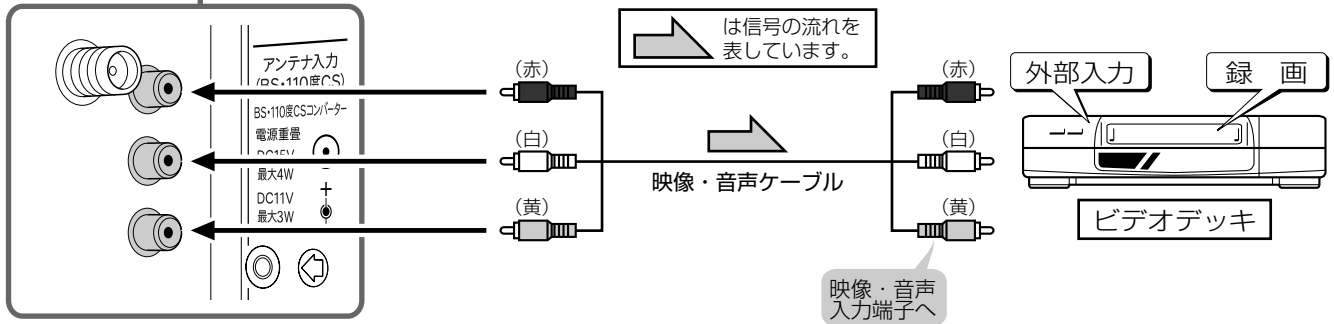
①デジタル放送は、デジタルチャンネルを固定して録画することができます。(**100**ページ)
②デジタル放送は、ビデオコントローラーで予約録画することができます。(**101**ページ)

▼本体後面

録画出力に設定すると出力される信号

BS デジタル放送・110 度 CS デジタル放送・地上デジタル放送・i.LINK 接続

録画出力に設定すると出力されない信号

地上アナログ放送・ビデオ 1 入力・コンポーネントビデオ入力・PC 入力

ビデオ2入力／
モニター出力／
▼デジタル放送録画出力端子

- デジタル放送録画出力端子からは、デジタル放送のハイビジョン画質(走査線1125本)の映像を標準画質(走査線525本)に変換して出力します。したがって、接続されたビデオデッキでは標準画質で録画されます。
- ハイビジョン画質で録画するときは、D-VHSビデオデッキをi.LINK接続して、i.LINK設定を行ってください。(**105**～**114**ページ参照)
- 番組により、録画・録音が制限されている場合があります。

CATV　3桁入力　お好み選局／登録
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12
放送切換　地上A　地上D　BS　CS
データ連動　音量　選局　テレビ/ラジオ/データ　消音　入力切換

おしらせ

- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録画出力：デジタル放送を録画するときに選びます。(地上アナログ放送などの裏番組を見ることができます。)

ビデオ2を「録画出力」に切り換える

[例] NHK BS1の番組を録画する

1 ビデオデッキを接続した、ビデオ2入力端子の設定を「録画出力」に切り換える

2 録画するチャンネル「NHK BS1」を選局する

3 ビデオデッキを外部入力に切り換えて、録画状態にする

外部入力　録　画

録画・編集(つづき)

他の機器をつないで使う

次ページへつづく

デジタル固定の設定

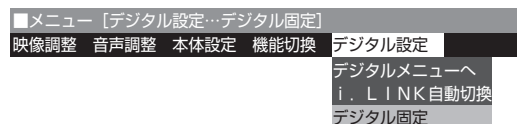
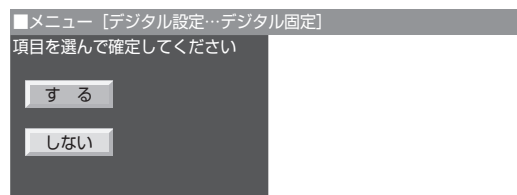
■「デジタル固定」とは、現在受信しているデジタル放送のチャンネルに固定する機能です。
デジタル番組を録画しているとき、誤ってチャンネルを変えてしまうのを防ぐことができます。
また、デジタル放送の番組を録画しながら地上アナログ放送やCATV放送の裏番組を視聴できます。

操作開始

1 **固定したいデジタル放送のチャンネルを選局する**

2
① **(メニュー) を押し、メニュー画面を表示する**
② **(◀)(▶) で「デジタル設定」を選ぶ**
③ **(▲)(▼) で「デジタル固定」を選び、(決定) を押す**

■メニュー［デジタル設定…デジタル固定］
映像調整　音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
ｉ．ＬＩＮＫ自動切換
デジタル固定

3 **(◀)(▶) で「する」を選び、(決定) を押す**

●1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

操作終了する場合は ▶

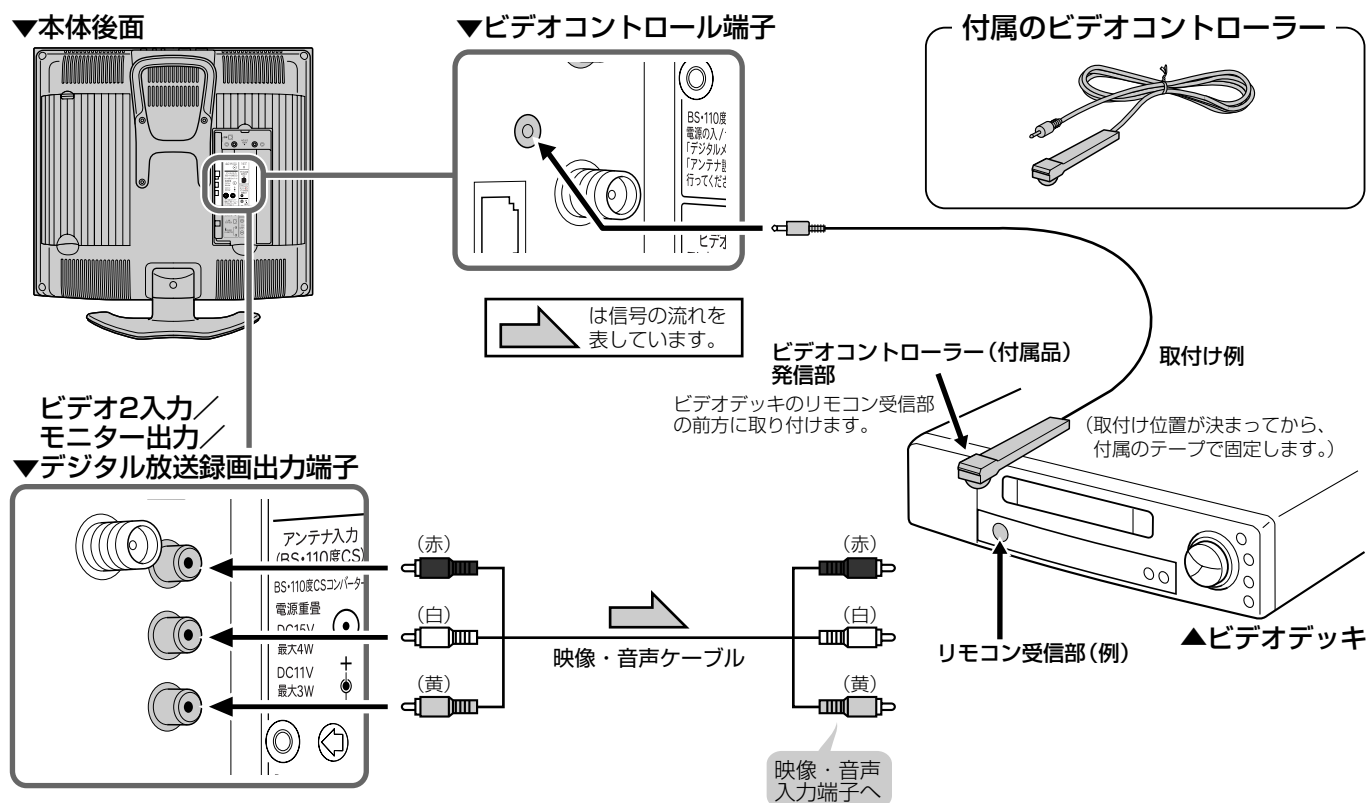
(メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す

●デジタル固定時は、デジタル放送関連の操作(デジタル放送の選局、メニュー・番組情報・番組表の表示等)ができません。
●デジタル固定時は、i.LINK操作パネルを表示できません。
●デジタル固定中に録画・視聴予約時間になると、デジタル固定が自動的に解除され予約していたチャンネルに切り換わります。
●予約録画実行中やi.LINK入力時には、デジタル固定ができません。
●デジタル放送をビデオデッキで録画する場合は、「デジタル固定」または「ビデオ連動予約」で録画することをおすすめします。
●デジタル固定を「する」に設定しているときは、リモコンで電源を「切」(電源待機状態)にしても、デジタル放送録画出力端子からデジタル放送の映像・音声が出力されますので、録画を続けることができます。

ビデオコントローラーを使って予約する(ビデオ連動録画)

ビデオコントローラーを使うと、予約した時刻にビデオコントローラーからビデオデッキにリモコン信号が送信され、ビデオデッキの電源の入／切や録画の開始／停止を行い、本機の予約機能と連動してデジタル放送の番組を録画(ビデオ連動録画)することができます。この場合、ビデオデッキの予約設定は必要ありません。

※ ビデオデッキの種類によっては、リモコン信号が異なるため動作しない場合があります。そのときは、ビデオコントローラーは使用できません。また、ビデオ内蔵型テレビにも録画できません。

接続のしかた (ビデオコントローラーと映像・音声ケーブルをつなぎます。)

機種番号について

■ メーカーにより複数のリモコン信号を採用しており、つぎの機種番号で区分されます。

メーカー	機種番号	メーカー	機種番号
シャープ	1,2,3,4,5,6,7,8	ビクター	1,2,3,4
アイワ	1,2,3,4	日立	1,2,3
NEC	1,2,3,4	フナイ	1
サンヨー	1,2,3,4	松下	1,2,3,4,5,6
ソニー	1,2,3,4,5,6	三菱	1,2,3,4
東芝	1,2,3,4,5,6	パイオニア	1,2,3

工場出荷時の設定：未設定

ビデオコントローラー取付けの際のご注意

- リモコン受信部の位置は、ビデオデッキの機種やメーカーによって異なります。一般的には、表示部に隣接して丸いものがうすく見えます。
- ビデオコントローラーの発信部が、ビデオデッキのリモコン受信部に、確実に向いていることをご確認ください。
- ビデオコントローラーを取り付けるときは、はじめから任意の位置に固定しないで、**102～104**ページ**「ビデオ連動録画の設定」**のテストでビデオデッキの電源が「入」になる位置を探し、その位置に固定してください。

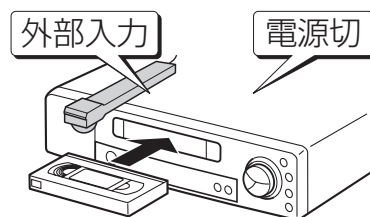
次ページへつづく

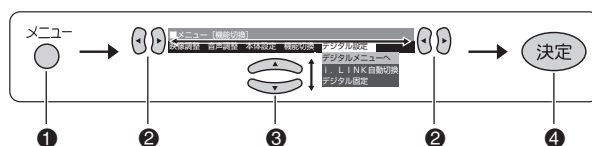
- ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは、必要ありません。
- 録画出力信号について
  ビデオ連動録画設定で、リモコン信号が異なり動作しない場合でも、録画出力端子からは、映像と音声信号が出力されます。(この場合は録画する機器側で録画予約設定を行ってください。)

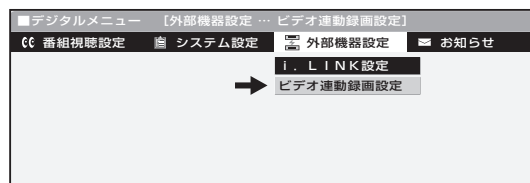
ビデオ連動録画の設定

操作開始

1 ビデオデッキの準備をする

①本機につなぐ。(**101**ページ参照)
②ビデオコントローラーを取り付ける。(**101**ページ参照)
③外部入力に切り換える。
④録画用ビデオテープを入れる。
⑤電源を「切」にする。

2 ビデオデッキを接続した、ビデオ2入力端子の設定を「録画出力」に切り換える(99ページ参照)

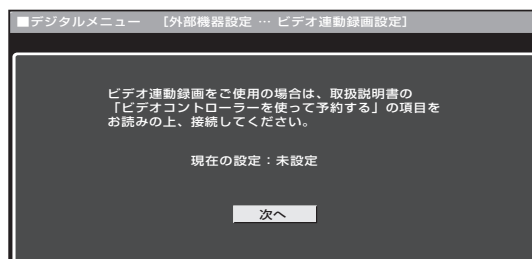
3 ①❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ (決定) を押す

② (◀)(▶) で「外部機器設定」を選ぶ

③ (▲) (▼) で「ビデオ連動録画設定」を選び、(決定) ボタンを押す

- 「ビデオ連動録画設定」の確認画面が表示されます。

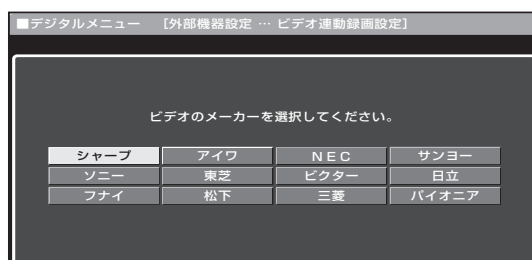
次ページへ

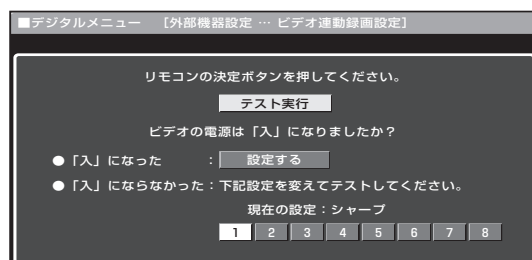
4

① **ビデオコントローラーの接続を確認する**

② **「次へ」で 決定 を押す**

5

お使いのビデオデッキのメーカーを

で選び、決定 を押す

6

「テスト実行」で 決定 を押し、テストを開始する

テストの結果

- ビデオデッキの電源が「入」になったとき（正常）
  ⇨ 手順**9**に進みます。
- ビデオデッキの電源が「入」にならなかったとき
  ⇨ ビデオデッキの接続、ビデオコントローラーの取付け、メーカーを確認し、手順**7**に進みます。

次ページへ

- ビデオコントローラーの取付け位置が適切でないために、ビデオデッキの電源が「入」にならないことがあります。その場合は、手順**6**〜**8**でテストをくり返しながらビデオデッキの電源が「入」になる位置を見つけ、その位置にビデオコントローラーを固定してください。

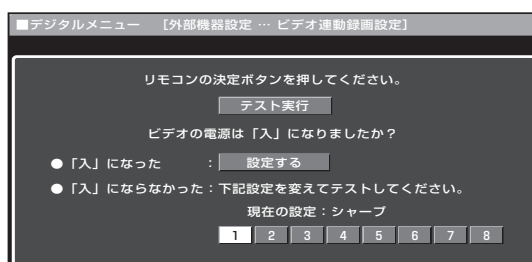
次ページへつづく

録画・編集(つづき)

7

① (▼) でカーソルを機種番号の欄に移動する

② (◀)(▶) でメーカーの機種番号を選び、(決定) を押す

- **101**ページ左下にある「機種番号について」の表を参考に機種番号を選んでください。機種番号が複数あるメーカーの場合は、お使いのビデオデッキが操作できるようになるまで手順7、8をくり返してください。

8

(決定) を押し、テストを実行する

9

① ビデオデッキの電源が「入」になったことを確認する

② 「設定する」で (決定) を押す

- これでビデオ連動録画の設定は完了です。

10

(メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す

- ビデオコントローラーのテストで、どの機種番号を選んでもビデオデッキの電源が「入」にならない場合は、ビデオコントローラーの発信部が、ビデオデッキのリモコン受信部に確実に向いているか、再度ご確認ください。
- **ビデオ連動録画設定が必要なのは初回のみで、つぎに予約するときは、必要ありません。**

設定が終了したら、再度ビデオデッキの電源を「切」にします。

- 予約した時刻になると、ビデオデッキの電源が入り、録画が開始されます。
- 録画予約のしかたについては、**49**〜**57**ページをご覧ください。

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)

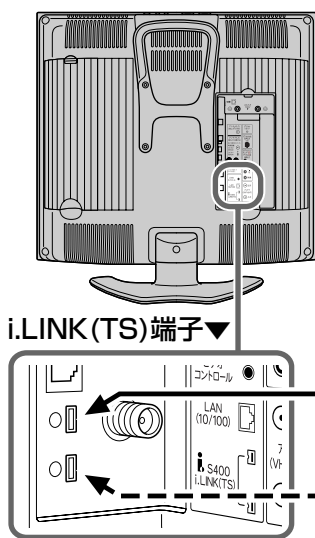
i.LINK(アイリンク)について

■i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのマルチメディア系のデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースで、i.LINKケーブル1本で接続することができます。
i.LINKは、IEEE1394の呼称で、IEEE(米国電子電気技術者協会)によって標準化された国際標準規格です。現在、100Mbps/200Mbps/400Mbpsの転送速度があり、それぞれS100/S200/S400と表示されます。本機では最大400Mbpsの転送速度が可能です。

本機に接続できるi.LINK機器について

■**本機が対応しているi.LINK機器はD-VHSビデオデッキのみです。**DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、PC(パソコン)、PC周辺機器などは、仕様が異なりますので接続できません。

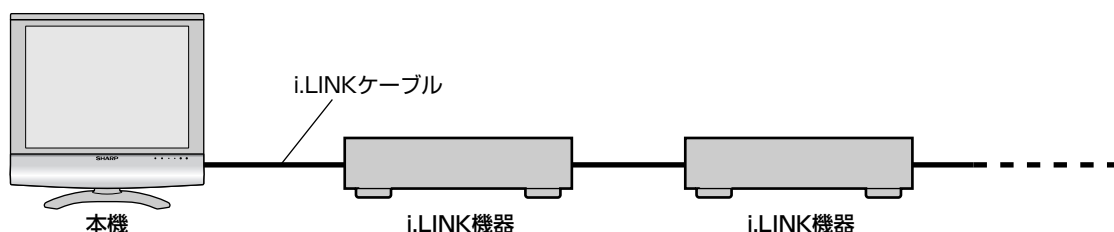
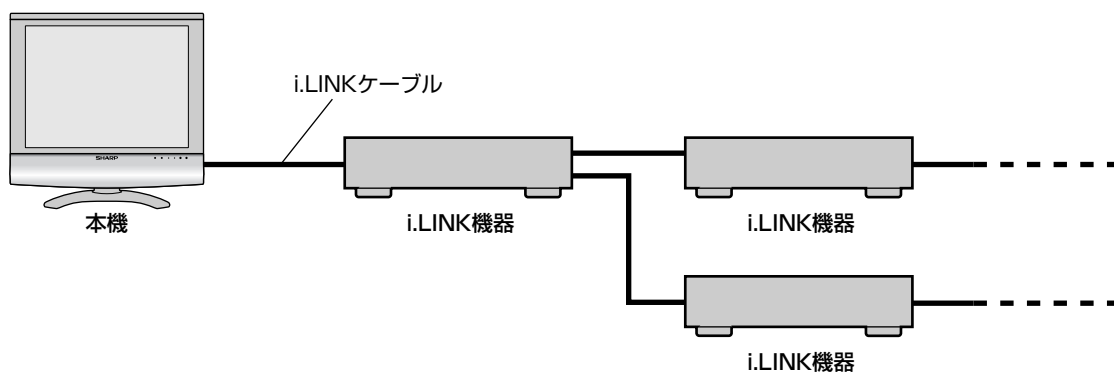
i.LINK接続のしかた

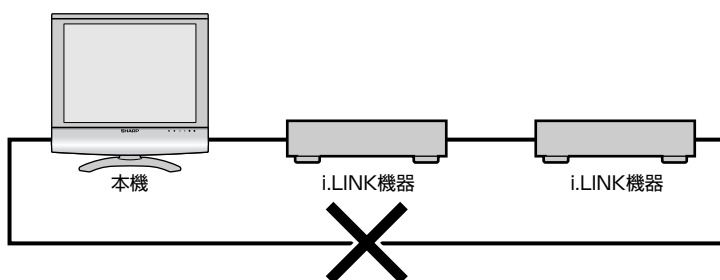
[例] 接続するi.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)が1台の場合

i.LINK端子の接続について
● 端子片方の溝に合わせて、まっすぐに挿入してください。傾けていると挿入できません。

次ページへつづく

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)が2台以上のとき

■i.LINKケーブルを使い、デイジー・チェーン(数珠つなぎ)で接続します。この接続では、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を16台までつなげます。

■i.LINK端子が3つ以上ある機器の場合は、分岐をしてつなぐこともできます。分岐接続する場合は、i.LINK機器(D-VHSビデオデッキ)を最大62台までつなげます。

接続に関するご注意

- 接続の際は、「S400」タイプのi.LINKケーブルをご使用ください。
- 一部のi.LINK機器では、その機器の電源が切られているとデータを中継できない場合があります。デジタルメニューの「i.LINK設定」で「電源待機設定」を「する」に設定してください。(**108**ページ参照)
- 下図のようなループ(輪)接続をしないでください。

- i.LINK機能使用中は、使用していないi.LINK機器であっても、ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。映像・音声が乱れることがあります。
- DVDレコーダーやデジタルビデオカメラ等のDV機器、PC(パソコン)、PC周辺機器など、本機が対応していない機器を同時に接続していると、誤動作することがあります。

i.LINK設定を行う

- 現在発売されているD-VHSビデオデッキのほとんどは、記録している映像・音声の伝送レートを自動認識し録画モードを制御するため、**本機の「録画モード設定」は通常「しない」に設定してください。**
- D-VHSビデオデッキの種類や、D-VHSビデオデッキで記録しようとしている放送の内容によっては、本機から録画モードを正常に制御できない場合があります。この場合は、本機の「録画モード設定」を「しない」に設定してください。

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

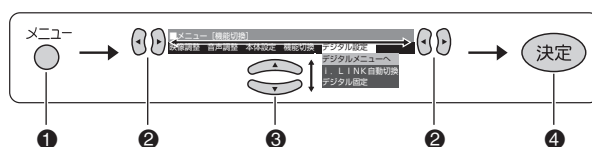
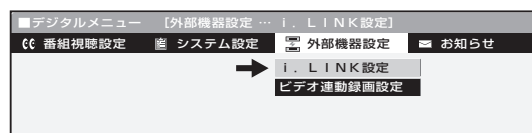
操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

録画モードの設定

- 本機には、録画時にD-VHSビデオデッキの録画モードを自動的に制御する機能があり、その機能を有効に「する」か「しない」かを選ぶことができます。

操作開始

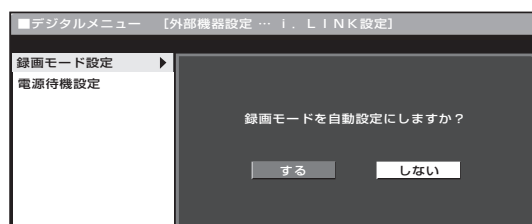
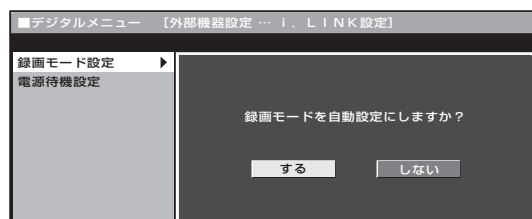
1

① ❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ 決定 を押す

② ◀ ▶ で「外部機器設定」を選ぶ

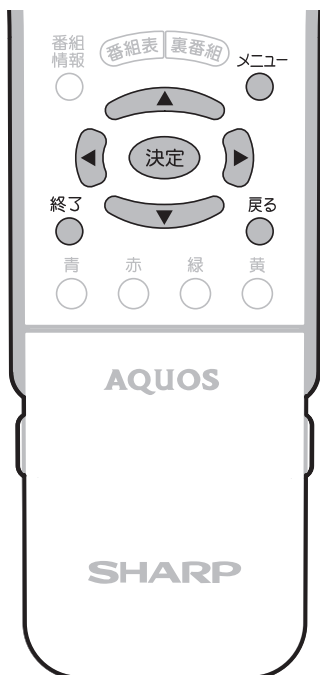
③ ▲ ▼ で「i.LINK設定」を選び、決定 を押す

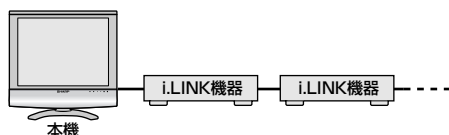
2

「録画モード設定」で 決定 を押す

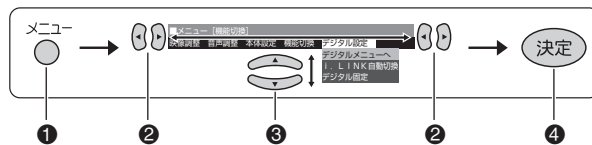
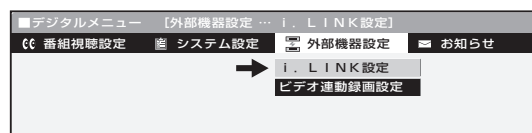
3

◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

次ページへつづく

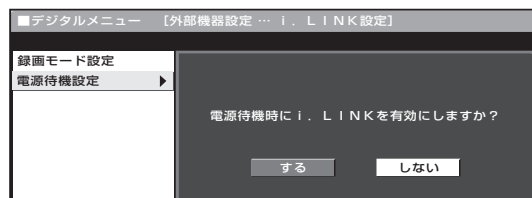
i.LINK電源待機の設定

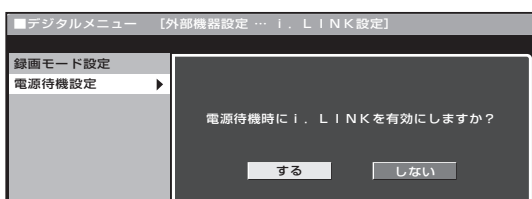
- 本機では、i.LINK電源待機の設定により電源待機時の消費電力を少なくすることができます。
- i.LINK機器を接続していない場合は、消費電力が小さくなる「しない」を選択してください。

お願い

- 複数のi.LINK機器をi.LINKケーブルで接続した場合、本機の「電源待機設定」を「しない」に設定して電源を待機状態(電源ランプ赤または橙色点灯)にすると、本機を中継して接続されているi.LINK機器間のデータのやりとりができなくなります。本機をi.LINK機器の中間に接続している場合は、本機の「電源待機設定」を「する」に設定するか、下図のように本機をi.LINK機器の末端に接続してください。

- 本機の電源が待機状態(電源ランプ赤または橙色点灯)のときは、外部機器からのi.LINK制御コマンドを受けつけることができません。これは「電源待機設定」を「する」に設定しても同じです。外部機器から本機をi.LINK制御する場合は、本機の電源を「入」(電源ランプ緑色点灯)にしてから行ってください。

操作開始

1 ①❶メニュー画面から❷「デジタル設定」—❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ 決定 を押す

② ◀ ▶ で「外部機器設定」を選ぶ

③ ▲ ▼ で「i.LINK設定」を選び、決定 を押す

2 ▼ で「電源待機設定」を選び、決定 を押す

3 ◀ ▶ で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

「する」……電源待機時にもi.LINK回路を通電し、データの中継ができるようにします。
「しない」…電源待機時の消費電力を少なくします。ただし、データの中継はできません。

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

i.LINK機器の選択

- 本機からi.LINK機器を操作するためには、使用するi.LINK機器を選択する必要があります。
- 最大16台のi.LINK機器から、使用する1台を選択できます。
- 接続されたi.LINK機器は、自動的に機器選択画面のリストに登録されます。

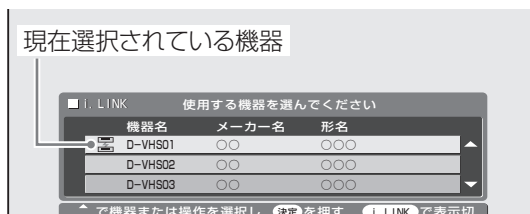
フタを開けたところ

- 本機で使用することができない機器は、機器選択画面のリストに表示されません。
- 機器選択画面のリスト項目が暗くなっているi.LINK機器は、接続されていないなど、本機が認識できない状態を示しています。このような機器は使用する機器として選択することができません。

操作開始

1 **i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する**

- i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。(**105**ページ参照)
- i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

2 **▲ ▼ ◀ ▶ で「機器選択」を選び、決定 を押す**

- 機器選択画面が表示されます。

3 **操作したい機器を ▲ ▼ で選び、決定 を押す**

- 選んだi.LINK機器の操作パネルが表示されます。

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

次ページへつづく

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

- 本機で使用しているi.LINK機器を他のi.LINK機器で使用するためには、本機の機器選択画面から「機器使用解除」を行ってください。

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

i.LINK機器の使用解除

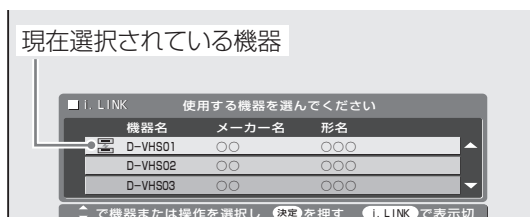
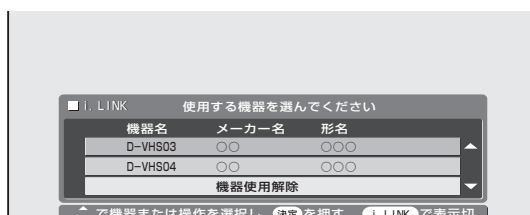
- 登録されたi.LINK機器の使用を解除できます。
- i.LINK機器の使用を解除することにより、その機器を別のi.LINK機器から使用できるようになります。

操作開始

1 i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する

- i.LINK機器が1台も接続されていないときは、「操作できるi.LINK機器がありません。」のメッセージが表示されます。機器を接続してください。(**105**ページ参照)
- i.LINK機器が選択されていないときは、機器選択画面になります。手順**3**に進んでください。

2 ▲ ▼ ◀ ▶ で「機器選択」を選び、決定 を押す

- 機器選択画面が表示されます。

3 ▼ で、リストの一番下にある「機器使用解除」を選び、決定 を押す

- i.LINK機器の使用が解除されます。

フタを開けたところ

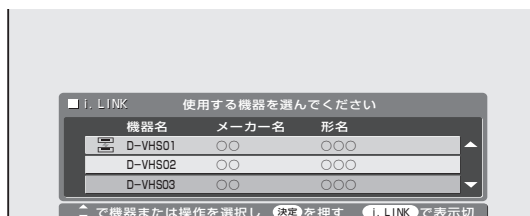
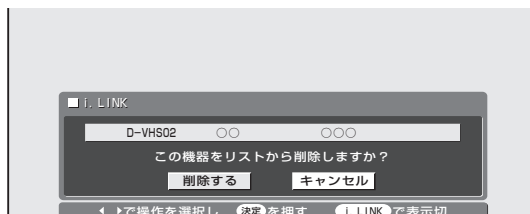
i.LINK機器の登録削除

- 機器選択画面に登録されているi.LINK機器を、リストから削除できます。
- 接続されているi.LINK機器は、削除できません。

操作開始

1 ① i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する

② ▲ ▼ ◀ ▶ で「機器選択」を選び、決定 を押す

2 削除したいi.LINK機器を ▲ ▼ で選び、決定 を押す

3 ◀ で「削除する」を選び、決定 を押す

- 選んだi.LINK機器がリストから削除されます。
- 削除しないときは、「キャンセル」を選んで決定ボタンを押します。

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

次ページへつづく

D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

i.LINK機器の操作のしかた

■ i.LINKに対応したD-VHSビデオデッキの操作ができます。
画面にi.LINK操作パネルを表示させ、パネル上のボタンで操作します。
■ 操作を始める前に、**107**ページの「**i.LINK設定を行う**」を済ませておいてください。
■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

フタを開けたところ

電源 画面表示 オフタイマー 画面サイズ
CATV 3桁入力 お好み選局/登録
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12
放送切換 地上A 地上D BS CS
データ連動 音量 選局 テレビ/ラジオ/データ
消音 入力切換
番組情報 番組表 裏番組 メニュー
決定
終了 戻る
青 赤 緑 黄
i.LINK デジタル登録 映像ポジション
映像切換 音声切換 字幕

基本操作

1 i.LINKボタンを押し、i.LINK操作パネルを表示する

● 操作パネルを終了するときも、このボタンを押します。

2 操作したい機能をカーソルボタンで選ぶ

3 決定ボタンを押し、選んだ機能を実行する

i.LINK操作パネルの見かた

状態表示　i.LINK機器番号　メーカー名　形名　機器選択画面へ 109　入力切換※

D-VHS 1 ●● ●●●●●● 機器選択 入力切換
動作状態 ▶ 再生中
テープカウンター 00：00：25
予約 D-VHS:
電源 再生
で操作を選択し、決定を押す　i.LINKで表示切

タイマー録画予約(録画待機)状態
(予約状態では、D-VHS ビデオデッキの操作不可)

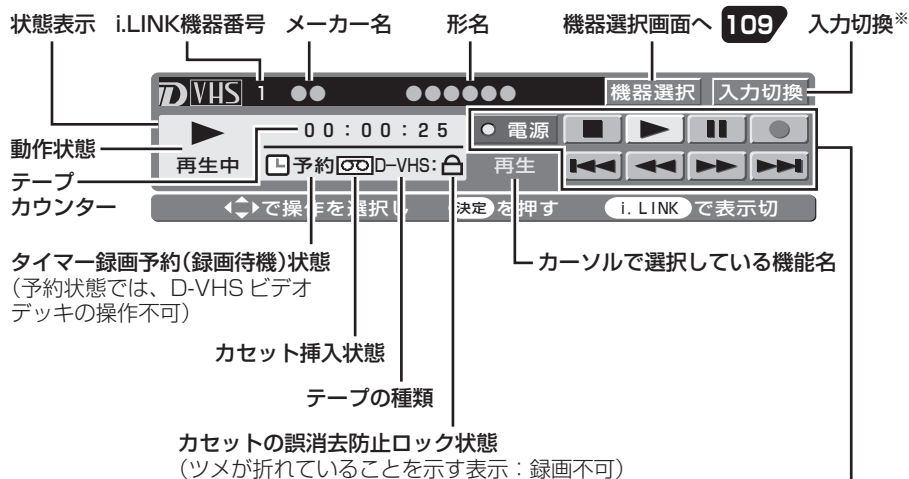
カーソルで選択している機能名

カセット挿入状態

テープの種類

カセットの誤消去防止ロック状態
(ツメが折れていることを示す表示：録画不可)

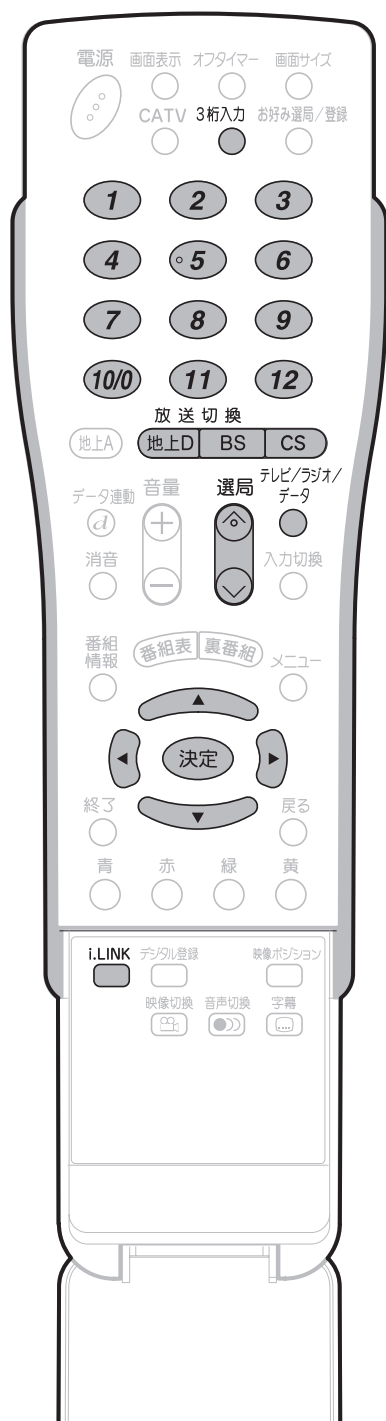
●操作ボタンの機能

ボタン	機能	ボタン	機能
○ 電源	電源の入／切	⏮	1つ前に戻って頭出し
■	停止	◀◀	巻戻し
▶	再生	▶▶	早送り
❚❚	一時停止	⏭	1つ先に進んで頭出し
●	録画開始		

※**入力切換ボタンについて**
● i.LINK操作パネルの入力切換ボタンは、デジタル放送とi.LINK機器入力との切換えに使用します。

● D-VHSモードに対応した機器を接続している場合、録画リストが表示されますが、本機側でのリスト選択、再生操作はできませんので、接続機器側で操作してください。

i.LINK機器でデジタル放送を録画する

■ 以下の操作をする前に、**107**ページの「**i.LINK設定を行う**」を済ませておいてください。
■ 本機で操作するi.LINK機器の取扱説明書をあらかじめご覧ください。

フタを開けたところ

1 **録画したいデジタル放送の番組を選局する**

2 **i.LINK を押し、i.LINK操作パネルを表示する**

3 **▲ ▼ ◀ ▶ で ● (録画ボタン)を選び、決定 を押す**

●録画が開始し、操作パネルが消えます。
●録画を止めるときは、i.LINKボタンで再度操作パネルを表示し、（停止ボタン）を選んで決定ボタンを押します。

おしらせ

- 録画中は、入力切換ボタンで「i.LINK」を選ぶことはできません。
- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINKコントロール画面（操作パネル）にある操作ボタンで操作できないことがあります。
- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキがタイマー録画予約中は、i.LINK操作パネルでの操作ができません。
- i.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像・音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
- 本機で受信しているデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- デジタル固定中、予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示できません。

次ページへつづく

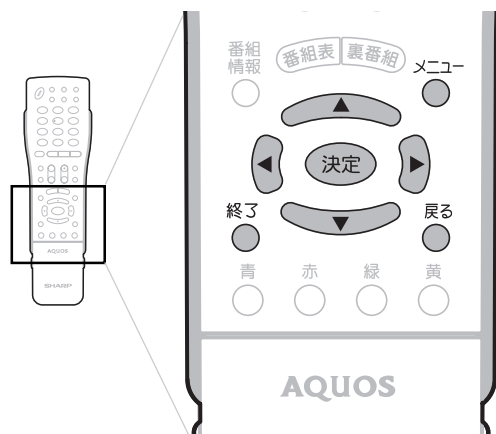
D-VHSビデオデッキをつなぐ(i.LINK)(つづき)

- 本機で使用しているD-VHSビデオデッキが再生状態のとき、i.LINK操作パネルの入力切換ボタンにカーソルを合わせ、リモコンの決定ボタンを押すと、デジタル放送の映像・音声に切り換わります。
- D-VHSビデオデッキによっては、本機のi.LINK操作パネル上の操作ボタンで操作できなかったり、D-VHSビデオデッキが再生している映像・音声を視聴することができない場合があります。
- D-VHSビデオデッキの種類によっては、録画動作等の速度が遅いものがあります。
- D-VHSビデオデッキによっては、VHSテープやS-VHSテープ、またはアナログで記録されている D-VHSテープの再生映像・音声を本機のi.LINK入力で視聴することができない場合があります。この場合は、D-VHSビデオデッキのアナログ出力を本機のアナログ外部入力に接続し、本機を外部入力に切り換えてから視聴してください。
- D-VHSのタイマー録画予約中に本機のi.LINK操作パネルで操作すると、タイマー録画予約に失敗することがありますので、D-VHSのタイマー録画予約中はi.LINK操作パネルを操作しないでください。
- 本機のi.LINK操作パネルの録画ボタンによる録画では、本機が受信しているデジタル放送の映像・音声がD-VHSビデオデッキに記録されます。
- 本機で受信しているデジタル放送の映像・音声をD-VHSビデオデッキで記録するときは、D-VHSテープを使用してください。VHSテープやS-VHSテープでは記録することができません。
- デジタル固定中、予約録画実行中は、i.LINK操作パネルを表示できません。
- i.LINK操作パネルと、番組表やメニューなどを同時に(重ねて)表示することはできません。
- 番組の内容によっては、D-VHSビデオデッキで録画・録音ができない場合があります。
- 使用しているD-VHSビデオデッキによっては、特殊再生時(送り再生や戻し再生など)に、映像の品位が悪くなる場合があります。

■商標権や著作権保護技術などについて

- IEEE1394は、米国電子電気技術者協会(IEEE)によって標準化された国際標準規格です。
- i.LINK(アイリンク)とi.LINKロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

i.LINK自動切換の設定

■ i.LINKで接続したD-VHSビデオデッキを再生状態にしたとき、自動的に入力が「i.LINK」に切り換わるようにするかしないかを設定できます。

- 録画予約実行中やデジタル固定時は、i.LINK自動切換の設定を「する」にしていてもi.LINKモードには自動的に切り換わりません。

操作開始

1

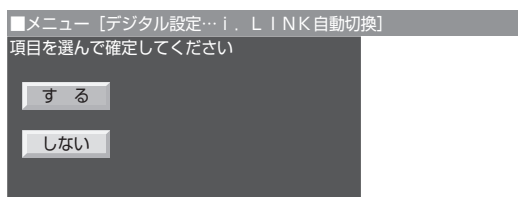
① (メニュー) を押し、テレビメニュー画面を表示する

② (◀)(▶) で「デジタル設定」を選ぶ

③ (▲)(▼) で「i.LINK自動切換」を選び、(決定) を押す

■メニュー［デジタル設定…ｉ．ＬＩＮＫ自動切換］
映像調整　音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
デジタルメニューへ
ｉ．ＬＩＮＫ自動切換
デジタル固定

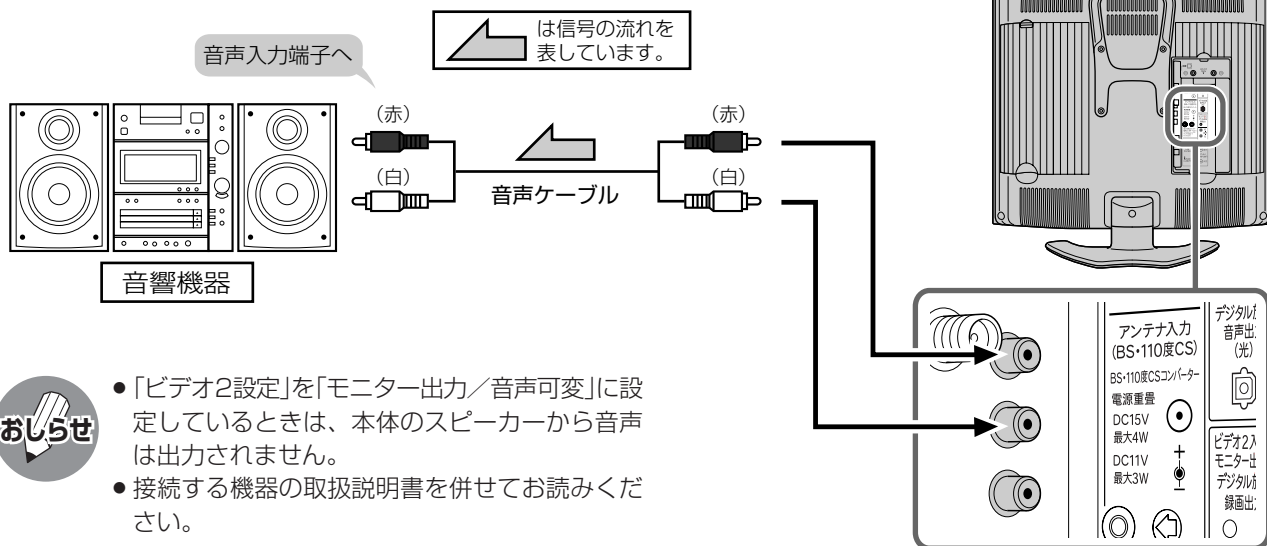
2

(▲)(▼) で「する」または「しない」を選び、(決定) を押す

- 1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

操作終了する場合は ▶ (メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す

音響機器をつなぐ

■ビデオ2の切り換えを「モニター出力(音声固定または音声可変)」に設定すると、お手持ちの音響機器で音声を楽しむことができます。接続後は、「入力設定」の「ビデオ2設定」を「モニター出力(音声固定または音声可変)」に設定してください。また、「入力設定」の「出力音声タイミング」を「遅い」に設定してください。(**115**ページ)

接続のしかた

おしらせ
- 「ビデオ2設定」を「モニター出力/音声可変」に設定しているときは、本体のスピーカーから音声は出力されません。
- 接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

モニター出力の設定

■ビデオ2設定を、「モニター出力/音声固定」または「モニター出力/音声可変」に切り換えます。また、出力する音声のタイミングも設定します。

「モニター出力/音声固定」のとき:
モニター出力の音量レベルは一定で出力されます。本体のスピーカーの音量を調整してもモニター出力のレベルは変化しません。
「モニター出力/音声可変」のとき:
本体のスピーカーからの音量は出力されません。音量ボタンでモニター出力の音量出力レベルを調整することができます。(調整範囲:−60〜0)

▼画面表示

ライン出力
−30

操作開始

1

① メニュー **を押し、テレビメニュー画面を表示する**

② **で「本体設定」を選ぶ**

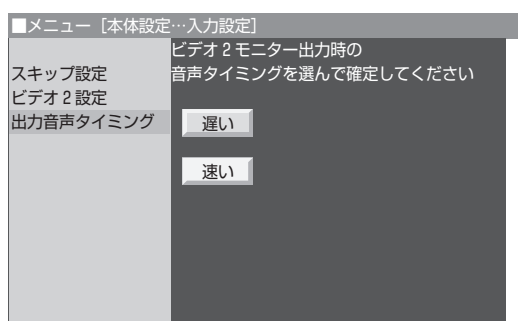
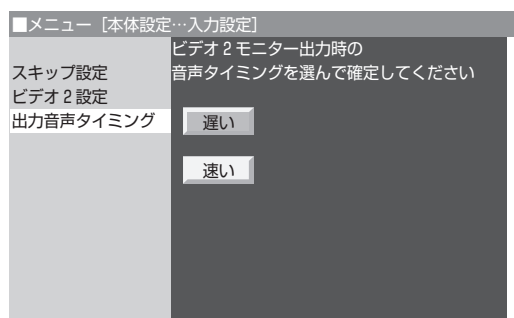
③ **で「入力設定」を選び、** 決定 **を押す**

次ページへ

音響機器をつなぐ(つづき)

2 ▲ ▼ で「ビデオ2設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「モニター出力／音声固定」または「モニター出力／音声可変」を選び、決定 を押す

4 ▲ ▼ で「出力音声タイミング」を選び、決定 を押す

5 ▲ ▼ で「遅い」を選び、決定 を押す

- 本機に表示される映像と出力される音声のタイミングがそろいます。

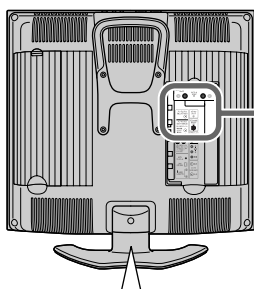
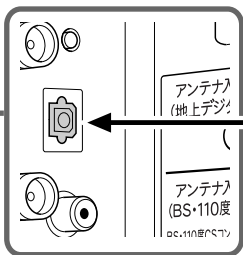
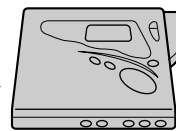
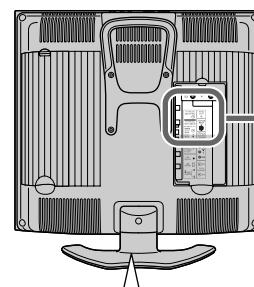
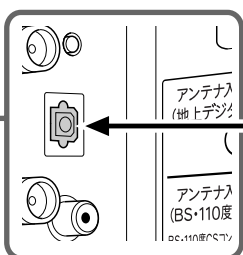
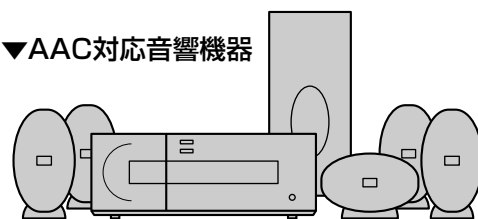
出力音声タイミングについて

- 「遅い」
  映像は本機の画面で見て、音声は接続した音響機器で聞くときなどに選びます。
  （モニター出力される音声を、本機に表示される映像に合わせます。モニター出力される音声は、モニター出力される映像より遅くなります。）
- 「速い」
  ビデオデッキなどを接続して地上アナログ放送などを録画するときに選びます。
  （モニター出力される音声を、モニター出力される映像に合わせます。モニター出力される音声は、本機に表示される映像より速くなります。）

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

デジタル放送音声出力(光)端子から録音する

■ デジタル音声ケーブルを使って、「デジタル音声入力(光)端子」のある音響機器と接続すると、デジタル放送の音声を高音質で録音できます。

■ また、本機のデジタル放送音声出力(光)端子は、MPEG2 AAC音声フォーマットを出力することができます。AAC対応の音響機器を接続すると、サラウンド放送の番組を迫力ある音声で楽しめます。AAC：(Advanced Audio Coding)は、高音質で音声を伝送する方式です。

- 詳しくは、接続する音響機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前に本機と音響機器の電源を切ってください。
- 本機では、常にデジタル放送の音声がデジタル放送音声出力(光)端子から出力されます。
- デジタルメニューの「デジタル音声設定」を「AAC」にしているとき、字幕放送やデータ放送の一部の音声は、本機のデジタル放送音声出力(光)端子から出力されません。
- 番組により録音・録画が制限されている場合があります。
- 一部のラジオ放送は、デジタル録音することができません。
- あなたが録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

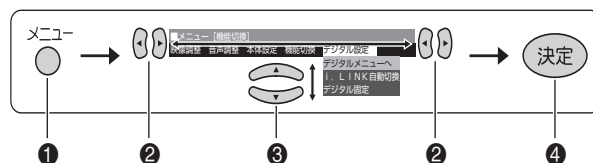
音響機器をつなぐ(つづき)

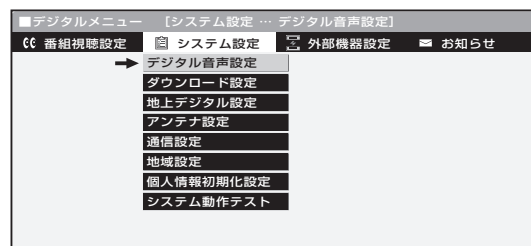
■ 接続する音響機器にあわせて、デジタル放送音声出力(光)端子の出力信号形式を設定できます。

- 接続する機器がAAC／PCMの自動切換えに対応していない場合は、機器側の設定を手動で切り換えてください。
- デジタル放送音声出力(光)端子からは、デジタル放送音声以外は出力されません。
- 「AAC」に設定した場合、字幕放送や一部のデータ放送の音声が出力されません。

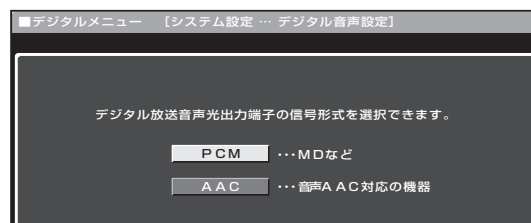
デジタル放送音声の設定

操作開始

1 **①❶メニュー画面から❷「デジタル設定」ー❸「デジタルメニューへ」を選び、❹ (決定) を押す**

② (◀)(▶) で「システム設定」を選ぶ

③ (▲) (▼) で「デジタル音声設定」を選び、(決定) を押す

2 **(▲) (▼) で「PCM」または「AAC」を選び、(決定) を押す**

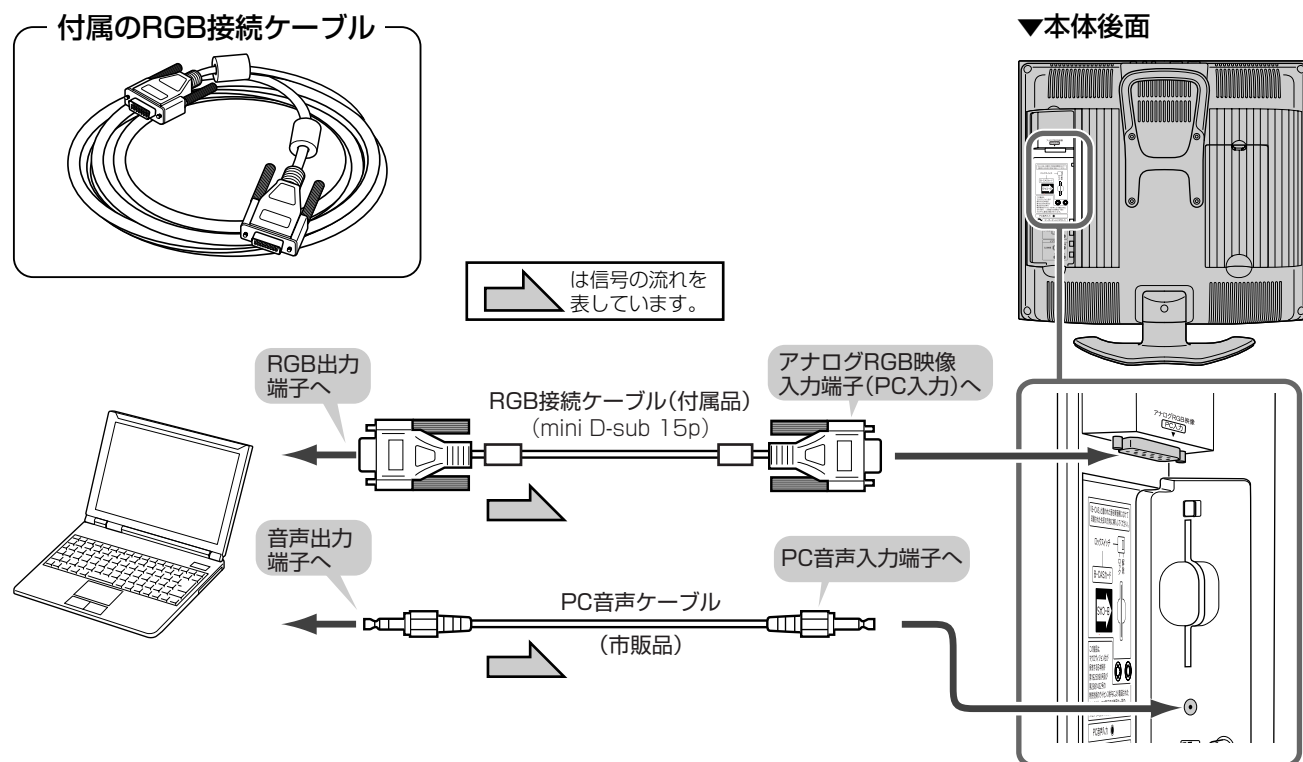
「PCM」……AACに対応していない音響機器(MDレコーダー、MDコンポなど)に接続するとき

「AAC」…… AAC対応のAVアンプなどに接続するとき

- 1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

操作終了する場合は ▶ (メニュー) **または** (終了) **を押し、通常画面に戻す**

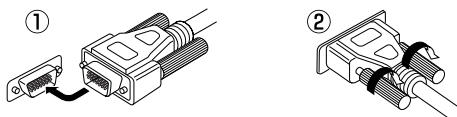
パソコン(PC)をつなぐ

接続のしかた

■本機とパソコンを接続し、パソコンの画面内容を表示させることができます。
■接続する前に、本機およびパソコンの電源が切れていることをご確認ください。
■工場出荷時の設定は、「1024×768」になっています。
設定とは異なる信号が入力された場合は映像が乱れます。
入力信号を合わせるための設定を行ってください。(☞**122**ページ)
■対応している表示モードについては**122**ページを参照してください。

RGB接続ケーブルの取扱いについて

本機とパソコン(PC)を接続するRGB接続ケーブルは、端子とプラグの形状をあわせて差し込み、両端のネジでしっかりと固定してください。

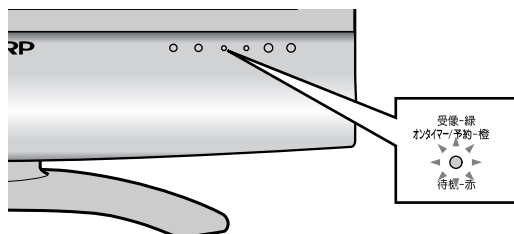
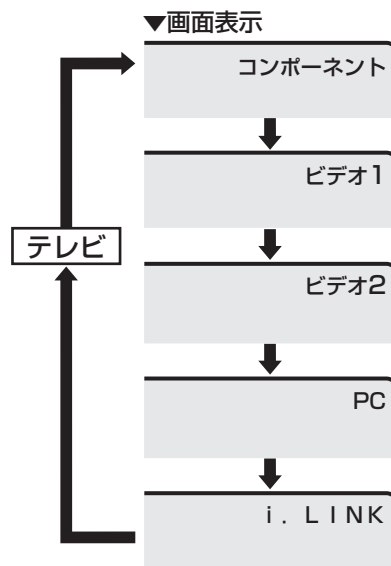
①

②

- RGB接続ケーブルは、ご使用のパソコンの仕様にあうことをあらかじめご確認ください。
- ケーブルのコネクター内のピンを折り曲げないようにしてください。

パソコン(PC)をつなぐ(つづき)

PCの画面を表示する

1 パソコンを接続後、本機の電源を入れる

●(本体天面の電源ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押す)
電源が入ると電源ランプが緑色に点灯します。

2 入力切換 を押し、PC画面を表示する

●天面の入力/放送切換ボタンを押しているときは、デジタル放送も選局されます。
●ボタンを押すたびに、切り換わります。
●ビデオ2は端子の設定を「録画出力／モニター出力」に切り換えることができます。切換後は、入力切換ボタンでビデオ2は選べません。

3 パソコンを起動する

●PCの画面が表示されます。(起動中の画面は、周波数が異なるため、表示されない場合があります。)
パソコンの画面に関する設定は**122～123**ページをご覧ください。

パワーマネージメント機能を使う

■ PC入力のとき、映像信号がなくなってからしばらくすると自動的に電源が切れるように設定できます。(パワーマネージメント)

- 切：パワーマネージメントを行いません。
- 入：無信号になったとき、約8分後に自動的に電源が切れる機能です。

操作開始

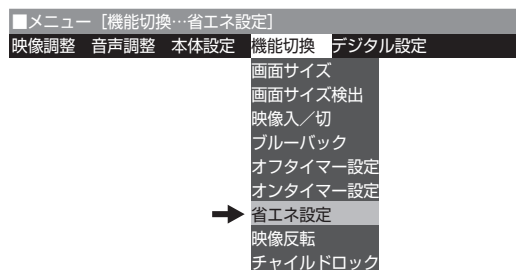
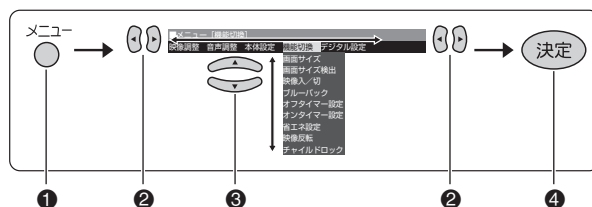
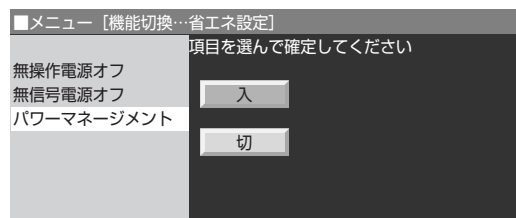
1 ❶メニュー画面から❷「機能切換」ー❸「省エネ設定」を選び、❹ 決定 を押す

■メニュー［機能切換…省エネ設定］

映像調整　音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定

画面サイズ
画面サイズ検出
映像入／切
ブルーバック
オフタイマー設定
オンタイマー設定
省エネ設定
映像反転
チャイルドロック

2 ① ▲ ▼ で「パワーマネージメント」を選び、決定 を押す

② ▲ ▼ で「入」を選び、決定 を押す

● 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー **または** 終了 **を押し、通常画面に戻す**

パソコン(PC)をつなぐ(つづき)

他の機器をつないで使う

次ページへつづく

パソコン(PC)をつなぐ(つづき)

PCの入力信号(画面解像度)を設定する

■ 接続したPCの入力信号(画面解像度)にあった画素数を選びます。XGA1024×768、SVGA800×600、VGA640×480のいずれかを選択します。

■対応信号タイミング

表示モード	VESA		
	640×480	800×600	1024×768
水平周波数	31.5 kHz	37.9 kHz	48.4 kHz
垂直周波数	60 Hz	60Hz	60 Hz
ドット周波数	25.175 MHz	40MHz	65 MHz

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「本体設定」ー❸「PC設定」を選び、❹ (決定) を押す

2 ① (▲)(▼) で「入力信号」を選び、(決定) を押す

② (▲)(▼) で接続したPCにあった画素数を選び、(決定) を押す

●1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

操作終了する場合は ▶ (メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す

最適な画面に調整する

PC画面の映り具合を最適にするための機能で、次の調整項目があります。

- 水平位置
  画面が右寄り、または左寄りのときに調整します。
- 垂直位置
  画面が上がり過ぎ、または下がり過ぎのときに調整します。
- クロック周波数
  縦縞状のちらつきがあるときに調整します。
- クロック位相
  文字などを表示したときに、映像のちらつきが出たり、コントラストがつかないときに調整します。

■各項目の調整範囲

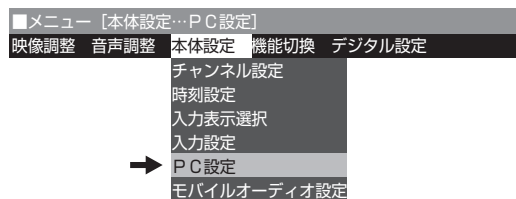
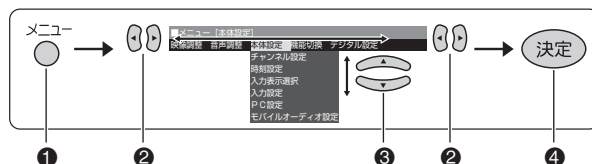
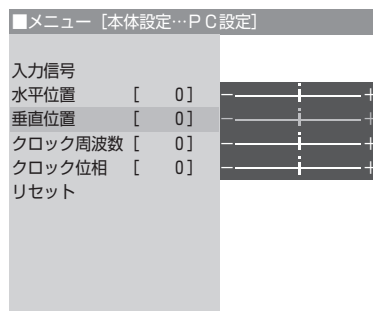
項目	範囲
水平位置	−90〜+90
垂直位置	−15〜+15
クロック周波数	−90〜+90
クロック位相	−15〜+16

［例］垂直位置を調整する

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「本体設定」ー❸「PC設定」を選び、❹ 決定 を押す

■メニュー［本体設定…ＰＣ設定］
映像調整　音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
チャンネル設定
時刻設定
入力表示選択
入力設定
ＰＣ設定
モバイルオーディオ設定

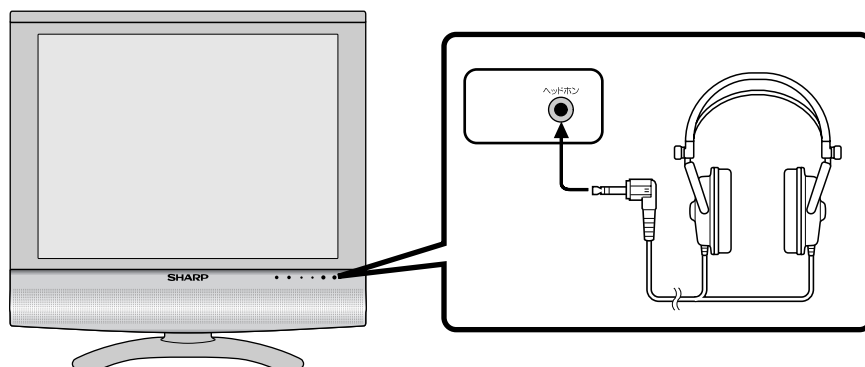
2 ▲ ▼ で「垂直位置」を選び、決定 を押す

3 ◀ ▶ で垂直位置を調整する

- 「PC設定」の項目で「リセット」を選択して決定すると、PC設定で設定されている内容が工場出荷時の設定に戻ります。リセットについては**21**ページをご覧ください。
- 入力信号はリセットされません。

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

次ページへつづく

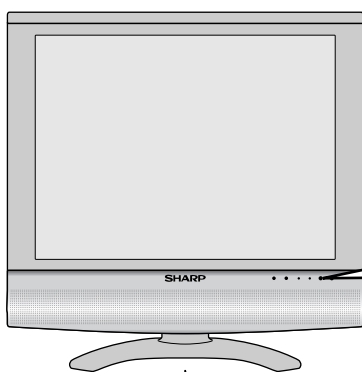
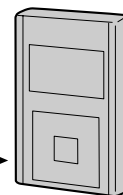
ヘッドホンをつなぐ

■市販のヘッドホンを使用するときは、本体前面にあるヘッドホン出力端子に接続してください。

- ヘッドホンは確実に挿入してください。（不完全なときは、スピーカーから音がもれることがあります。）
- ヘッドホンを接続すると、本体のスピーカーからは音声が出なくなります。
- モニター出力を「モニター出力／音声可変」にしているとき、ヘッドホンに接続してもヘッドホンから音は出ません。（**115**ページ参照）

ポータブルオーディオをつなぐ

■市販のポータブルオーディオをつないで、本機のスピーカーでポータブルオーディオの音声を楽しめます。

■ポータブルオーディオのライン出力端子と接続するときは、接続する前に「モバイルオーディオ設定」の「端子設定」を「ライン出力（音量小）」に設定してください。（**125**ページ）

接続のしかた

- 接続端子は確実に挿入してください。
- 工場出荷時の設定では、ポータブルオーディオをつなぐと、映像は表示されなくなります。また、スピーカーからは、ポータブルオーディオの音声のみ出ます。
  このとき操作できるのは、音量の調整のみです。他の操作をする場合は、モバイルオーディオ端子からケーブルを取り外してください。
  ポータブルオーディオの音声を楽しみながら、テレビやビデオの映像を表示したいときは接続する前に「ポータブルオーディオの音声を楽しみながら映像を表示する」（**126**ページ）をご覧ください。

ポータブルオーディオ側の接続する端子を設定する

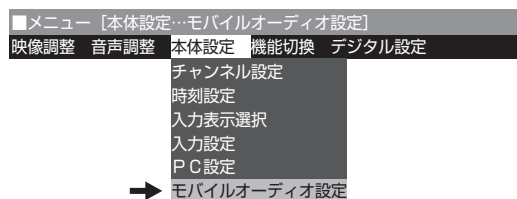
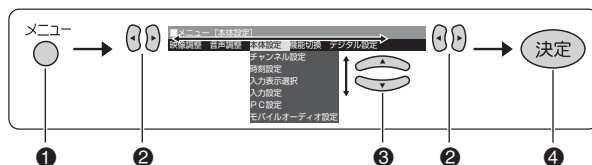
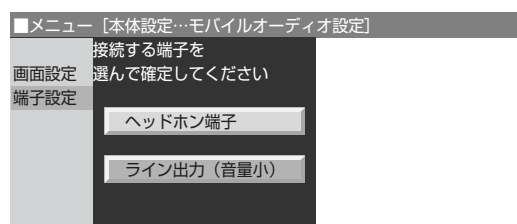
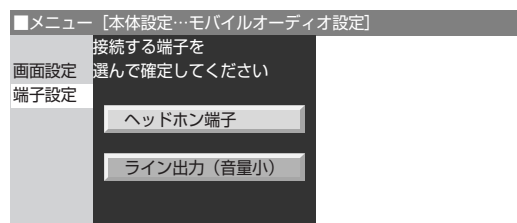
■ 接続するポータブルオーディオの端子に合わせて「ヘッドホン端子」または「ライン出力（音量小）」に設定してください。
■ 工場出荷時の状態では「ヘッドホン端子」に設定されています。
■ 操作するときは、本機からポータブルオーディオを取り外した状態で行ってください。

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「本体設定」ー❸「モバイルオーディオ設定」を選び、❹ 決定 を押す

■メニュー ［本体設定…モバイルオーディオ設定］
映像調整 音声調整 本体設定 機能切換 デジタル設定
チャンネル設定
時刻設定
入力表示選択
入力設定
ＰＣ設定
➡ モバイルオーディオ設定

2 ▲ ▼ で「端子設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ でポータブルオーディオのどの端子に接続するかを選び、決定 を押す

●1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

次ページへつづく

ポータブルオーディオをつなぐ(つづき)

ポータブルオーディオの音声を楽しみながら映像を表示する

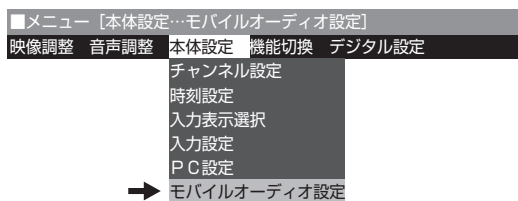
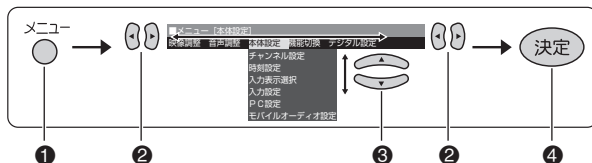
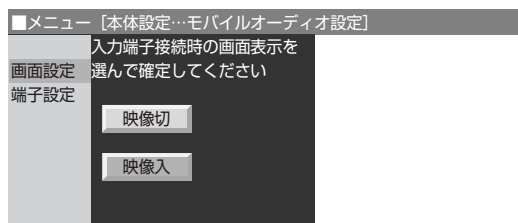
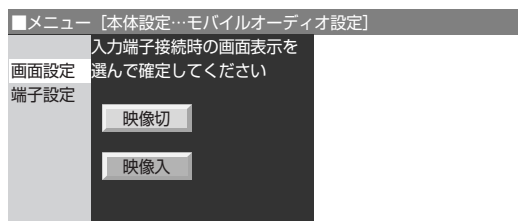
■ ポータブルオーディオをつないだ状態で、テレビやビデオの映像を表示することもできます。
■ 操作するときは、本機からポータブルオーディオを取り外した状態で行ってください。

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「本体設定」ー❸「モバイルオーディオ設定」を選び、❹ (決定) を押す

■メニュー［本体設定…モバイルオーディオ設定］
映像調整　音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
チャンネル設定
時刻設定
入力表示選択
入力設定
ＰＣ設定
➡ モバイルオーディオ設定

2 (▲)(▼)で「画面設定」を選び、(決定)を押す

3 (▲)(▼)で「映像入」を選び、(決定)を押す

● 1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

操作終了する場合は ▶ (メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す

調整と設定

● この章では、いろいろな機能や調整、設定のしかたを説明しています。

画面サイズ検出機能で画面サイズを設定する

画面サイズと画面サイズ制御信号について

■ 手動でお好みの画面サイズを選べるだけでなく、放送やソフトの内容によって画面サイズが自動的に切り換わるように設定することができます。

■画面サイズは次の4つから選択できます。（下図は代表的な表示例）

画面サイズ	機　能
自動判別	スクイーズ映像（16:9の映像をあらかじめ縦長に圧縮して記録された映像）を自動的に16:9で表示します。4:3の映像は4:3で表示します。 この設定は、デジタル放送の映像または、D4映像入力端子やS2映像入力端子に接続された映像を表示しているときに有効です。 ※工場出荷時は「自動判別」に設定されています。
4：3	元の映像をそのまま4：3サイズで表示します。
16：9	元の映像の上下を圧縮し16：9サイズで表示します。
拡大	元の映像を上下左右に引き伸ばし、中央部を表示します。

- テレビを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等にて、画面サイズ切換機能（画面サイズ検出機能を含む）を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- コンポーネントビデオ入力端子に接続している機器がRCAピンプラグのときは、自動設定にしても画面サイズを自動判別できません。このときは、手動で「16:9」または「4:3」を選んでください。

画面サイズ検出機能について

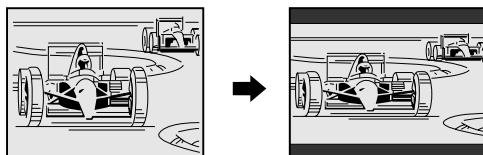
■ 画面サイズ検出とは、受信している放送や外部入力されたソフトの映像を自動的に最適な画面サイズに切り換える機能です。
■ 画面サイズ検出機能にはつぎの3つの項目があります。各項目はメニューの操作で設定します。

「D端子」................. (コンポーネントビデオ入力)	D4端子の画面サイズ制御信号により、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。メニュー設定により、画面サイズの判定方法を選択することができます。(☞ **131**ページ)
「S端子」................. (ビデオ1入力)	S2映像入力端子から入力された映像に画面サイズ制御信号が含まれているとき、自動的に最適な画面サイズで表示するよう設定することができます。(☞ **132**ページ)
「デジタル放送」.....	デジタル放送から送られてくる情報をもとに、自動的に最適な画面サイズで表示するよう設定することができます。(☞ **132**ページ)

画面サイズ検出機能を働かせたときの画面表示例

スクイーズ映像

- D端子
- S端子

➡

■画面サイズ検出機能が働かないようにするには

- 画面サイズ検出機能が働いているとき画面が大きくなったり小さくなったりすることがあります。これは表示している映像に最適な画面サイズを探そうとしているために起こる現象で、故障ではありません。
  気になる場合は、つぎの手順を行い、画面サイズ検出機能が働かないようにしてください。
  ① メニューボタンを押し、メニュー画面を表示する。
  ② 左右カーソルボタンで「機能切換」を選ぶ。
  ③ 上下カーソルボタンで「画面サイズ検出」を選び、決定ボタンを押す。
  ④ 画面に表示されている項目(「D端子」「S端子」「デジタル放送」)を「切」に設定する。
  - 詳しい操作方法については、**131**～**132**ページをご覧ください。

  ⑤ メニューボタンまたは終了ボタンを押し、通常画面に戻す。

- ビデオ機器やゲーム機などをS2映像端子やD映像端子で接続した場合でも、機器やソフトなどによって画面サイズ検出機能が働かない場合があります。

次ページへつづく

画面サイズ検出機能で画面サイズを設定する(つづき)

■ 本機はリモコンで画面を拡大することができます。また、メニューから画面サイズを選べます。

リモコンで画面を拡大する

操作開始

1 画面サイズ ◯ **を押す**

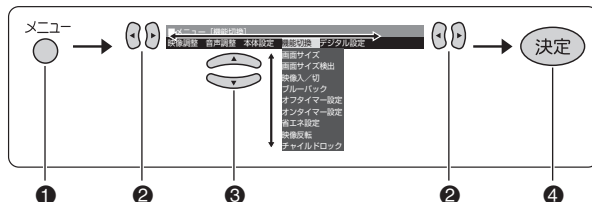
● 画面が拡大されます。

画面サイズ［拡大］

2 **もとの大きさに戻すときは、もう一度** 画面サイズ ◯ **を押す**

画面サイズを選ぶ

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「機能切換」ー❸「画面サイズ」を選び、❹ (決定) を押す**

● 本機の画面サイズ切換え機能を使うとき、テレビ番組やビデオソフトなど、オリジナル映像の画面比率と異なる画面サイズを選択すると、本来の映像とは見えかたが変わります。この点にご留意の上、画面サイズをお選びください。
● 縦横比が16:9の映像でない従来の4:3の映像を画面サイズ「16:9」に設定してご覧になると、画面が変形して見えます。

● 1つ前に戻る場合は 戻る ◯ を押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー ◯ **または** 終了 ◯ **を押し、通常画面に戻す**

2 ▲ ▼で表示したい画面サイズを選び、決定を押す

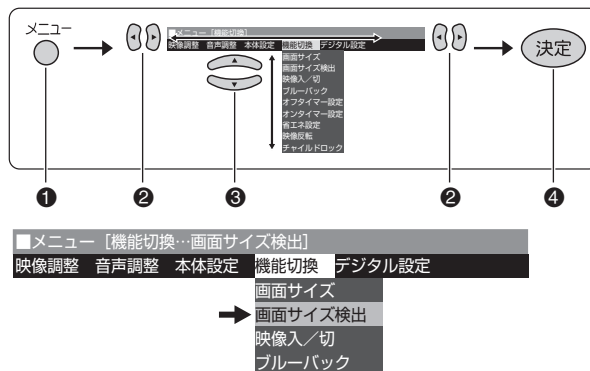
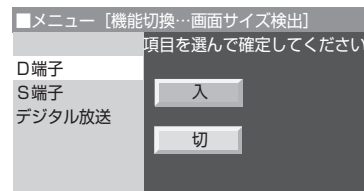
- 選んだ画面サイズで表示されます。
- 各項目について詳しくは、128ページをご覧ください。

D端子の設定（画面サイズ検出）

■ D4端子の画面サイズ制御信号により、自動的に最適なサイズで表示します。

操作開始

1 入力切換を押し、D端子ケーブルを接続している入力（コンポーネント）を選ぶ

2 ❶メニュー画面から❷「機能切換」ー❸「画面サイズ検出」を選び、❹決定を押す

3 ① ▲ ▼で「D端子」を選び、決定を押す
② ▲ ▼で「入」または「切」を選び、決定を押す

- 1つ前に戻る場合は戻るを押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

次ページへつづく

画面サイズ検出機能で画面サイズを設定する(つづき)

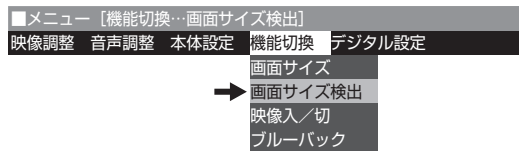
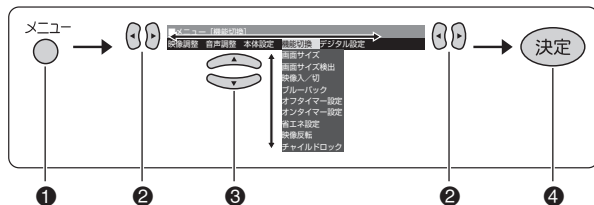
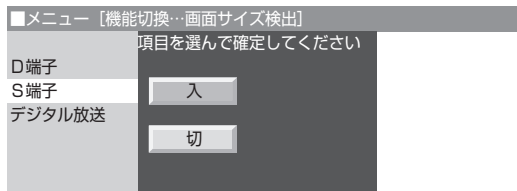
S端子の設定(画面サイズ検出)

■ S2映像端子の画面サイズ制御信号により、自動的に最適な画面サイズで表示する機能です。

操作開始

1 入力切換 ◯ **を押し、S映像ケーブルを接続している入力(ビデオ1)を選ぶ**

2 **❶メニュー画面から❷「機能切換」ー❸「画面サイズ検出」を選び、❹ (決定) を押す**

3 **① (▲) (▼) で「S端子」を選び、(決定) を押す**

② (▲) (▼) で「入」または「切」を選び、(決定) を押す

デジタル放送の設定(画面サイズ検出)

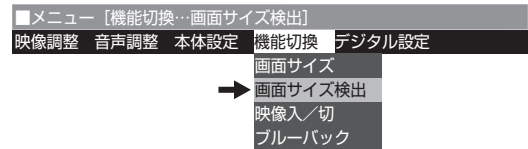
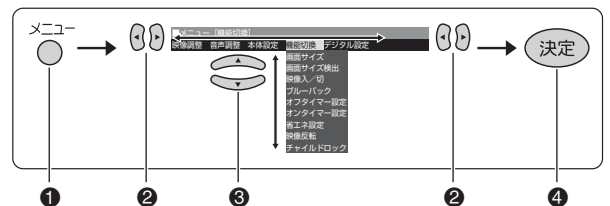
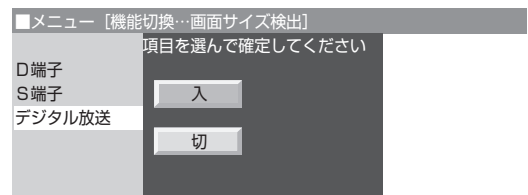
■ デジタル放送から送られてくる情報をもとに、自動的に最適な画面サイズで表示します。

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「機能切換」ー❸「画面サイズ検出」を選び、❹ (決定) を押す**

2 **① (▲) (▼) で「デジタル放送」を選び、(決定) を押す**

② (▲) (▼) で「入」または「切」を選び、(決定) を押す

■メニュー［機能切換…画面サイズ検出］
項目を選んで確定してください
D端子
S端子
デジタル放送
入
切

● 1つ前に戻る場合は 戻る ◯ を押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー ◯ または 終了 ◯ を押し、通常画面に戻す

指定時刻に電源が入るように設定する(オンタイマー)

■ オンタイマー設定の前に時刻設定をしてください。(**33**ページ参照)
■ 見たい番組が始まるまで電源を切にしておいたり、目覚まし時計の代わりに使うなど、指定した時刻にテレビの電源を入れる機能です。また、指定した時刻(番組の始まりなど)に指定したチャンネルと指定した音量で電源が入ります。

設定できる内容

■ **オンタイマー設定**　入←→切

■ **オン時刻**

午前0時00分〜午後11時59分

■ **チャンネル**

オンタイマー時のチャンネルを左右カーソルで順方向、逆方向に順次、切り換えます。
設定範囲：CH1〜CH20、C13〜C63、コンポーネント、ビデオ1、ビデオ2、PC
チャンネル設定(または入力設定)でスキップが設定されているチャンネルおよび入力モードは設定できません。(デジタル放送とi.LINKおよび、お好み登録チャンネルは選べません。)

■**音量**

オンタイマー時の音量値を左右カーソルで順方向、逆方向に順次、切り換えます。
設定範囲：0〜60

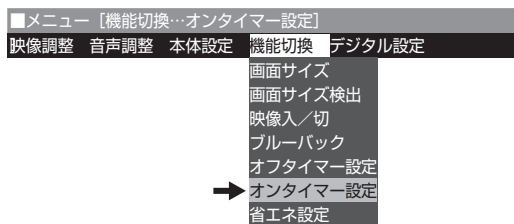
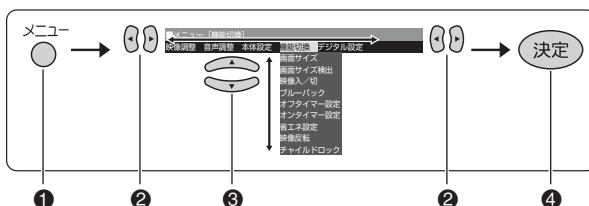
電源を入れる時刻とチャンネルと音量を設定する

[例] 毎日朝7時に12チャンネル(リモコン番号)、音量10で電源を入れる

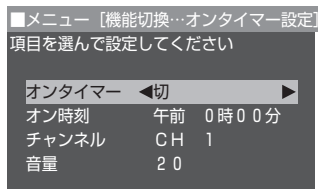
操作開始

1

❶メニュー画面から❷「機能切換」ー❸「オンタイマー設定」を選び、❹ (決定) を押す

■メニュー［機能切換…オンタイマー設定］
映像調整　音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
画面サイズ
画面サイズ検出
映像入／切
ブルーバック
オフタイマー設定
➡オンタイマー設定
省エネ設定

●時刻設定がされていない場合、「オンタイマー設定」を選び、決定ボタンを押した時点で時刻設定の画面が表示されます。時刻設定後、オンタイマー設定画面が表示されます。

2

で「オンタイマー」を選ぶ

■メニュー［機能切換…オンタイマー設定］
項目を選んで設定してください

オンタイマー	◀切	▶
オン時刻	午前　0時00分	
チャンネル	CH　1	
音量	20	

次ページへ

次ページへつづく

指定時刻に電源が入るように設定する(オンタイマー)(つづき)

3 ◀ ▶ で「入」を選ぶ

4

① ▲ ▼ で「オン時刻」を選ぶ

② ◀ ▶ でオン時刻を「午前7時00分」に設定する

5

① ▲ ▼ で「チャンネル」を選ぶ

② ◀ ▶ でチャンネルを「CH12」に設定する

6

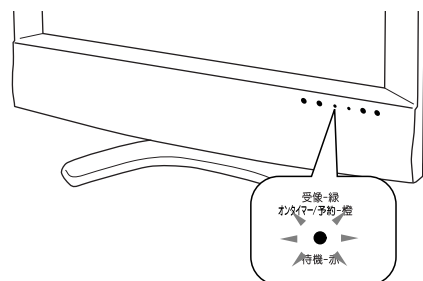
① ▲ ▼ で「音量」を選ぶ

② ◀ ▶ で音量を「10」に設定する

7 設定終了後、メニュー または 終了 を押して終了する

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

8 必ずリモコンで電源を切る

- 本体の電源ボタンで電源を切ると、オンタイマーは働きません。
- 電源ランプは橙色で点灯します。

- オンタイマーで外部入力(コンポーネント、ビデオ、PC)を使用する場合、外部入力機器の電源が入っており、再生していなければ音は出ませんのでご確認ください。

■ **オンタイマーの解除について**
- お出かけになるときなどオンタイマーで自動的に電源が入っては困る場合には、本体の電源ボタンで電源を切るか、オンタイマーを解除し、電源ランプの色を確認してください。

■ **設定時間の確認**
- 画面表示で、現在設定されている時間を確認できます。

■ **繰り返しオンタイマーについて**
- 一度オンタイマーを「入」にすると「切」にするまで毎日繰り返しオンタイマーが働きます。
- オンタイマーで電源が入ると自動的に2時間のオフタイマーが設定されます。
  2時間以上継続してご覧になるときは、本体の電源ボタンまたはリモコンで電源を一度切り、オフタイマーを解除してください。

■ **設定できないチャンネルやビデオ入力について**
- 「入力設定」の「ビデオ2設定」を「ビデオ2入力」以外に設定してあるときは「ビデオ2」は選べません。

■**視聴中のオンタイマー動作**
- 電源「入」のまま、オンタイマーで設定した時刻になると、設定したチャンネルに変わります。なお、このとき音量は変わりません。

電源を指定時間後に切る(オフタイマー)

■「オフタイマー設定」を使うと、指定した時間後に本機の電源を切ることができます。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利な機能です。

おしらせ

- オフタイマーの残り時間表示
  設定した時間の残り5分になると、約4秒間、1分ごとに残り時間を自動的に表示します。
- 電源を切るとオフタイマーは解除されます。
- オフタイマー設定後、手順2で時間を設定し直すこともできます。
- 現在、設定されている時間は、画面表示でも確認できます。

[例]残り時間が2時間15分のとき

画面表示 ボタンを押した場合

オフタイマー　2時間15分
オン時刻　午前 7時00分

※オンタイマー「入」のときのみ表示します

オフタイマー ボタンを押した場合

オフタイマー　2時間15分

- オンタイマーが設定されていても、オフタイマー ボタンではオン時刻は表示されません。

電源が切れる時間を設定する

リモコンで設定する

オフタイマー を押すごとに設定時間が30分単位で次のように変わります。

-時間--分 → 0時間30分 → 1時間00分 → 1時間30分 → 2時間00分 → 2時間30分 → -時間--分

オフタイマー　1時間00分

メニュー操作で設定する場合は

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「機能切換」ー❸「オフタイマー設定」を選び、❹ 決定 を押す**

2 **▲ ▼ ◀ ▶ でオフタイマー(電源が切れる時間)を設定し、決定 を押す**

- 設定時間は2時間30分まで、30分単位で設定できます。

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

省エネ機能を使う

省エネ機能について

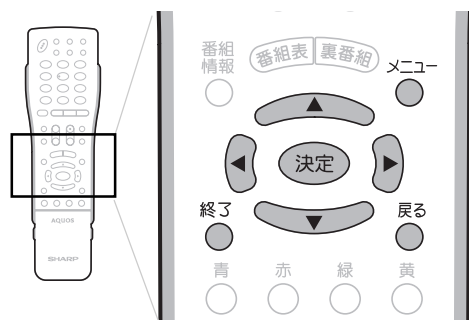
■ 本機には消費電力を抑えるため次の4つの機能がついています。

- **明るさ調整**：画面の明るさを調整します。
- **無操作電源オフ**：テレビを操作しない時間が続くと、自動的に電源をオフにします。
- **無信号電源オフ**：テレビ放送終了後、自動的に電源をオフにして消し忘れを防止します。
- **パワーマネージメント**：PCの画面を表示しているときに、PCからの入力信号がなくなってしばらくすると自動的に電源をオフにします。パワーマネージメントについては**121**ページをご覧ください。

明るさ調整について

■ 明るさ調整には自動調整、手動調整の2種類の方法があります。

■ PCとその他(テレビ、コンポーネント、ビデオ1、ビデオ2)は別々に設定できます。

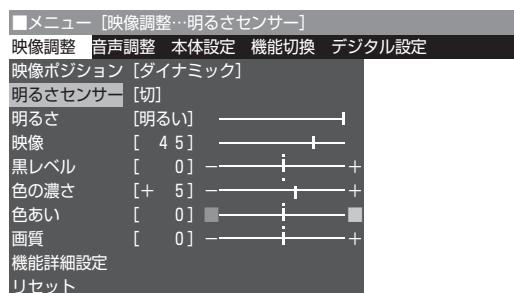
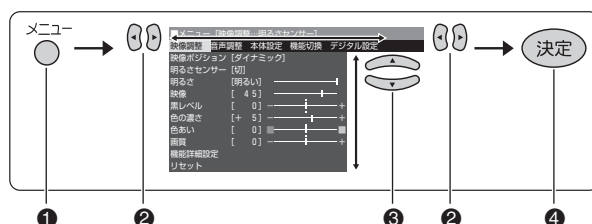
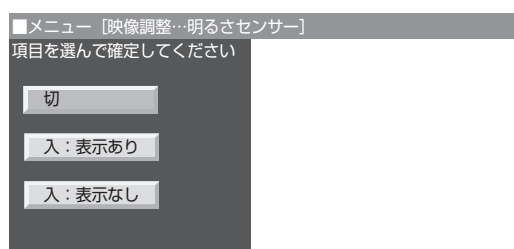
明るさセンサー（入）（自動調整）	周囲の明るさの変化に対応して画面の明るさが自動的に変化します。 • 入：表示あり ：画面の明るさが自動的に変化すると同時に明るさセンサー効果が画面に表示されます。 • 入：表示なし ：画面の明るさが自動的に変化しますがセンサー効果は画面に表示されません。
明るさセンサー（切）（手動調整）	明るさの項目で17段階のお好みの調整ができます。

● 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

明るさセンサーの入／切を設定する

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「映像調整」ー❸「明るさセンサー」を選び、❹ 決定 を押す**

2 **▲ ▼ で「切」「入：表示あり」「入：表示なし」のいずれかを選び、決定 を押す**

● 明るさセンサーの効果を画面に表示するには「入：表示あり」に設定してください。

明るさセンサーの効果を画面に表示するには

● 明るさセンサー［入：表示あり］を選びます。周囲の明るさが変化すると効果が表示されます。

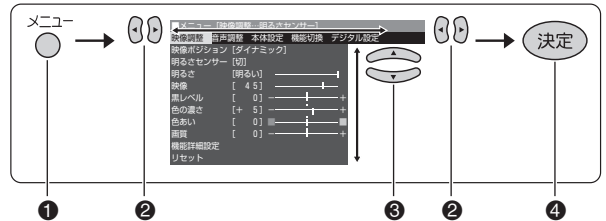
明るさセンサー

● 表示をしないときは、［入：表示なし］にしてください。

手動でお好みの明るさに調整する

■「明るさセンサー[切]」を選ぶと、手動で調整ができます。

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「映像調整」ー❸「明るさ」を選び、❹ (決定) を押す

2 ◀ ▶ でお好みの明るさに調整する

調整範囲：暗い↔2…8↔標準↔10…16↔明るい

省エネ機能を使う

調整と設定

●1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

操作終了する場合は ▶ (メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す

次ページへつづく

省エネ機能を使う（つづき）

無操作電源オフの設定

無操作電源オフ

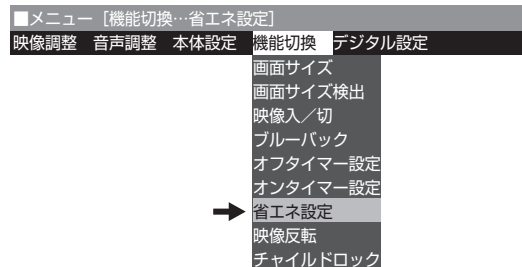
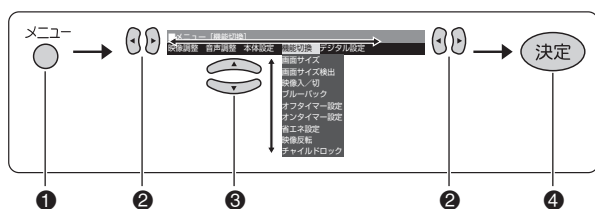
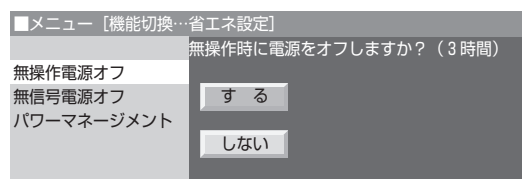
■ 3時間以上操作しない状態が続くと、自動的にテレビの電源が切れるように設定することができる機能です。
工場出荷時は「しない」になっています。

■ 電源が切れる5分前になると、約4秒間、1分ごとに警告文が表示されます。

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「機能切換」ー❸「省エネ設定」を選び、❹ (決定) を押す**

■メニュー［機能切換…省エネ設定］
映像調整　音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
画面サイズ
画面サイズ検出
映像入／切
ブルーバック
オフタイマー設定
オンタイマー設定
➡ 省エネ設定
映像反転
チャイルドロック

2 **① (▲) (▼) で「無操作電源オフ」を選び、(決定) を押す**

② (▲) (▼) で「する」を選び、(決定) を押す

無信号電源オフの設定

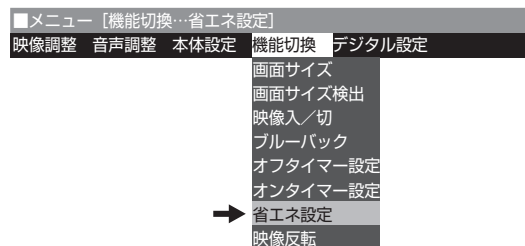
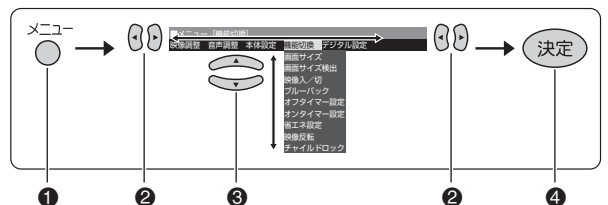
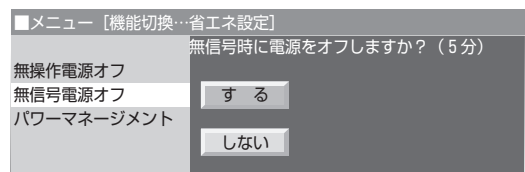
無信号電源オフ

■ 無信号電源オフを「する」に設定すると、放送が終了した約5分後に、自動的にテレビの電源が切れるように設定することができる機能です。
工場出荷時は「しない」になっています。

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「機能切換」ー❸「省エネ設定」を選び、❹ (決定) を押す**

■メニュー［機能切換…省エネ設定］
映像調整　音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
画面サイズ
画面サイズ検出
映像入／切
ブルーバック
オフタイマー設定
オンタイマー設定
➡ 省エネ設定
映像反転

2 **① (▲) (▼) で「無信号電源オフ」を選び、(決定) を押す**

② (▲) (▼) で「する」を選び、(決定) を押す

無信号電源オフについて

- 放送が終わっても、他局の放送やその他の電波が混入するときは、正しく動作しない場合があります。
- デジタル放送、i.LINK、外部入力（コンポーネント、ビデオ、PC）モードのときは、無信号電源オフは動作しません。
- 放送を見ているときに、テレビの電源が切れるときは、設定を「しない」にしてください。

● 1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

操作終了する場合は ▶ (メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す

音声を切り換える(二重音声／ステレオ放送)

■二重音声放送やステレオ放送を受信しているとき、音声切換ボタンで音声モードを変えることができます。
■二重音声放送やステレオ放送を受信すると、チャンネル表示の色が変わり、その下に「ステレオ」、「主音声」などの音声モードが表示されます。

フタを開けたところ

音声モードを切り換える

音声切換 を押す

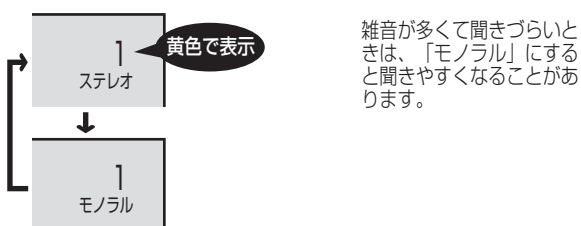
●テレビモードで切り換える

二重音声放送のとき

チャンネルは赤色で表示され、音声切換ボタンを押すごとに、音声モードが次のように切り換わります。

ステレオ放送のとき

チャンネルは黄色で表示され、音声切換ボタンを押すごとに、音声モードが次のように切り換わります。

雑音が多くて聞きづらいときは、「モノラル」にすると聞きやすくなることがあります。

音声モードを確かめるには

次のいずれかの操作を行うと、チャンネル表示とともに、音声モードが3秒間表示されます。

- 今見ているチャンネルボタンを押す。
- 画面表示 を押す。(このときは約10秒間表示されます。)チャンネルが表示されているときは2回押す。
- いったん別のチャンネルに切り換えてから元のチャンネルに戻す。
- 電源をいったん切ってから、入れ直す。

- デジタル放送視聴時の音声切換えは、**41**ページをご覧ください。

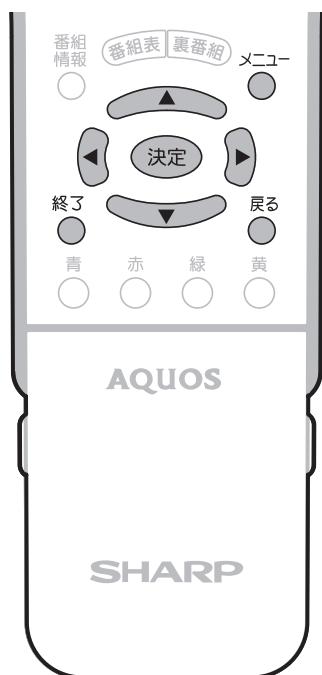
外部機器に表示をあわせる

外部機器の画面表示を変更する

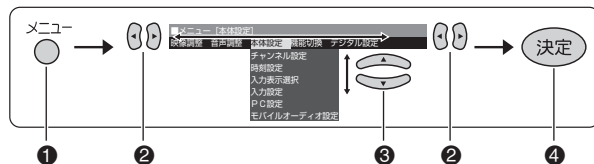
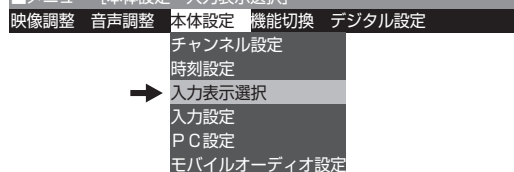
■ ビデオ入力端子に接続した外部機器にあわせて、表示する名称を変えることができます。

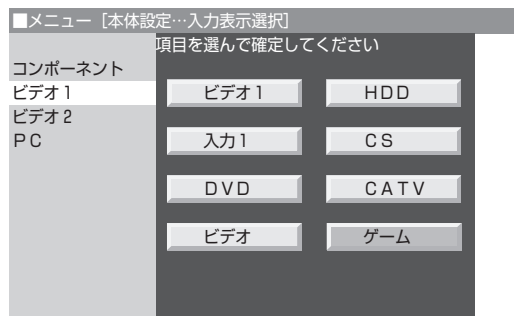
■ 工場出荷時の設定は次のとおりです。
コンポーネントビデオ入力の映像
：コンポーネント
ビデオ1入力の映像：ビデオ1
ビデオ2入力の映像：ビデオ2
PC入力の映像　：PC

■ その他の機器についても、種類にあわせて以下のような画面表示に変えることができます。

映像入力端子に接続する機器	表示例
ビデオデッキなど	ビデオ1
	ビデオ2
コンポーネント端子付きの機器	ＤＶＤ
	ＢＳ
テレビゲームなど	ゲーム
CSチューナーなど	CS
BSデジタルチューナーなど	BS
パソコン	PC

［例］「ビデオ1」表示を「ゲーム」表示に変える

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「本体設定」ー❸「入力表示選択」を選び、❹(決定)を押す

2 ① (▲)(▼) で「ビデオ1」を選び、(決定)を押す

② (▲)(▼)(◀)(▶) で「ゲーム」を選び、(決定) を押す

● 1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

操作終了する場合は ▶ (メニュー) **または** (終了) **を押し、通常画面に戻す**

入力表示選択できる内容

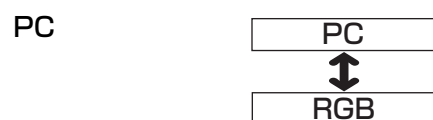
調整項目が表示されている間(約60秒間)、

 を押すごとに次のように切り換わります。

コンポーネント

ビデオ1

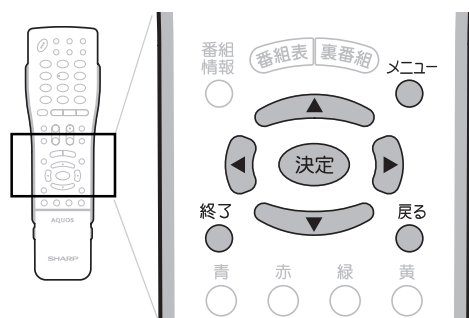
ビデオ2

PC

※「入力表示選択」では、次の項目は設定できません。

●ビデオ2

- 「入力設定」の「ビデオ2設定」を「録画出力」、「モニター出力／音声固定」または「モニター出力／音声可変」に設定しているとき。

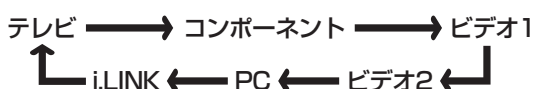
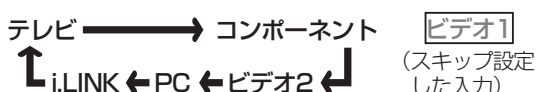
入力切換の飛び越しを設定する

■ 本体の入力/放送切換ボタンやリモコンの入力切換ボタンで入力切換えをしたときに、接続していない端子や受信しない放送を飛び越して(スキップ)選ぶことができる機能です。

■リモコンの入力切換ボタンと本体の入力/放送切換ボタンで動作が変わります。

リモコンの入力切換ボタン：
地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、CSデジタルをまとめてテレビモード(スキップ不可)として扱います。

本体の入力/放送切換ボタン：
地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、CSデジタルの設定は各々有効です。

右の例の場合
(リモコンの入力切換ボタンで操作した場合)

- スキップ前

- スキップ後

「スキップ設定」では、次の項目は設定できません。
- ビデオ2
「入力設定」の「ビデオ2設定」を「録画出力」、「モニター出力／音声固定」または「モニター出力／音声可変」に設定しているとき

[例]「ビデオ1」をスキップ設定する

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「本体設定」ー❸「入力設定」を選び、❹ 決定 を押す

■メニュー［本体設定…入力設定］
映像調整 音声調整 本体設定 機能切換 デジタル設定
チャンネル設定
時刻設定
入力表示選択
➡ 入力設定
ＰＣ設定
モバイルオーディオ設定

2 ▲ ▼ で「スキップ設定」を選び、決定 を押す

■メニュー［本体設定…入力設定］

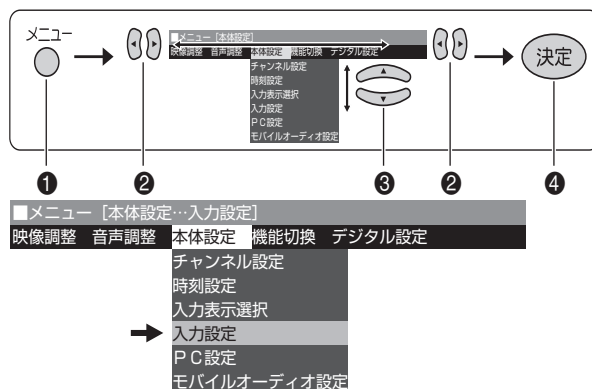
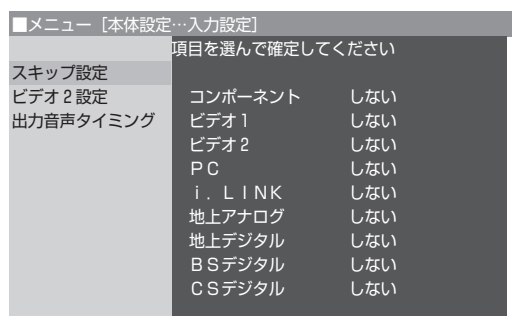
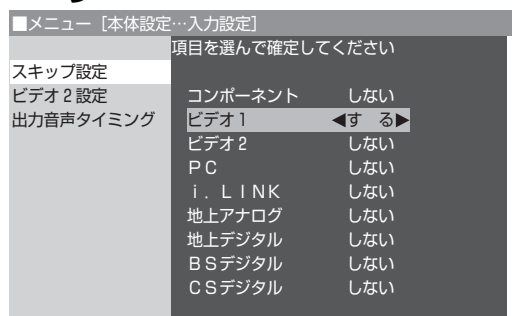
	項目を選んで確定してください	
スキップ設定		
ビデオ２設定	コンポーネント	しない
出力音声タイミング	ビデオ１	しない
	ビデオ２	しない
	ＰＣ	しない
	ｉ．ＬＩＮＫ	しない
	地上アナログ	しない
	地上デジタル	しない
	ＢＳデジタル	しない
	ＣＳデジタル	しない

3

① ▲ ▼ で「ビデオ１」を選ぶ

② ◀ ▶ で「する」を選び、決定 を押す

■メニュー［本体設定…入力設定］

	項目を選んで確定してください	
スキップ設定		
ビデオ２設定	コンポーネント	しない
出力音声タイミング	ビデオ１	◀す る▶
	ビデオ２	しない
	ＰＣ	しない
	ｉ．ＬＩＮＫ	しない
	地上アナログ	しない
	地上デジタル	しない
	ＢＳデジタル	しない
	ＣＳデジタル	しない

- １つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

映像を調整する

映像調整について

■ ご覧になっている映像をより見やすくするために、以下のような設定を行うことができます。

- ●映像ポジション(**144**ページ)
- ●映像調整(**144**ページ)
- ●色温度(**146**ページ)
- ●I/P設定(**148**ページ)
- ●ノイズクリーン(**148**ページ)
- ●フィルムモード(**149**ページ)
- ●QS駆動(**149**ページ)

※ PC画面では色温度と明るさの調整のみ設定できます。

フタを開けたところ

映像ポジションを設定する

映像ポジションについて

■ テレビ／ビデオモードの映像と番組のソフトや種類にあわせて、お好みの画質を選ぶことができます。

- **●標準**　：画質設定が標準値になります。
- **●ダイナミック**　：くっきりと色鮮やかな映像で見るとき。
- **●ダイナミック(固定)**　：明るい部屋で見るとき。(このポジションを選択したときは、映像調整ができません。)
- **●映画**　：コントラスト感を抑えることにより、暗い映像を見やすくします。
- **●ゲーム**　：テレビゲームなどの映像を、明るさを抑えて目にやさしい映像にします。

■ 映像ポジションは入力モード(テレビ／コンポーネント／ビデオ1〜2)ごとに個別で設定することができます。
i.LINKのときはテレビモードの設定と同じです。

■ PCの場合は変更できません。

[例] ビデオ2入力の映像ポジションを[映画]に設定する

リモコンで設定する

操作開始

1 入力切換 **を押し、ビデオ2を選ぶ**

ビデオ 2

2 映像ポジション **を押す**

●設定されているモードが表示されます。押すごとに次のように切り換わります。

次ページへつづく

映像を調整する(つづき)

メニュー操作で設定する場合は

メニュー項目の「映像調整」を選択して、映像ポジションを切り換えることができます。

操作開始

1 入力切換 を押し、ビデオ2を選ぶ

ビデオ 2

2 ❶メニュー画面から❷「映像調整」ー❸「映像ポジション」を選び、❹ 決定 を押す

3 ▲ ▼ で「映画」を選び、決定 を押す

● 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

映像を手動で調整する

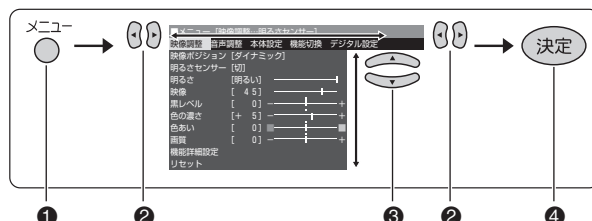
■ 映像ポジションの「標準」「ダイナミック」「映画」「ゲーム」では、お好みの画質に調整することができます。映像の濃淡や明るさを変えて、見やすくしたい場合は、状態に応じて調整項目を選び、画像を調整してください。

■ 映像調整では、「明るさ」「映像」「黒レベル」「色の濃さ」「色あい」「画質」の6つの項目を調整できます。調整した映像は、そのまま記憶されます。

［例］ビデオ2入力で［映画］モードの色あいを調整する

操作開始

1 143ページの「映像ポジションを設定する」を実行し、ビデオ2入力の「映像ポジション」を「映画」に設定する

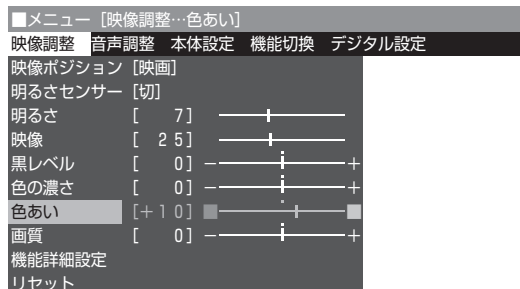
2 ❶メニュー画面から❷「映像調整」ー❸「色あい」を選び、❹ 決定 を押す

次ページへ

3 ◀ ▶ で色あいを調整する

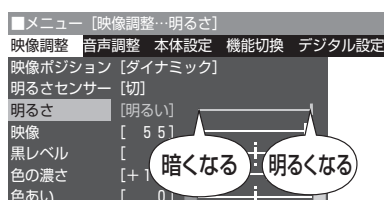
● 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

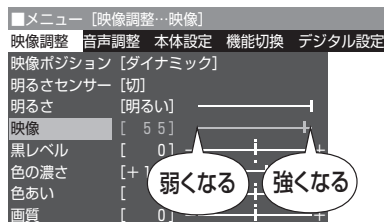
操作終了する場合は ▶

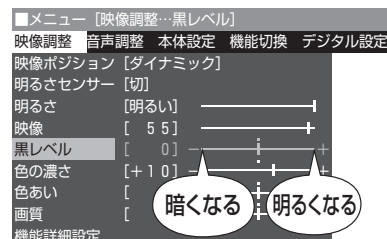
メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

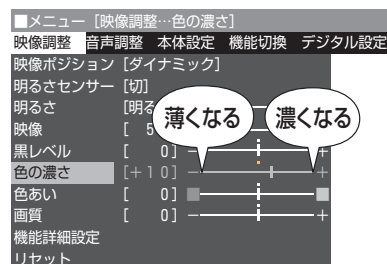
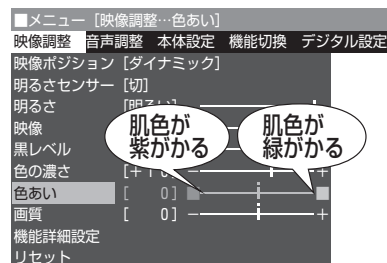
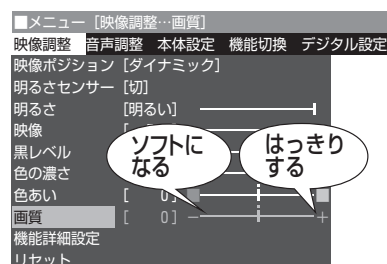
おしらせ

- 映像ポジションの設定を「ダイナミック(固定)」にしているときは、映像調整はできません。
- 「映像調整」の項目で「リセット」を選択して決定すると、映像調整で調整されている内容が工場出荷時の設定に戻ります。リセットについては **21**ページをご覧ください。

▼画面表示 ◀ ▶ で調整

明るさ
17段階
(暗い、2〜8、標準、1 0 〜16、明るい)

バックライトの明るさを調整します。暗い部屋で明るさを下げると黒が黒らしく見えます。

映像
61段階
(0〜60)

数値を高くすると、明るい所と暗い所の差がはっきりしますが、数値を上げすぎると、細かい映像が見えにくくなります。

黒レベル
61段階
(—30〜+30)

画面全体の明るさを調整します。数値を上げすぎると白っぽくなり、下げすぎると黒っぽくなります。

色の濃さ
61段階
(—30〜+30)

色あい
61段階
(—30〜+30)

画質
21段階
(—10〜+10)

数値を上げるとはっきりした映像になりますが、ノイズが目立ちます。下げるとやわらかい映像になり、ノイズも目立たなくなります。

次ページへつづく

映像を調整する(つづき)

色温度を設定する

■ 画面全体を、自然な色味やお好みの色味に補正することができます。

- **ユーザー設定**：赤・青・緑をお好みの色味に調整できます。
- **暖色**：赤みのかった暖色系の強い色味になります。
- **標準**：自然な色味になります。（白い画面では白く見える等。）
- **寒色**：青みのかった寒色系の強い色味になります。

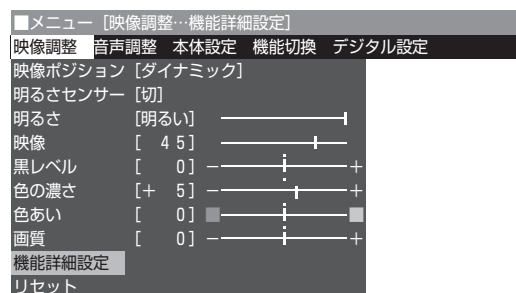
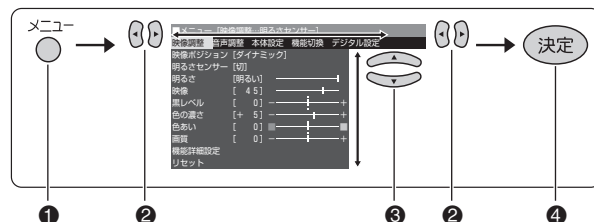
■ PCとその他(テレビ、コンポーネント、ビデオ1、ビデオ2)は別々に設定できます。

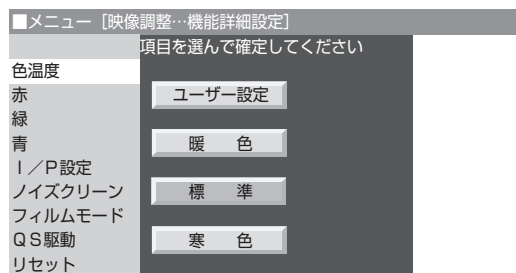
操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「映像調整」ー❸「機能詳細設定」を選び、❹（決定）を押す**

■メニュー［映像調整…機能詳細設定］

映像調整　音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定

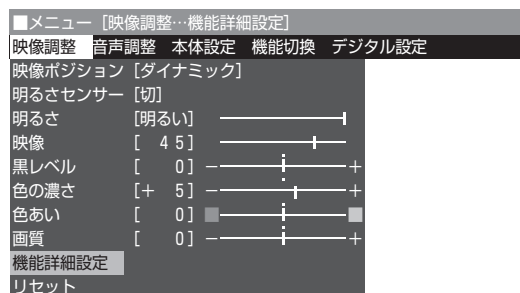
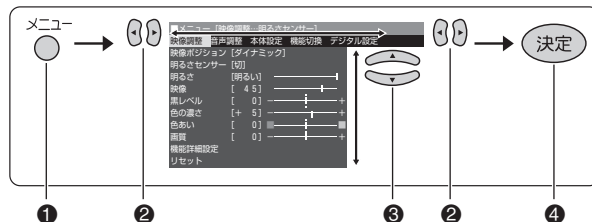
映像ポジション	[ダイナミック]
明るさセンサー	[切]
明るさ	[明るい]
映像	[45]
黒レベル	[0]
色の濃さ	[+ 5]
色あい	[0]
画質	[0]
機能詳細設定	
リセット	

2 **① ▲ ▼ で「色温度」を選び、（決定）を押す**

② ▲ ▼ で「暖色」「標準」「寒色」のいずれかを選び、（決定）を押す

● 1つ前に戻る場合は（戻る）を押してください。

操作終了する場合は ▶

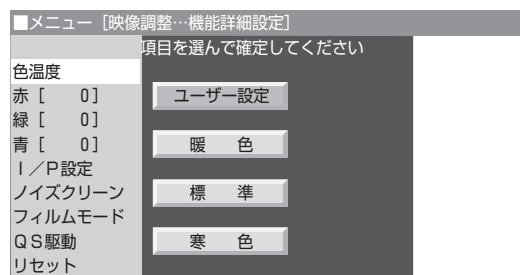
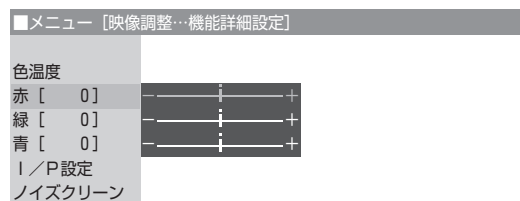
（メニュー）または（終了）を押し、通常画面に戻す

お好みの色温度に調整する

■ PCとその他(テレビ、コンポーネント、ビデオ1、ビデオ2)は別々に設定できます。

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「映像調整」—❸「機能詳細設定」を選び、❹ 決定 を押す

2 ① ▲ ▼ で「色温度」を選び、決定 を押す

② ▲ ▼ で「ユーザー設定」を選び、決定 を押す

3 ▲ ▼ で「赤」「緑」「青」のいずれかを選び、◀ ▶ で調整する

● 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶ メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

次ページへつづく

映像を調整する(つづき)

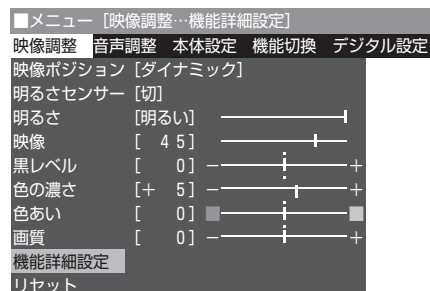
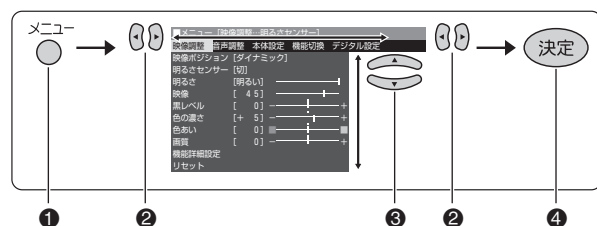
静止画などの映像の種類にあわせて見る(I/P設定)

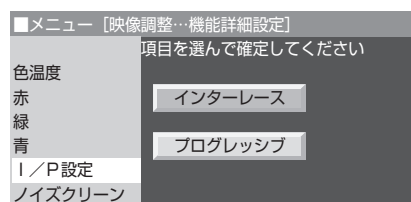
■ 映像の種類にあわせ、インターレース／プログレッシブモードを選びます。

- **インターレース**：動きの極端に速い映像に適しています。
- **プログレッシブ**：通常の映像に適しています。

※ デジタル放送、i.LINKおよび、コンポーネントモードで「525p」「1125i」「750p」と表示されるような映像を視聴している場合やPCの場合は、選択できません。

操作開始

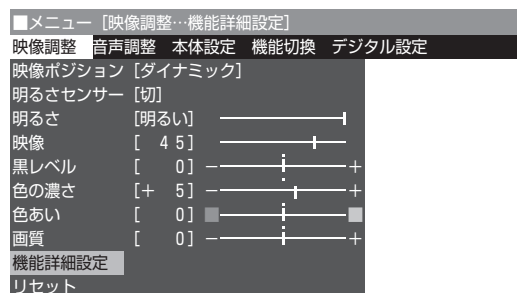
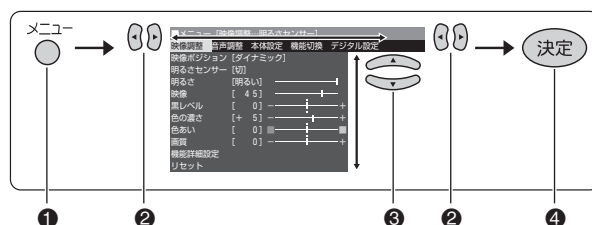
1 ❶**メニュー画面から**❷**「映像調整」ー**❸**「機能詳細設定」を選び、**❹ (決定) **を押す**

2 ① (▲) (▼) **で「I/P設定」を選び、**(決定) **を押す**

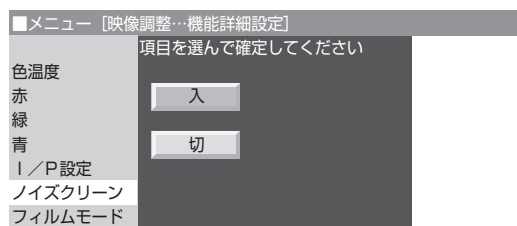
② (▲) (▼) **で「インターレース」または「プログレッシブ」を選び、**(決定) **を押す**

映像をすっきりと見やすくさせる(ノイズクリーン)

■ チラチラするノイズを抑え、すっきりと見やすくさせる機能です。

※ デジタル放送、i.LINKおよび、コンポーネントモードで「1125i」「750p」と表示されるような映像を視聴している場合やPCの場合は、選択できません。

操作開始

1 ❶**メニュー画面から**❷**「映像調整」ー**❸**「機能詳細設定」を選び、**❹ (決定) **を押す**

2 ① (▲) (▼) **で「ノイズクリーン」を選び、**(決定) **を押す**

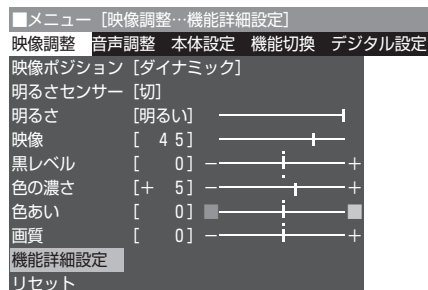
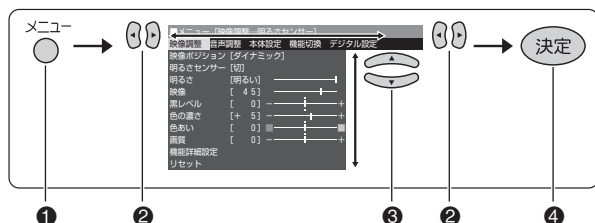
② (▲) (▼) **で「入」を選び、**(決定) **を押す**

● 1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

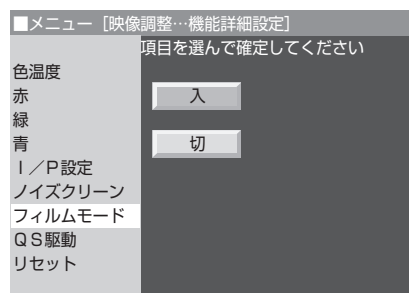
操作終了する場合は ▶ (メニュー) **または** (終了) **を押し、通常画面に戻す**

フィルムモードの設定

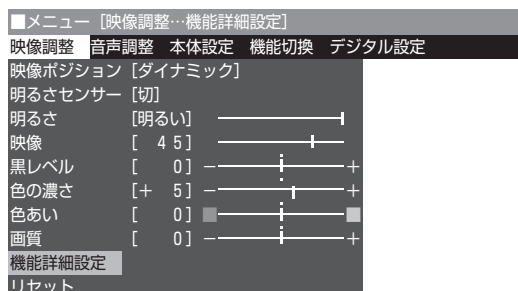
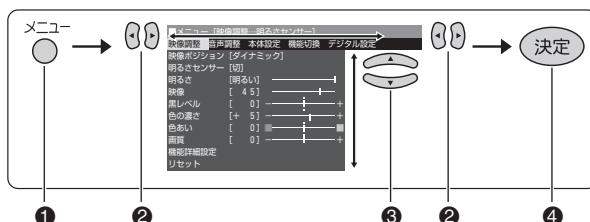
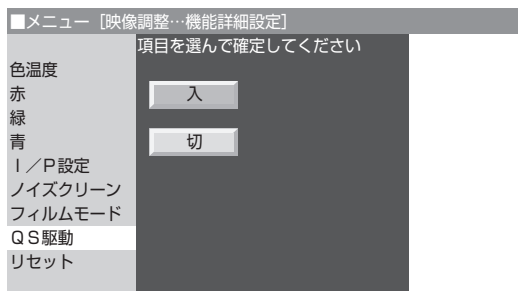
■ フィルム収録のDVDなど、元信号が24コマ／秒の映像を、映画のようなきめ細やかな映像で再生します。
※ デジタル放送、i.LINKおよび、コンポーネントモードで「525p」「1125i」「750p」と表示されるような映像やPCの画面に対しては働きません。

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「映像調整」ー❸「機能詳細設定」を選び、❹ (決定) を押す**

2 **① (▲) (▼) で「フィルムモード」を選び、(決定) を押す**

② (▲) (▼) で「入」を選び、(決定) を押す

動きの速い映像をより忠実に表示する（QS駆動）

■ QS（クイックシュート）駆動は、スポーツ番組などの動きの速い映像を、より忠実に表示する機能です。
※PCの場合は選択できません。

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「映像調整」ー❸「機能詳細設定」を選び、❹ (決定) を押す**

2 **① (▲) (▼) で「QS駆動」を選び、(決定) を押す**

② (▲) (▼) で「入」を選び、(決定) を押す

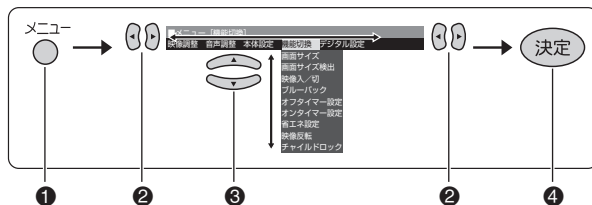
●1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

操作終了する場合は ▶ (メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す

その他の映像設定

映像を消して音声のみを楽しむ

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「機能切換」ー❸「映像入／切」を選び、❹ (決定) を押す**

■メニュー［機能切換…映像入／切］
映像調整　音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
画面サイズ
画面サイズ検出
映像入／切
ブルーバック
オフタイマー設定
オンタイマー設定
省エネ設定
映像反転
チャイルドロック

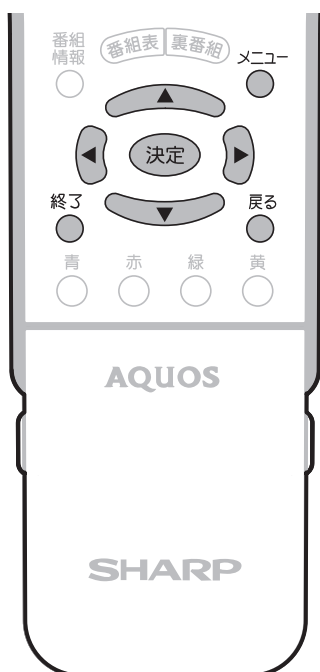
2 **(▲)(▼)で「切」を選び、(決定)を押す**

- 映像を表示させるには、「入」を選択してください。
- 消音中に映像「切」にすると、映像を消した状態で「消音」の表示がでます。

- 1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

操作終了する場合は ▶ (メニュー) **または** (終了) **を押し、通常画面に戻す**

無信号のときのノイズ画面を青色(ブルーバック)にする

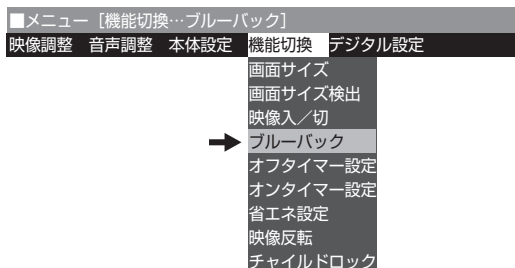
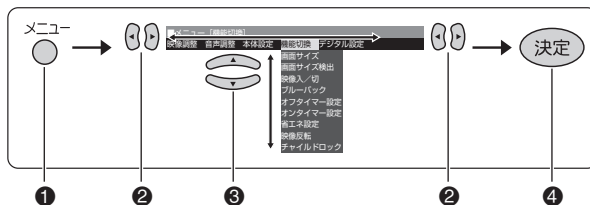
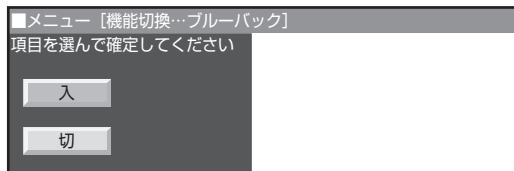
■ 通常の状態では、放送終了や無信号状態になると、画面がノイズだけになり「ザー」という音声が流れます。
ブルーバックを「入」に設定しておくと、放送終了や無信号状態になると画面が青色に切り換わり消音状態になりますので、不快感が軽減されます。

- チャンネル設定モードでは、ブルーバックは働きません。
- 放送が終わっても、他局の放送やその他の電波が混入するときは、正しく機能しない場合があります。
- デジタル放送、i.LINKの信号に対しては働きません。

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「機能切換」ー❸「ブルーバック」を選び、❹(決定)を押す

■メニュー［機能切換…ブルーバック］
映像調整　音声調整　本体設定　機能切換　デジタル設定
画面サイズ
画面サイズ検出
映像入／切
ブルーバック
オフタイマー設定
オンタイマー設定
省エネ設定
映像反転
チャイルドロック

2 (▲)(▼)で「入」を選び、(決定)を押す

■メニュー［機能切換…ブルーバック］
項目を選んで確定してください
入
切

- 放送終了や無信号の画面になるとブルーバック画面になります。

- 1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

操作終了する場合は ▶ (メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す

次ページへつづく

その他の映像設定(つづき)

映像の上下左右を反転させる

■ 設置のしかたに応じて、映像反転メニューで映像の上下を反転したり、左右を反転することができます。
ゴルフの練習をする、ダンスの振り付けをおぼえるなどのとき、鏡を見ているように左右を反転させたり、天井に設置する場合に上下を反転させるなどの使いかたができます。

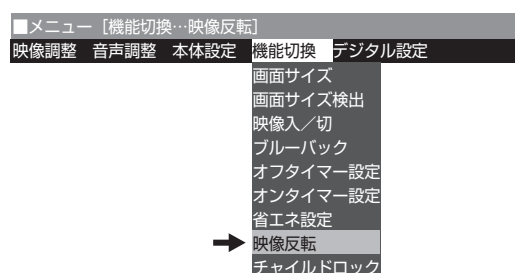
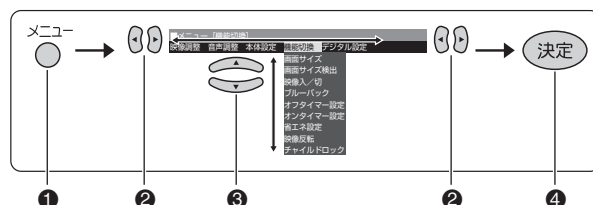
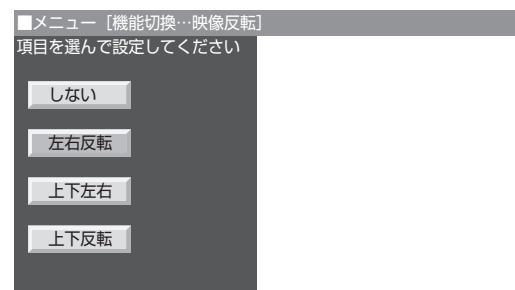
- 工場出荷時は、「映像反転」は「しない」に設定されています。
- 映像反転の上下左右、左右反転で、音声の左右反転はしません。

映像反転の表示

[例]「左右反転」を行う

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「機能切換」ー❸「映像反転」を選び、❹ (決定) を押す

画面サイズ
画面サイズ検出
映像入／切
ブルーバック
オフタイマー設定
オンタイマー設定
省エネ設定
映像反転
チャイルドロック

2 (▲) (▼) で「左右反転」を選び、(決定) を押す

- 調整項目が表示されている間(約60秒間)、上下ボタンを使って映像反転を設定します。

- 1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

操作終了する場合は ▶ (メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す

音声を調整する

音声調整

■ ご覧になっているビデオソフトや各種放送の内容にあわせ、お好みの音質に調整することができます。

■ 調整できる項目
- 高音：高音域の強弱を調整できます。
- 低音：低音域の強弱を調整できます。
- バランス：左右の音のバランスを調整できます。
- ワイド：「入」のとき広がった音になります。
- いきいきボイス：「自動」「固定」の設定で音が聞き取りやすい音質になります。

■ いきいきボイスについて（スピーチ自動検出機能）
音声に人の声が多く含まれているときは、こもりがちな低音や耳ざわりな高音を自動的に減らし聞き取りやすい音声にします。

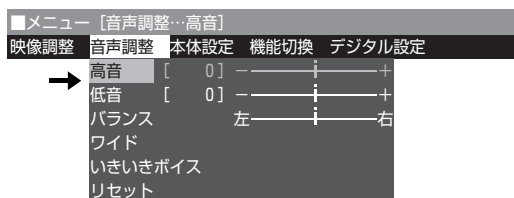
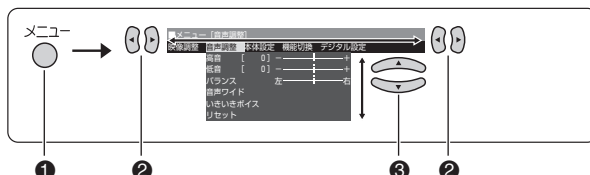
調整項目	設定値
高音	−10〜+10
低音	−10〜+10
バランス	左〜右
ワイド	入・切
いきいきボイス	切・固定・自動

フタを開けたところ

音声を設定する

［例］高音を調整する

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「音声調整」ー❸「高音」を選ぶ

2 でお好みの高音域に調整する

● 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

その他の映像設定（つづき）　音声を調整する

調整と設定

次ページへつづく

音声を調整する(つづき)

いきいきボイス機能の入／切を選択する

設定	機能
切	いきいきボイス機能は動作しません。
固定	いきいきボイス機能が強制モードで、常に人の声が聞き取りやすい音質でお楽しみいただけます。
自動	いきいきボイス機能が音声信号を自動で判別し、音声調整する必要なく最適な音質でお楽しみいただけます。

- いきいきボイス機能はスピーカーのみ機能し、ヘッドホン出力、モニター出力およびデジタル放送音声出力では機能しません。
- 工場出荷時は「切」に設定されています。
- 音声の種類によっては、いきいきボイスが正しく機能しない場合があります。その場合は「切」または「固定」に切り換えてご使用ください。

「表示設定」が「表示あり」のとき、画面表示 を押すと、いきいきボイスのレベルが画面に表示されますので、どの程度人の声と認識しているかの目安になります。

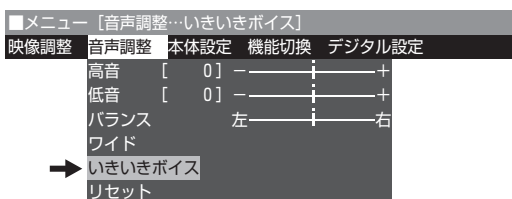
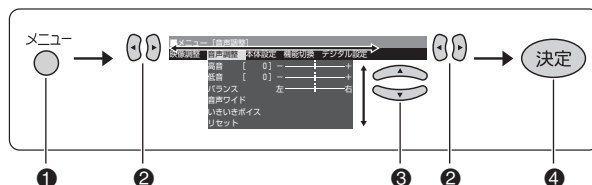
例)「自動」に設定した場合の画面

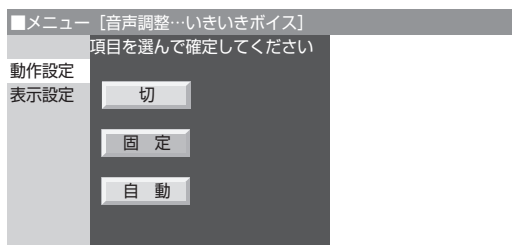
いきいきボイス ●●●●●・・・・・

- 音声中に人の声の成分が多くなると ● の数が増え、人の声の成分が少なくなると ● の数が減ります。
- 人の声と音楽が混在したテレビ放送やビデオ・DVDソフトの内容によっては、いきいきボイスのレベルが変動することがあります。

操作開始

1 ❶メニュー画面から❷「音声調整」ー❸「いきいきボイス」を選び、❹ 決定 を押す

■メニュー［音声調整…いきいきボイス］
映像調整 音声調整 本体設定 機能切換 デジタル設定
高音 [0] −+
低音 [0] −+
バランス 左 右
ワイド
いきいきボイス
リセット

2 ① ▲ ▼ で「動作設定」を選び、決定 を押す

② ▲ ▼ で「切」「固定」「自動」のいずれかを選び、決定 を押す

- 1つ前に戻る場合は 戻る を押してください。

操作終了する場合は ▶

メニュー または 終了 を押し、通常画面に戻す

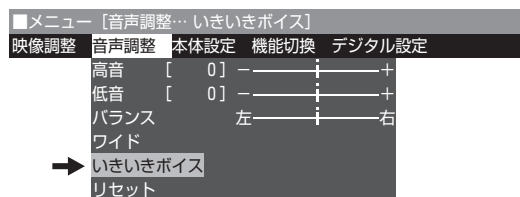
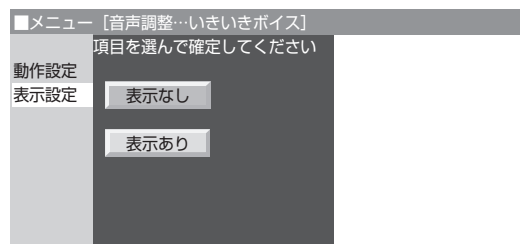
いきいきボイス機能の表示を設定する

画面表示の設定

設定	機能
表示なし	いきいきボイスのレベルは画面に表示されません。
表示あり	「動作設定」を「自動」に設定しているとき、画面にいきいきボイスのレベルが表示されます。

● 工場出荷時は「表示なし」に設定されています。

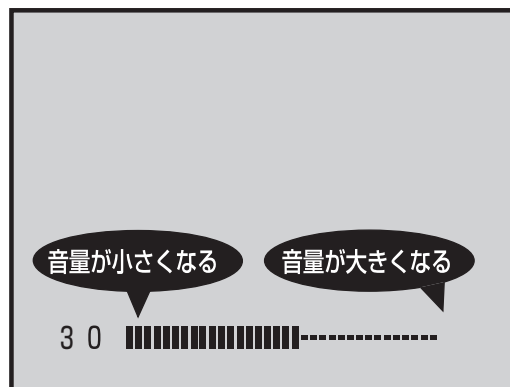
操作開始

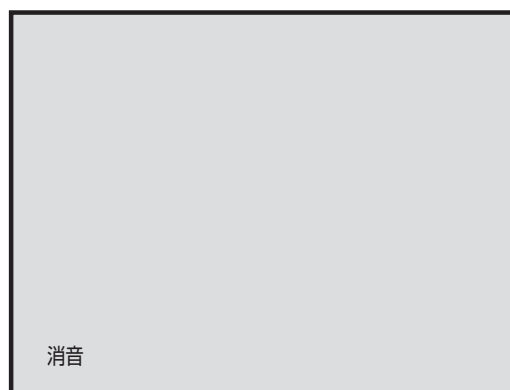
1 ❶メニュー画面から❷「音声調整」－❸「いきいきボイス」を選び、❹ (決定) を押す

2 ① (▲) (▼) で「表示設定」を選び、(決定) を押す
② (▲) (▼) で「表示なし」または「表示あり」を選び、(決定) を押す

● 1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

操作終了する場合は ▶

(メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す

音量を調整する

(音量 ＋／－) を押し、音量を調整する

音声を一時的に消す（消音）

(消音) を押し、消音する

● 音量を元の大きさに戻すときには再度、消音ボタンを押します。
また、次のいずれかのボタンでも消音が解除できます。
リモコン .... 音量ボタン※、消音ボタン、電源ボタン
本体 .... 音量ボタン※、電源ボタン

※音量ボタンで消音を解除した場合は、元の音量+1または－1の大きさになります。

ボタンの操作を禁止する(チャイルドロック)

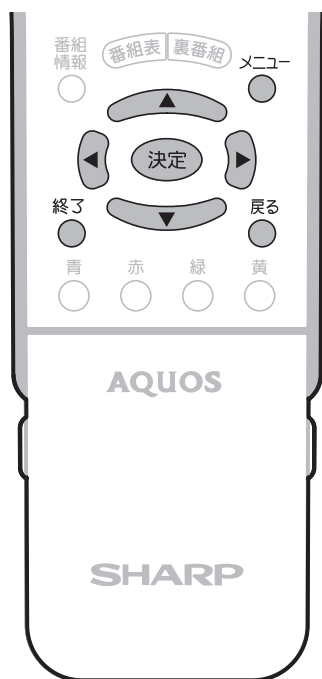
チャイルドロック機能について

■ お子様や他の人に、チャンネルや音量などを変えられたくない場合に役立つ機能です。チャイルドロックを設定すると以下の操作のどちらかをロックすることができます。

- **本体ボタンの操作**
  ロック状態で、電源ボタンを除く本体ボタンが使えなくなります。
- **リモコンボタンの操作**
  ロック状態で、すべてのリモコンボタンが使えなくなります。

■ 工場出荷時は、「しない」になっています。

チャイルドロックを設定する

- 「本体操作ロック」「リモコン操作ロック」の2つの機能を同時に設定することはできません。
- 「本体操作ロック」「リモコン操作ロック」設定中に他の設定を行った場合は、次のような注意文が表示されます。
  例)リモコン操作ロック中のため操作できません。(リモコン操作ロックの場合)

[例] リモコンボタンによる操作をロックする

操作開始

1 **❶メニュー画面から❷「機能切換」ー❸「チャイルドロック」を選び、❹ (決定) を押す**

2 **(▲) (▼) で「リモコン操作ロック」を選び、(決定) を押す**

- 1つ前に戻る場合は (戻る) を押してください。

操作終了する場合は ▶

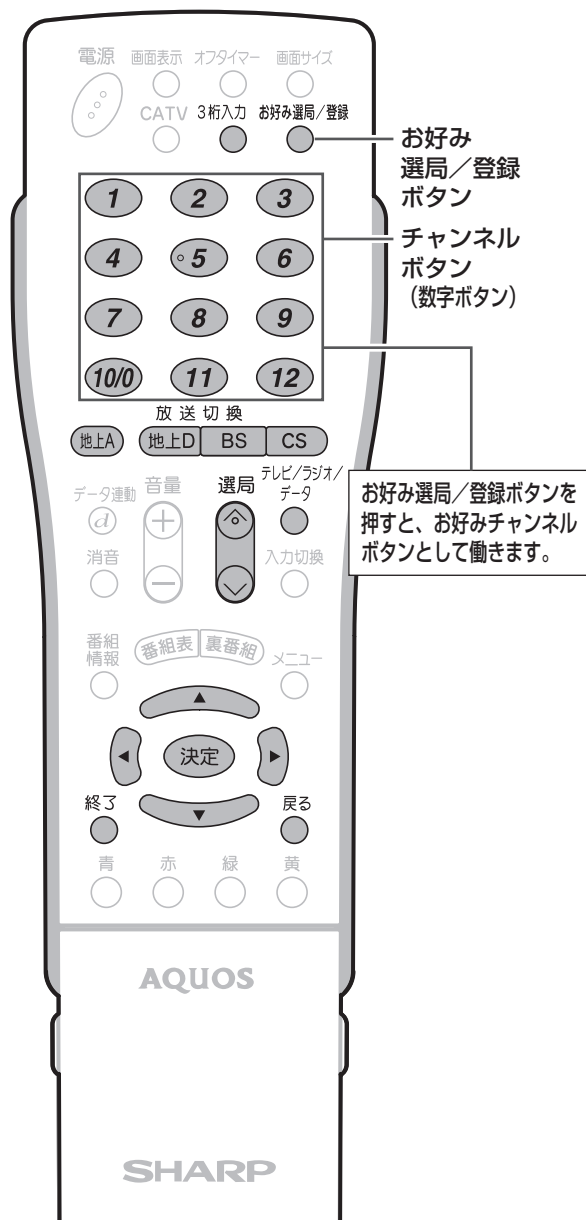
(メニュー) または (終了) を押し、通常画面に戻す

ロックを解除する

本体ボタン、リモコンボタンのうちロックが設定されていないほうのメニューボタンを押し、手順1を実行し、手順2で「しない」を設定してロック機能を解除します。

お好みのチャンネルを登録する

お好み選局／登録画面にチャンネルを登録する（お好み登録）

■ お好み選局／登録ボタンを押すと、チャンネルボタンがお好みチャンネルボタンとして働きます。
■ よく見るチャンネルをあらかじめお好みチャンネル登録すると、お好み選局／登録画面からチャンネルを選べます。
■ お好みチャンネル画面へのチャンネル登録は、各ネットワーク·各メディアを混在した登録ができます。
お好み選局／登録は、工場出荷時、地上アナログ放送が設定されています。

［例］BSデジタル放送・テレビの103チャンネルをお好み選局／登録画面の「5」（お好みチャンネルボタン 5 ）に登録する

操作開始

1
① BS を押し、BSデジタル放送（テレビ）を選ぶ
② 103チャンネルを選局する

2
① お好み選局/登録 を押す
●お好み選局／登録画面が表示されます。

② 決定 を押す

3
登録したいチャンネルボタン 5 （登録先のボタン）を押す

●上下左右カーソルボタンで登録したいチャンネルを選ぶこともできます。カーソルボタンで選んだときは、 決定 を押します。

次ページへ

次ページへつづく

お好みのチャンネルを登録する(つづき)

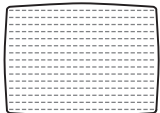
お好み選局／登録 または 終了 を押す

- 押さなくても、しばらくすると画面表示は消えます。

お好み登録を変更する

「お好み選局／登録画面にチャンネルを登録する(お好み登録)」の操作を行い、お好み登録されているお好みチャンネルに新たなチャンネルを登録しなおすことで、新たな内容に更新されます

情報ページ

● 知っておいていただきたいことやご注意、別売品のご案内など、便利な情報のページです。メニュー項目一覧や用語の解説、索引も掲載していますので、ぜひお役立てください。

故障かな？と思ったら

■次のような場合は、故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度次のことをお調べください。なお、アフターサービスについては**167**ページをご覧ください。
■お確かめの結果、なお異常があるときは、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へご連絡ください。

テレビ側

（太字のページ番号は 1. 準備編 です。）

こんなとき	ここをお確かめください	参照ページ
映像も音声も出ない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ●放送局以外の電波を受信していることが考えられます。 ●入力モードがテレビモード以外になっていませんか？ ●リモコンで電源待機状態になっていませんか？ ●本体の電源ボタンは入っていますか？	**22** － 3 2・**23** **23**
映像が出ない ビデオ 1 映像が出ない	●明るさは正しく調整されていますか？ ●S2映像入力端子にケーブルが差し込まれていませんか？ ●モバイルオーディオ入力端子にケーブルが差し込まれていませんか？ ●「映像入／切」が「切」に設定されていませんか？	136・137 **20** 124 150
音声が出ない	●音量調整が最小になっていませんか？ ●消音になっていませんか？ ●ヘッドホンが差し込まれたままになっていませんか？ ●「ビデオ2設定」が「モニター出力／音声可変」に設定されていませんか？	2 3 124 115
映像も音声も出ない ノイズしか出ない	●アンテナケーブルが抜けていませんか？	**2・3** **15〜17**
映りが悪い	●アンテナケーブルが抜けていませんか？ ●電波状態が悪いことが考えられます。	**2・3** **15〜17**
色あいが悪い 色が薄い	●色あい、色の濃さは正しく調整されていますか？	144・145
画面が暗い	●明るさ調整が「暗い」になっていませんか？ ●明るさは正しく調整されていますか？	137
リモコンが動作しない	●リモコンの電池寿命が考えられます。 ●蛍光灯の強い光がリモコン受光部に当たっていませんか？ ●チャイルドロックを設定していませんか？	**12** **12** 156
本体が作動しない 電源ボタンを除くすべてのボタンがきかない	●チャイルドロックを設定していませんか？	156

■本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。このときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、約30分後、再度コンセントを差し込んで電源を入れてご使用ください。

アンテナ側

こんなとき	ここをお確かめください
映像が不鮮明 映像がゆれる	●テレビの電波が弱い場合が考えられます。 ●電波状態が悪い場合も考えられます。 ●アンテナの方向がズレていませんか？ ●屋外アンテナのアンテナ線が外れていませんか？
画像が２重３重になる	●アンテナの方向がズレていませんか？ ●山やビルからの反射電波の影響も考えられます。
画面にはん点が出る	●自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波の影響が考えられます。
色じま模様が出たり 色が消える	●他の機器からの影響(妨害電波)を受けていませんか？ また、ラジオ放送やアマチュア無線の送信アンテナが近くにある場合や、携帯電話の使用なども考えられます。 ●妨害電波を出していると考えられる他の機器から、なるべく離れた場所でお使いください。

次ページへつづく

故障かな？と思ったら(つづき)

（太字のページ番号は 1. 準備編 です。）

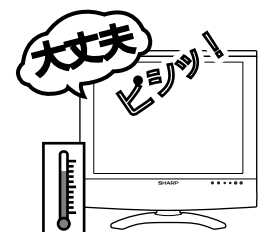
	こんなときに	ここをお確かめください	ページ
デジタル放送関係	映像も音声も出ない	●BS･CSアンテナ電源が「切」になっていませんか？ ●映像、音声のない放送ではありませんか？ ●ビデオ入力画面に切り換えられていませんか？	58 － 3
	画面に四角のノイズ（モザイク）が出る	●アンテナの向きがズレていませんか？ ●アンテナレベル(信号強度)を確認してください。 ●アンテナの前方に障害物はありませんか？ ●アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか？	－ 57 － 2・3
	有料放送の視聴ができない	●B-CASカードは正しく挿入されていますか？ ●有料放送を視聴するための契約はしていますか？ ●電話回線の接続や設定は正しくされていますか？	41･42 30～32 18･60
	110度CSデジタル放送が受信できない	●アンテナおよびアンテナケーブルは専用のものを使用していますか？ ●ブースターや分配器等をご使用になっている場合は、110度CS帯域(2150MHz)まで対応した機器に交換する必要があります。	2・3 16
	地上デジタル放送が受信できない	●お住まいの地域で地上デジタル放送は開始されていますか？ ●地上デジタル受信用のUHFアンテナが正しく設置されていますか。 ●アンテナ線は正しく接続されていますか？ ●お住まいの都道府県を地域選択で正しく設定していますか？ ●チャンネル設定は正しくされていますか？	26～27 27 15 43 45
	画面にノイズが出る	●UHF/VHFのアンテナケーブルがBS・110度CSアンテナケーブルと接近していませんか？	－
	特定のチャンネルだけ映らない	●契約していない有料放送ではありませんか？ ●アンテナレベル(信号強度)を確認してください。	30～32 57
	電子番組表（EPG）が表示されない 電子番組表（EPG）に表示されない番組がある	●電源を「入」にした後、最初に番組表を表示するときは、番組表データの受信に時間がかかります。しばらくお待ちください。	－
	ビデオコントローラーでの録画予約ができない	●ビデオコントローラーは正しく接続されていますか？ ●ビデオ連動録画予約は正しく設定されていますか？ ●データ番組ではありませんか？ ●ビデオ2入力／録画出力／モニター出力の設定は正しく設定されていますか？	101 102 42 99
	番組の予約をしても受信できない場合がある。	●契約していない有料放送、視聴年齢が制限されている番組等を予約したとき。	55 65
その他	i.LINK接続されない	●接続先の機器の電源は入っていますか？ ●i.LINKケーブルが外れていませんか？ ●接続先はD-VHSビデオデッキですか？本機はD-VHSビデオデッキのみ接続が可能です。	－ 105 106

このようなときも故障ではありません

ときどき“ピシッ”と音がする

- 温度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。
  性能その他に影響はありません。

BS・110度CS共用アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

- 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナや本機の故障ではありません。
- 春分や秋分の前後20日程度は人工衛星が地球の陰(食)になるため、深夜一時的に電波が止まる場合があります。

デジタル放送の注意文

■B-CASカードや放送の受信・視聴に関するエラーメッセージ（太字のページ番号は 1. 準備編 です。）

画面に表示される エラーメッセージ例	エラー コード	対処のしかた	参照 ページ
IC カードを正しく装着してください。		B-CASカードを正しく挿入し、ロックスイッチをロックしてください。	**42**
この IC カードは使用できません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	B-CASカードを抜き差ししてみてください。それでもエラーが表示される場合は、B-CASカスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	**42**
このカードは使用できません。 正しい IC カードを装着してください。	＊＊＊＊	専用のB-CASカードを挿入してください。	**42**
このチャンネルは契約されていません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
この IC カードには必要な情報が有りません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–
放送チャンネルではないため、視聴できません。	E200	このチャンネル（番組）は視聴できません。	–
降雨対応画面選択中です。 映像切換ボタンでもとの画面に戻ります。	E201	天気の回復をお待ちください。	–
放送が受信できません。	E202	アンテナ線を確認してください。 アンテナの設定があっているか確かめてください。	**15・57**
現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。	E203	番組表などで放送時間を確かめてください。	–
○○○チャンネルが見つかりません。 番組表などでチャンネルを確認してください。	E204	番組表などでチャンネルを確かめてください。	–
アンテナ線がショートしています。 アンテナとの接続を確認ください。	E209	アンテナ線を確かめてください。	**15**
○○○チャンネルのサービスは、この受信機では受信できません。	E210	選局されたチャンネルとは別のチャンネルを選局してください。	–
契約期限が切れています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	＊＊＊＊	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	–

次ページへつづく

デジタル放送の注意文(つづき)

画面に表示される エラーメッセージ例	エラー コード	対処のしかた	参照 ページ
このチャンネルは視聴条件により、ご覧いただけません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	−
受け付け時間を過ぎていますので購入できません。	****	番組の冒頭の限られた時間しか購入できない番組もあります。	−
電話回線を接続の上、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	****	電話回線の接続を確認のうえ、B-CASカードを抜き差ししてください。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまで連絡してください。	18・42 −
データの通信に失敗しました。	E301	電話回線の接続を確認して、デジタルメニューの通信設定を正しく行ってください。	18 60～63
データが受信できません。	E400	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	−
対象地域外のため、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	−
この受信機では、データを表示できません。	E401	現在ご覧のデータ放送チャンネルを終了し、別のチャンネルを選局してください。	−
データの表示に失敗しました。	E402	現在ご覧のチャンネルとは別のチャンネルをいったん選局した後、エラーが起こったデータ放送チャンネルを再度選局してください。	−

■i.LINKに関する注意文

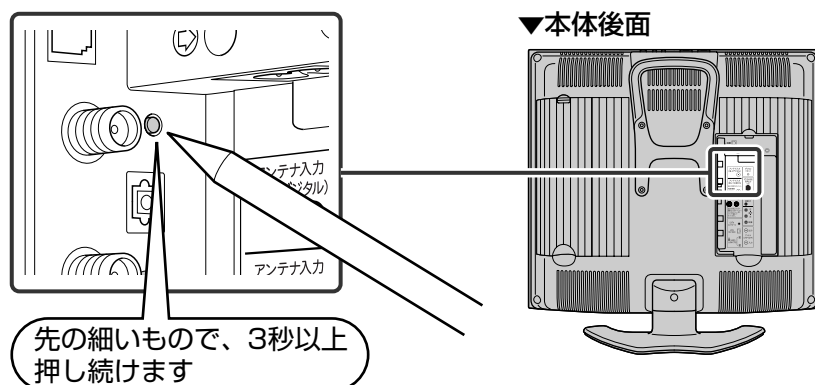
注意文	内容・対処のしかた
現在選択している機器では正常に録画／再生できない可能性があります。	本機が対応していない機器、あるいはDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載していない機器を選択したときに表示されます。
i.LINK機器の接続が不正か、接続異常が発生しています。取扱説明書をお読みのうえ、接続しなおしてください。	i.LINKケーブルによる接続が異常なときに表示されます。**106**ページの「接続に関するご注意」をお読みのうえ、接続し直してください。
現在選択している機器は“録画／再生”できない状態です。他の機器から使用中でないか確認してください。	選択している機器が、すでに他の機器から使用されているときに表示されます。本機から使用するためには、他の機器を操作する必要があります。

■システムエラー発生時の注意文

注意文	内容・対処のしかた
システムエラーです。 電源を入れなおしてください。	マイコンの動作がおかしくなったときに表示されます。

デジタルリセットボタンについて

■本機を使用中に、強い外来ノイズ(過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など)を受けた場合や誤った操作をした場合などに、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。このようなときは、本体後面左側の端子部内のデジタルリセットボタンを押してから操作をやり直してください。

- リセット直後はデータ取込みのため、画面表示には時間がかかります。
- リセット後は、リセット前のテレビチャンネルに戻ります。

温度上昇時のお知らせ表示について

表示内容	処置のしかた
画面の左下に「温度」の文字が点滅表示します。 (本機の内部や周囲の温度が異常に上昇すると、画面の左下に「温度」の文字が点滅表示します。) さらに温度が上昇すると、自動的に電源待機状態になります。	● 本機の設置状態や場所を再度確認してください。温度が異常に高くならないような環境に設置してください。 ● 本機の電源を切って、内部温度が常温に戻るまでお待ちください。 ● 本機の内部や通風口にたまったホコリを取り除いてください。

- 温度が上昇して電源待機状態になったときは、しばらくすると、ふだんどおりリモコンなどで電源を入れ直すことができますが、温度が上昇した原因を取り除かないと、またすぐに電源待機状態になります。

本機で使用している特許など

本機は、MPEG2 AACに関する下記番号の特許を使用しています。

特許番号

5,848,391	5,291,557	5,451,954	5,400,433	5,222,189
5,357,594	5,752,225	5,394,473	5,583,962	5,274,740
5,633,981	5,297,236	4,914,701	5,235,671	07/640,550
5,579,430	08/678,666	98/03037	97/02875	97/02874
98/03036	5,227,788	5,285,498	5,481,614	5,592,584
5,781,888	08/039,478	08/211,547	5,703,999	08/557,046
08/894,844	5,299,238	5,299,239	5,299,240	5,197,087
5,490,170	5,264,846	5,268,685	5,375,189	5,581,654
5,548,574	5,717,821			

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。また、その使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されています。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。

著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

保証とアフターサービス よくお読みください

保証書(別添)

- 保証書は、「お買いあげ日･販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みののち、大切に保存してください。

- **保証期間**
  お買いあげの日から1年間です。(消耗部品は除く)
  保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。(**168**ページ)

補修用性能部品の最低保有期間

- 液晶カラーテレビの補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切後8年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

- 「故障かな?と思ったら」(**160**ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名 ：液晶カラーテレビ
- 形　　　名 ：LC-20SX5
- お買いあげ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけくわしく）
- ご　住　所（付近の目印もあわせてお知らせください）
- お　名　前
- 電 話 番 号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話（　　）　―

保証期間中

修理にさいしましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

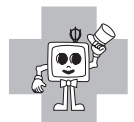
●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような症状はありませんか

- 電源を入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

▶ **ご使用中止**

故障や事故防止のため、電源スイッチを切りコンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

● 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ………… **修理相談センター** へ

● 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は …………… **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。

呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		＜東日本地区＞	＜西日本地区＞
○ 携帯電話／PHSでのご利用は ……………	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○ FAXを送信される場合は ……………………	F　A　X	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水区鳥坂1170-1
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	阪神サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄·奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

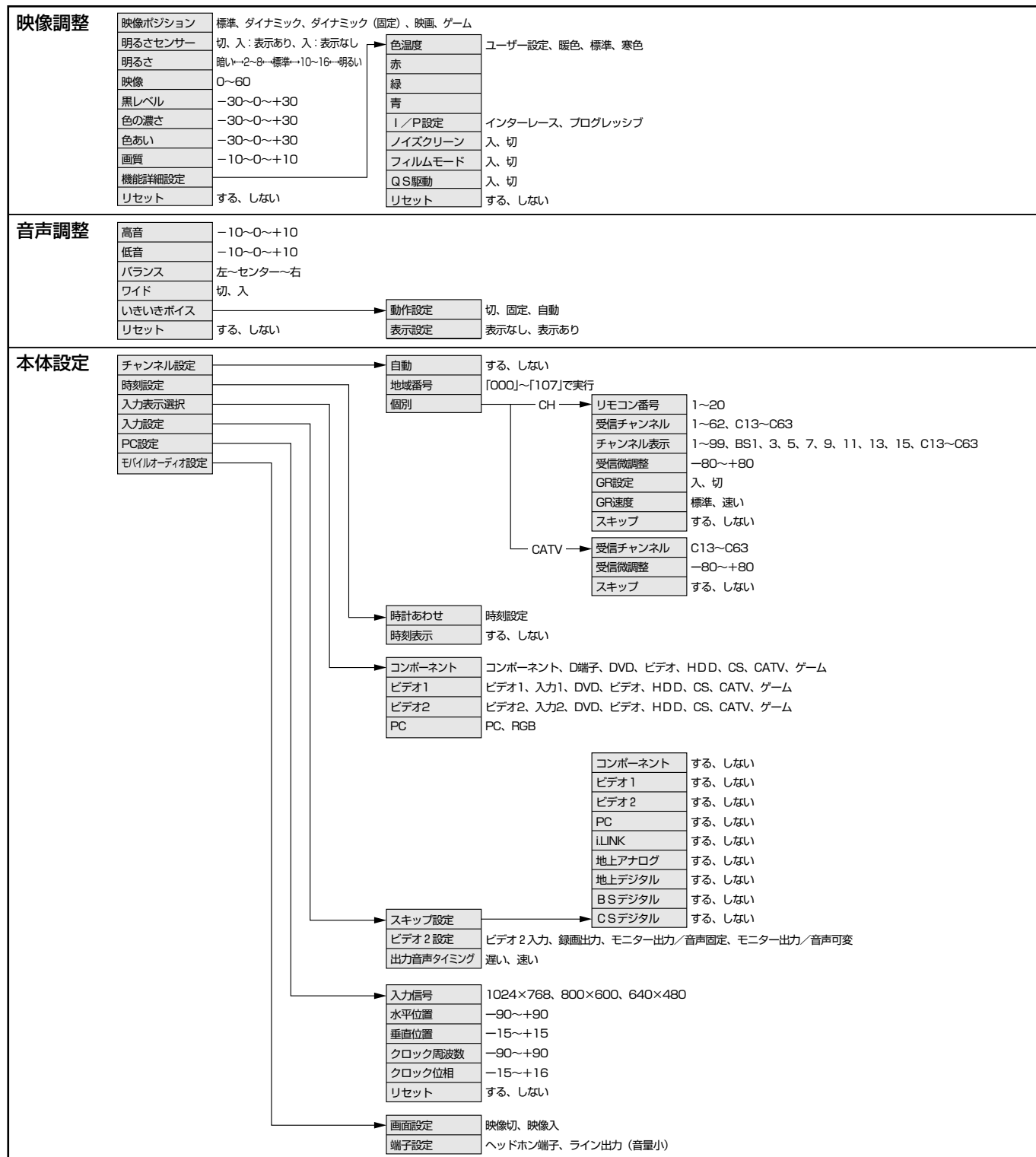
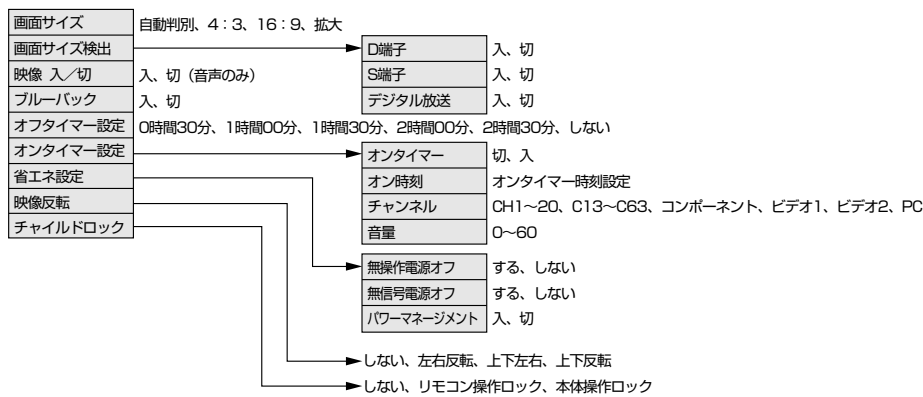
■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL **043 - 297 - 4649**	FAX 043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL **06 - 6621 - 4649**	FAX 06 - 6792 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（05.04）

メニュー画面階層図

■この項目は、本機の設置調整をするときの手助けとしてご覧ください。

個別の調整や設定については各項目のページをご覧ください。

メニュー画面階層図(つづき)

● 設定条件により選択できない項目があります。

■デジタルメニュー

番組視聴設定

- 字幕表示設定　する、しない
- チャンネル表示設定　大きく表示、小さく表示、表示しない
- 画面表示設定　する、しない
- 暗証番号設定　4桁数字
- 視聴年齢制限設定　暗証番号（4桁）→ 視聴制限年齢(2桁)
- PPV設定　暗証番号（4桁）→
  - PPV制限　する、しない
  - 購入金額制限　無制限、××円以下
- 双方向サービス設定　暗証番号（4桁）→ 電話回線を禁止する、電話回線とLAN接続を禁止する、禁止しない

システム設定

- デジタル音声設定　PCM、AAC
- ダウンロード設定　する、しない
- 地上デジタル設定 →
  - 番組表取得設定　する、しない
  - チャンネル設定－自動　する、しない
  - チャンネル設定－追加　する、しない → UHF、全チャンネル
  - チャンネル確認／変更　設定内容表示、名前・枝番変更
- アンテナ設定 →
  - 電源・受信強度表示　BS・CSアンテナ電源　入、切
  - 周波数設定　周波数入力
  - 信号テストーBS　BS-1、BS-3、BS-5、BS-7、BS-9、BS-11、BS-13、BS-15、終了
  - 信号テストーCS　CS2、CS4、CS6、CS8、CS10、CS12、CS14、CS16、CS18、CS20、CS22、CS24、終了
  - 信号テストー地上D　地上D-1～12、終了
- 通信設定 →
  - 電話回線設定・自動　外線　あり、なし
  - 電話回線設定・手動　20PPS、10PPS、トーン、外線、ダイヤルトーン検出
  - 電話会社設定　設定しない、186、184、事業者番号
  - 優先利用回線設定　電話回線、LAN接続
  - プロバイダ設定　接続名、電話番号、ユーザー名、DNS設定
  - ＬＡＮ設定
- 地域設定 →
  - 地域選択
  - 郵便番号設定
- 個人情報初期化設定　する、しない
- システム動作テスト

外部機器設定

- i.LINK設定 →
  - 録画モード設定　する、しない
  - 電源待機設定　する、しない
- ビデオ連動録画設定　メーカー選択 → テスト実行、設定する

お知らせ

- 受信メッセージ一覧
- ボード　CS1、CS2
- 受信機レポート
- ICカード番号表示
- PPV購入履歴

用語解説

・よく使われるテレビ用語です。

■ 110度CSデジタル放送
BSデジタル放送の放送衛星と同じ東経110°に打ち上げられた通信衛星を利用したCSデジタル放送のことです。

■ 16：9
デジタルハイビジョン放送や映画などのDVD再生時によく使われている画面横縦比です。従来の4：3映像に比べ、視界の広い臨場感のある映像が楽しめます。

■ BS（Broadcast Satellite）
放送衛星のことです。BS-4先発機から従来のBSアナログ放送が、BS-4後発機からBSデジタル放送が送られています。

■ BSデジタル放送
2000年12月から本格サービスが開始された衛星放送で、従来のBS(アナログ)放送に比べ、より高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。さらに、BSデジタル放送では、高品位のデジタル音声放送(BSラジオ)、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組への参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行っています。

■ CATV（ケーブルテレビ）
ケーブル(有線)テレビ放送のことです。放送サービスが実施されている地域で、ケーブルテレビ局と契約することによって、放送を受信できます。それぞれの地域に密着した情報を発信しているのが特徴です。

■ CSデジタル放送
通信衛星(CS：Communication Satellite)を使用した放送のことです。細かいジャンルに特化した多数の専門チャンネルから見たい放送を購入して視聴する仕組みです。一部、無料放送もあります。

■ D端子
高画質映像信号用コネクタの通称です。従来、輝度信号(Y)と色差信号(C_B/P_B、C_R/P_R)を3本のケーブルで接続(コンポーネント接続)していたのを1本のケーブルで接続できるようにしたのがD端子ケーブルです。輝度・色差信号のほかにも、映像フォーマットを識別する制御信号を送ることができます。走査線数と走査方式によってD1～D5の規格があり(本機はD4に対応)、数字が大きいほど、より高画質な映像に対応できます。

■ HDTV（High Definition Television）
1125iや750pなどのデジタルハイビジョンの高画質、高精細度テレビ放送のことです。

■ NTSC（National Television System Committee）
日本でも採用している現行のカラーテレビ放送方式の標準規格のことです。現在、日本、アメリカのほか、韓国、カナダ、メキシコなどで採用しています。この規格は、毎秒30フレーム(フィールド周波数60Hz)、走査線数525本のインターレース方式です。

■ SDTV（Standard Definition Television）
従来の走査線525本の標準精細度テレビ放送のことです。

■ インターレース（飛び越し走査）
NTSC方式のテレビやビデオの画像表示では、525本の走査線のうち、まず奇数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます(この1画面を1フィールドといいます)。つぎに偶数番めの走査線(262.5本)を1/60秒で描きます。これで、あわせて走査線525本の1枚の完全な画像(フレーム)をつくっていく方式です。

■ 液晶パネル
液晶を封入したパネルの電極間に電圧をかけたり、かけなかったりすることで液晶分子が光のシャッターの機能を果たし、バックライトの光を画素ごとに透過させることで、映像として見えるように開発された表示素子です。環境に配慮した低消費電力で動作する利点があります。

■ コンポーネント接続
映像信号を輝度信号(Y)と色差信号(C_B/P_B、C_R/P_R)の3つのコンポーネント(構成部分)に分離して伝送する接続方法です。コンポーネント映像端子は3つの端子に分かれているので、接続には3つのプラグに分かれた専用コード(コンポーネントケーブル)を使用します。通常の映像端子による接続に比べ、色のキレが良く、色ニジミのない画質が得られます。

■ コンポジット接続
通常の映像端子(ビデオ端子)を使って映像信号を伝送する接続方法です。映像端子は1つのみで、ふつう黄色で表示されており、形状は音声端子と同じです。コンポジット接続による映像・音声端子の接続では、黄・白・赤の3色に分かれたAVケーブルを使うのが一般的です。

用語解説(つづき)

■ 地上デジタル放送

従来のテレビ放送と同じく、放送局の電波塔から送られる電波を使ったデジタル放送です。
高画質、高品質な映像・音声サービスやデータ放送など多様なサービスを実現します。

■ ハイビジョン放送

高画質放送のことです。従来の地上波テレビ放送が525本の走査線で表示していたのに対し、デジタルハイビジョン放送は1,125本の走査線を使用しているため、より緻密で高画質な映像です。デジタル放送では、番組によって「デジタルハイビジョン映像」と「デジタル標準映像」という異なる画質で放送されています。(本機では、デジタルハイビジョン映像を本来の画質では表示できません。)

■ プログレッシブ

テレビ画面に画像を表示する方式の1つ。順次表示方式の意味で、高画質な映像を表示できます。
左上から1本目、2本目、3本目、と順に走査線を引いていく方式がプログレッシブ方式。
画像の左から右への水平走査と、上から下への垂直走査を順次に行う方式で、ノンインターレース方式ともいいます。DVD再生やデジタル放送ではプログレッシブ方式の信号が出力されるものもあります。(525p、750pは、プログレッシブ方式の信号です。)
地上アナログ放送やBSアナログ放送、およびビデオデッキなどはインターレース方式ですが、インターレース方式の信号でもI／P変換により画面上ではプログレッシブ信号と同様なチラツキの少ない高密度な映像を得ることができます。

おもな仕様

形名		LC-20SX5
種類		液晶カラーテレビ
受信チャンネル		VHF1～12チャンネル／UHF13～62チャンネル／CATV C13～C63チャンネル／ BSデジタル000～999チャンネル／110度CSデジタル000～999チャンネル／ 地上デジタル000～999チャンネル(CATV パススルー対応)
液晶パネル	画面サイズ	20V型(横408.6mm×縦306.4mm／対角510mm)
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式
	画素数	1024(水平)×768(垂直)画素
アンテナ入力		VHF/UHF75Ω不平衡型、BS-IF75Ω不平衡型(C15型)、地上デジタル75Ω不平衡型
音声実用最大出力(JEITA)		10 W(5 W+5 W)
スピーカー		4×7 cm　2個
定格電圧		AC100V
定格周波数		50／60Hz
消費電力		80 W リモコン待機時：0.09 W(デジタル放送録画予約「OFF」)　本体電源OFF時：0.07 W
接続端子		ビデオ入力2系統2端子(入力2はモニター出力／デジタル放送録画出力兼用)、 S2映像入力1系統1端子、D4映像入力1系統1端子、 モニター出力1系統1端子(入力2／デジタル放送録画出力兼用)、 アンテナ(VHF・UHF)入力・出力端子、ヘッドホン接続端子、 アナログRGB映像入力端子、PC音声入力端子、モバイルオーディオ接続端子、AC入力端子
デジタル専用端子		i.LINK(TS)2端子、デジタル放送録画出力1系統1端子(入力2／モニター出力兼用)、 デジタル放送音声出力(光)1系統1端子、電話回線端子、 LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX)、ビデオコントロール端子、 アンテナ入力(BS・110度CS)端子、アンテナ入力(地上デジタル)端子
BS・110度CSチャンネル受信仕様	変調	時分割多重mPSK
	トランスポート	MPEG2 システム
	映像	MPEG2 (MP@HL)
	音声	MPEG2 AAC
	限定受信システム	ARIB CASシステム
	受信周波数帯域	11.71GHz～12.75GHz
	IRD受信周波数帯域	1032MHz～2071MHz
地上デジタルチャンネル受信仕様	変調	直交周波数分割多重(OFDM)
	トランスポート	MPEG2 システム
	映像	MPEG2 (MP@HL)
	音声	MPEG2 AAC
	限定受信システム	ARIB CASシステム
	受信周波数帯域	93MHz～767MHz
	CATVパルススルー対応	UHF帯、ミッドバンド(MID)帯、スーパーハイバンド(SHB)帯、VHF帯
キャビネット		プラスチック
外形寸法		幅485mm×高さ481mm×奥行き224mm 幅485mm×高さ439mm×奥行き108mm(スタンド、ハンドル含まず)
本体質量		約8.2kg 約7.4kg(スタンド、ハンドル含まず)
使用温度		0℃～40℃

■製品改良のため仕様の一部を予告なく変更することがあります。

■液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素があります。0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。

■JIS C 61000-3-2適合品

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した部品です。

設置例と別売品のご案内

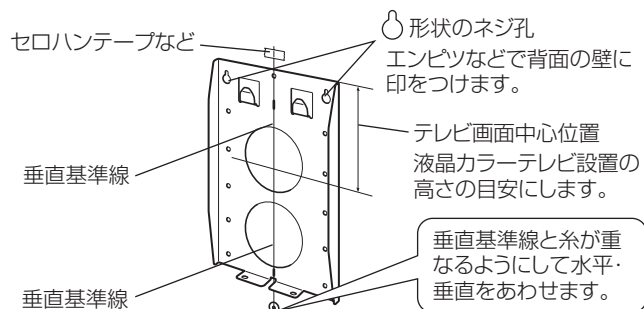
別売品の壁掛け金具で、本機を壁に取り付ける

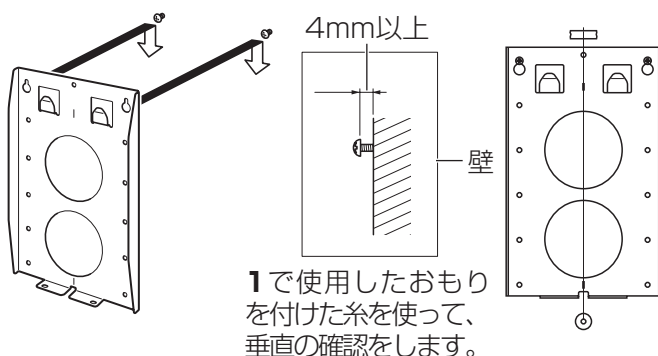
※本機に適合する壁掛け金具をお求めください（機種名：AN-110AG1）。
別売の壁掛け金具をご使用になると、液晶テレビを壁に取り付けてご覧いただけます。くわしくは、別売品の取扱説明書をご覧ください。

■壁用金具の取り付け

1 壁用金具を設置する場所を決める

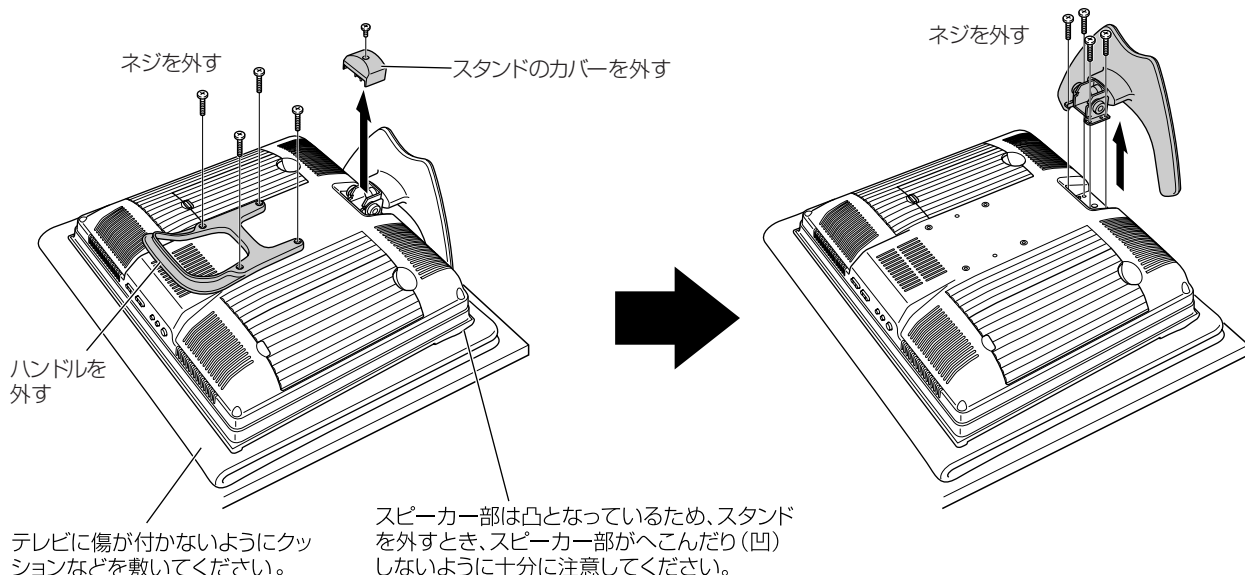
- 糸におもりを吊したものを使って、壁用金具の垂直をあわせます。
- 2箇所のネジ孔の位置に、エンピツ等で印をつけます。

液晶テレビ	壁掛け金具	中心位置
LC-20SX5	AN-110AG1	約120mm

2 ネジを仮止めする

- いったん壁用金具を壁から離し、壁につけたネジ孔のマーク位置にネジ(2本)を仮止めします。このとき、ネジ頭は、壁用金具が掛けられるよう壁から4mm以上浮いた状態にします。取り付けたネジに壁用金具を掛け、左右に傾いていないか確認後、しっかりとネジを締めます。残りのネジ孔にも市販のネジ(5〜9本)を使って止めます。

■壁掛け金具ユニットの取り付け

取り付けの前に、液晶カラーテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1 液晶カラーテレビに付属のスタンドとハンドルを外す

次ページへ

2 壁掛け金具ユニットを液晶カラーテレビに取り付ける

- テーブルスタンドを外した部分に、壁掛け金具ユニットを取り付けます。
- このとき支点金具は閉じた状態で取り付けてください。

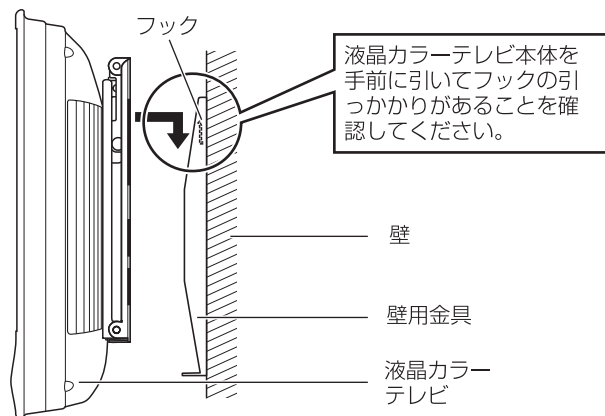
刻印	刻印なし

■液晶カラーテレビを壁に取り付ける

1 液晶カラーテレビに取り付けた壁掛け金具ユニットを、壁用金具に取り付ける

- 「壁用金具の取り付け」で取り付けた壁用金具のフック部分に壁掛け金具ユニットの角孔（⌂）を引っかけます。

壁から液晶テレビ前面までの距離	約131 mm

フック

液晶カラーテレビ本体を手前に引いてフックの引っかかりがあることを確認してください。

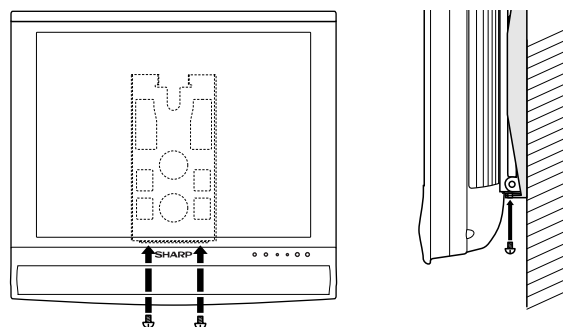
壁

壁用金具

液晶カラーテレビ

2 壁掛け金具ユニットと壁用金具をネジで固定する

（必ず実施してください）

- 下側から、ネジ（長さ6mm）2本で固定します。

- 上記手順1と2は必ず実施してください。手順1のみでの設置は液晶カラーテレビの落下のおそれがあり、大変危険です。

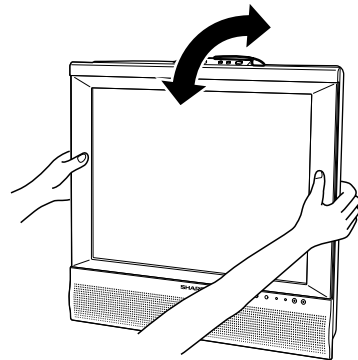
次ページへつづく

設置例と別売品のご案内(つづき)

■角度調整をする場合

見たい角度にあわせる場合、図のように液晶カラーテレビを両手で持って、角度調整を行う

角度範囲	0～20˚

● 液晶カラーテレビ本体裏面の金具に手を触れないようにしてください。角度調整時に金具が動きますので、手をはさむおそれがあり、けがの原因となります。

別売品のフロアースタンドに本機を取り付ける

本機に適合するフロアースタンドをお求めください。

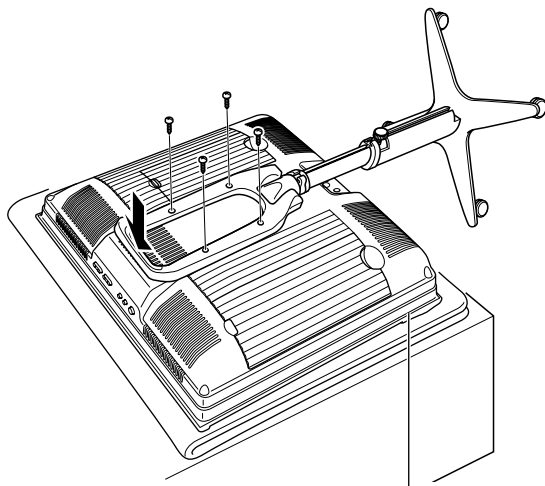
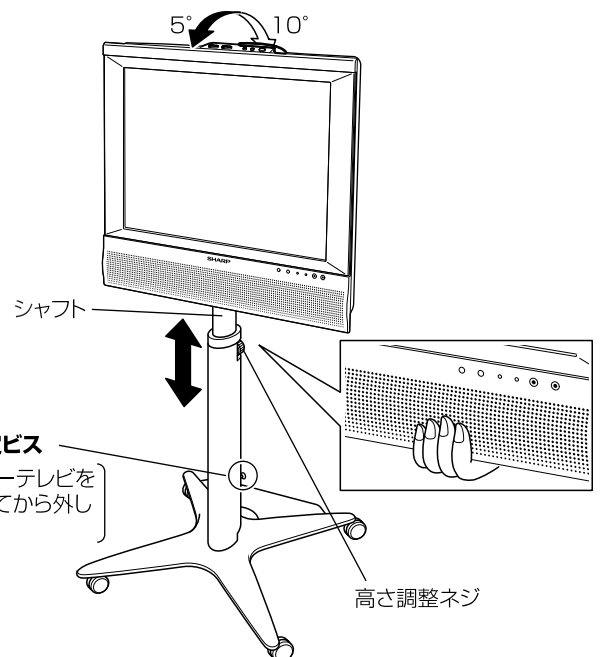
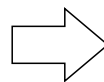
機種名：AN-110FS1

5˚ 10˚

シャフト

出荷時固定ビス

液晶カラーテレビを取り付けてから外します。

高さ調整ネジ

スピーカー部は凸となっているため、スタンドを取り付けるとき、スピーカー部がへこんだり(凹)しないように十分に注意してください。

①付属のハンドルとスタンドを外し、フロアースタンドを本体に取り付ける

②見やすい高さにフロアースタンドを調整する

くわしくは、別売品に付属の取扱説明書をご覧ください。

床から液晶カラーテレビ上面までの高さ

高さ位置	スタンド最短時	スタンド最長時
セット上面	993 mm	1,203 mm
ハンドル上面	993.7 mm	1,203.7 mm

用語索引

●英数

●あ～お

●か～こ

●さ～そ

●た～と

●な～の

●は～ほ

●ま～も

●や～よ

●ら～ろ

●わ

Quick Start Guide

Part Names (Main Unit)

Front view

SHARP

Speaker section

Stand

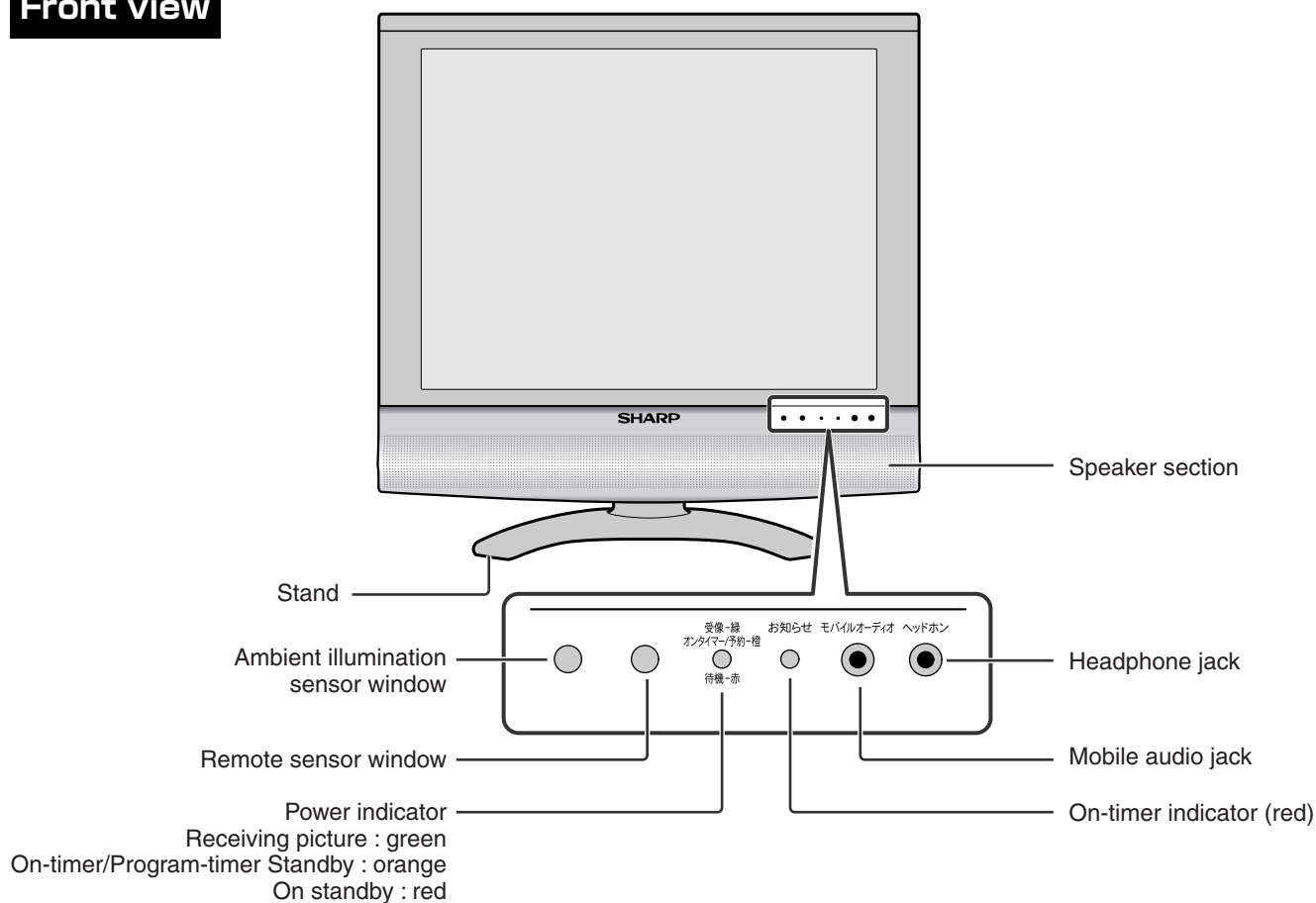
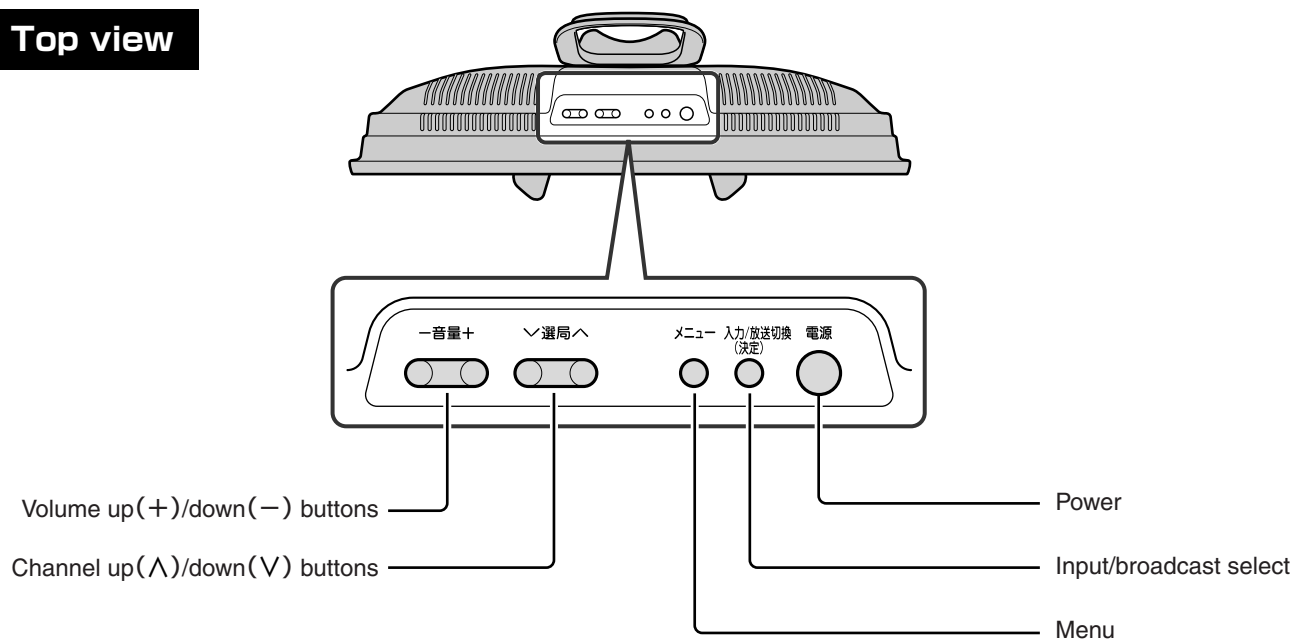
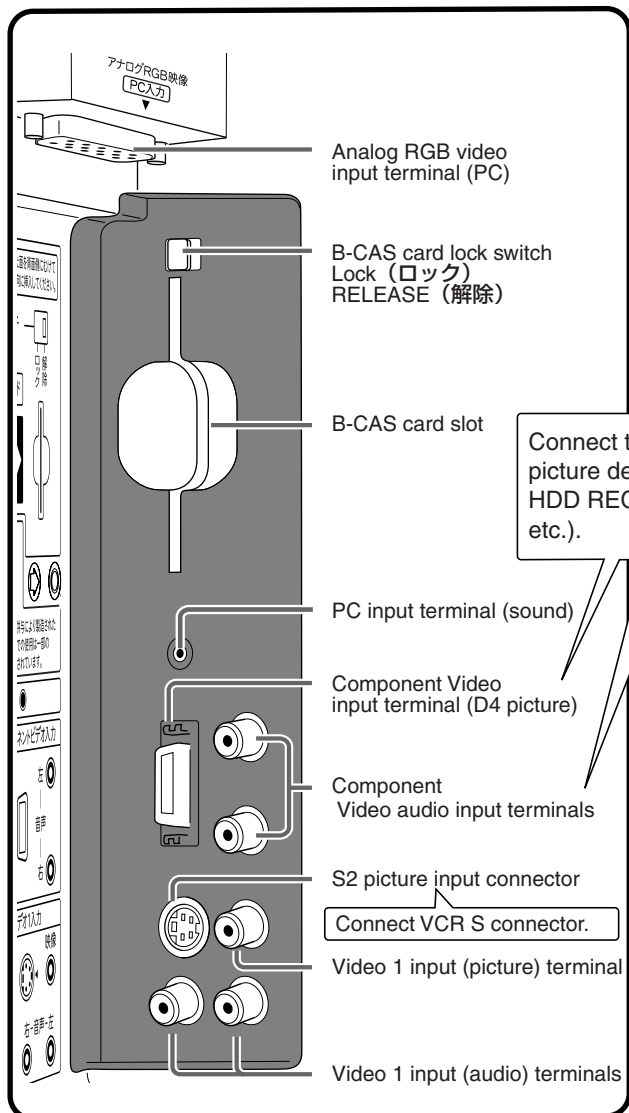
Ambient illumination sensor window

Headphone jack

Remote sensor window

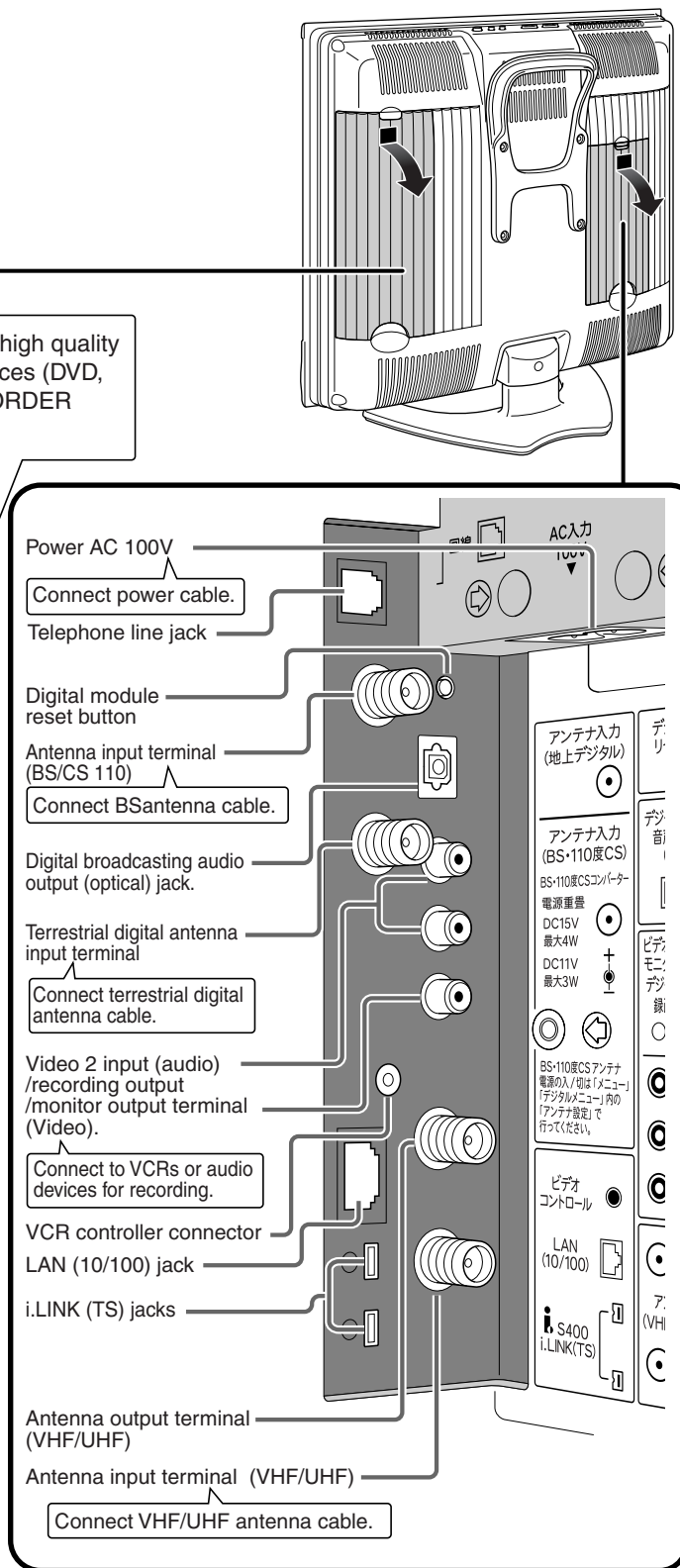
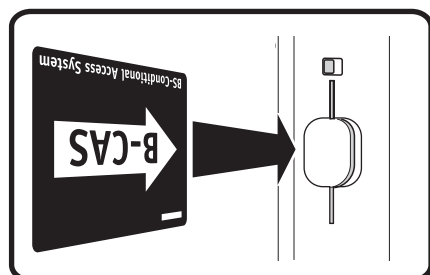
Mobile audio jack

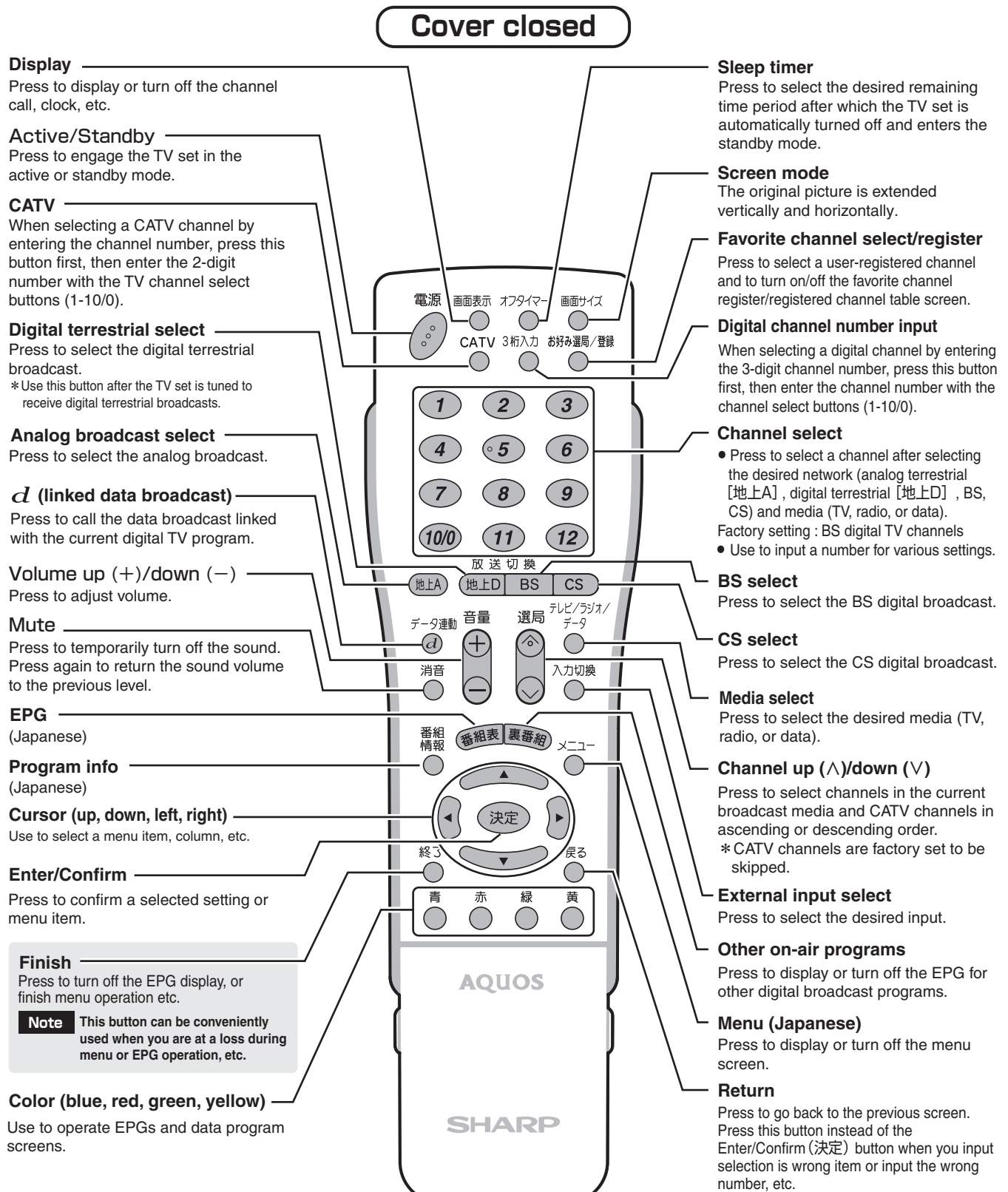
Power indicator
Receiving picture : green
On-timer/Program-timer Standby : orange
On standby : red

On-timer indicator (red)

Top view

Rear view

- Monitor output/recording output pictures are standard quality pictures. To record intact hi-vision quality pictures, connect a D-VHS VCR to the i.LINK jack.

INSERT B-CAS CARD

Correctly in the direction shown by arrow, then Lock switch to Lock(ロック), to release the card the lock switch to Release(解除).

次ページへつづく

Quick Start Guide (Continued)

Part Names (Remote Control)

Here, the main functions of each button on the remote control are explained.

Cover open

Digital channel register
Press to display or turn off the channel register/registered channel table screen.

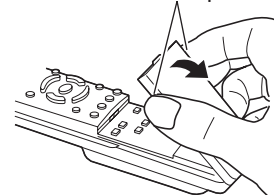
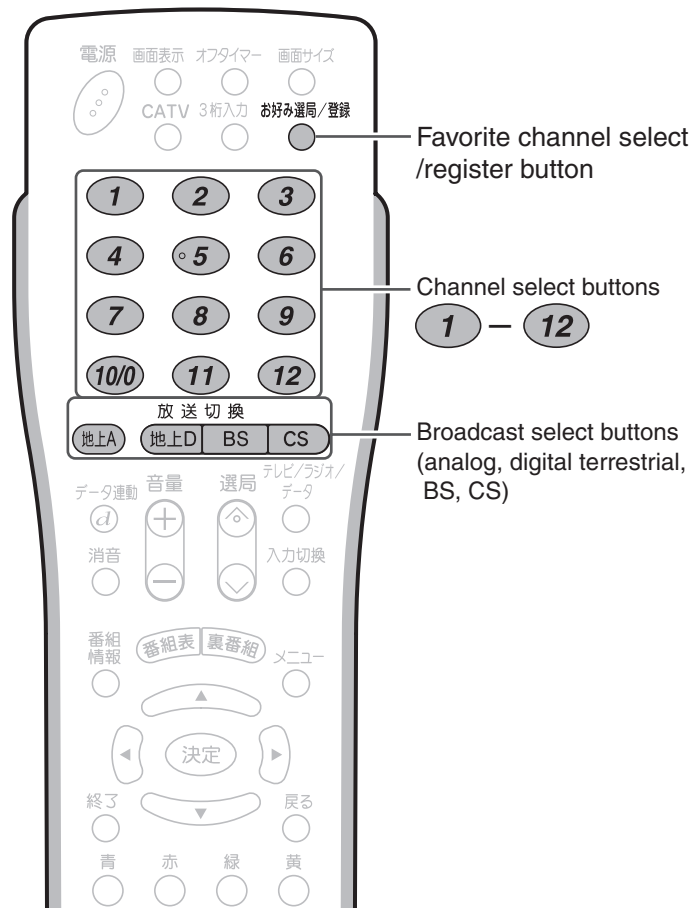
i-LINK
- Press to select i-LINK input.
- Press to display or turn off the i-LINK menu screen.

Picture select
Press to select main/sub digital broadcasting picture.

Picture mode select
Press to select the desired picture setting.

Caption
Press to display or turn off captions when watching a digital program with captions.

Audio select
Press to select the desired audio mode.

To open the cover
Hold the cover by the projections on both sides and lift upwards.

Basic operation for channel selection

Selecting analog terrestrial (VHF/UHF) channels

① Press 地上A to select analog terrestrial broadcasts.

② Press 1 – 12 to select the desired channel.

Selecting digital channels

① Press either 地上D, BS or CS to select the desired digital broadcast network.

② Press 1 – 12 to select the desired channel.

Types of broadcast

- 地上A Analog : Conventional terrestrial analog broad-cast (VHF/UHF)
- 地上D Digital terrestrial : Digital terrestrial broadcast (UHF)
- BS BS : BS digital broadcast
- CS CS : CS digital broadcast

Selecting favorite channels

① Press お好み選局/登録 to display the registered channel screen.

② Press 1 – 12 to select the desired channel.

リモコンボタンの名前とはたらき

フタを開けたところ

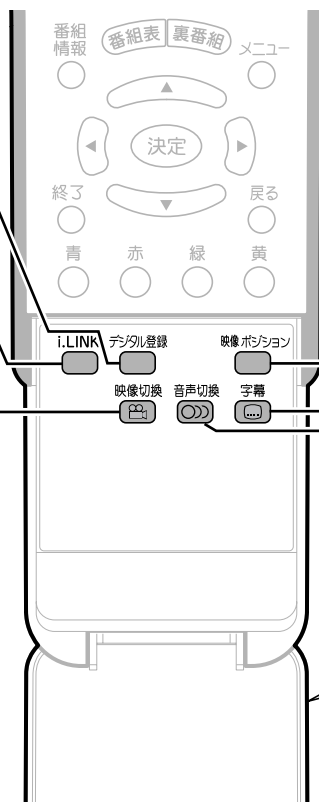
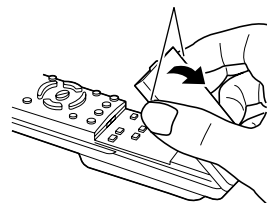
デジタル登録 ……… 38
チャンネルボタンに登録されているデジタルチャンネルの確認／登録画面を表示します。

i-LINK ……… 109
i-LINK入力を選びます。
i-LINK操作パネルの表示を入／切します。

映像切換 ……… 41
デジタル放送の主・副映像を選びます。

映像ポジション ……… 143
お好みの映像ポジションを選びます。

字幕 ……… 60
デジタル放送の字幕表示を入／切します。

音声切換 ……… 41•139
音声モードを切り換えます。

フタの開けかた
両側の突起部を持ち、引き上げます。

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

液晶カラーテレビ LC-20SX5

この製品は、こんなところがエコロジークラス。	上手に使って、もっともっとエコロジークラス。
省エネ「明るさセンサー」を活用 周囲の明るさに応じて液晶画面の明るさを自動的に調整する「明るさセンサー」機能がついています。この機能を「入」にすると周囲が暗いときには、自動的に画面を暗くするので、省エネになります。	**◎外出やおやすみのときは主電源を切って** リモコンで液晶テレビの電源を切っても、少量の電力を消費しています。こまめに本体の主電源を切ることにより、更に効果的な省エネになります。 ※ただし、録画予約、衛星ダウンロードを行う場合は、リモコンで電源を切って下さい。

● 製品についてのお問合せは…

お客様相談センター	
東日本相談室	TEL **043-297-4649**　FAX **043-299-8280**
西日本相談室	TEL **06-6621-4649**　FAX **06-6792-5993**

≪受付時間≫　月曜～土曜：午前9時～午後6時　　日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は…　**168**ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ　**http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

★この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。
★この取扱説明書は再生紙を使用しています。（古紙配合率 100%）

TINS-B917WJZZ
05P09-S-KⒶ